
羽生市
市民意識調査報告書

令和8年3月
羽生市

目 次

I. 調査の概要	1
調査の概要	3
II. 回答者属性	5
回答者属性	7
III. 調査結果	9
1. 羽生市の住み心地について	11
2. 市からの情報について	22
3. 市の取り組みについて	29
4. コミュニティ・福祉・ごみ・交通について	38
5. 医療・防災・防犯について	47
6. 市議会について	67
7. 選挙について	72
8. 文化・スポーツについて	78
9. 人権・男女平等について	89
10. 商業・農産業について	94
IV. 調査結果のまとめ	99
V. 市政に関するご意見	106

I. 調査の概要

調査の概要

1 調査目的

本調査は、市政に対する市民の意見や要望などを幅広く把握し、市民の声を市政に反映するとともに、過去の市民意識調査との比較により、市民ニーズや市民の考え方の動向などを把握し、これからのまちづくりを行ううえでの基礎資料とするために実施しました。また、第7次羽生市総合振興計画を策定する際の資料としても活用します。

2 調査の方法

調査対象：市内に在住する18歳以上の市民

標本数：2,500人

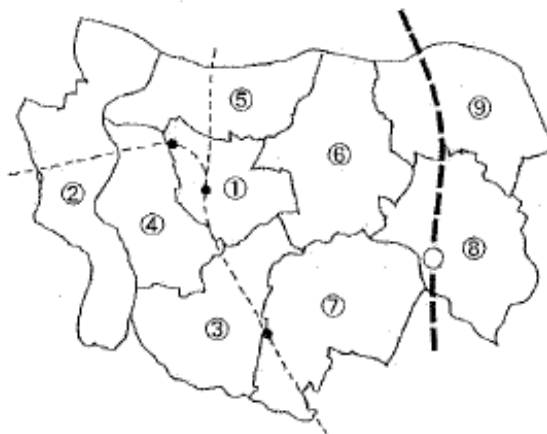
抽出方法：住民基本台帳より地区別、無作為抽出

調査方法：郵送による配布、郵送またはインターネットによる回答

調査期間：令和7年10月3日（金）～令和7年10月31日（金）

3 集計・分析のための地区区分

- ①羽生地区
- ②新郷地区
- ③須影地区
- ④岩瀬地区
- ⑤川俣地区
- ⑥井泉地区
- ⑦手子林地区
- ⑧三田ヶ谷地区
- ⑨村君地区



4 回収結果

	配布数	回収数	回収率
市民意識調査	2,500人	1,525人	61.0%
		(郵送：910人)	(郵送：36.4%)
		(インターネット回答：615人)	(インターネット回答：24.6%)

5 調査項目

①羽生市の住み心地について	問1：住み心地/理由 問2：定住意向 問3：住み続けるにあたって重要なもの
②市からの情報について	問4：市からの情報の入手先 問5：広報はにゅうの閲読 問6：ぎかいだよりの閲読 問7：自宅以外で手に取りやすいと思う場所 問8：羽生市まちづくり自治基本条例の認知度
③市の取り組みについて	問9：全国PRに有効なもの 問10：パソコンやスマートフォンの推進 問11：DXが進むことへの期待
④コミュニティ・福祉・ごみ・交通について	問12：行事への参加 問13：生きがいのある老後 問14：子育て支援に期待すること 問15：家庭ごみ削減に必要なこと 問16：公共交通
⑤医療・防災・防犯について	問17：かかりつけ医 問18：かかりつけ歯科医 問19：かかりつけ薬局 問20：健康診断/理由 問21：家屋の耐震状況 問22：火災警報器 問23：避難所の認知度 問24：ハザードマップの認知度 問25：マイ・タイムラインの作成状況 問26：災害時の備え 問27：防犯対策 問28：犯罪防止策
⑥市議会について	問29：市議会への関心/理由
⑦選挙について	問30：政治や選挙への関心 問31：投票しやすい環境 問32：選挙に関する情報の取得先
⑧文化・スポーツについて	問33：おうち図書館の有無/理由 問34：文化芸術に期待するもの 問35：文化芸術の情報の入手先 問36：文化芸術振興の施策 問37：子どもたちが文化芸術に親しむための取り組み 問38：スポーツをする頻度/理由
⑨人権・男女平等について	問39：基本的人権の尊重 問40：各場面の男女平等 問41：『男は仕事 女は家庭』の考え方
⑩商業・農産業について	問42：農産物の購入目安 問43：農業・商業・産業の振興
⑪ご自身について	(1)性別 (2)年齢 (3)職業 (4)居住年数 (5)居住地域
⑫市政に関するご意見	自由記入

6 報告書を見る際の注意

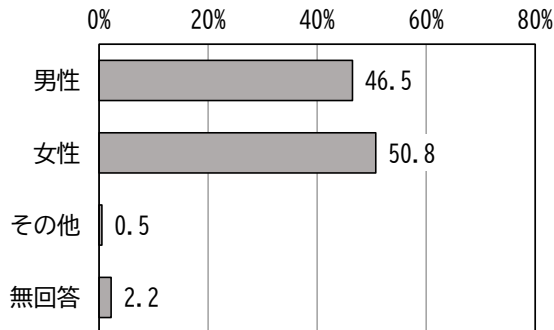
- ・設問の比率は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数（図表中の「n」）として、百分率（%）で表しています。したがって、非該当者数は、比率に含まれません。
- ・回答合計の表記を単一（1つに○）回答は「合計」、複数（いくつでも○）回答は「回答者数」としています。非該当処理が含まれる設問は「回答者数」と表記しています。
- ・クロス集計の表は、上位1位が濃い色、2位が薄い色で色付けされています。
- ・回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
- ・回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。

II. 回答者属性

回答者属性

(1) 性別

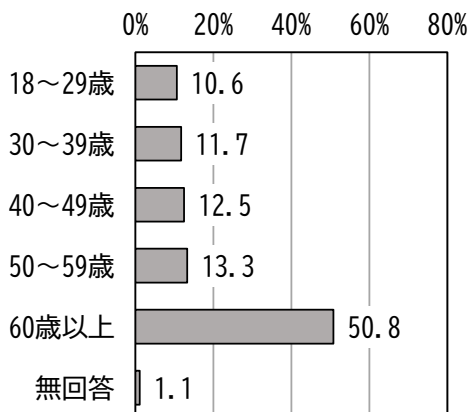
回答者の性別は、「男性」が46.5%、「女性」が50.8%、「その他」が0.5%となっています。



項目	n	%
男性	709	46.5%
女性	774	50.8%
その他	8	0.5%
無回答	34	2.2%
合計	1,525	100.0%

(2) 年齢（令和7年10月1日現在）

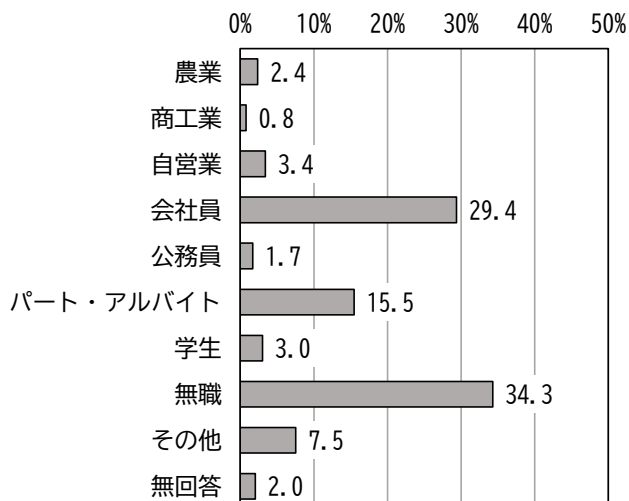
回答者の年齢は、「60歳以上」が50.8%と最も多く、次いで、「50～59歳」が13.3%、「40～49歳」が12.5%となっています。



項目	n	%
18～29歳	161	10.6%
30～39歳	179	11.7%
40～49歳	191	12.5%
50～59歳	203	13.3%
60歳以上	775	50.8%
無回答	16	1.1%
合計	1,525	100.0%

(3) 職業

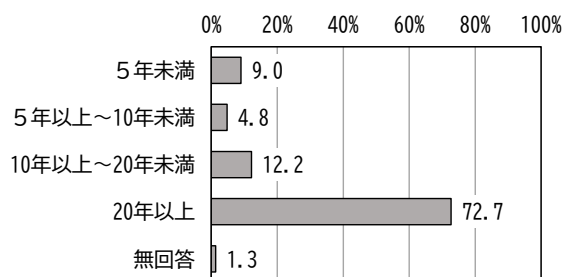
回答者の職業は、「無職」が34.3%と最も多く、次いで、「会社員」が29.4%、「パート・アルバイト」が15.5%となっています。



項目	n	%
農業	36	2.4%
商工業	12	0.8%
自営業	52	3.4%
会社員	448	29.4%
公務員	26	1.7%
パート・アルバイト	236	15.5%
学生	46	3.0%
無職	523	34.3%
その他	115	7.5%
無回答	31	2.0%
合計	1,525	100.0%

(4) 羽生市に住んでいる年数

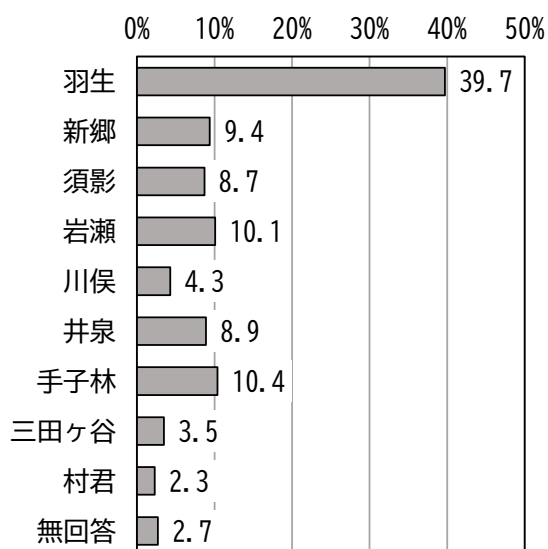
回答者の居住年数は、「20年以上」が72.7%と最も多く、次いで、「10年以上～20年未満」が12.2%、「5年未満」が9.0%となっています。



項目	n	%
5年未満	137	9.0%
5年以上～10年未満	73	4.8%
10年以上～20年未満	186	12.2%
20年以上	1,108	72.7%
無回答	21	1.3%
合計	1,525	100.0%

(5) 住んでいる地域

回答者の居住地区は、「羽生」が39.7%と最も多く、次いで、「手子林」が10.4%、「岩瀬」が10.1%となっています。



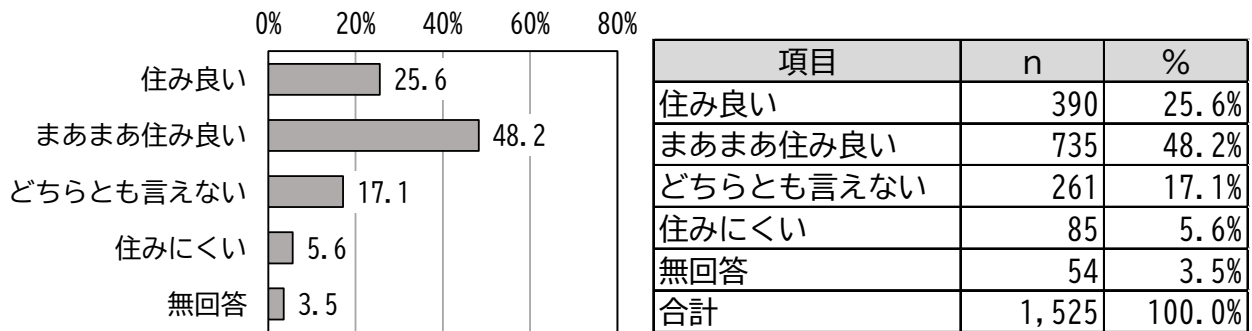
項目	n	%
羽生	606	39.7%
新郷	143	9.4%
須影	132	8.7%
岩瀬	154	10.1%
川俣	66	4.3%
井泉	136	8.9%
手子林	158	10.4%
三田ヶ谷	53	3.5%
村君	35	2.3%
無回答	42	2.7%
合計	1,525	100.0%

Ⅲ. 調査結果

1. 羽生市の住み心地について

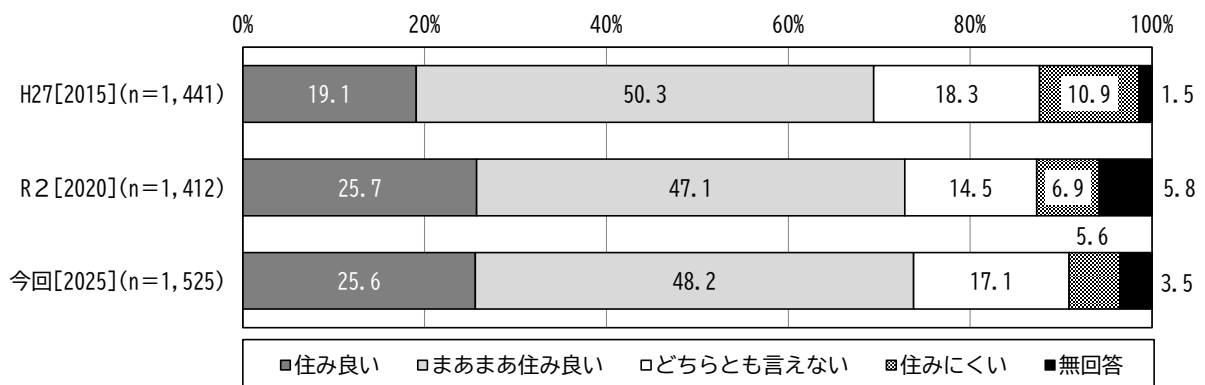
問1 羽生市の住み心地はいかがですか。【1つに〇】

市の住み心地については、「住み良い(25.6%)」、「まあまあ住み良い(48.2%)」を合わせた『住み良い(計)』が73.8%に対し、「住みにくい」が5.6%となっています。
また、「どちらとも言えない」が17.1%となっています。



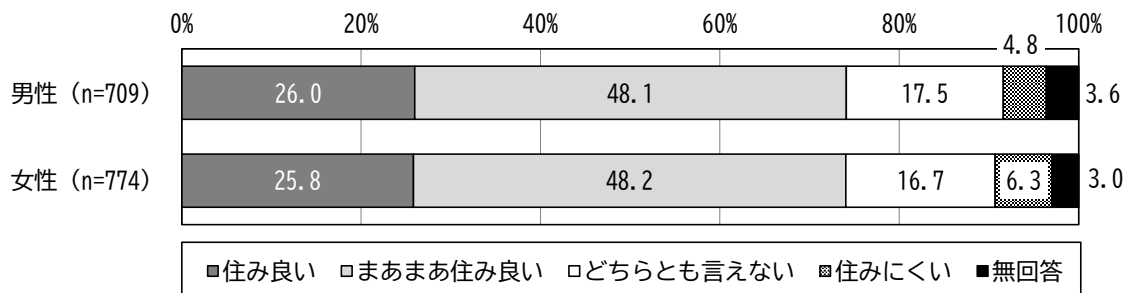
【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、同じように「住みやすい」が多い傾向となっています。



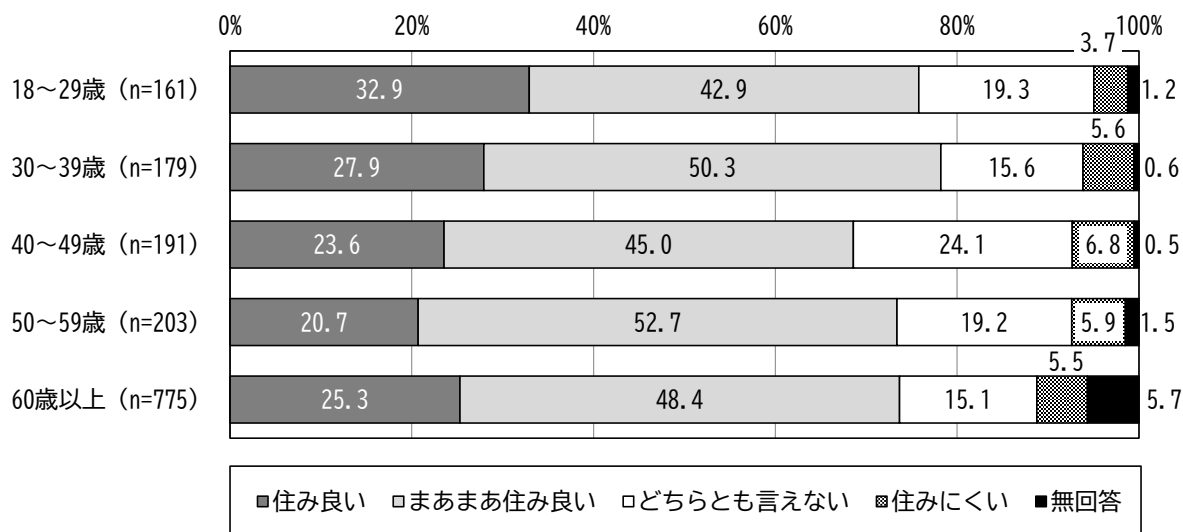
【性別集計】

性別の割合を見ると男女ともに「住み良い」「まあまあ住み良い」を合わせた割合が7割を超えています。



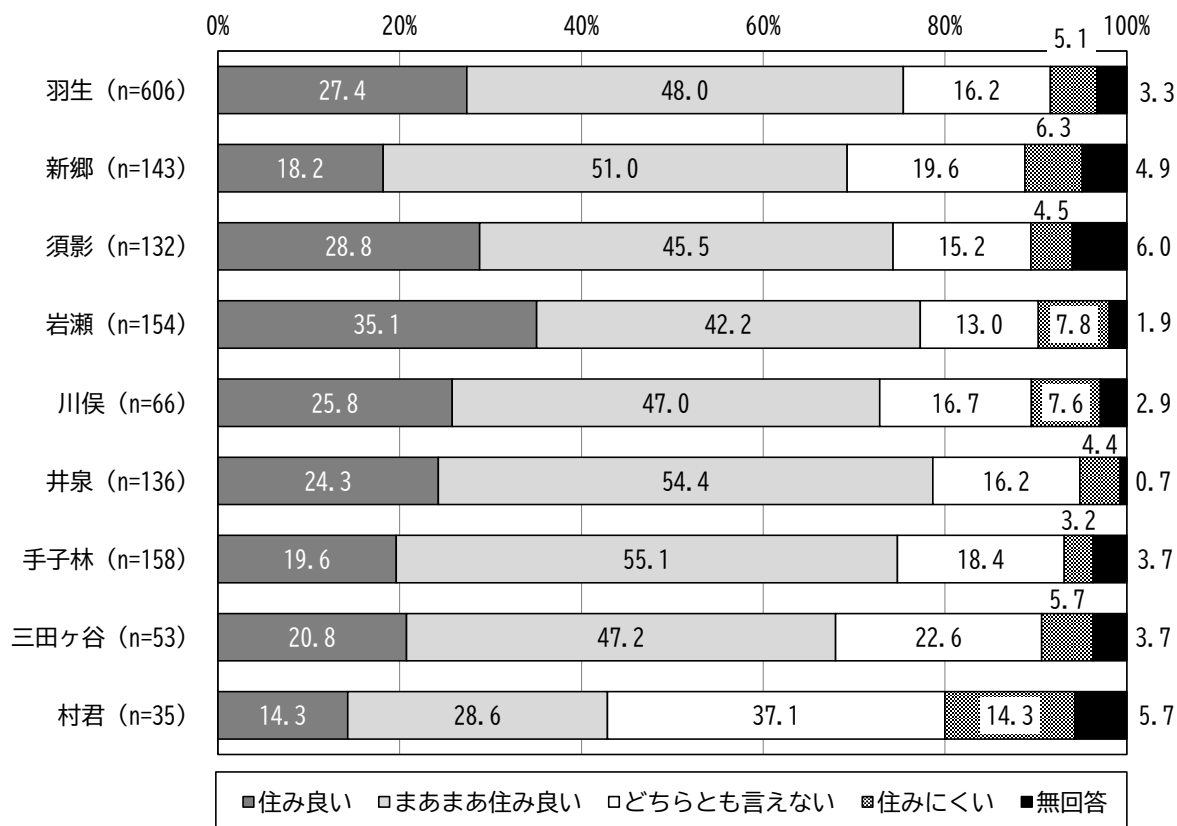
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、「住みよい」、「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよい（計）』が全年齢で6割を超えています。「住みにくい」の割合では、『40～49歳(6.8%)』が最も多く、次いで『50～59歳(5.9%)』、『30～39歳(5.6%)』となっています。



【居住区別集計】

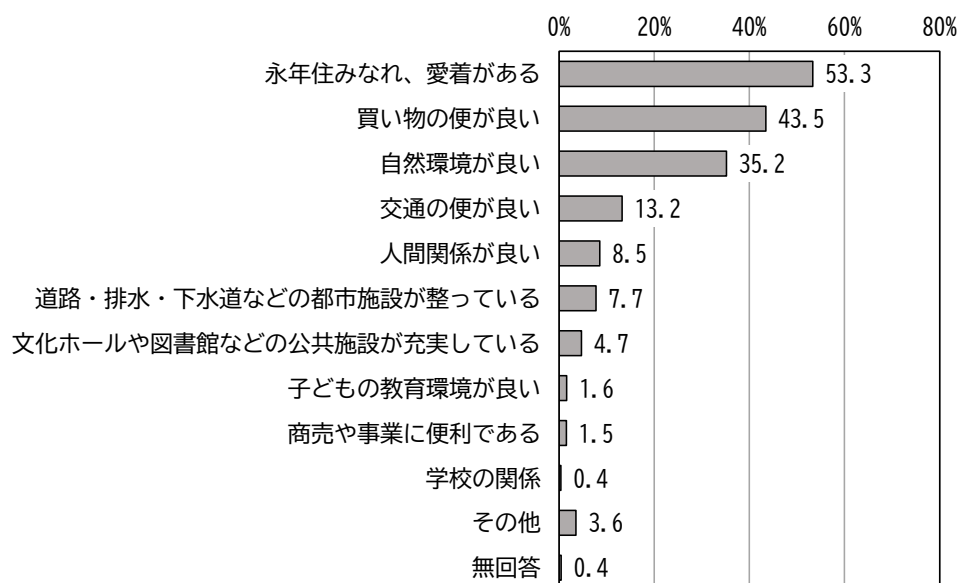
居住地区別の割合を見ると『村君』では「どちらとも言えない」の割合が最も多く、それ以外の地区では、「まあまあ住みよい」の割合が最も多くなっています。



問1で「住み良い」、「まあまあ住み良い」のいずれかを選択した方のみ回答

問1-a 住み良い理由は何ですか。【2つまで〇】

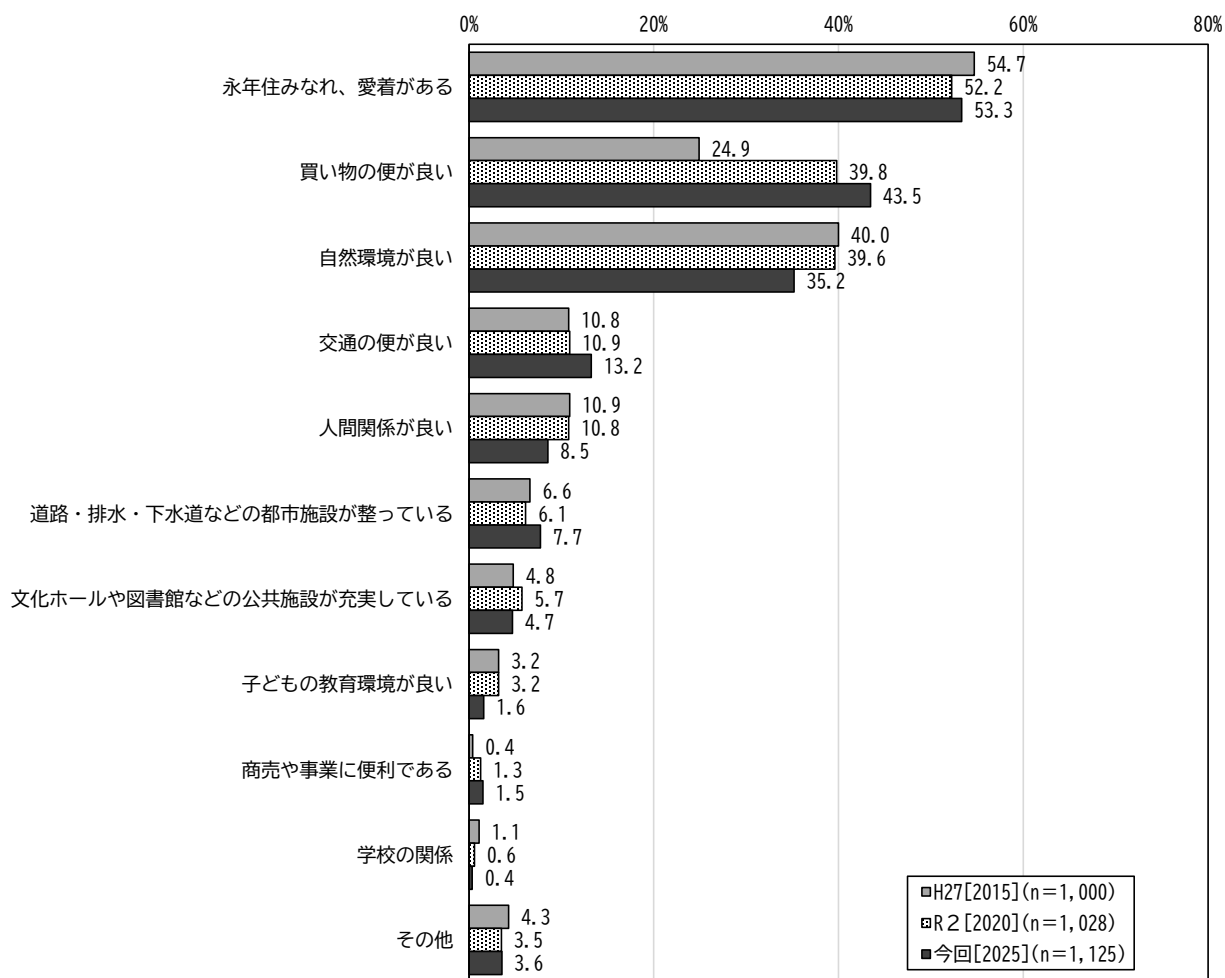
住み良い理由については、「永年住みなれ、愛着がある」が53.3%と最も多く、次いで、「買い物の便が良い」が43.5%、「自然環境が良い」が35.2%となっています。



項目	n	%
永年住みなれ、愛着がある	600	53.3%
買い物の便が良い	489	43.5%
自然環境が良い	396	35.2%
交通の便が良い	149	13.2%
人間関係が良い	96	8.5%
道路・排水・下水道などの都市施設が整っている	87	7.7%
文化ホールや図書館などの公共施設が充実している	53	4.7%
子どもの教育環境が良い	18	1.6%
商売や事業に便利である	17	1.5%
学校の関係	4	0.4%
その他	40	3.6%
無回答	5	0.4%
回答者数	1,125	
非該当	400	
合計	1,525	

【過去調査と比較】

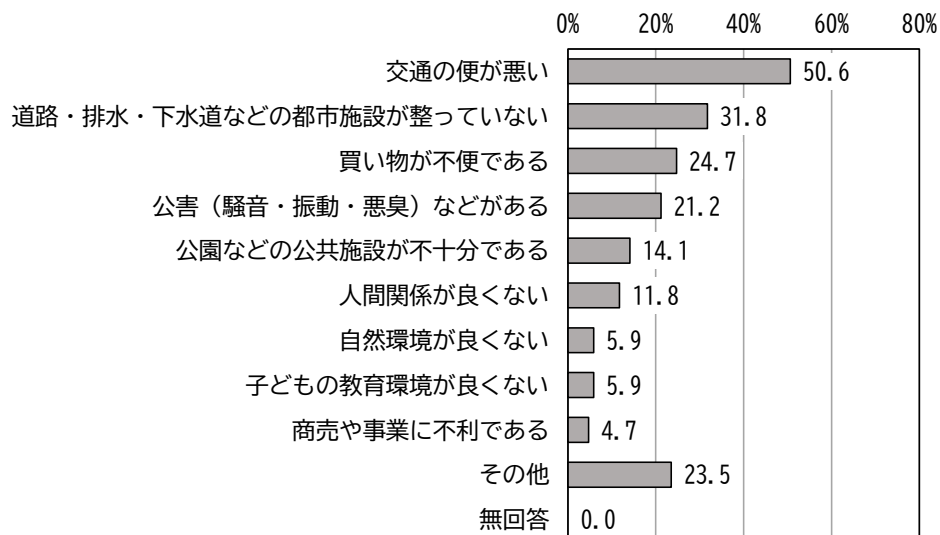
過去調査と比較すると、同じような傾向となっています。



問1で「住みにくい」を選択した方のみ回答

問1ーb 住みにくい理由は何ですか。【2つまで○】

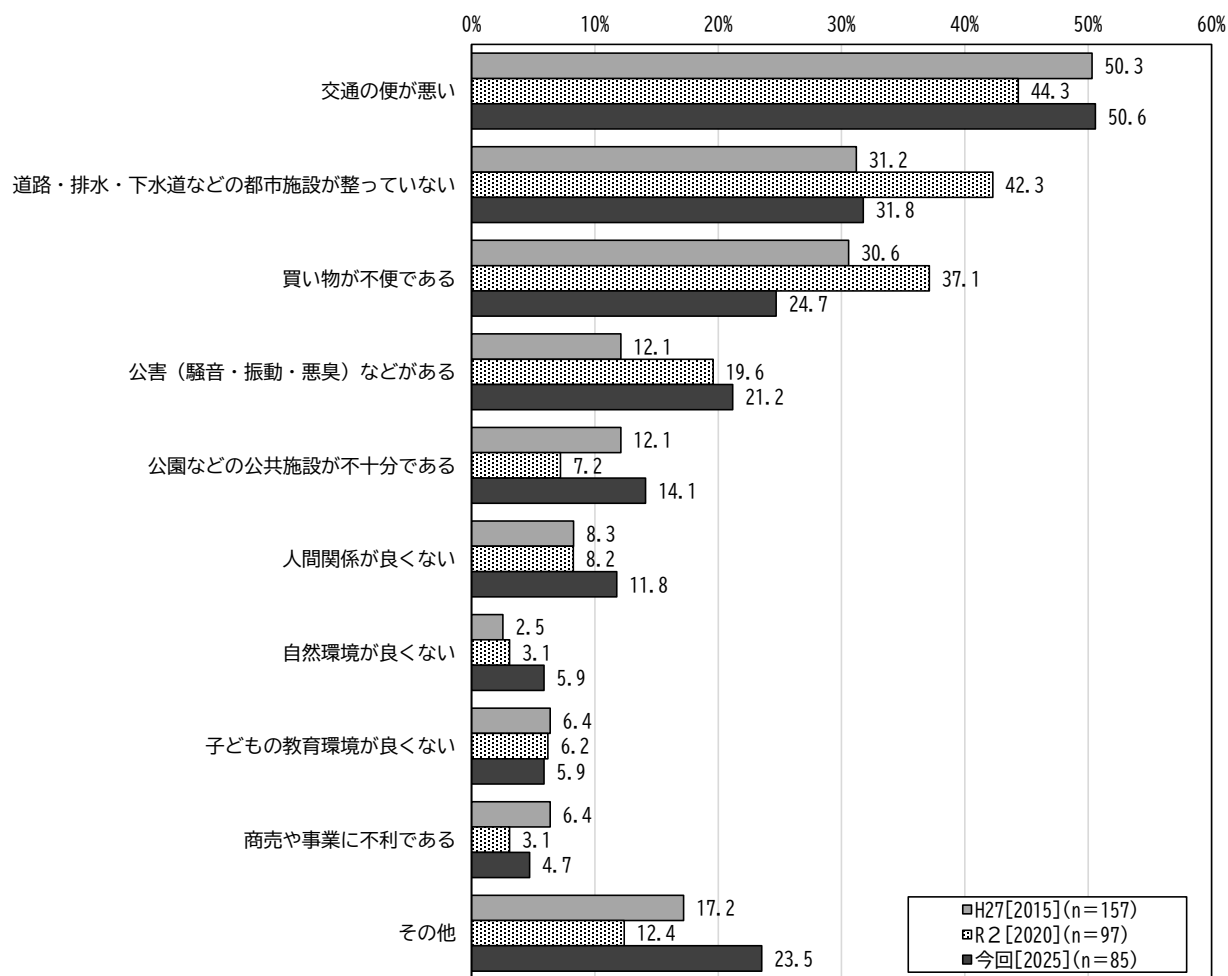
住みにくい理由については、「交通の便が悪い」が50.6%と最も多く、次いで、「道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない」が31.8%、「買い物が不便である」が24.7%となっています。



項目	n	%
交通の便が悪い	43	50.6%
道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない	27	31.8%
買い物が不便である	21	24.7%
公害（騒音・振動・悪臭）などがある	18	21.2%
公園などの公共施設が不十分である	12	14.1%
人間関係が良くない	10	11.8%
自然環境が良くない	5	5.9%
子どもの教育環境が良くない	5	5.9%
商売や事業に不利である	4	4.7%
その他	20	23.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	85	
非該当	1,440	
合計	1,525	

【過去調査と比較】

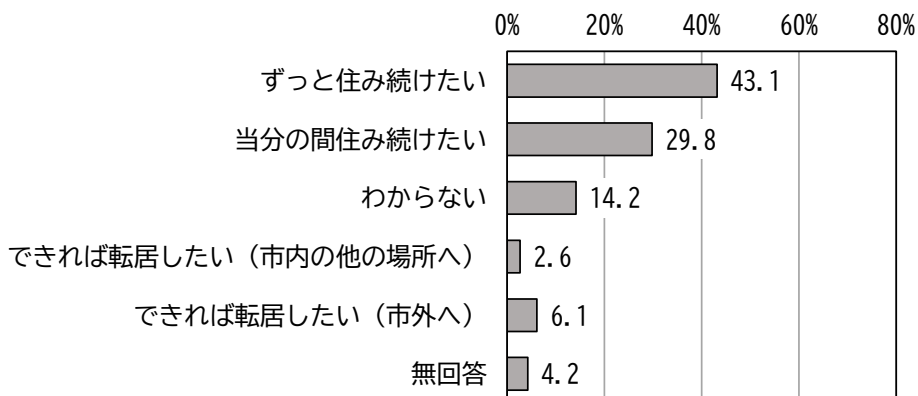
過去調査と比較すると、前回より「交通の便が悪い」が6.3ポイント増加し、「道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない」が10.5ポイント、「買い物が不便である」が12.4ポイント減少となっています。



問2 現在の場所に住み続けたいと思いますか。【1つに○】

定住意向については、「ずっと住み続けたい(43.1%)」、「当分の間住み続けたい(29.8%)」を合わせた『住み続けたい(計)』が72.9%に対し、「できれば転居したい(市内の他の場所へ)(2.6%)」、「できれば転居したい(市外へ)(6.1%)」を合わせた『できれば転居したい(計)』が8.7%となっています。

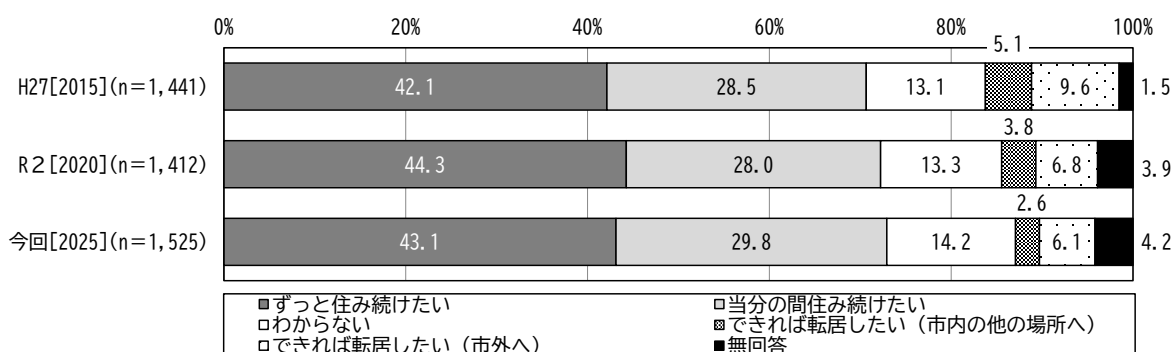
また、「わからない」が14.2%となっています。



項目	n	%
ずっと住み続けたい	658	43.1%
当分の間住み続けたい	454	29.8%
わからない	216	14.2%
できれば転居したい (市内の他の場所へ)	40	2.6%
できれば転居したい (市外へ)	93	6.1%
無回答	64	4.2%
合計	1,525	100.0%

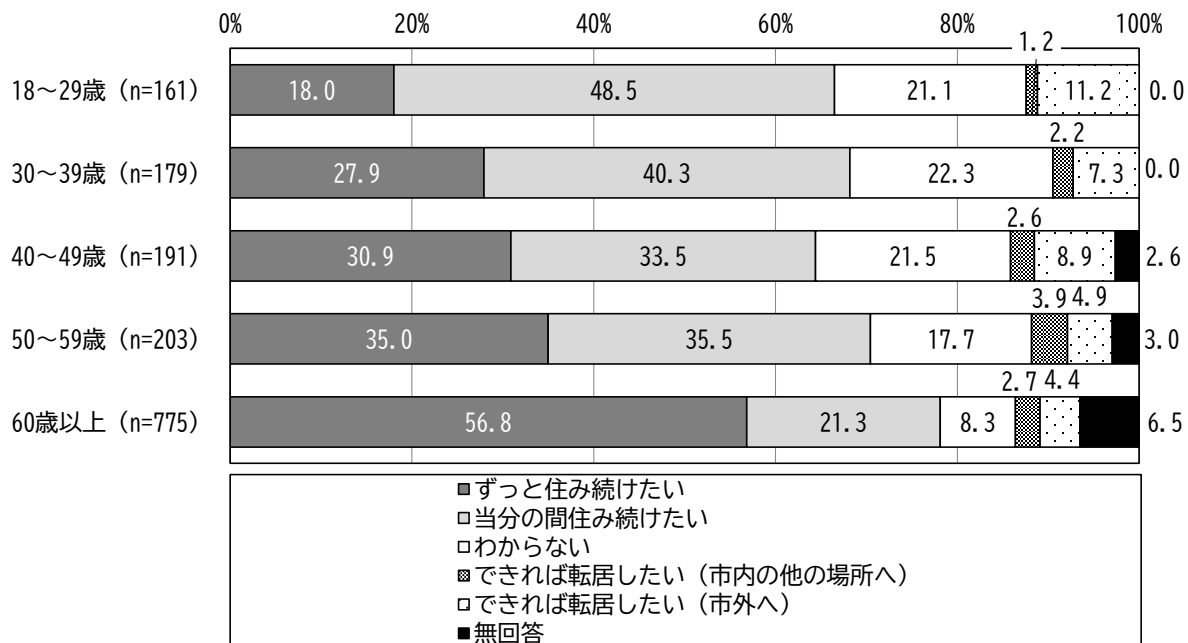
【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、同じような傾向となっています。



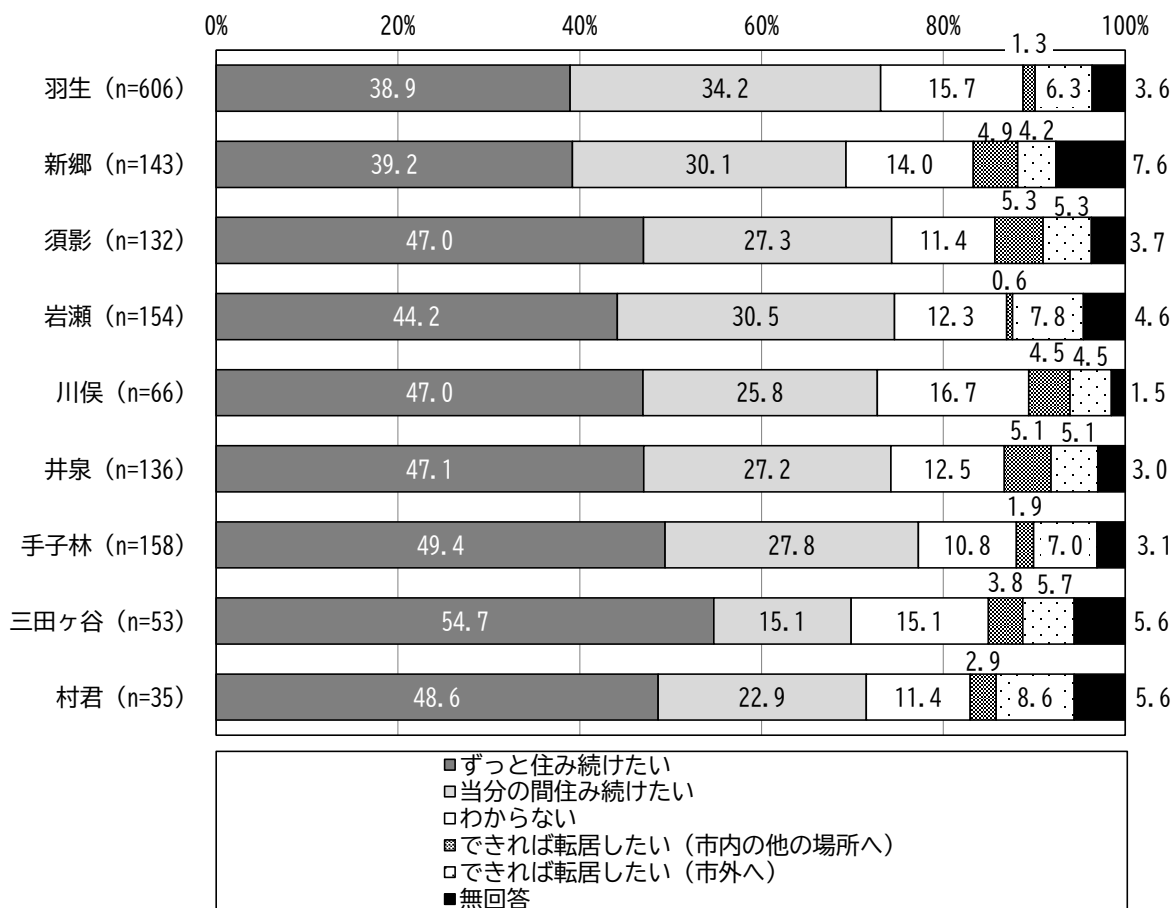
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『18～59歳』では「当分の間住み続けたい」、『60歳以上』では「ずっと住み続けたい」の割合が最も多くなっています。



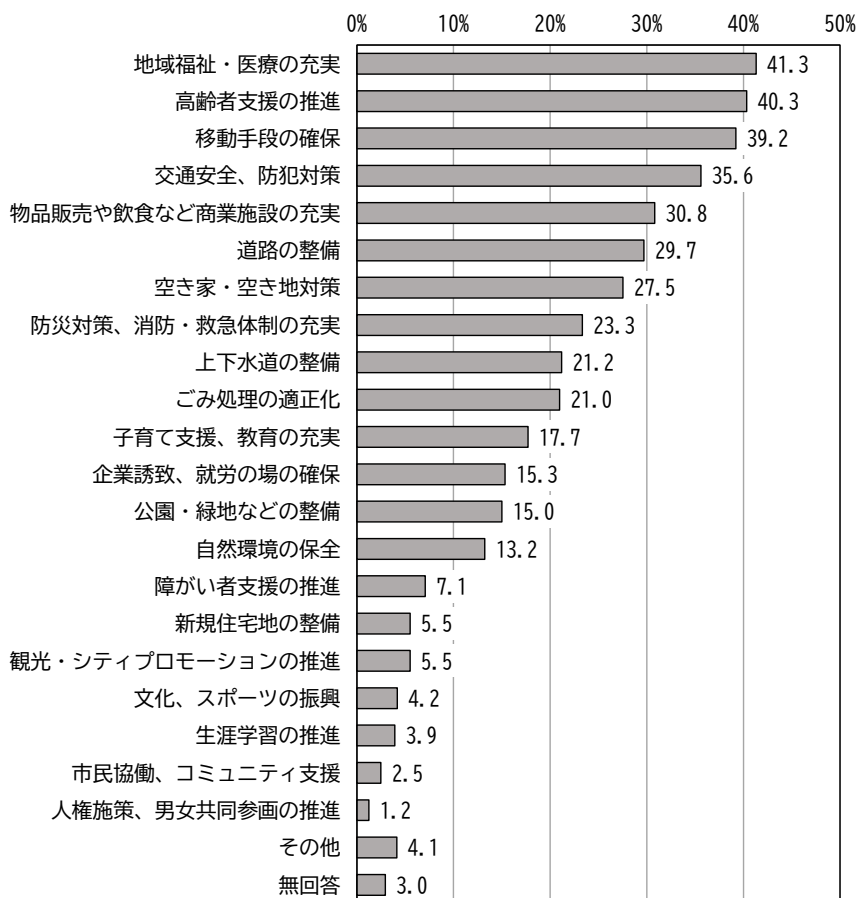
【居住地区別集計】

居住地区別の割合を見ると、すべての地区で「ずっと住み続けたい」の割合が最も多くなっています。



問3 今後、住み続けるにあたって重要なものは、何ですか。【5つまで○】

今後、住み続けるにあたって重要なものについては、「地域福祉・医療の充実」が41.3%と最も多く、次いで、「高齢者支援の推進」が40.3%、「移動手手段の確保」が39.2%となっています。



項目	n	%
地域福祉・医療の充実	630	41.3%
高齢者支援の推進	615	40.3%
移動手手段の確保	598	39.2%
交通安全、防犯対策	543	35.6%
物品販売や飲食など商業施設の充実	470	30.8%
道路の整備	453	29.7%
空き家・空き地対策	420	27.5%
防災対策、消防・救急体制の充実	356	23.3%
上下水道の整備	323	21.2%
ごみ処理の適正化	320	21.0%
子育て支援、教育の充実	270	17.7%
企業誘致、就労の場の確保	234	15.3%
公園・緑地などの整備	229	15.0%
自然環境の保全	202	13.2%
障がい者支援の推進	108	7.1%
新規住宅地の整備	84	5.5%
観光・シティプロモーションの推進	84	5.5%
文化、スポーツの振興	64	4.2%
生涯学習の推進	60	3.9%
市民協働、コミュニティ支援	38	2.5%
人権施策、男女共同参画の推進	19	1.2%
その他	63	4.1%
無回答	45	3.0%
回答者数	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『18～39歳』では「物品販売や飲食など商業施設の充実」、『40～49歳』では「地域福祉・医療の充実」、『50～59歳』では「移動手手段の確保」、『60歳以上』では「高齢者支援の推進」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	新規住宅地の整備	道路の整備	公園・緑地などの整備	上下水道の整備	物品販売や飲食など商業施設の充実	企業誘致、就労の場の確保	地域福祉・医療の充実	子育て支援、教育の充実	障がい者支援の推進	高齢者支援の推進	防災対策、消防・救急体制の充実	交通安全、防犯対策
18～29歳	28 17.4%	51 31.7%	34 21.1%	25 15.5%	72 44.7%	22 13.7%	34 21.1%	44 27.3%	5 3.1%	9 5.6%	23 14.3%	58 36.0%
30～39歳	17 9.5%	52 29.1%	42 23.5%	30 16.8%	90 50.3%	35 19.6%	57 31.8%	79 44.1%	6 3.4%	25 14.0%	24 13.4%	84 46.9%
40～49歳	5 2.6%	61 31.9%	27 14.1%	42 22.0%	70 36.6%	46 24.1%	78 40.8%	42 22.0%	14 7.3%	51 26.7%	42 22.0%	72 37.7%
50～59歳	11 5.4%	74 36.5%	18 8.9%	59 29.1%	72 35.5%	40 19.7%	91 44.8%	20 9.9%	14 6.9%	83 40.9%	56 27.6%	77 37.9%
60歳以上	22 2.8%	211 27.2%	104 13.4%	166 21.4%	163 21.0%	90 11.6%	364 47.0%	83 10.7%	67 8.6%	440 56.8%	208 26.8%	246 31.7%

(上段：n、下段：%)

	移動手手段の確保	市民協働、コミュニティ支援	観光・シティプロモーションの推進	人権施策、男女共同参画の推進	文化、スポーツの振興	生涯学習の推進	自然環境の保全	ごみ処理の適正化	空き家・空き地対策	その他	無回答	回答者数
18～29歳	60 37.3%	2 1.2%	8 5.0%	2 1.2%	14 8.7%	4 2.5%	26 16.1%	24 14.9%	22 13.7%	6 3.7%	1 0.6%	161
30～39歳	51 28.5%	7 3.9%	19 10.6%	2 1.1%	8 4.5%	4 2.2%	17 9.5%	28 15.6%	31 17.3%	8 4.5%	0 0.0%	179
40～49歳	72 37.7%	2 1.0%	11 5.8%	2 1.0%	5 2.6%	4 2.1%	15 7.9%	43 22.5%	45 23.6%	16 8.4%	1 0.5%	191
50～59歳	94 46.3%	4 2.0%	15 7.4%	5 2.5%	10 4.9%	9 4.4%	19 9.4%	36 17.7%	54 26.6%	12 5.9%	2 1.0%	203
60歳以上	316 40.8%	23 3.0%	31 4.0%	8 1.0%	27 3.5%	39 5.0%	122 15.7%	187 24.1%	264 34.1%	21 2.7%	39 5.0%	775

【居住地区別集計】

居住地区別の割合を見ると、『羽生』、『須影』、『岩瀬』、『井泉』、『手子林』では「地域福祉・医療の充実」、『新郷』、『川俣』、『三田ヶ谷』、『村君』では「移動手手段の確保」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	新規住宅地の整備	道路の整備	公園・緑地などの整備	上下水道の整備	物品販売や飲食など商業施設の充実	企業誘致、就労の場の確保	地域福祉・医療の充実	子育て支援、教育の充実	障がい者支援の推進	高齢者支援の推進	防災対策、消防・救急体制の充実	交通安全、防犯対策
羽生	37 6.1%	160 26.4%	106 17.5%	91 15.0%	207 34.2%	95 15.7%	232 38.3%	114 18.8%	42 6.9%	223 36.8%	152 25.1%	219 36.1%
新郷	8 5.6%	45 31.5%	26 18.2%	47 32.9%	44 30.8%	18 12.6%	56 39.2%	30 21.0%	13 9.1%	51 35.7%	27 18.9%	60 42.0%
須影	5 3.8%	43 32.6%	18 13.6%	36 27.3%	29 22.0%	20 15.2%	63 47.7%	23 17.4%	15 11.4%	55 41.7%	38 28.8%	56 42.4%
岩瀬	11 7.1%	46 29.9%	24 15.6%	44 28.6%	50 32.5%	19 12.3%	63 40.9%	23 14.9%	9 5.8%	62 40.3%	32 20.8%	55 35.7%
川俣	5 7.6%	22 33.3%	7 10.6%	12 18.2%	26 39.4%	14 21.2%	23 34.8%	11 16.7%	4 6.1%	31 47.0%	12 18.2%	22 33.3%
井泉	5 3.7%	45 33.1%	20 14.7%	25 18.4%	42 30.9%	24 17.6%	67 49.3%	27 19.9%	11 8.1%	66 48.5%	31 22.8%	41 30.1%
手子林	6 3.8%	53 33.5%	14 8.9%	48 30.4%	37 23.4%	27 17.1%	77 48.7%	22 13.9%	7 4.4%	69 43.7%	38 24.1%	58 36.7%
三田ヶ谷	3 5.7%	14 26.4%	5 9.4%	7 13.2%	18 34.0%	6 11.3%	20 37.7%	10 18.9%	4 7.5%	26 49.1%	8 15.1%	13 24.5%
村君	2 5.7%	14 40.0%	4 11.4%	3 8.6%	12 34.3%	4 11.4%	12 34.3%	3 8.6%	1 2.9%	16 45.7%	9 25.7%	6 17.1%

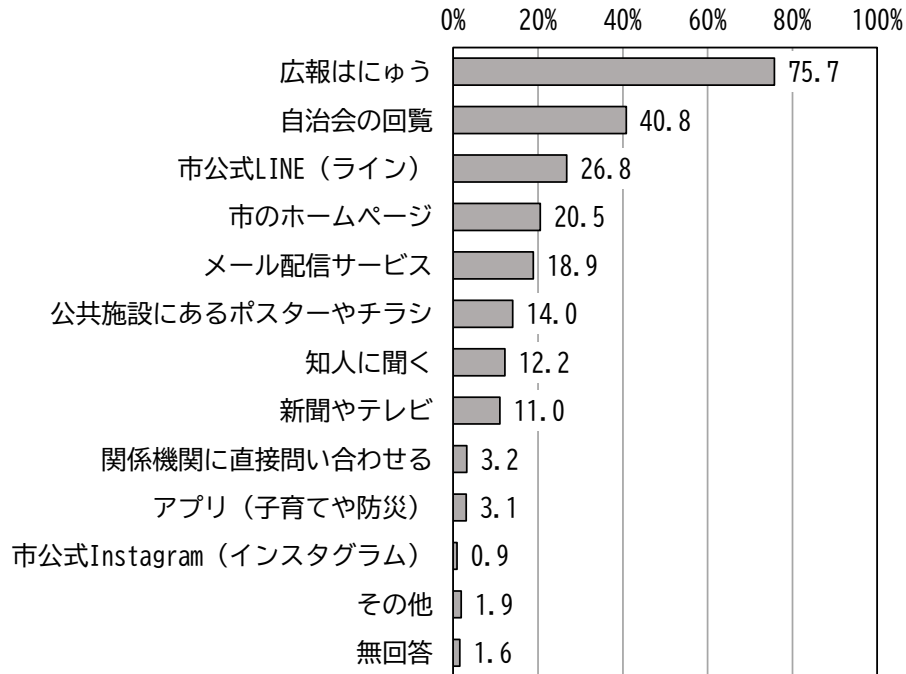
(上段：n、下段：%)

	移動手手段の確保	市民協働、コミュニティ支援	観光・シティプロモーションの推進	人権施策、男女共同参画の推進	文化、スポーツの振興	生涯学習の推進	自然環境の保全	ごみ処理の適正化	空き家・空き地対策	その他	無回答	回答者数
羽生	209 34.5%	17 2.8%	38 6.3%	10 1.7%	29 4.8%	24 4.0%	84 13.9%	116 19.1%	142 23.4%	29 4.8%	15 2.5%	606
新郷	63 44.1%	4 2.8%	9 6.3%	1 0.7%	4 2.8%	4 2.8%	20 14.0%	24 16.8%	35 24.5%	0 0.0%	6 4.2%	143
須影	49 37.1%	2 1.5%	10 7.6%	0 0.0%	7 5.3%	4 3.0%	18 13.6%	34 25.8%	43 32.6%	4 3.0%	4 3.0%	132
岩瀬	57 37.0%	3 1.9%	7 4.5%	3 1.9%	10 6.5%	4 2.6%	15 9.7%	43 27.9%	46 29.9%	8 5.2%	5 3.2%	154
川俣	33 50.0%	1 1.5%	5 7.6%	1 1.5%	3 4.5%	3 4.5%	7 10.6%	14 21.2%	17 25.8%	2 3.0%	0 0.0%	66
井泉	61 44.9%	3 2.2%	3 2.2%	1 0.7%	2 1.5%	12 8.8%	14 10.3%	35 25.7%	45 33.1%	5 3.7%	2 1.5%	136
手子林	62 39.2%	3 1.9%	6 3.8%	1 0.6%	7 4.4%	3 1.9%	25 15.8%	38 24.1%	40 25.3%	9 5.7%	4 2.5%	158
三田ヶ谷	27 50.9%	1 1.9%	4 7.5%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	6 11.3%	7 13.2%	21 39.6%	0 0.0%	4 7.5%	53
村君	20 57.1%	3 8.6%	1 2.9%	0 0.0%	1 2.9%	2 5.7%	5 14.3%	2 5.7%	17 48.6%	3 8.6%	2 5.7%	35

2. 市からの情報について

問4 市からの情報をどのように得ていますか。【いくつでも〇】

市からの情報の入手先については、「広報はにゅう」が75.7%と最も多く、次いで、「自治会の回覧」が40.8%、「市公式LINE（ライン）」が26.8%となっています。



項目	n	%
広報はにゅう	1,155	75.7%
自治会の回覧	622	40.8%
市公式LINE（ライン）	408	26.8%
市のホームページ	313	20.5%
メール配信サービス	288	18.9%
公共施設にあるポスターやチラシ	214	14.0%
知人に聞く	186	12.2%
新聞やテレビ	168	11.0%
関係機関に直接問い合わせる	49	3.2%
アプリ（子育てや防災）	47	3.1%
市公式Instagram（インスタグラム）	14	0.9%
その他	29	1.9%
無回答	24	1.6%
回答者数	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、全年齢で「広報はにゅう」の割合が最も多くなっており、年齢が上がるにつれ割合が多くなる傾向となっています。

(上段：n、下段：%)

	広報はにゅう	市のホームページ	メール配信サービス	市公式LINE(ライン)	市公式Instagram(インスタグラム)	アプリ(子育てや防災)	新聞やテレビ	公共施設にあるポスターやチラシ	関係機関に直接問い合わせる	自治会の回覧	知人に聞く	その他	無回答	回答者数
18～29歳	57 35.4%	20 12.4%	13 8.1%	38 23.6%	3 1.9%	4 2.5%	17 10.6%	29 18.0%	1 0.6%	26 16.1%	36 22.4%	5 3.1%	4 2.5%	161
30～39歳	94 52.5%	45 25.1%	24 13.4%	57 31.8%	2 1.1%	13 7.3%	17 9.5%	23 12.8%	3 1.7%	29 16.2%	30 16.8%	7 3.9%	1 0.6%	179
40～49歳	132 69.1%	48 25.1%	42 22.0%	75 39.3%	1 0.5%	6 3.1%	5 2.6%	19 9.9%	6 3.1%	44 23.0%	21 11.0%	4 2.1%	3 1.6%	191
50～59歳	160 78.8%	62 30.5%	49 24.1%	80 39.4%	3 1.5%	5 2.5%	7 3.4%	17 8.4%	4 2.0%	62 30.5%	19 9.4%	5 2.5%	0 0.0%	203
60歳以上	701 90.5%	137 17.7%	158 20.4%	157 20.3%	5 0.6%	19 2.5%	122 15.7%	125 16.1%	35 4.5%	451 58.2%	80 10.3%	8 1.0%	14 1.8%	775

【居住地区別集計】

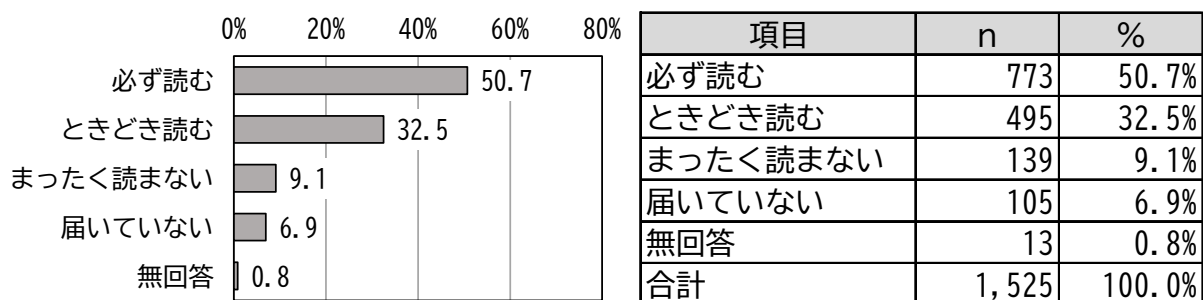
居住地区別の割合で見ると、すべての地区で「広報はにゅう」が最も多く、次いで「自治会の回覧」の割合が多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	広報はにゅう	市のホームページ	メール配信サービス	市公式LINE(ライン)	市公式Instagram(インスタグラム)	アプリ(子育てや防災)	新聞やテレビ	公共施設にあるポスターやチラシ	関係機関に直接問い合わせる	自治会の回覧	知人に聞く	その他	無回答	回答者数
羽生	415 68.5%	123 20.3%	99 16.3%	156 25.7%	9 1.5%	23 3.8%	72 11.9%	92 15.2%	15 2.5%	192 31.7%	75 12.4%	14 2.3%	8 1.3%	606
新郷	110 76.9%	31 21.7%	29 20.3%	39 27.3%	0 0.0%	1 0.7%	14 9.8%	22 15.4%	5 3.5%	64 44.8%	12 8.4%	3 2.1%	2 1.4%	143
須影	110 83.3%	31 23.5%	28 21.2%	38 28.8%	0 0.0%	6 4.5%	9 6.8%	17 12.9%	9 6.8%	69 52.3%	15 11.4%	1 0.8%	2 1.5%	132
岩瀬	119 77.3%	34 22.1%	30 19.5%	44 28.6%	0 0.0%	4 2.6%	15 9.7%	16 10.4%	5 3.2%	72 46.8%	24 15.6%	2 1.3%	1 0.6%	154
川俣	56 84.8%	8 12.1%	13 19.7%	20 30.3%	1 1.5%	1 1.5%	8 12.1%	8 12.1%	5 7.6%	29 43.9%	10 15.2%	0 0.0%	1 1.5%	66
井泉	122 89.7%	31 22.8%	32 23.5%	32 23.5%	1 0.7%	3 2.2%	14 10.3%	19 14.0%	3 2.2%	71 52.2%	14 10.3%	0 0.0%	2 1.5%	136
手子林	119 75.3%	31 19.6%	33 20.9%	47 29.7%	2 1.3%	4 2.5%	16 10.1%	19 12.0%	6 3.8%	60 38.0%	21 13.3%	6 3.8%	3 1.9%	158
三田ヶ谷	46 86.8%	9 17.0%	10 18.9%	15 28.3%	0 0.0%	0 0.0%	9 17.0%	10 18.9%	0 0.0%	24 45.3%	6 11.3%	0 0.0%	1 1.9%	53
村君	28 80.0%	9 25.7%	8 22.9%	10 28.6%	0 0.0%	3 8.6%	6 17.1%	8 22.9%	0 0.0%	21 60.0%	6 17.1%	0 0.0%	1 2.9%	35

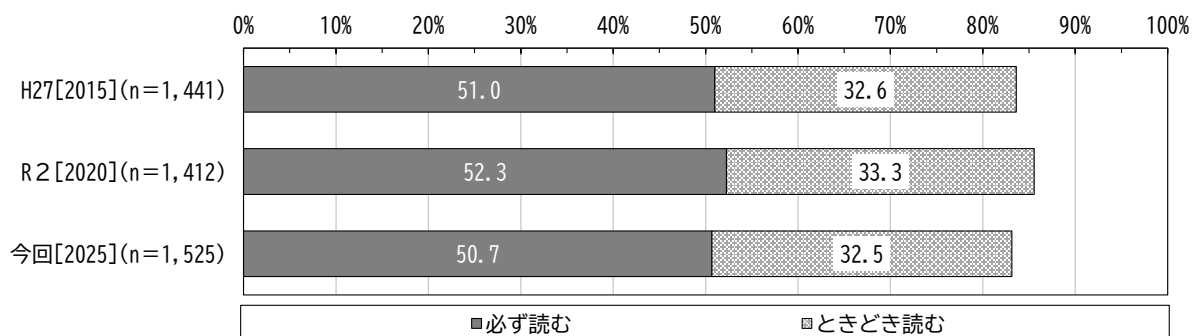
問5 市の広報紙「広報はにゅう」を読んでいますか。【1つに〇】

「広報はにゅう」の閲読については、「必ず読む(50.7%)」、「ときどき読む(32.5%)」を合わせた『読む(計)』が83.2%に対し、「まったく読まない」が9.1%となっています。
また、「届いていない」が6.9%となっています。



【過去調査と比較】

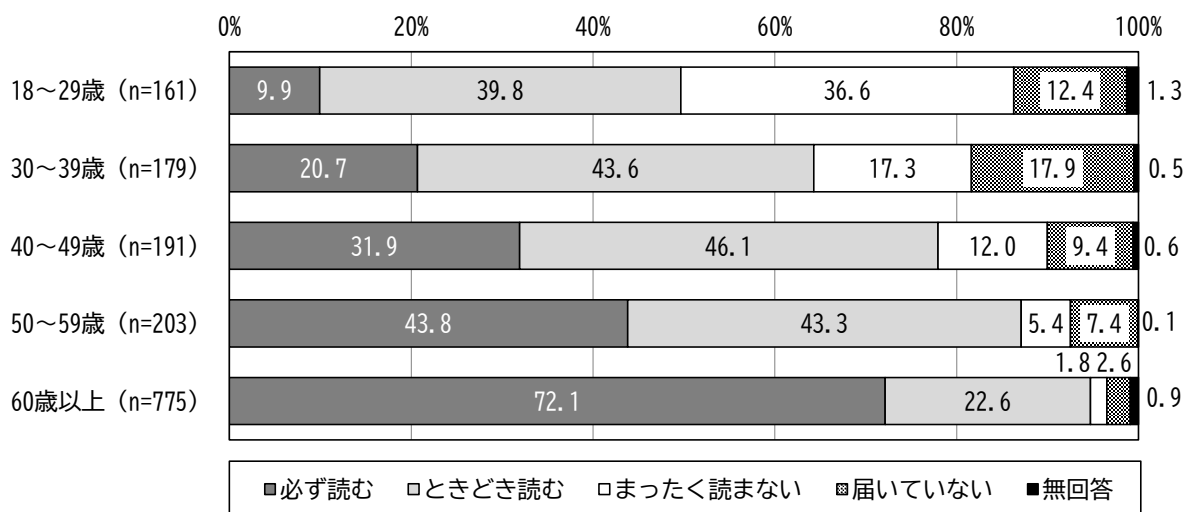
過去調査と比較すると、同じように「必ず読む」、「ときどき読む」を合わせて8割を超えています。



【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『18～49歳』では「ときどき読む」、『50歳以上』では「必ず読む」の割合が最も多くなっています。

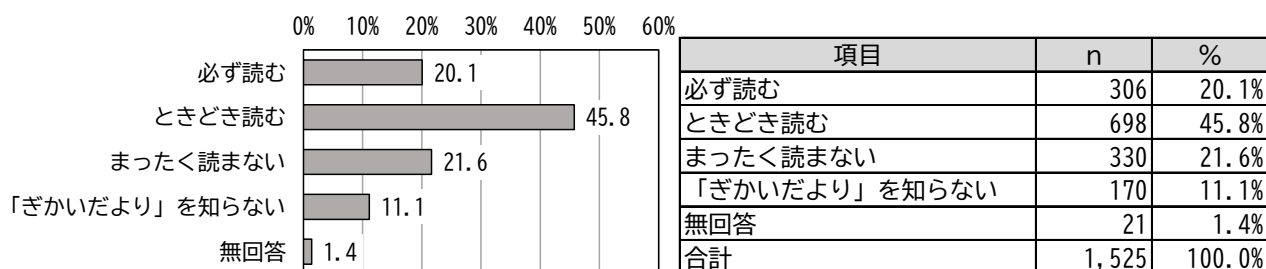
「まったく読まない」の割合では、『18～29歳(36.6%)』が最も多く、次いで『30～39歳(17.3%)』、『40～49歳(12.0%)』となっています。



問6 市議会の広報紙「ぎかいだより」を読んでいますか。【1つに〇】

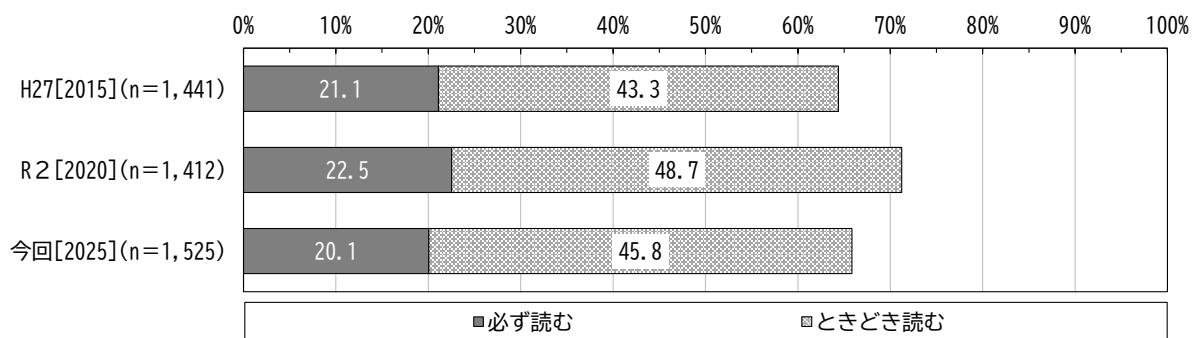
「ぎかいだより」の閲読については、「必ず読む(20.1%)」、「ときどき読む(45.8%)」を合わせた『読む(計)』が65.9%に対し、「まったく読まない」が21.6%となっています。

また、『「ぎかいだより」を知らない』が11.1%となっています。



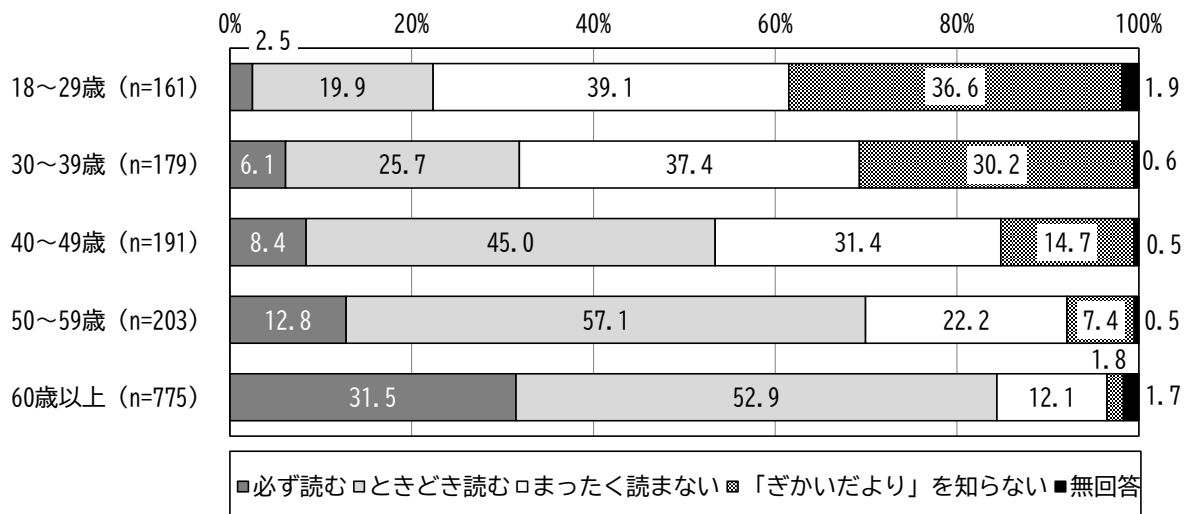
【過去調査と比較】

過去と比較すると、前回より「必ず読む」、「ときどき読む」を合わせた『読む(計)』が5.3ポイント減少となっています。



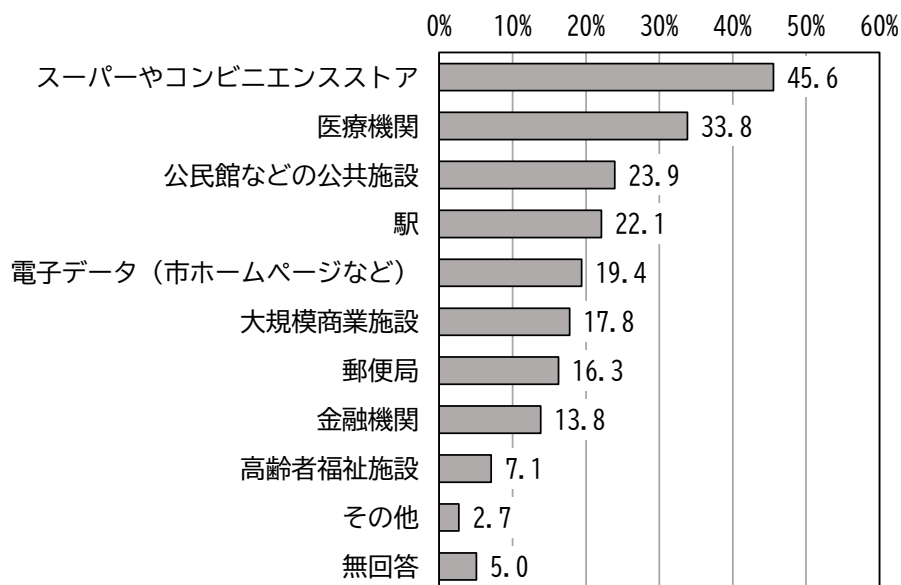
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『読む(計)』は『60歳以上』では8割を超えていますが、『18～29歳』では約2割となっています。また、『18～39歳』では「まったく読まない」、『40歳以上』では「ときどき読む」の割合が最も多くなっています。



問7 現在「広報はにゅう」「ぎかいだより」は自治会を通して各世帯へ配布しているほか、公共施設、駅、郵便局などに配架しています。自宅以外にどのような場所なら手に取りやすいと思いますか。【いくつでも○】

広報紙を自宅以外で手に取りやすいと思う場所については、「スーパーやコンビニエンスストア」が45.6%と最も多く、次いで、「医療機関」が33.8%、「公民館などの公共施設」が23.9%となっています。



項目	n	%
スーパーやコンビニエンスストア	695	45.6%
医療機関	516	33.8%
公民館などの公共施設	365	23.9%
駅	337	22.1%
電子データ（市ホームページなど）	296	19.4%
大規模商業施設	271	17.8%
郵便局	248	16.3%
金融機関	211	13.8%
高齢者福祉施設	108	7.1%
その他	41	2.7%
無回答	77	5.0%
回答者数	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「スーパーやコンビニエンスストア」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	公民館などの公共施設	駅	郵便局	金融機関	高齢者福祉施設	医療機関	スーパーやコンビニエンスストア	大規模商業施設	電子データ（市ホームページなど）	その他	無回答	回答者数
18～29歳	23 14.3%	64 39.8%	18 11.2%	7 4.3%	4 2.5%	37 23.0%	67 41.6%	24 14.9%	46 28.6%	2 1.2%	2 1.2%	161
30～39歳	24 13.4%	63 35.2%	27 15.1%	26 14.5%	4 2.2%	53 29.6%	106 59.2%	50 27.9%	53 29.6%	4 2.2%	1 0.6%	179
40～49歳	34 17.8%	43 22.5%	27 14.1%	24 12.6%	5 2.6%	48 25.1%	98 51.3%	36 18.8%	56 29.3%	10 5.2%	3 1.6%	191
50～59歳	29 14.3%	49 24.1%	29 14.3%	32 15.8%	10 4.9%	77 37.9%	115 56.7%	40 19.7%	56 27.6%	8 3.9%	4 2.0%	203
60歳以上	251 32.4%	115 14.8%	145 18.7%	120 15.5%	84 10.8%	297 38.3%	302 39.0%	119 15.4%	84 10.8%	17 2.2%	65 8.4%	775

【居住地区別集計】

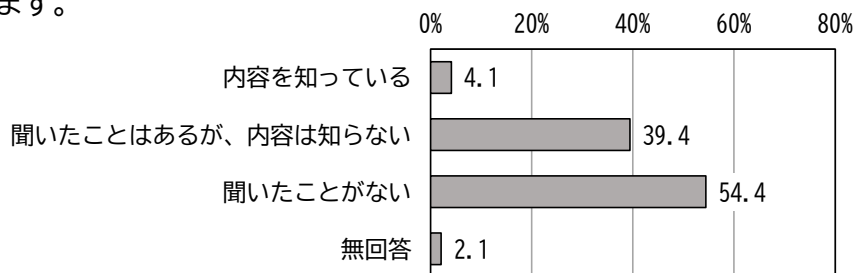
居住地区別の割合を見ると、すべての地区で「スーパーやコンビニエンスストア」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	公民館などの公共施設	駅	郵便局	金融機関	高齢者福祉施設	医療機関	スーパーやコンビニエンスストア	大規模商業施設	電子データ（市ホームページなど）	その他	無回答	回答者数
羽生	133 21.9%	178 29.4%	103 17.0%	82 13.5%	43 7.1%	175 28.9%	288 47.5%	104 17.2%	118 19.5%	16 2.6%	26 4.3%	606
新郷	31 21.7%	21 14.7%	22 15.4%	18 12.6%	9 6.3%	48 33.6%	65 45.5%	26 18.2%	28 19.6%	4 2.8%	12 8.4%	143
須影	36 27.3%	26 19.7%	14 10.6%	21 15.9%	5 3.8%	56 42.4%	59 44.7%	31 23.5%	23 17.4%	2 1.5%	7 5.3%	132
岩瀬	30 19.5%	33 21.4%	28 18.2%	32 20.8%	11 7.1%	62 40.3%	65 42.2%	35 22.7%	30 19.5%	6 3.9%	5 3.2%	154
川俣	16 24.2%	12 18.2%	3 4.5%	8 12.1%	4 6.1%	21 31.8%	27 40.9%	11 16.7%	12 18.2%	2 3.0%	6 9.1%	66
井泉	40 29.4%	18 13.2%	25 18.4%	23 16.9%	18 13.2%	52 38.2%	59 43.4%	18 13.2%	27 19.9%	3 2.2%	3 2.2%	136
手子林	38 24.1%	32 20.3%	32 20.3%	19 12.0%	13 8.2%	64 40.5%	71 44.9%	29 18.4%	37 23.4%	3 1.9%	8 5.1%	158
三田ヶ谷	15 28.3%	5 9.4%	9 17.0%	3 5.7%	1 1.9%	13 24.5%	26 49.1%	7 13.2%	10 18.9%	0 0.0%	4 7.5%	53
村君	15 42.9%	2 5.7%	5 14.3%	1 2.9%	2 5.7%	10 28.6%	18 51.4%	6 17.1%	6 17.1%	3 8.6%	1 2.9%	35

問8 羽生市まちづくり自治基本条例についてご存じですか。【1つに○】

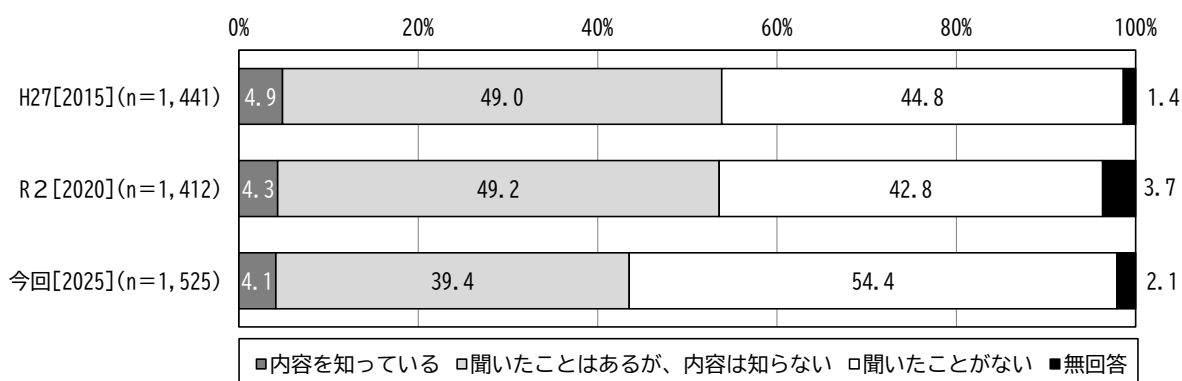
羽生市まちづくり自治基本条例の認知度については、「聞いたことがない」が54.4%と最も多く、次いで、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が39.4%、「内容を知っている」が4.1%となっています。



項目	n	%
内容を知っている	63	4.1%
聞いたことはあるが、内容は知らない	601	39.4%
聞いたことがない	830	54.4%
無回答	31	2.1%
合計	1,525	100.0%

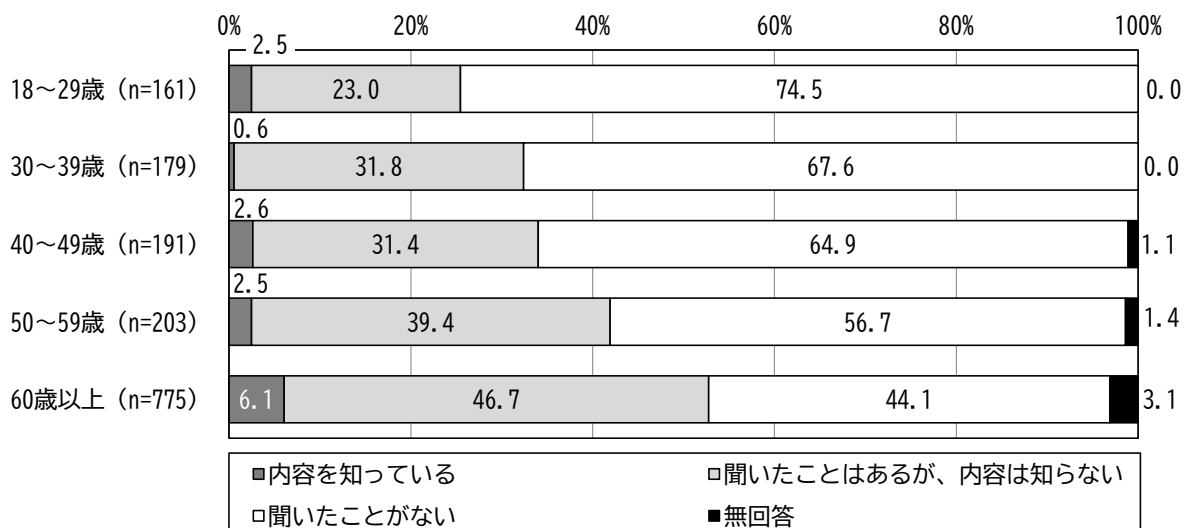
【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、前回より、「聞いたことがない」が11.6ポイント増加し、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が9.8ポイント減少となっています。



【年齢別集計】

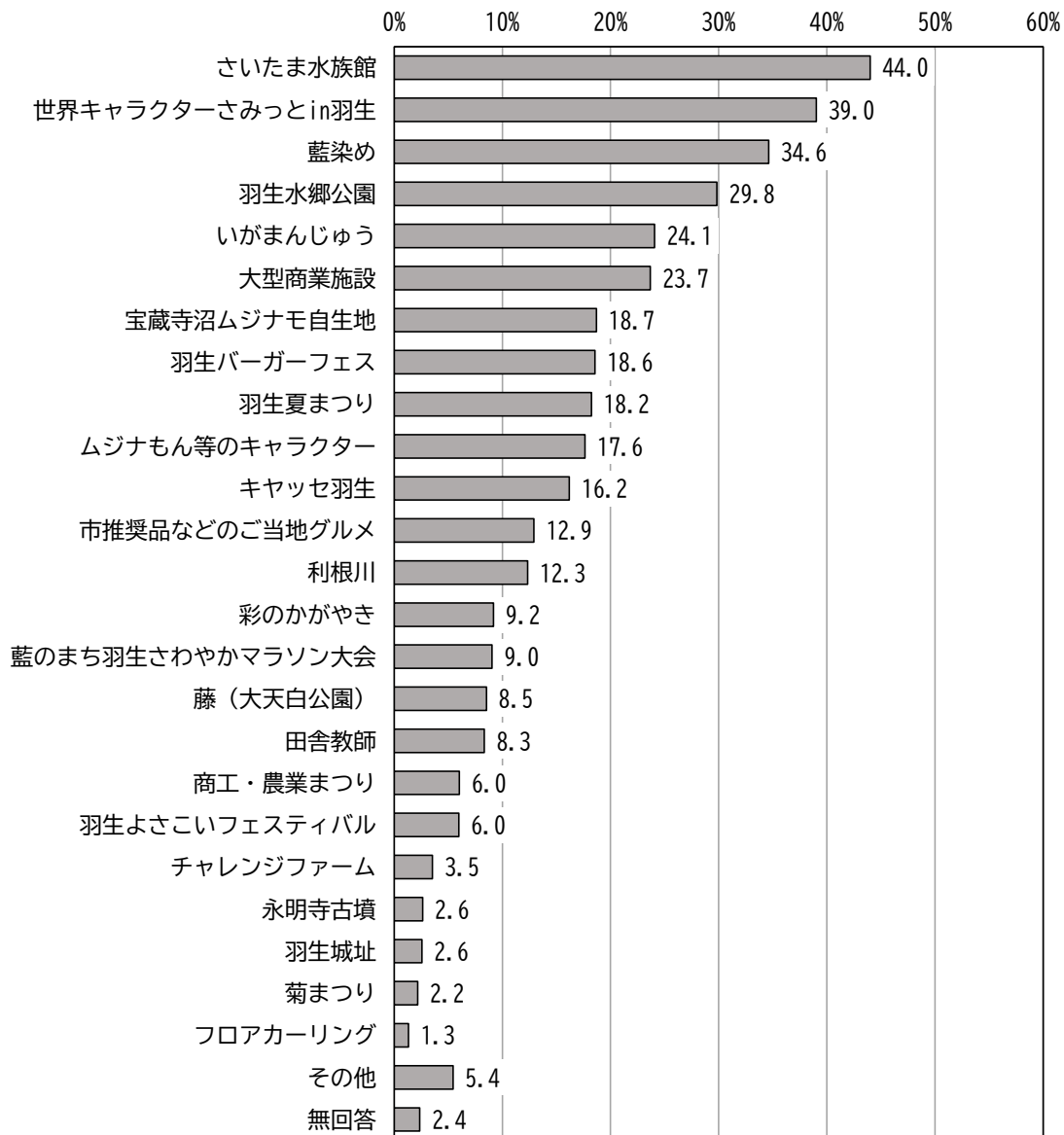
年齢別の割合を見ると、『18～59歳』では「聞いたことがない」、『60歳以上』では「聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が最も多くなっています。



3. 市の取り組みについて

問9 羽生市は、観光交流人口 100 万人を目指しています。次の地場産品、施設、イベントの中で、羽生市を全国にPRするために、有効だと思われるのはどれですか。【5つまで○】

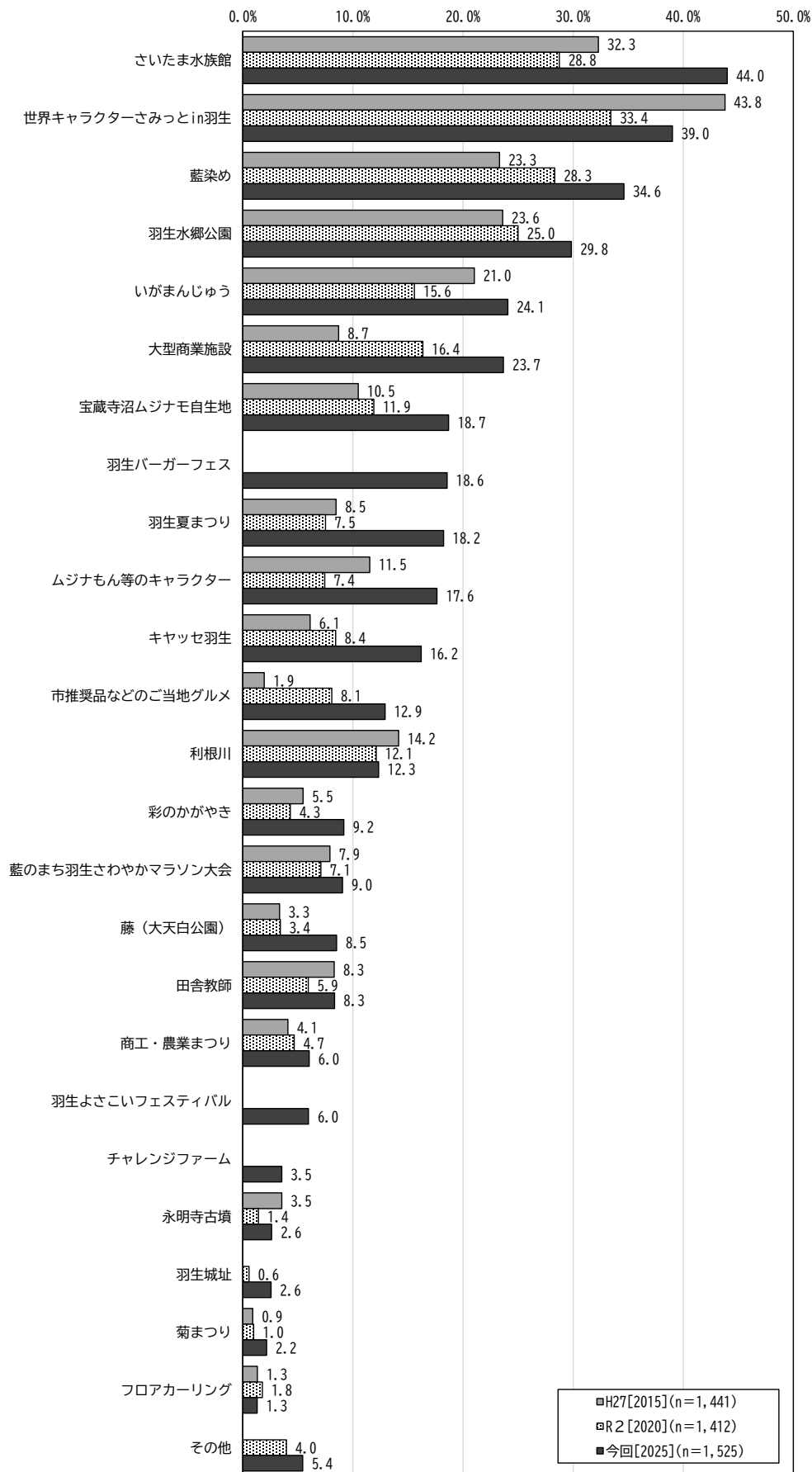
羽生市を全国にPRするため有効だと思われるものについては、「さいたま水族館」が 44.0%と最も多く、次いで、「世界キャラクターさみっと in 羽生」が 39.0%、「藍染め」が 34.6%となっています。



項目	n	%
さいたま水族館	671	44.0%
世界キャラクターさみっとin羽生	595	39.0%
藍染め	528	34.6%
羽生水郷公園	455	29.8%
いがまんじゅう	367	24.1%
大型商業施設	361	23.7%
宝蔵寺沼ムジナモ自生地	285	18.7%
羽生バーガーフェス	283	18.6%
羽生夏まつり	278	18.2%
ムジナもん等のキャラクター	269	17.6%
キヤッセ羽生	247	16.2%
市推奨品などのご当地グルメ	197	12.9%
利根川	188	12.3%
彩のかがやき	140	9.2%
藍のまち羽生さわやかマラソン大会	138	9.0%
藤（大天白公園）	130	8.5%
田舎教師	127	8.3%
商工・農業まつり	92	6.0%
羽生よさこいフェスティバル	91	6.0%
チャレンジファーム	54	3.5%
永明寺古墳	40	2.6%
羽生城址	39	2.6%
菊まつり	33	2.2%
フロアカーリング	20	1.3%
その他	83	5.4%
無回答	36	2.4%
回答者数	1,525	

【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、「さいたま水族館」、「世界キャラクターさみっと in 羽生」、「藍染め」、「羽生水郷公園」、「いがまんじゅう」を選択する方が多い傾向になっています。



【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『18～49歳』では「世界キャラクターさみっと in 羽生」、『50歳以上』では「さいたま水族館」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	いがまんじゅう	彩のかがやき	市推賞品などのご当地グルメ	羽生バーガーフェス	ラムジナもん等のキャラクター	世界キャラクターさみっと in 羽生	藍染め	藤(大天白公園)	商工・農業まつり	羽生夏まつり	羽生よさこいフェス	菊まつり	フロアカーリング	藍のまち羽生さわやかマラソン大会
18～29歳	52 32.3%	10 6.2%	19 11.8%	50 31.1%	27 16.8%	74 46.0%	58 36.0%	18 11.2%	5 3.1%	35 21.7%	5 3.1%	2 1.2%	1 0.6%	9 5.6%
30～39歳	34 19.0%	14 7.8%	32 17.9%	67 37.4%	31 17.3%	89 49.7%	66 36.9%	14 7.8%	6 3.4%	28 15.6%	9 5.0%	6 3.4%	0 0.0%	7 3.9%
40～49歳	49 25.7%	15 7.9%	30 15.7%	56 29.3%	43 22.5%	90 47.1%	58 30.4%	7 3.7%	2 1.0%	34 17.8%	7 3.7%	2 1.0%	1 0.5%	10 5.2%
50～59歳	48 23.6%	24 11.8%	32 15.8%	49 24.1%	41 20.2%	84 41.4%	56 27.6%	11 5.4%	8 3.9%	31 15.3%	8 3.9%	5 2.5%	5 2.5%	17 8.4%
60歳以上	181 23.4%	77 9.9%	83 10.7%	60 7.7%	123 15.9%	255 32.9%	287 37.0%	78 10.1%	70 9.0%	149 19.2%	61 7.9%	18 2.3%	13 1.7%	95 12.3%

(上段：n、下段：%)

	利根川	羽生水郷公園	さいたま水族館	宝蔵寺沼ムジナモ自生地	キャツセ羽生	チャレンジファーム	大型商業施設	田舎教師	永明寺古墳	羽生城址	その他	無回答	回答者数
18～29歳	16 9.9%	26 16.1%	58 36.0%	16 9.9%	16 9.9%	3 1.9%	30 18.6%	5 3.1%	4 2.5%	6 3.7%	7 4.3%	2 1.2%	161
30～39歳	16 8.9%	39 21.8%	64 35.8%	25 14.0%	19 10.6%	6 3.4%	54 30.2%	6 3.4%	2 1.1%	3 1.7%	10 5.6%	1 0.6%	179
40～49歳	16 8.4%	44 23.0%	85 44.5%	24 12.6%	27 14.1%	6 3.1%	58 30.4%	4 2.1%	2 1.0%	2 1.0%	10 5.2%	2 1.0%	191
50～59歳	18 8.9%	62 30.5%	89 43.8%	26 12.8%	39 19.2%	8 3.9%	50 24.6%	13 6.4%	3 1.5%	5 2.5%	19 9.4%	5 2.5%	203
60歳以上	120 15.5%	278 35.9%	369 47.6%	193 24.9%	143 18.5%	31 4.0%	167 21.5%	99 12.8%	29 3.7%	23 3.0%	36 4.6%	23 3.0%	775

【居住地区別集計】

居住地区別の割合を見ると、『羽生』、『新郷』、『岩瀬』、『川俣』、『井泉』、『手子林』、『村君』では「さいたま水族館」、『須影』では「世界キャラクターさみっと in 羽生」、『三田ヶ谷』では「羽生水郷公園」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	いがまんじゅう	彩のかがやき	市推奨品などのご当地グルメ	羽生バーガーフェス	ラムジナモン等のキャラクター	世界キャラクターさみっと in 羽生	藍染め	藤（大天白公園）	商工・農業まつり	羽生夏まつり	羽生よさこいフェスティバル	菊まつり	フロアカーリング	藍のまち羽生さわやかマラソン大会
羽生	147 24.3%	49 8.1%	75 12.4%	130 21.5%	114 18.8%	236 38.9%	200 33.0%	73 12.0%	36 5.9%	146 24.1%	35 5.8%	17 2.8%	9 1.5%	45 7.4%
新郷	33 23.1%	15 10.5%	26 18.2%	24 16.8%	23 16.1%	49 34.3%	55 38.5%	10 7.0%	9 6.3%	20 14.0%	4 2.8%	5 3.5%	2 1.4%	12 8.4%
須影	33 25.0%	13 9.8%	24 18.2%	28 21.2%	24 18.2%	64 48.5%	50 37.9%	8 6.1%	4 3.0%	19 14.4%	10 7.6%	3 2.3%	2 1.5%	11 8.3%
岩瀬	45 29.2%	17 11.0%	17 11.0%	26 16.9%	24 15.6%	60 39.0%	51 33.1%	9 5.8%	16 10.4%	24 15.6%	11 7.1%	2 1.3%	1 0.6%	13 8.4%
川俣	11 16.7%	2 3.0%	6 9.1%	10 15.2%	12 18.2%	25 37.9%	24 36.4%	7 10.6%	3 4.5%	11 16.7%	3 4.5%	0 0.0%	1 1.5%	8 12.1%
井泉	38 27.9%	16 11.8%	12 8.8%	20 14.7%	26 19.1%	48 35.3%	44 32.4%	10 7.4%	10 7.4%	27 19.9%	8 5.9%	3 2.2%	2 1.5%	20 14.7%
手子林	32 20.3%	20 12.7%	21 13.3%	29 18.4%	22 13.9%	64 40.5%	70 44.3%	9 5.7%	6 3.8%	19 12.0%	12 7.6%	1 0.6%	1 0.6%	14 8.9%
三田ヶ谷	11 20.8%	5 9.4%	7 13.2%	6 11.3%	10 18.9%	24 45.3%	14 26.4%	2 3.8%	1 1.9%	5 9.4%	3 5.7%	0 0.0%	1 1.9%	7 13.2%
村君	9 25.7%	1 2.9%	4 11.4%	3 8.6%	5 14.3%	13 37.1%	12 34.3%	0 0.0%	2 5.7%	1 2.9%	2 5.7%	1 2.9%	0 0.0%	4 11.4%

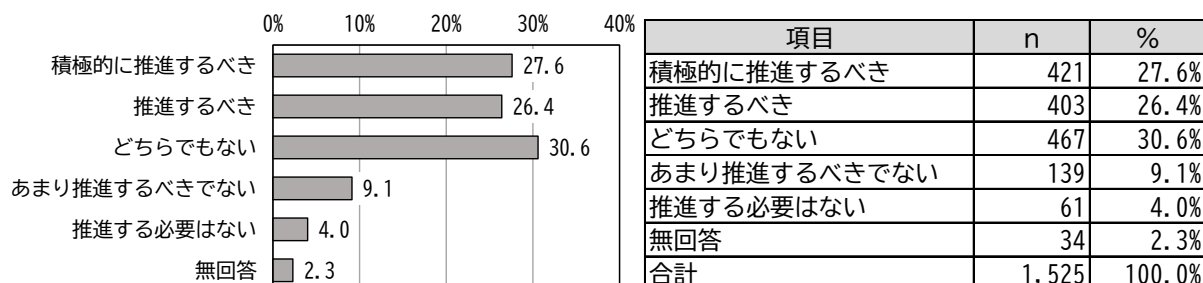
(上段：n、下段：%)

	利根川	羽生水郷公園	さいたま水族館	宝蔵寺沼ムジナモ自生地	キャッセ羽生	チャレンジファーム	大型商業施設	田舎教師	永明寺古墳	羽生城址	その他	無回答	回答者数
羽生	66 10.9%	170 28.1%	252 41.6%	81 13.4%	86 14.2%	22 3.6%	129 21.3%	35 5.8%	13 2.1%	15 2.5%	35 5.8%	16 2.6%	606
新郷	27 18.9%	40 28.0%	62 43.4%	26 18.2%	26 18.2%	3 2.1%	36 25.2%	15 10.5%	3 2.1%	2 1.4%	7 4.9%	4 2.8%	143
須影	17 12.9%	38 28.8%	55 41.7%	27 20.5%	20 15.2%	5 3.8%	39 29.5%	15 11.4%	1 0.8%	1 0.8%	10 7.6%	1 0.8%	132
岩瀬	23 14.9%	42 27.3%	68 44.2%	23 14.9%	29 18.8%	4 2.6%	47 30.5%	18 11.7%	6 3.9%	8 5.2%	7 4.5%	1 0.6%	154
川俣	9 13.6%	13 19.7%	32 48.5%	23 34.8%	9 13.6%	1 1.5%	11 16.7%	5 7.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.5%	4 6.1%	66
井泉	16 11.8%	47 34.6%	62 45.6%	38 27.9%	24 17.6%	5 3.7%	36 26.5%	17 12.5%	4 2.9%	6 4.4%	6 4.4%	1 0.7%	136
手子林	17 10.8%	52 32.9%	71 44.9%	38 24.1%	28 17.7%	11 7.0%	37 23.4%	16 10.1%	2 1.3%	5 3.2%	7 4.4%	2 1.3%	158
三田ヶ谷	5 9.4%	31 58.5%	29 54.7%	14 26.4%	13 24.5%	2 3.8%	12 22.6%	2 3.8%	1 1.9%	0 0.0%	3 5.7%	0 0.0%	53
村君	5 14.3%	11 31.4%	20 57.1%	10 28.6%	2 5.7%	0 0.0%	8 22.9%	2 5.7%	8 22.9%	1 2.9%	2 5.7%	1 2.9%	35

問 10 各種申請や補助金交付の手続き等をオンライン化するなど、行政手続きにパソコンやスマートフォンの活用を推進するべきだと思いますか。【1つに○】

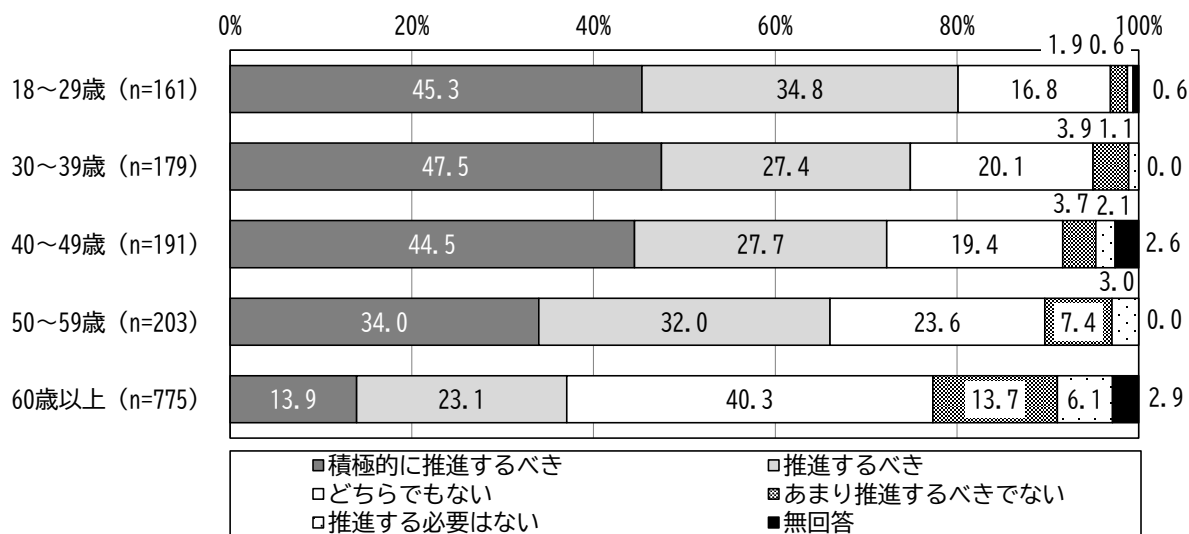
行政手続きにパソコンやスマートフォンの活用を推進するべきだと思うかについては、「積極的に推進するべき(27.6%)」、「推進するべき(26.4%)」を合わせた『推進するべき(計)』が54.0%に対し、「あまり推進するべきでない(9.1%)」、「推進する必要はない(4.0%)」を合わせた『推進する必要はない(計)』が13.1%となっています。

また、「どちらでもない」が30.6%となっています。



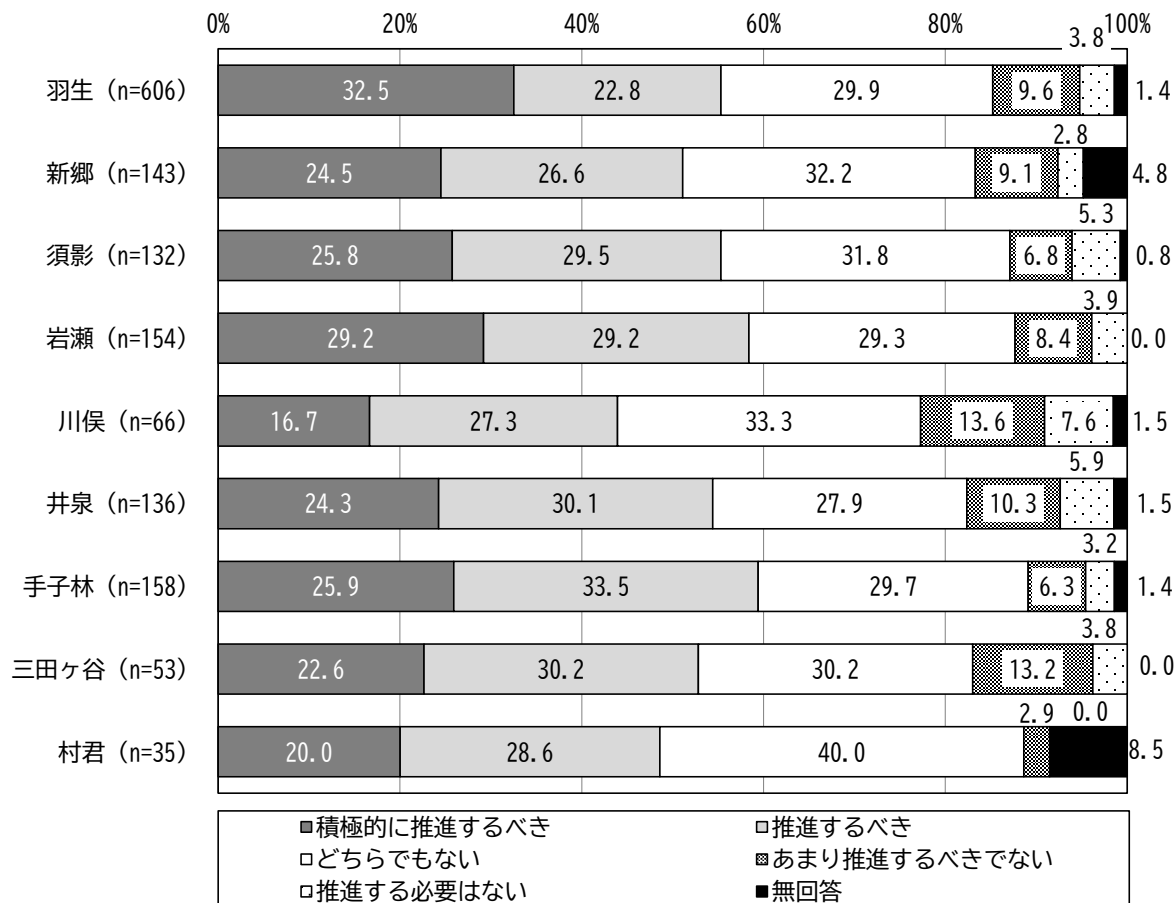
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『18～59歳』では「積極的に推進するべき」、「60歳以上」では「どちらでもない」の割合が最も多くなっています。



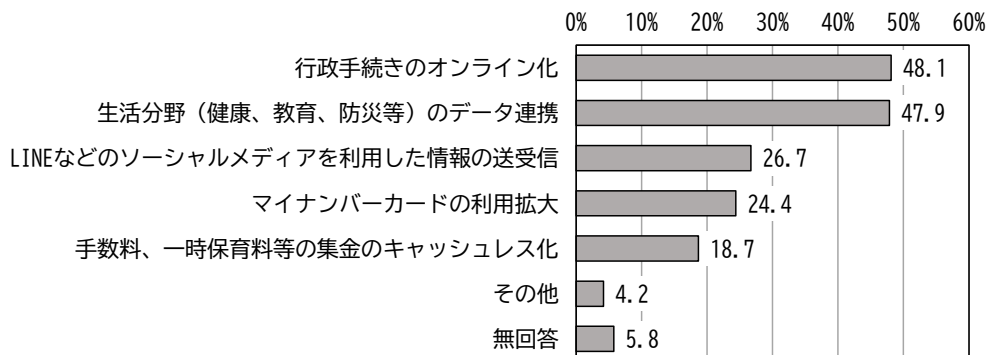
【居住地区別集計】

居住地区別の割合を見ると、『羽生』では「積極的に推進するべき」の割合が、『井泉』、『手子林』では「推進するべき」の割合が、『新郷』、『須影』、『岩瀬』、『川俣』、『村君』では「どちらでもない」の割合が最も多く、『三田ヶ谷』では「推進するべき」と「どちらでもない」が同じ割合となっています。



問11 DX（デジタル技術を活用して行政サービスの維持と向上を目指す取組）が進むことに対してどのようなことを期待しますか。【いくつでも○】

DXが進むことに対して期待することについては、「行政手続きのオンライン化」が48.1%と最も多く、次いで、「生活分野（健康、教育、防災等）のデータ連携」が47.9%、「LINEなどのソーシャルメディアを利用した情報の送受信」が26.7%となっています。



項目	n	%
行政手続きのオンライン化	734	48.1%
生活分野（健康、教育、防災等）のデータ連携	730	47.9%
LINEなどのソーシャルメディアを利用した情報の送受信	407	26.7%
マイナンバーカードの利用拡大	372	24.4%
手数料、一時保育料等の集金のキャッシュレス化	285	18.7%
その他	64	4.2%
無回答	88	5.8%
回答者数	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『18～59歳』では「行政手続きのオンライン化」、『60歳以上』では「生活分野（健康、教育、防災等）のデータ連携」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

年齢	生活分野（健康、教育、防災等）のデータ連携	行政手続きのオンライン化	手数料、一時保育料等の集金のキャッシュレス化	LINEなどのソーシャルメディアを利用した情報の送受信	マイナンバーカードの利用拡大	その他	無回答	回答者数
18～29歳	74 46.0%	87 54.0%	48 29.8%	42 26.1%	33 20.5%	1 0.6%	2 1.2%	161
30～39歳	85 47.5%	132 73.7%	70 39.1%	52 29.1%	30 16.8%	2 1.1%	2 1.1%	179
40～49歳	86 45.0%	121 63.4%	36 18.8%	60 31.4%	38 19.9%	5 2.6%	6 3.1%	191
50～59歳	81 39.9%	130 64.0%	52 25.6%	64 31.5%	52 25.6%	12 5.9%	6 3.0%	203
60歳以上	399 51.5%	262 33.8%	79 10.2%	188 24.3%	217 28.0%	44 5.7%	66 8.5%	775

【居住地区別集計】

居住地区別の割合を見ると、すべての地区で「生活分野（健康、教育、防災等）のデータ連携」、「行政手続きのオンライン化」の割合が多くなっています。

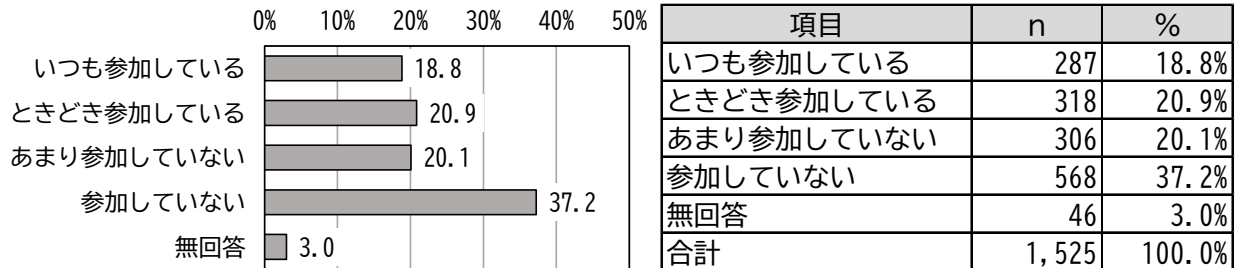
(上段：n、下段：%)

	生活分野（健康、教育、防災等）のデータ連携	行政手続きのオンライン化	手数料、一時保育料等の集金のキャッシュレス化	LINEなどのソーシャルメディアを利用した情報の送受信	マイナンバーカードの利用拡大	その他	無回答	回答者数
羽生	296 48.8%	305 50.3%	117 19.3%	168 27.7%	142 23.4%	26 4.3%	33 5.4%	606
新郷	77 53.8%	70 49.0%	26 18.2%	33 23.1%	34 23.8%	8 5.6%	7 4.9%	143
須影	65 49.2%	58 43.9%	28 21.2%	38 28.8%	36 27.3%	4 3.0%	5 3.8%	132
岩瀬	78 50.6%	78 50.6%	36 23.4%	40 26.0%	42 27.3%	8 5.2%	3 1.9%	154
川俣	25 37.9%	25 37.9%	12 18.2%	17 25.8%	13 19.7%	2 3.0%	6 9.1%	66
井泉	65 47.8%	70 51.5%	23 16.9%	33 24.3%	37 27.2%	6 4.4%	9 6.6%	136
手子林	64 40.5%	79 50.0%	28 17.7%	50 31.6%	39 24.7%	5 3.2%	9 5.7%	158
三田ヶ谷	33 62.3%	25 47.2%	8 15.1%	9 17.0%	13 24.5%	1 1.9%	2 3.8%	53
村君	14 40.0%	14 40.0%	5 14.3%	12 34.3%	10 28.6%	2 5.7%	3 8.6%	35

4. コミュニティ・福祉・ごみ・交通について

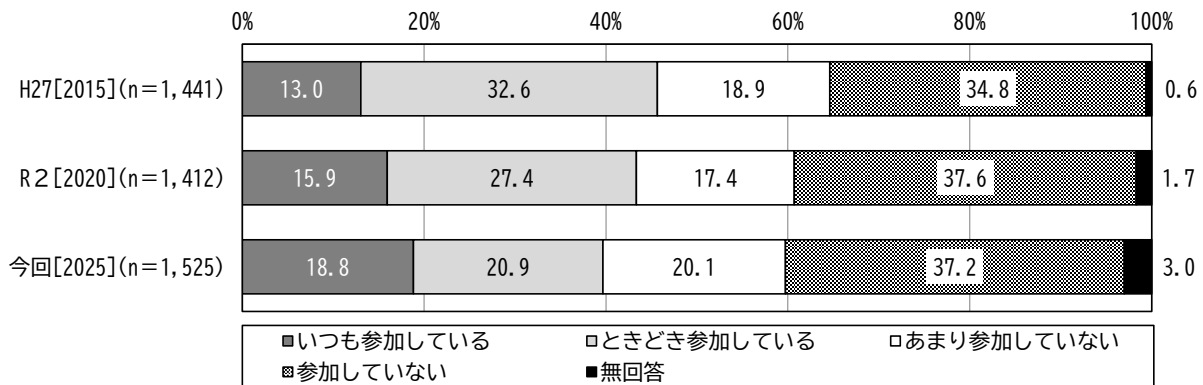
問 12 自治会などの集まりや行事に参加していますか。【1つに○】

行事への参加については、「いつも参加している(18.8%)」、「ときどき参加している(20.9%)」を合わせた『参加している(計)』が39.7%に対し、「あまり参加していない(20.1%)」、「参加していない(37.2%)」を合わせた『参加していない(計)』が57.3%となっています。



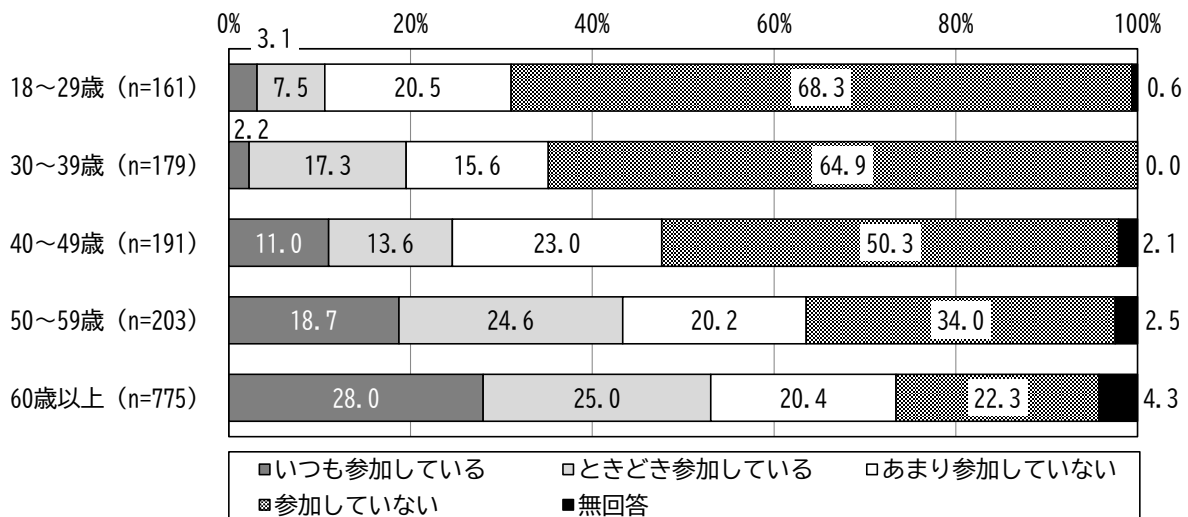
【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、前回より「いつも参加している」が2.9ポイント増加となっているのに対し、「ときどき参加している」が6.5ポイント減少となっています。



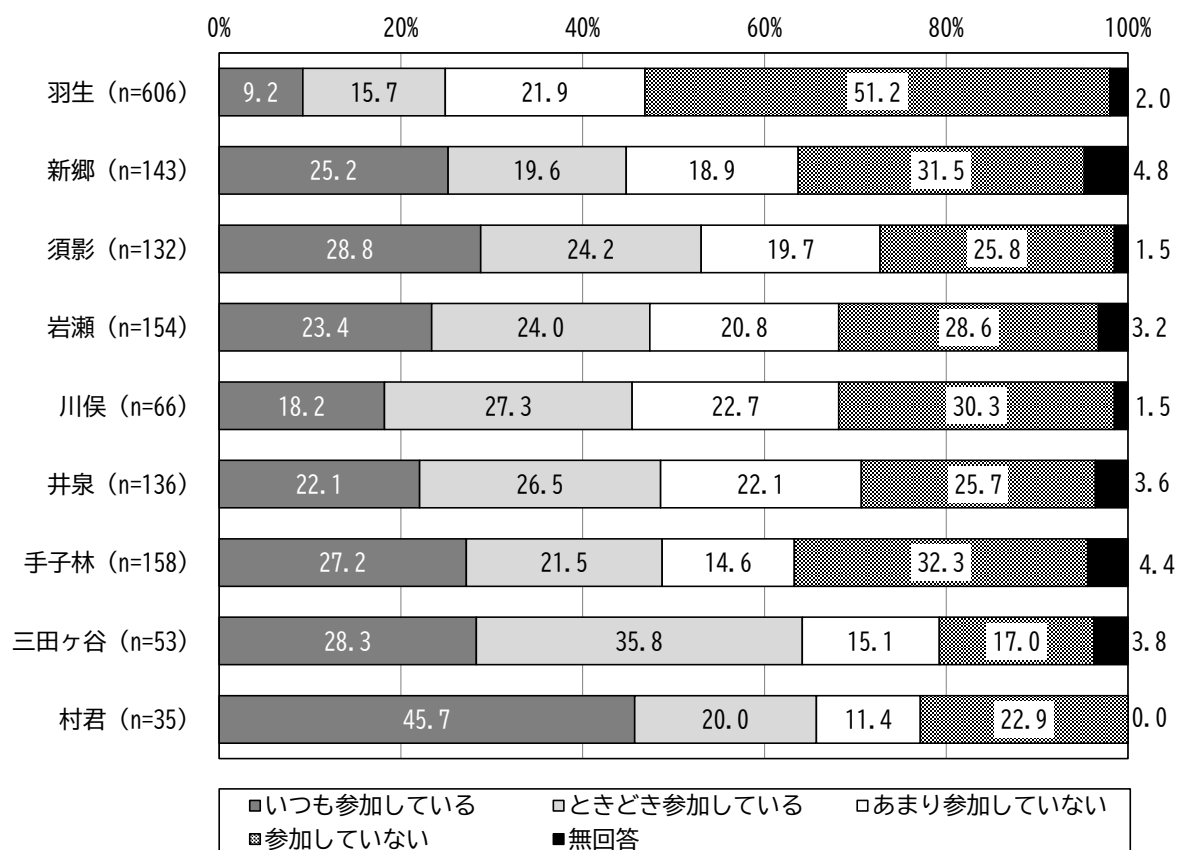
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『18～59歳』では「参加していない」、『60歳以上』では「いつも参加している」の割合が最も多くなっています。年齢が上がるにつれ「参加している(計)」の割合が多くなる傾向となっています。



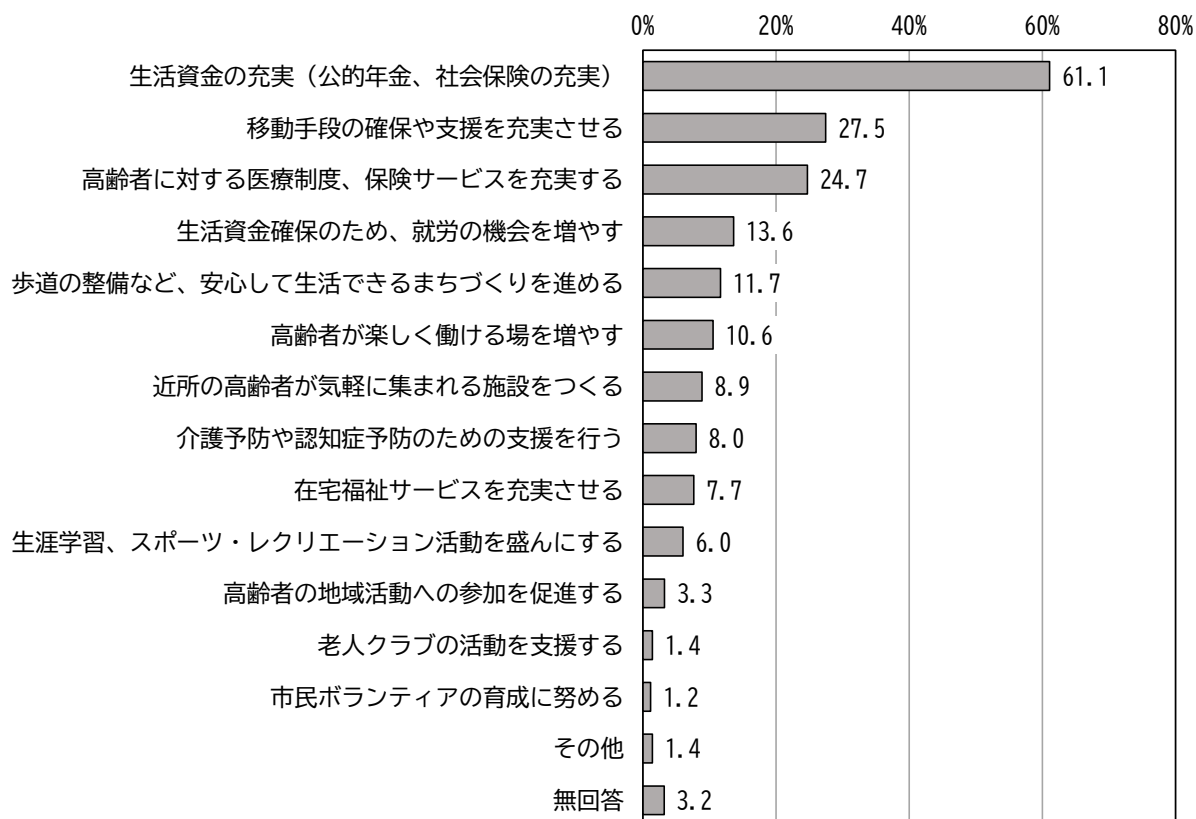
【居住地区別集計】

居住地区別の割合を見ると、『須影』、『村君』では「いつも参加している」、『井泉』、『三田ヶ谷』では「ときどき参加している」、『羽生』、『新郷』、『岩瀬』、『川俣』、『手子林』では「参加していない」の割合が最も多くなっています。



問 13 高齢化が進む中、幸せで生きがいのある老後を送るために、何が大切だと思いますか。【2つまで〇】

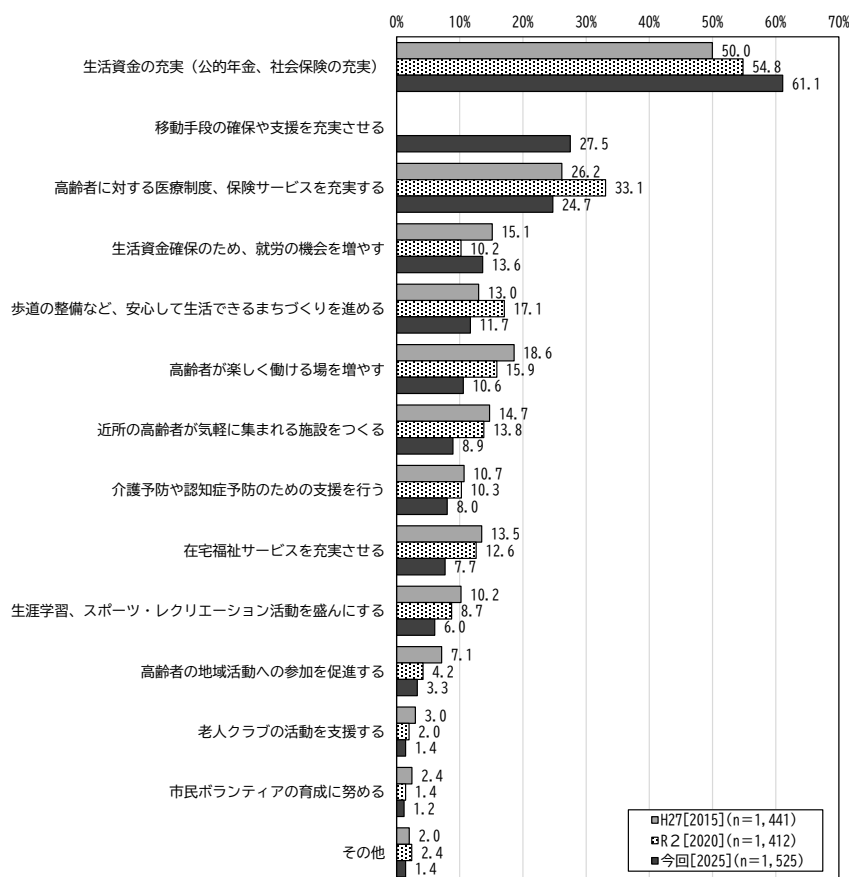
幸せで生きがいのある老後を送るために大切だと思うことについては、「生活資金の充実(公的年金、社会保険の充実)」が61.1%と最も多く、次いで、「移動手段の確保や支援を充実させる」が27.5%、「高齢者に対する医療制度、保険サービスを充実する」が24.7%となっています。



項目	n	%
生活資金の充実 (公的年金、社会保険の充実)	932	61.1%
移動手段の確保や支援を充実させる	419	27.5%
高齢者に対する医療制度、保険サービスを充実する	377	24.7%
生活資金確保のため、就労の機会を増やす	208	13.6%
歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める	178	11.7%
高齢者が楽しく働ける場を増やす	161	10.6%
近所の高齢者が気軽に集まれる施設をつくる	136	8.9%
介護予防や認知症予防のための支援を行う	122	8.0%
在宅福祉サービスを充実させる	117	7.7%
生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動を盛んにする	92	6.0%
高齢者の地域活動への参加を促進する	50	3.3%
老人クラブの活動を支援する	22	1.4%
市民ボランティアの育成に努める	18	1.2%
その他	22	1.4%
無回答	49	3.2%
回答者数	1,525	

【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、前回より「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」が6.3ポイント増加し、「高齢者に対する医療制度、保険サービスを充実する」が8.4ポイント、「歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める」が5.4ポイント、「高齢者が楽しく働ける場を増やす」が5.3ポイント減少となっています。



【年齢別集計】

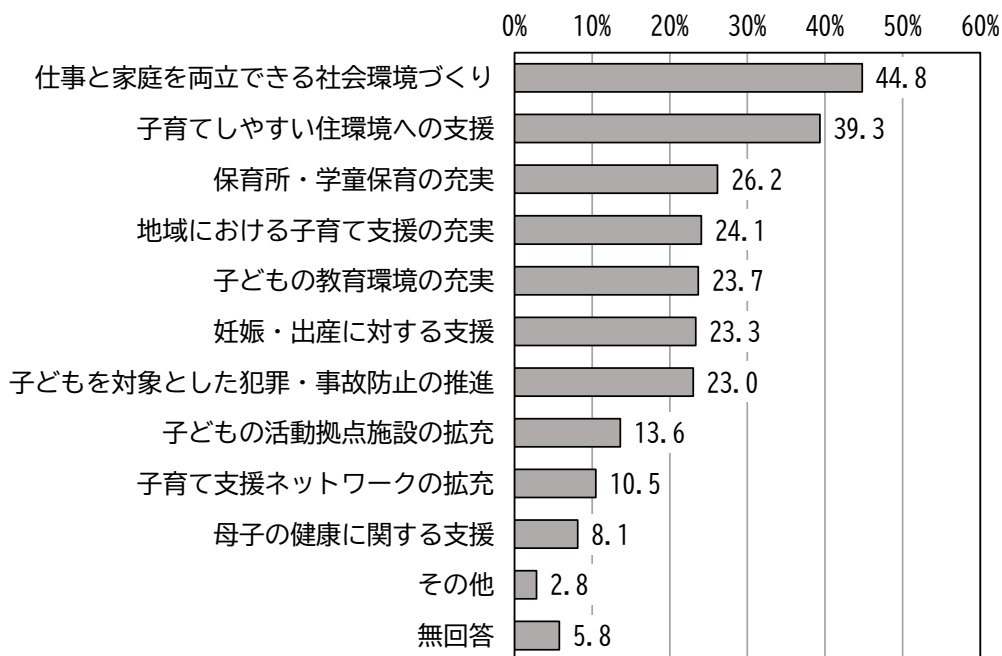
年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）	増やす生活資金確保のため、就労の機会を増やす	高齢者に対する医療制度、保険サービスを充実する	生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動を盛んにする	老人クラブの活動を支援する	高齢者が楽しく働ける場を増やす	介護予防や認知症予防のための支援を行う	近所の高齢者が気軽に集まれる施設をつくる	高齢者の地域活動への参加を促進する	歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める	在宅福祉サービスを充実させる	市民ボランティアの育成に努める	移動手段の確保や支援を充実させる	その他	無回答	回答者数
18～29歳	94 58.4%	19 11.8%	32 19.9%	16 9.9%	6 3.7%	19 11.8%	12 7.5%	16 9.9%	2 1.2%	20 12.4%	2 1.2%	2 1.2%	40 24.8%	2 1.2%	1 0.6%	161
30～39歳	116 64.8%	42 23.5%	30 16.8%	12 6.7%	2 1.1%	24 13.4%	10 5.6%	12 6.7%	2 1.1%	19 10.6%	8 4.5%	1 0.6%	46 25.7%	4 2.2%	1 0.6%	179
40～49歳	122 63.9%	39 20.4%	30 15.7%	15 7.9%	4 2.1%	27 14.1%	6 3.1%	11 5.8%	3 1.6%	20 10.5%	16 8.4%	1 0.5%	58 30.4%	5 2.6%	4 2.1%	191
50～59歳	134 66.0%	42 20.7%	46 22.7%	10 4.9%	4 2.0%	27 13.3%	13 6.4%	13 6.4%	9 4.4%	23 11.3%	14 6.9%	2 1.0%	59 29.1%	2 1.0%	4 2.0%	203
60歳以上	459 59.2%	65 8.4%	237 30.6%	39 5.0%	6 0.8%	63 8.1%	80 10.3%	83 10.7%	34 4.4%	93 12.0%	76 9.8%	12 1.5%	211 27.2%	8 1.0%	36 4.6%	775

問 14 市の子育て支援に期待することは何ですか。【3つまで〇】

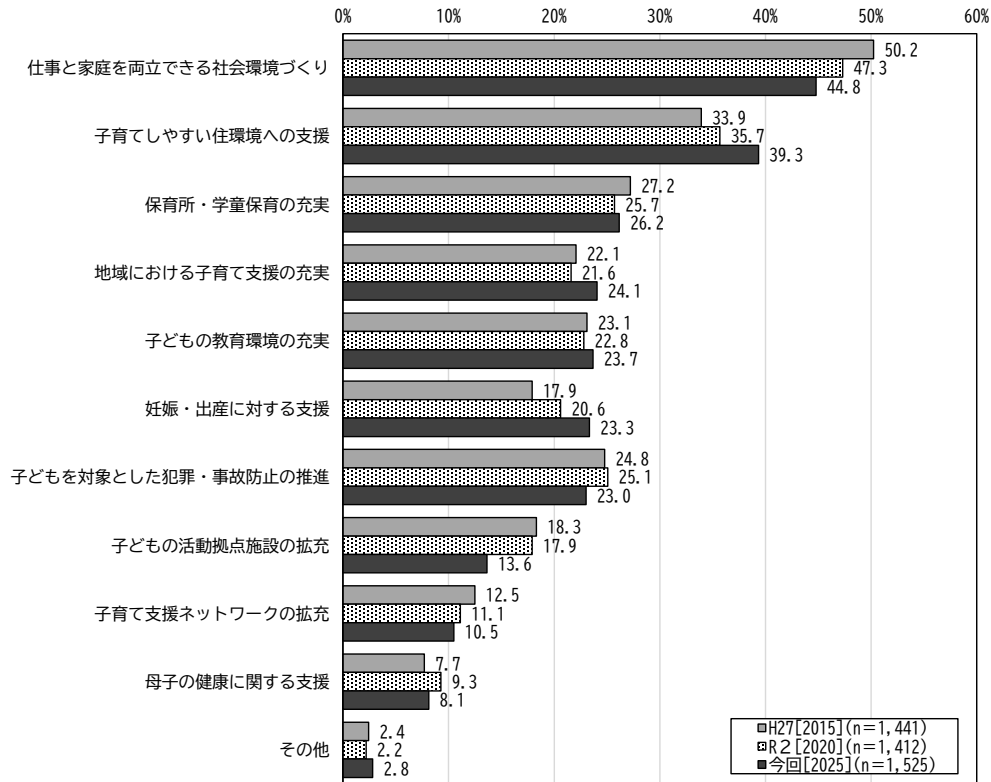
市の子育て支援に期待することについては、「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」が44.8%と最も多く、次いで、「子育てしやすい住環境への支援」が39.3%、「保育所・学童保育の充実」が26.2%となっています。



項目	n	%
仕事と家庭を両立できる社会環境づくり	683	44.8%
子育てしやすい住環境への支援	600	39.3%
保育所・学童保育の充実	399	26.2%
地域における子育て支援の充実	367	24.1%
子どもの教育環境の充実	361	23.7%
妊娠・出産に対する支援	356	23.3%
子どもを対象とした犯罪・事故防止の推進	351	23.0%
子どもの活動拠点施設の拡充	208	13.6%
子育て支援ネットワークの拡充	160	10.5%
母子の健康に関する支援	124	8.1%
その他	43	2.8%
無回答	88	5.8%
回答者数	1,525	

【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」が減少傾向なのに対し、「子育てしやすい住環境への支援」が増加傾向となっています。



【年齢別集計】

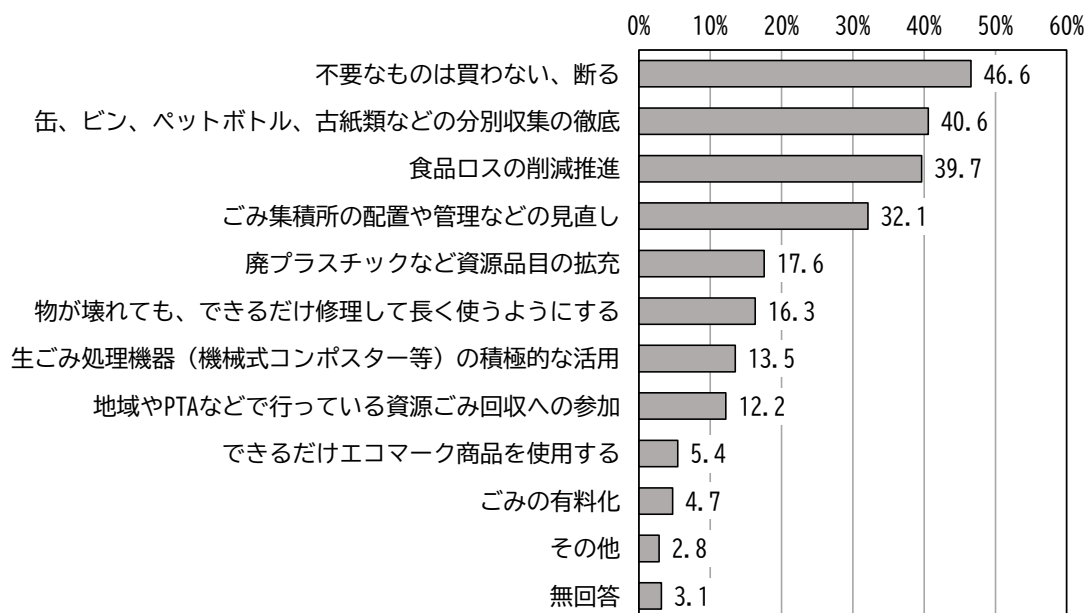
年齢別の割合を見ると、『18～29歳』では「妊娠・出産に対する支援」、『30歳以上』では「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	子育てしやすい住環境への支援	地域における子育て支援の充実	子どもの教育環境の充実	仕事と家庭を両立できる社会環境づくり	保育所・学童保育の充実	子どもを対象とした犯罪・事故防止の推進	子どもの活動拠点施設の拡充	妊娠・出産に対する支援	母子の健康に関する支援	子育て支援ネットワークの拡充	その他	無回答	回答者数
18～29歳	66 41.0%	37 23.0%	47 29.2%	67 41.6%	43 26.7%	29 18.0%	12 7.5%	73 45.3%	23 14.3%	5 3.1%	4 2.5%	3 1.9%	161
30～39歳	86 48.0%	40 22.3%	42 23.5%	98 54.7%	44 24.6%	35 19.6%	26 14.5%	65 36.3%	17 9.5%	16 8.9%	4 2.2%	1 0.6%	179
40～49歳	74 38.7%	45 23.6%	52 27.2%	91 47.6%	56 29.3%	47 24.6%	32 16.8%	33 17.3%	7 3.7%	22 11.5%	12 6.3%	7 3.7%	191
50～59歳	66 32.5%	48 23.6%	51 25.1%	84 41.4%	53 26.1%	57 28.1%	27 13.3%	49 24.1%	8 3.9%	20 9.9%	11 5.4%	9 4.4%	203
60歳以上	302 39.0%	195 25.2%	167 21.5%	339 43.7%	199 25.7%	178 23.0%	110 14.2%	135 17.4%	69 8.9%	97 12.5%	11 1.4%	63 8.1%	775

問 15 ごみに関する課題の一つとして、家庭ごみを減らすには、どのようなことが必要だと思いますか。【3つまで〇】

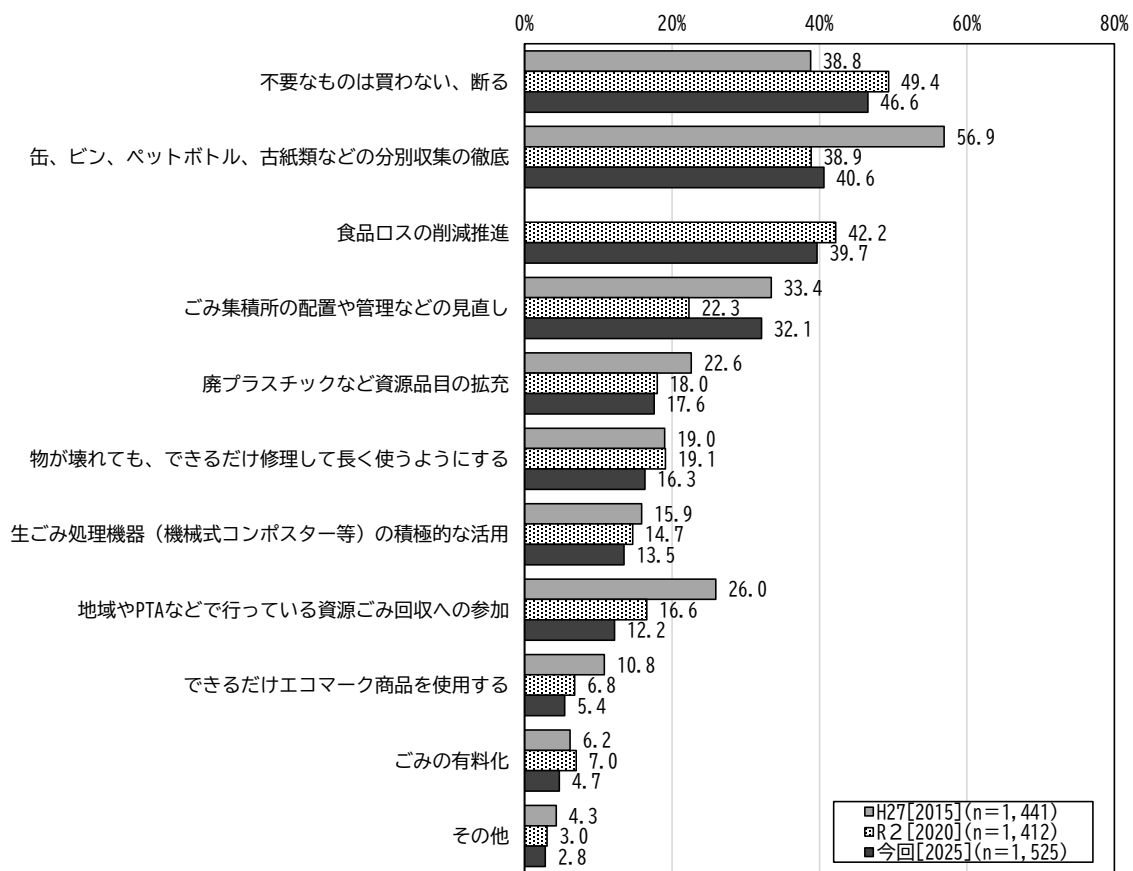
家庭ごみを減らすには、どのようなことが必要だと思うかについては、「不要なものを買わない、断る」が46.6%と最も多く、次いで、「缶、ビン、ペットボトル、古紙類などの分別収集の徹底」が40.6%、「食品ロスの削減推進」が39.7%となっています。



項目	n	%
不要なものを買わない、断る	710	46.6%
缶、ビン、ペットボトル、古紙類などの分別収集の徹底	619	40.6%
食品ロスの削減推進	605	39.7%
ごみ集積所の配置や管理などの見直し	490	32.1%
廃プラスチックなど資源品目の拡充	268	17.6%
物が壊れても、できるだけ修理して長く使うようにする	249	16.3%
生ごみ処理機器（機械式コンポスター等）の積極的な活用	206	13.5%
地域やPTAなどで行っている資源ごみ回収への参加	186	12.2%
できるだけエコマーク商品を使用する	83	5.4%
ごみの有料化	72	4.7%
その他	43	2.8%
無回答	48	3.1%
回答者数	1,525	

【過去調査と比較】

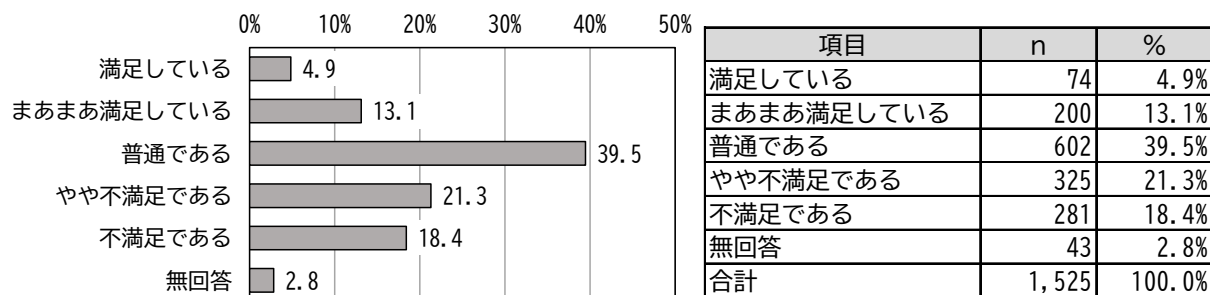
過去調査と比較すると、前回より「缶、ビン、ペットボトル、古紙類などの分別収集の徹底」が1.7ポイント増加、「ごみ集積所の配置や管理などの見直し」が9.8ポイント増加となっています。



問 16 羽生市の公共交通（鉄道・バスなど）に満足していますか。【1つに〇】

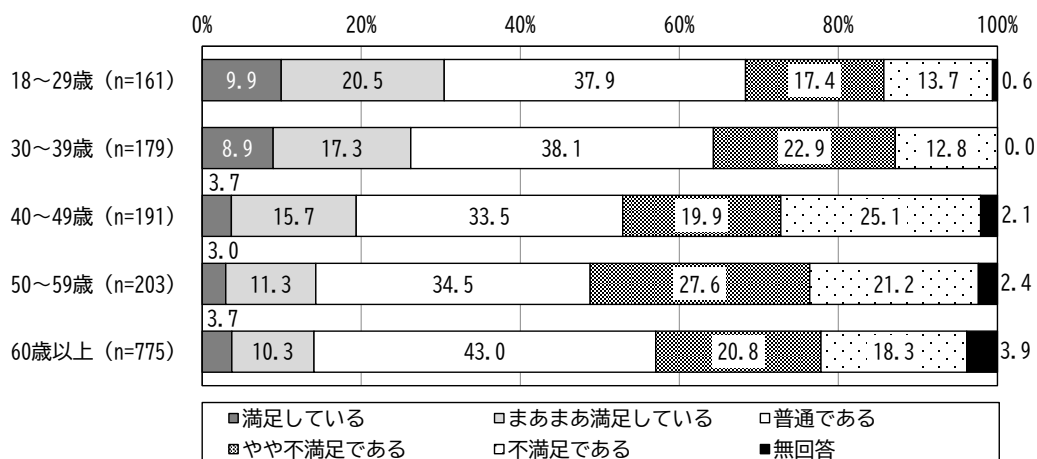
公共交通の満足度については、「満足している(4.9%)」、「まあまあ満足している(13.1%)」を合わせた『満足している(計)』が18.0%に対し、「やや不満足である(21.3%)」、「不満足である(18.4%)」を合わせた『不満足である(計)』が39.7%となっています。

また、「普通である」が39.5%となっています。



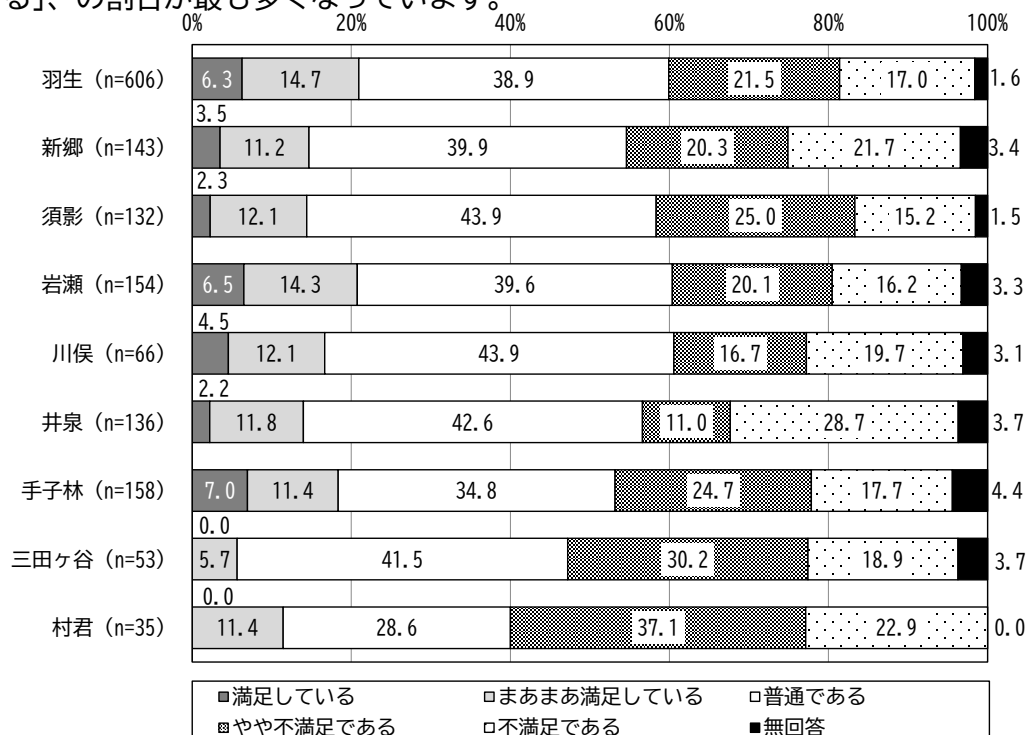
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「普通である」の割合が最も多くなっています。



【居住地区別集計】

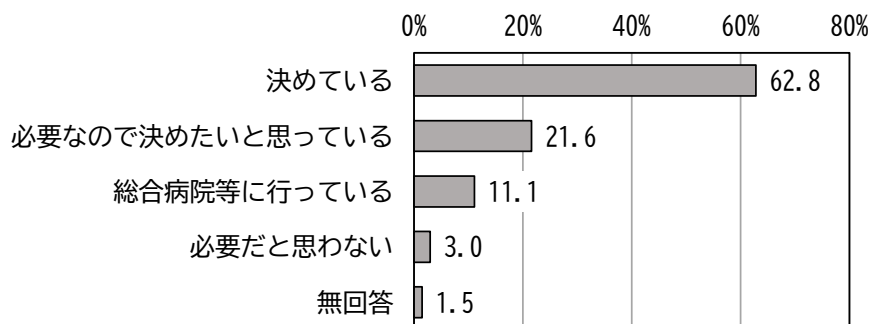
居住地区別の割合を見ると、『村君』では「やや不満足である」、それ以外の地区では「普通である」、の割合が最も多くなっています。



5. 医療・防災・防犯について

問 17 かかりつけ医または診療所（医院）を決めていますか。【1つに○】

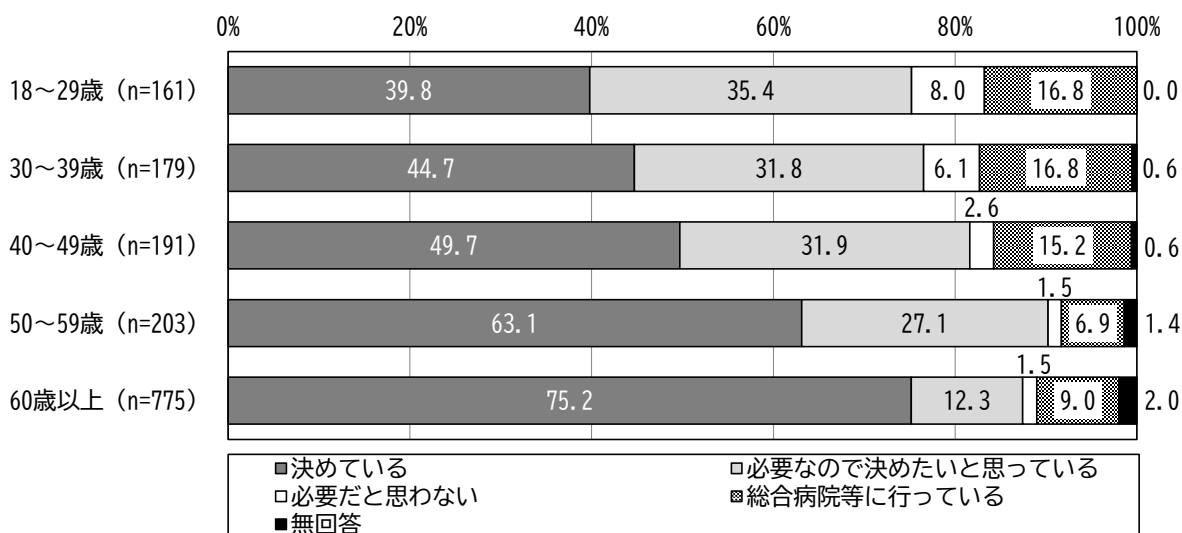
かかりつけ医または診療所（医院）を決めているかについては、「決めている」が62.8%と最も多く、次いで、「必要なので決めたいと思っている」が21.6%、「総合病院等に行っている」が11.1%となっています。



項目	n	%
決めている	957	62.8%
必要なので決めたいと思っている	329	21.6%
総合病院等に行っている	170	11.1%
必要だと思わない	45	3.0%
無回答	24	1.5%
合計	1,525	100.0%

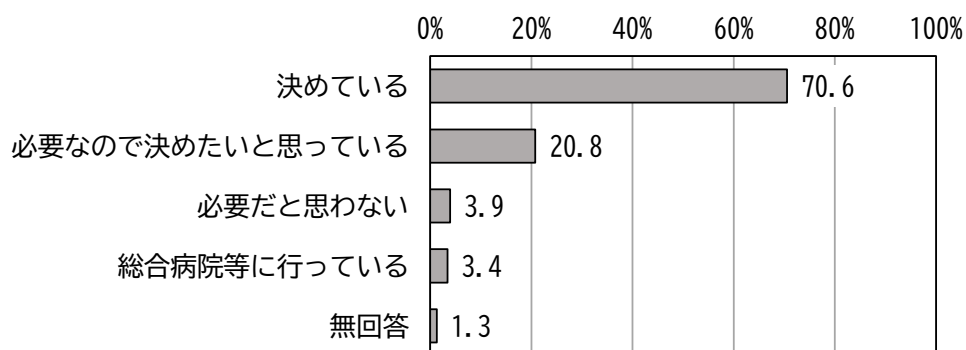
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「決めている」の割合が最も多くなっています。



問 18 かかりつけ歯科医または診療所（医院）を決めていますか。【1つに○】

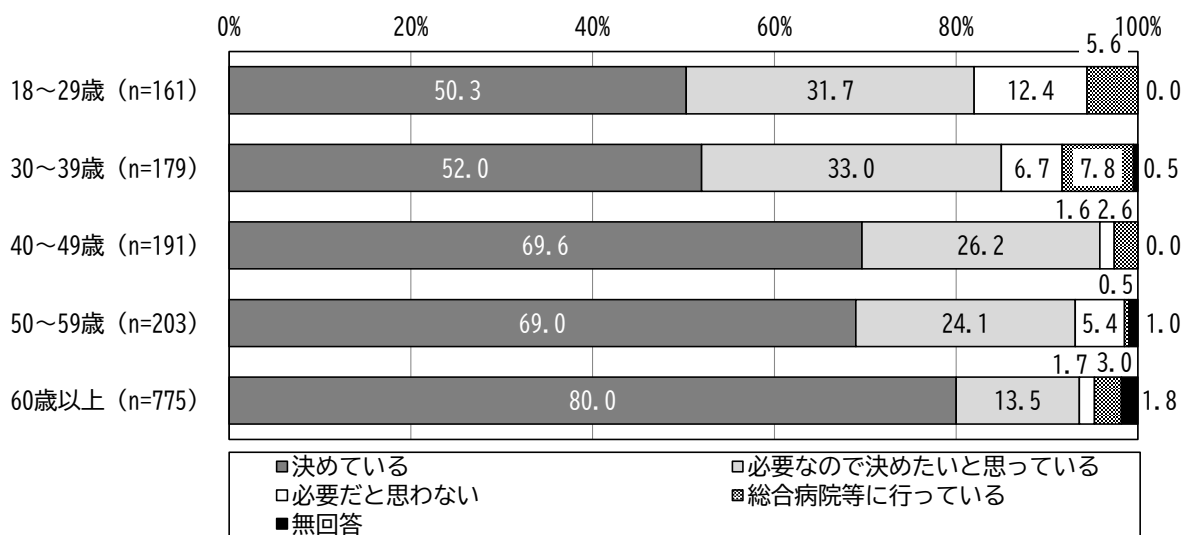
かかりつけ歯科医または診療所（医院）を決めているかについては、「決めている」が70.6%と最も多く、次いで、「必要なので決めたいと思っている」が20.8%、「必要だと思わない」が3.9%となっています。



項目	n	%
決めている	1,076	70.6%
必要なので決めたいと思っている	317	20.8%
必要だと思わない	60	3.9%
総合病院等に行っている	52	3.4%
無回答	20	1.3%
合計	1,525	100.0%

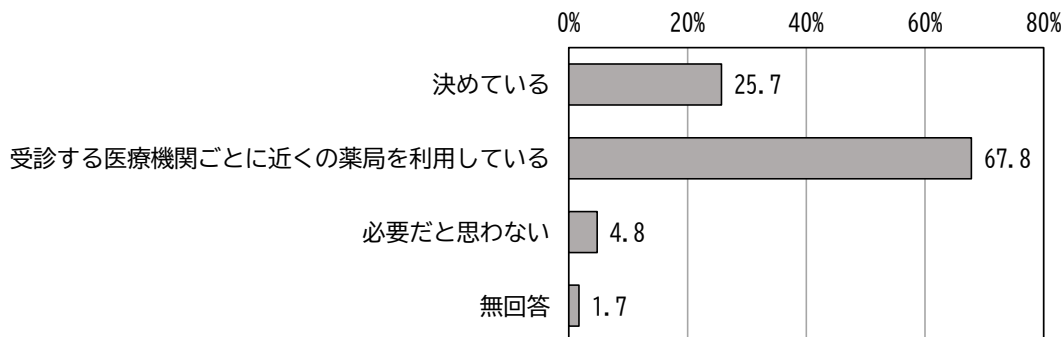
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「決めている」の割合が最も多くなっています。



問19 かかりつけ薬局を決めていますか。【1つに〇】

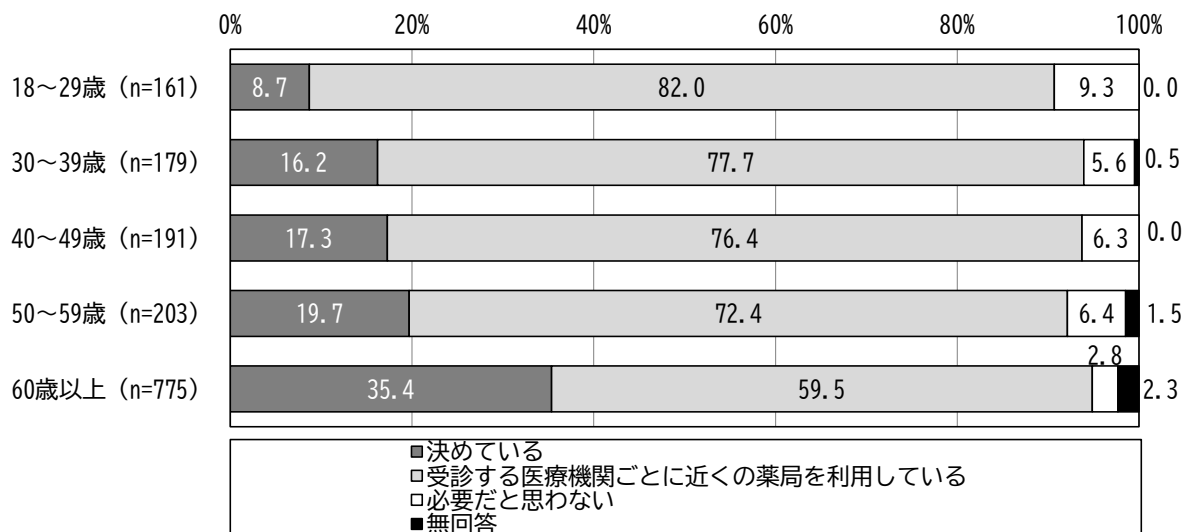
かかりつけ薬局を決めているかについては、「受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している」が67.8%と最も多く、次いで、「決めている」が25.7%、「必要だと思わない」が4.8%となっています。



項目	n	%
決めている	392	25.7%
受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している	1,034	67.8%
必要だと思わない	73	4.8%
無回答	26	1.7%
合計	1,525	100.0%

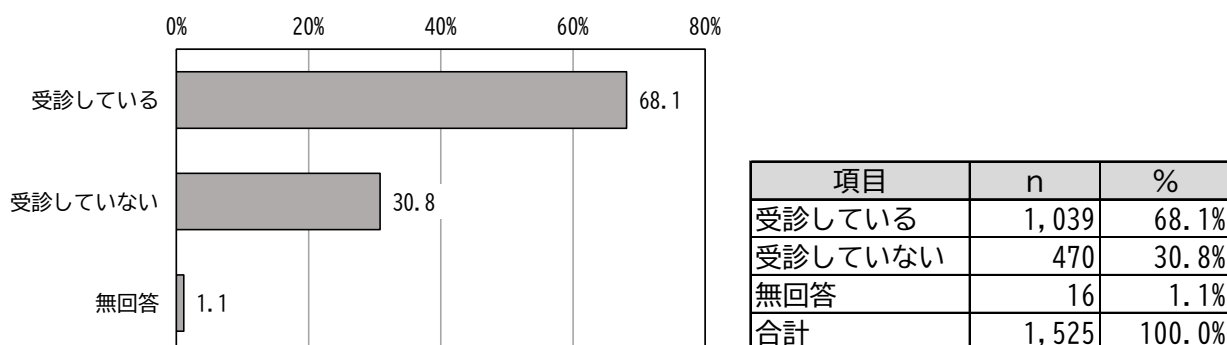
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している」の割合が最も多くなっています。



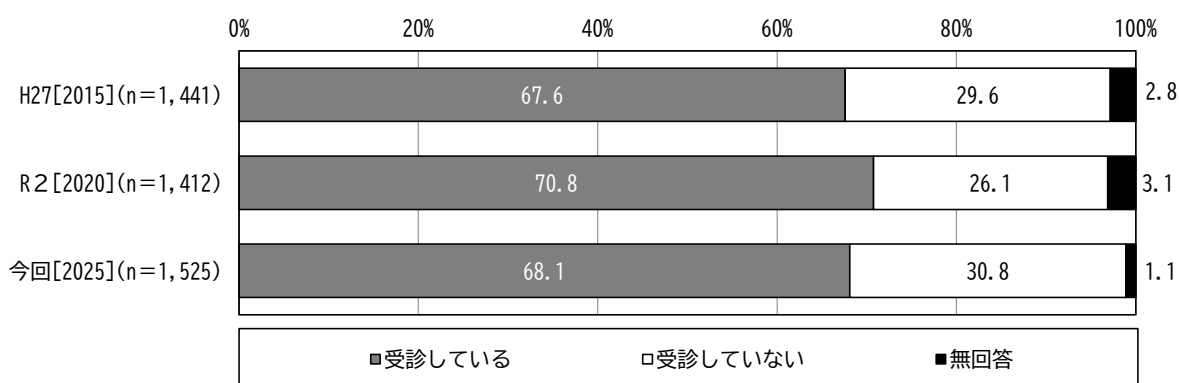
問 20 毎年、健康診断等を受診していますか。【1つに〇】

毎年、健康診断等を受診しているかについては、「受診している」が68.1%に対し、「受診していない」が30.8%となっています。



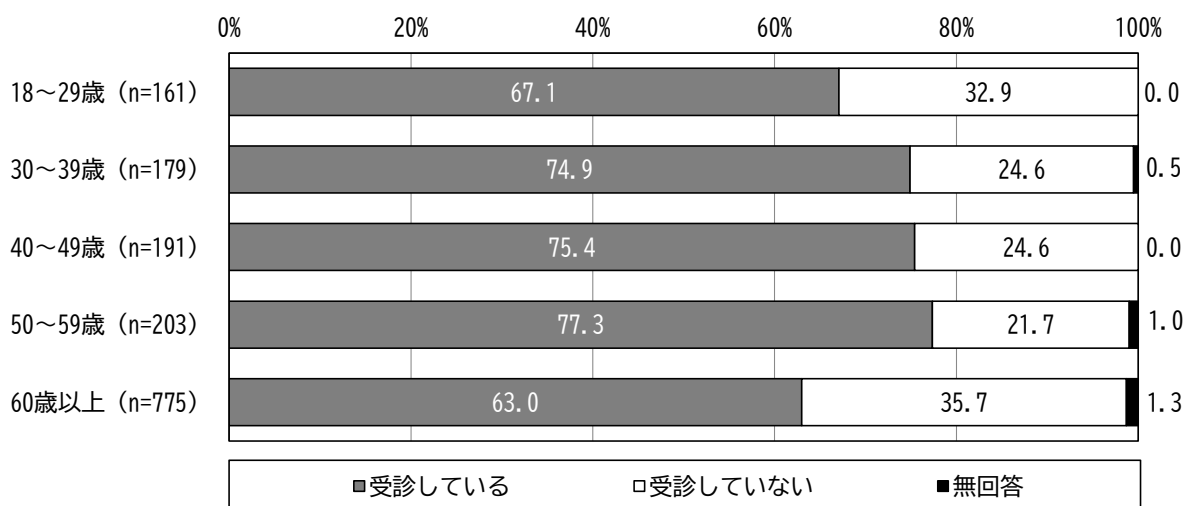
【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、「受診している」が7割前後となっています。



【年齢別集計】

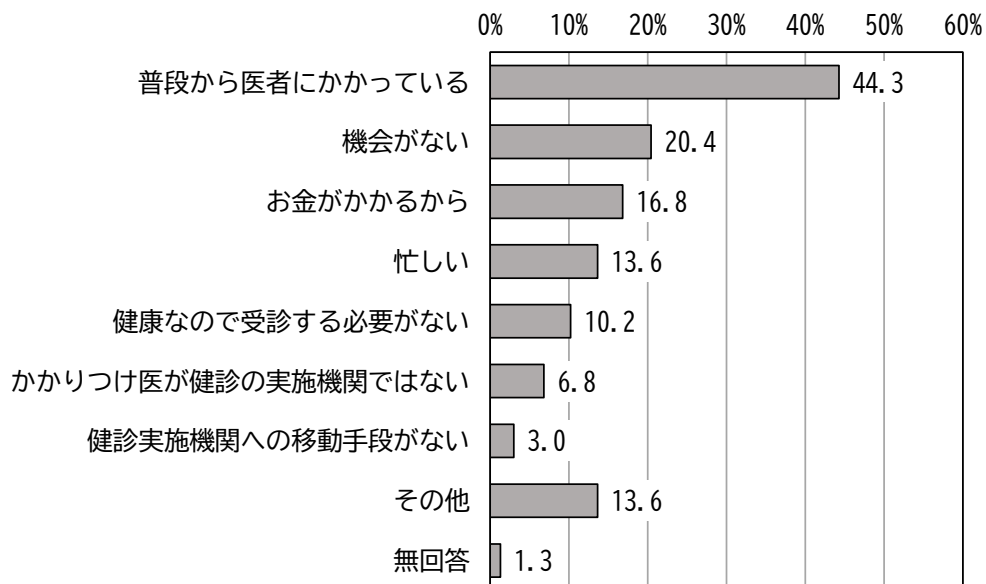
年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「受診している」が6割を超えています。



問 20 で「(健康診断等を) 受診していない」を選択した方のみ回答

問 20-a 健康診断等を受診していない理由は何ですか【いくつでも〇】

健康診断等を受診していない理由については、「普段から医者にかかっている」が 44.3%と最も多く、次いで、「機会がない」が 20.4%、「お金がかかるから」が 16.8%となっています。



項目	n	%
普段から医者にかかっている	208	44.3%
機会がない	96	20.4%
お金がかかるから	79	16.8%
忙しい	64	13.6%
健康なので受診する必要がない	48	10.2%
かかりつけ医が健診の実施機関ではない	32	6.8%
健診実施機関への移動手段がない	14	3.0%
その他	64	13.6%
無回答	6	1.3%
回答者数	470	
非該当	1,055	
合計	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると『18～39歳』では「機会がない」、「お金がかかるから」の割合が多く、『40～59歳』では「忙しい」、「60歳以上」では「普段から医者にかかっている」の割合が最も多くなっています。

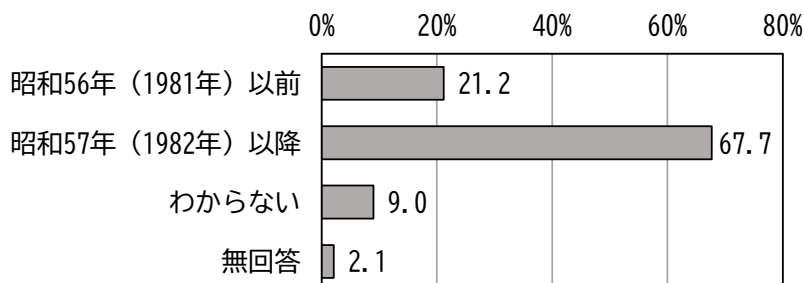
(上段：n、下段：%)

	忙しい	機会がない	か普段から医者にか	健康がないので受診する	のかりつけ医が健い診	お金がかかるから	動健手段実施機関への移	その他	無回答	回答者数	非該当
18～29歳	10 18.9%	32 60.4%	5 9.4%	5 9.4%	1 1.9%	15 28.3%	1 1.9%	6 11.3%	0 0.0%	53	108
30～39歳	12 27.3%	20 45.5%	8 18.2%	7 15.9%	3 6.8%	22 50.0%	0 0.0%	5 11.4%	0 0.0%	44	135
40～49歳	18 38.3%	16 34.0%	6 12.8%	5 10.6%	1 2.1%	8 17.0%	2 4.3%	14 29.8%	1 2.1%	47	144
50～59歳	13 29.5%	3 6.8%	10 22.7%	3 6.8%	5 11.4%	8 18.2%	2 4.5%	7 15.9%	1 2.3%	44	159
60歳以上	11 4.0%	25 9.0%	176 63.5%	26 9.4%	22 7.9%	25 9.0%	9 3.2%	32 11.6%	4 1.4%	277	498

問 21 地震による被害を最小限に抑えるためには、建物の耐震化が必要といわれています。そこで、お住まいの家について伺います。【項目ごとにそれぞれ1つに○】

(1) お住まいの家が建てられた時期は、いつですか。

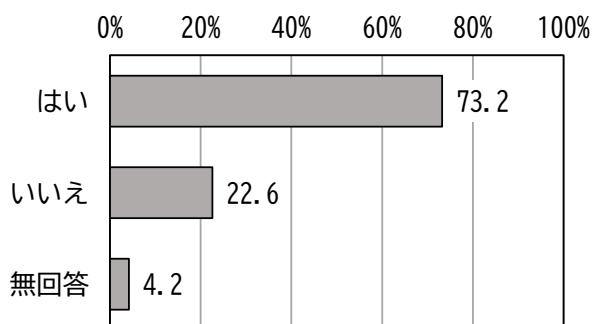
家が建てられた時期については、「昭和 57 年（1982 年）以降」が 67.7%と最も多く、次いで、「昭和 56 年（1981 年）以前」が 21.2%、「わからない」が 9.0%となっています。



項目	n	%
昭和56年（1981年）以前	324	21.2%
昭和57年（1982年）以降	1,033	67.7%
わからない	137	9.0%
無回答	31	2.1%
合計	1,525	100.0%

(2) お住まいの家が地震に対して、どの程度安全か知りたいですか。

地震に対して安全か知りたい方については、「はい（知りたい）」が 73.2%に対し、「いいえ」が 22.6%となっています。

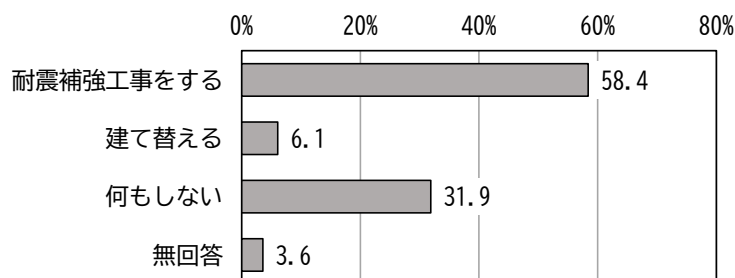


項目	n	%
はい	1,117	73.2%
いいえ	344	22.6%
無回答	64	4.2%
合計	1,525	100.0%

(3) お住まいの家が、大地震の際の安全性に問題があると分かった場合、どうしますか。

○ 持ち家の方

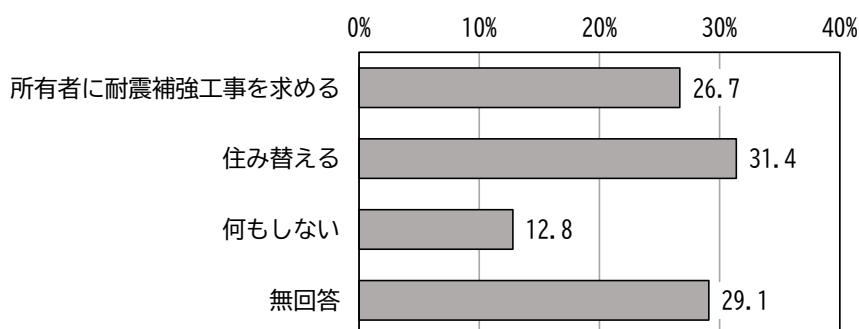
大地震の際の安全性に問題があると分かった場合の対応について“持ち家”では、「耐震補強工事をする」が 58.4%と最も多く、次いで、「何もしない」が 31.9%、「建て替える」が 6.1%となっています。



項目	n	%
耐震補強工事をする	820	58.4%
建て替える	86	6.1%
何もしない	447	31.9%
無回答	50	3.6%
回答者数	1,403	100.0%
非該当	122	
合計	1,525	

○ 借家の方

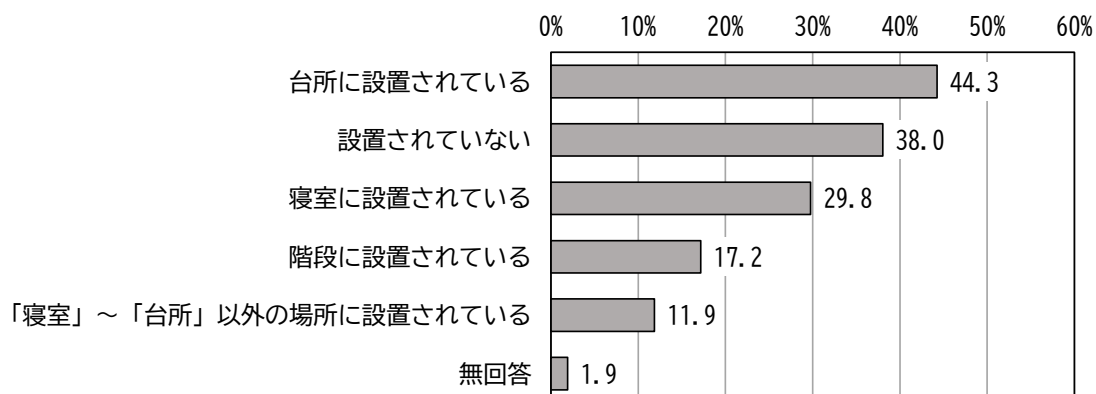
お住まいの家が、大地震の際の安全性に問題があると分かった場合の対応について“借家”では、「住み替える」が 31.4%と最も多く、次いで、「所有者に耐震補強工事を求める」が 26.7%、「何もしない」が 12.8%となっています。



項目	n	%
所有者に耐震補強工事を求める	46	26.7%
住み替える	54	31.4%
何もしない	22	12.8%
無回答	50	29.1%
回答者数	172	100.0%
非該当	1,353	
合計	1,525	

問 22 あなたの家に住宅用火災警報器は設置されていますか。【いくつでも○】

住宅用火災警報器の設置場所については、「台所に設置されている」が 44.3%と最も多く、次いで、「設置されていない」が 38.0%、「寝室に設置されている」が 29.8%となっています。



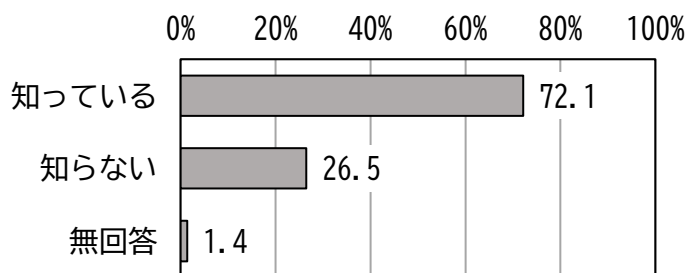
項目	n	%
台所に設置されている	675	44.3%
設置されていない	580	38.0%
寝室に設置されている	454	29.8%
階段に設置されている	262	17.2%
「寝室」～「台所」以外の場所に設置されている	181	11.9%
無回答	29	1.9%
回答者数	1,525	

【火災警報器 設置場所別集計】

	設置場所						合計	
	寝室	階段	台所	その他	件数	%	件数	%
4か所以上	○	○	○	○	40	2.6	40	2.6
3か所	○	○	○		92	6.0	141	9.2
	○	○		○	6	0.4		
	○		○	○	37	2.4		
		○	○	○	6	0.4		
2か所	○	○			31	2.0	254	16.7
	○		○		147	9.7		
	○			○	12	0.8		
		○	○		52	3.4		
		○		○	0	0.0		
			○	○	12	0.8		
1か所	○				89	5.8	481	31.6
		○			35	2.3		
			○		289	19.0		
				○	68	4.5		
設置なし					580	38.0	580	38.0
無回答					29	1.9	29	1.9
合計					1,525	100.0	1,525	100.0

問 23 震災・水害時の避難所をご存じですか。【1つに〇】

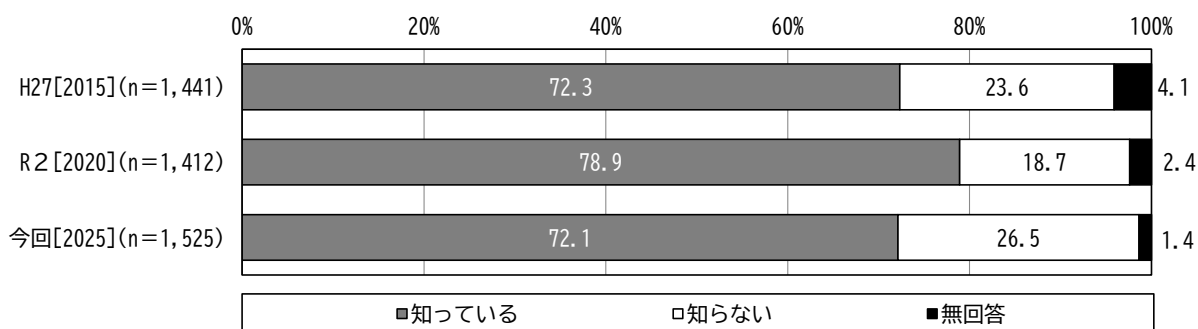
震災・水害時の避難所については、「知っている」が 72.1%に対し、「知らない」が 26.5%となっています。



項目	n	%
知っている	1,100	72.1%
知らない	404	26.5%
無回答	21	1.4%
合計	1,525	100.0%

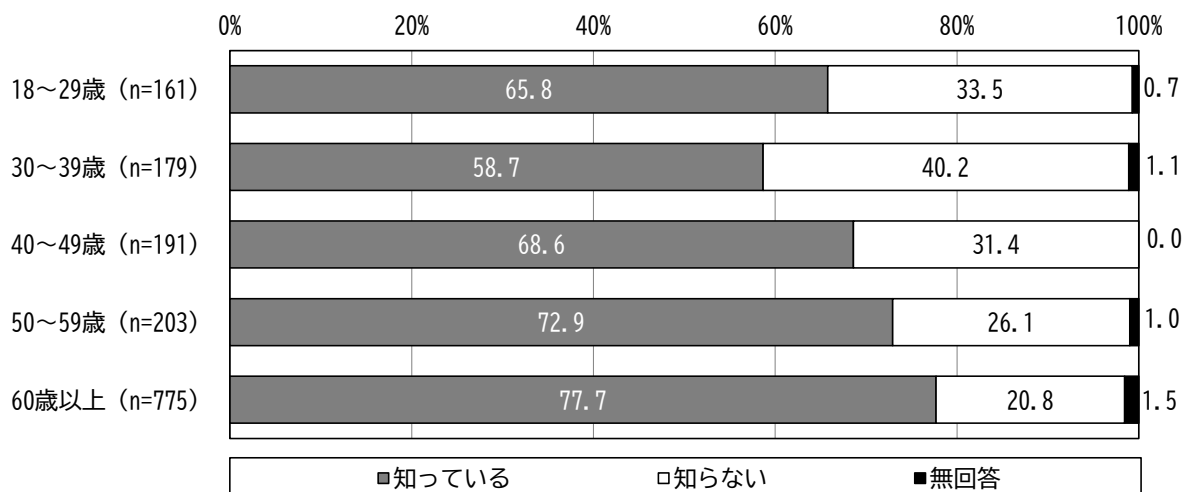
【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、前回より「知らない」が 7.8 ポイント増加し、「知っている」が 6.8 ポイント減少となっています。



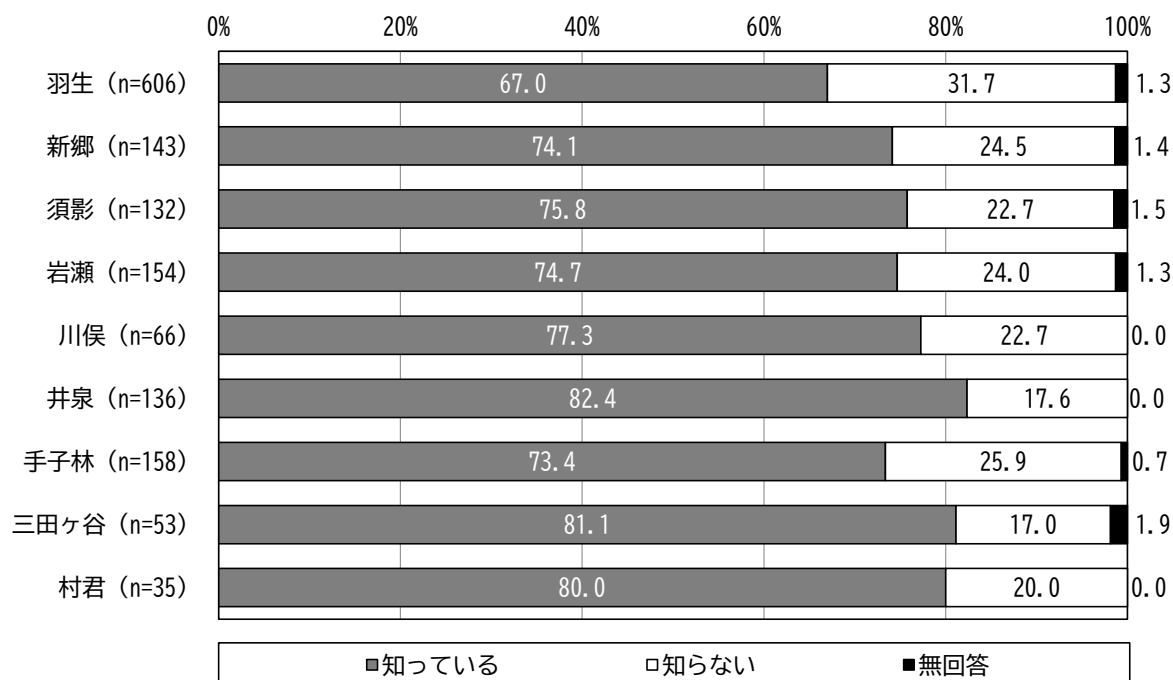
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「知っている」の割合が「知らない」の割合より多くなっています。



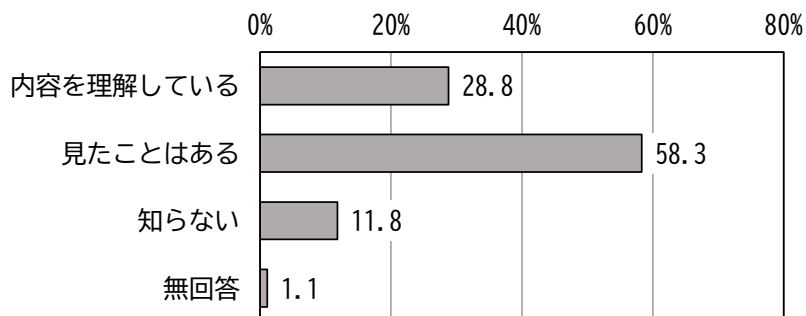
【居住地区別集計】

居住地区別の割合を見ると、すべての地区で「知っている」の割合が6割を超えています。



問 24 ハザードマップ※をご存じですか。【1つに○】

ハザードマップについては、「見たことはある」が58.3%と最も多く、次いで、「内容を理解している」が28.8%、「知らない」が11.8%となっています。

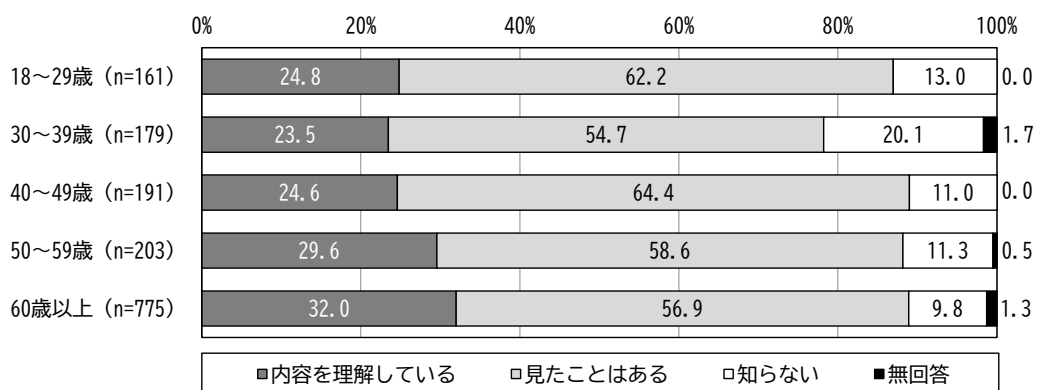


項目	n	%
内容を理解している	439	28.8%
見たことはある	889	58.3%
知らない	180	11.8%
無回答	17	1.1%
合計	1,525	100.0%

※ハザードマップとは、地震や台風などにより発生が予測される被害について、その種類・場所・危険度など示した地図のことです。

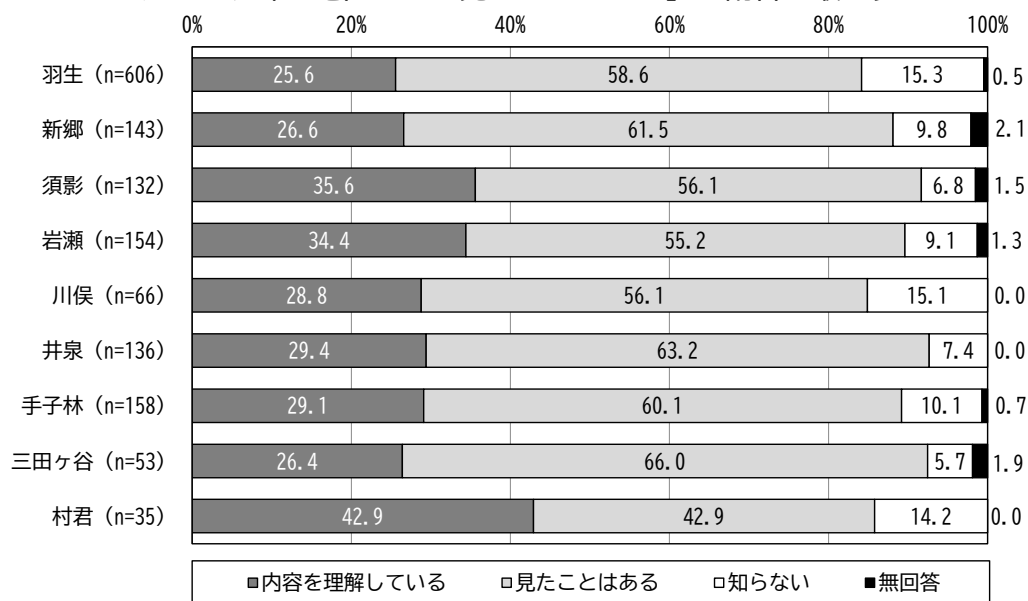
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「見たことはある」の割合が5割を超えています。



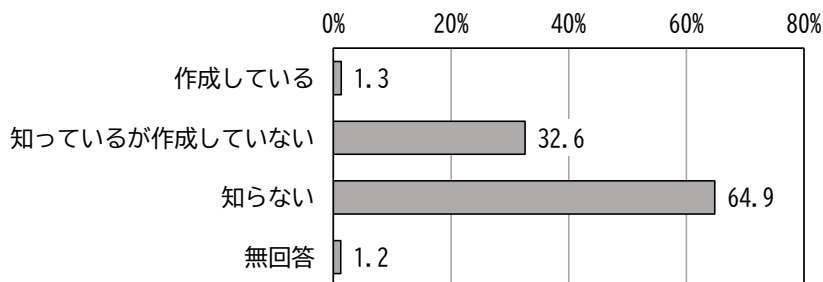
【居住地区別集計】

居住地区別の割合を見ると、『村君』では「内容を理解している」と「見たことはある」が同一となっており、それ以外の地区では「見たことはある」の割合が最も多くなっています。



問 25 マイ・タイムライン^{*}を作成していますか。【1つに○】

マイ・タイムラインの作成については、「知らない」が64.9%と最も多く、次いで、「知っているが作成していない」が32.6%、「作成している」が1.3%となっています。

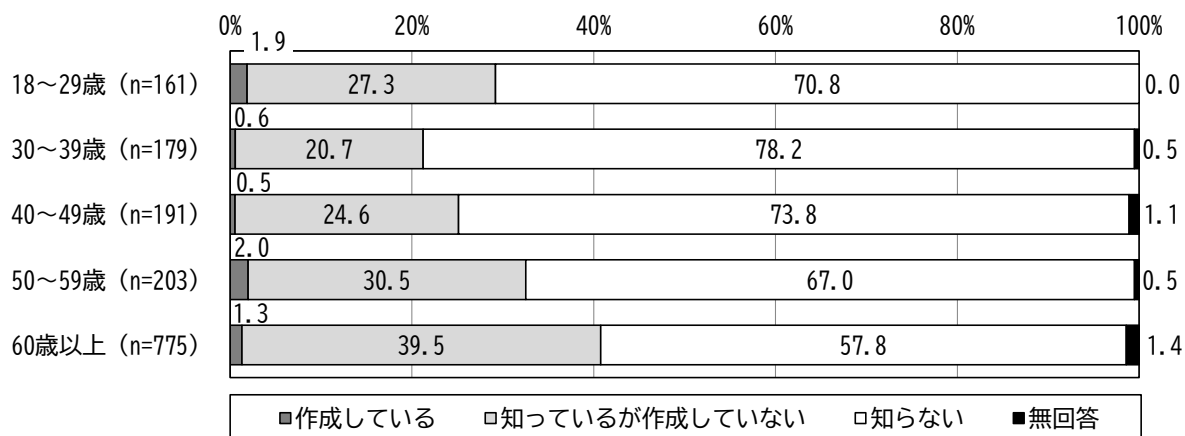


項目	n	%
作成している	20	1.3%
知っているが作成していない	497	32.6%
知らない	989	64.9%
無回答	19	1.2%
合計	1,525	100.0%

※マイ・タイムラインとは、台風の接近で河川の水位が上昇する時などに、ご自身がとるべき防災行動を時系列で整理・とりまとめた行動計画表のことです。

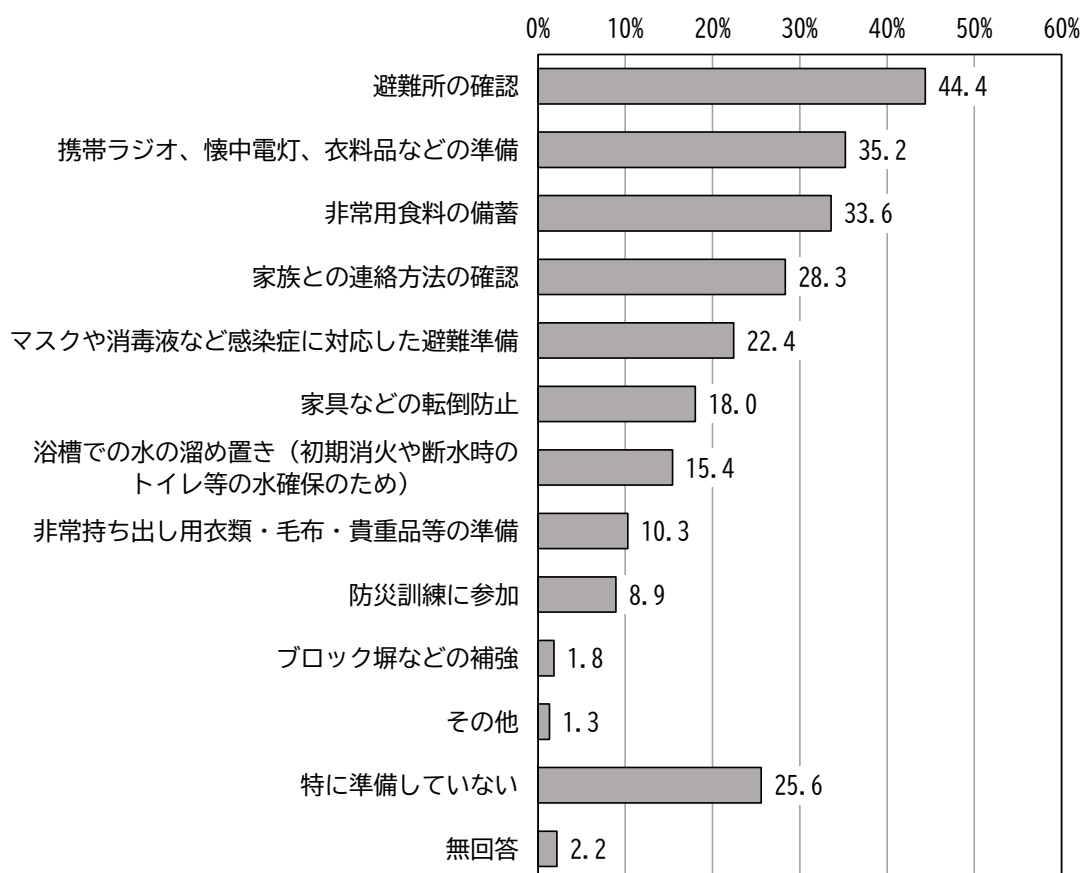
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「知らない」の割合が最も多くなっています。



問 26 震災や水害などの災害時に備えてどのような準備をしていますか。【いくつでも〇】

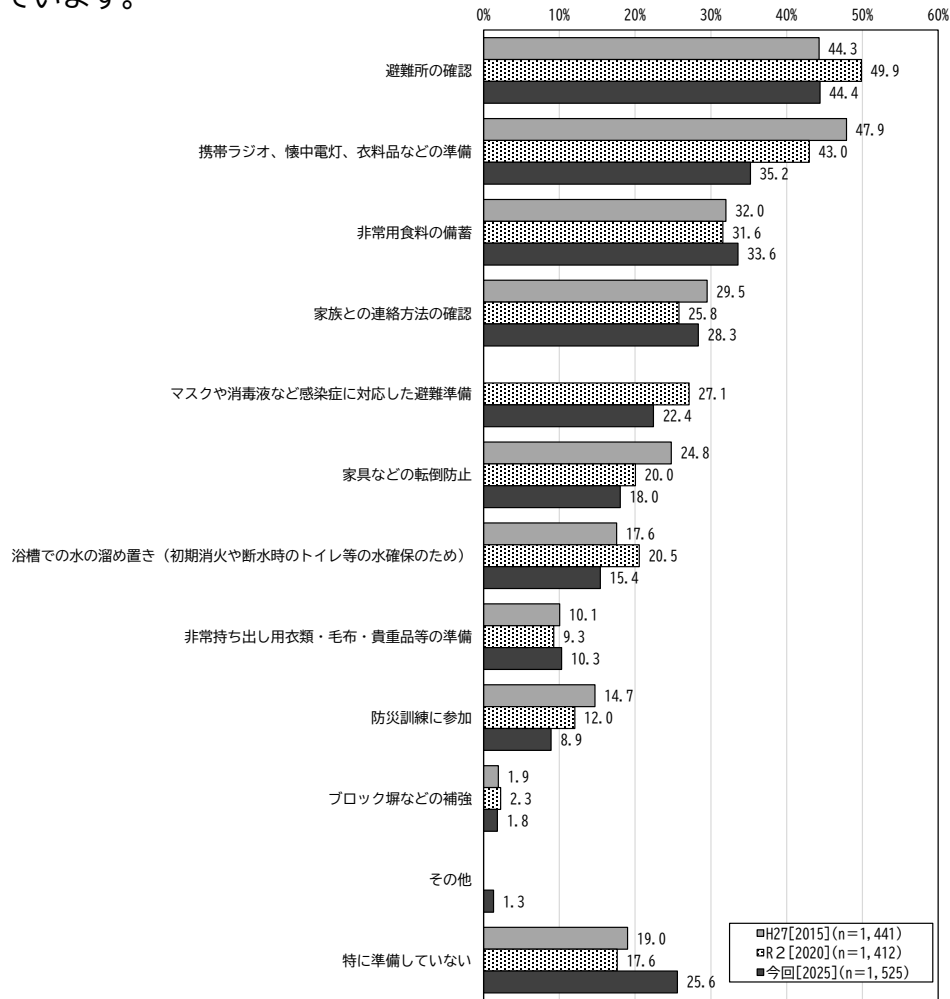
災害時の備えについては、「避難所の確認」が44.4%と最も多く、次いで、「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」が35.2%、「非常用食料の備蓄」が33.6%となっています。



項目	n	%
避難所の確認	677	44.4%
携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備	537	35.2%
非常用食料の備蓄	512	33.6%
家族との連絡方法の確認	432	28.3%
マスクや消毒液など感染症に対応した避難準備	342	22.4%
家具などの転倒防止	275	18.0%
浴槽での水の溜め置き（初期消火や断水時のトイレ等の水確保のため）	235	15.4%
非常持ち出し用衣類・毛布・貴重品等の準備	157	10.3%
防災訓練に参加	136	8.9%
ブロック塀などの補強	28	1.8%
その他	20	1.3%
特に準備していない	390	25.6%
無回答	33	2.2%
回答者数	1,525	

【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、前回より「非常用食料の備蓄」が 2.0 ポイント増加し、「避難所の確認」が 5.5 ポイント、「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」が 7.8 ポイント減少となっています。



【年齢別集計】

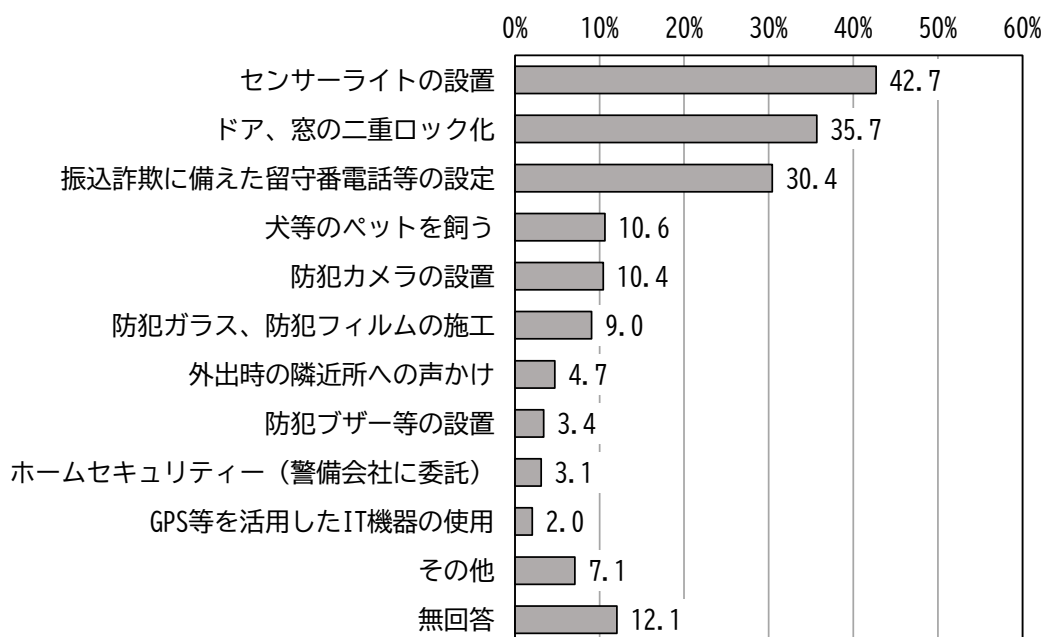
年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「避難所の確認」、「非常用食料の備蓄」の割合が多く、『60歳以上』では「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」の割合も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	避難所の確認	マスクや消毒液など感染症に対応した避難準備	家族との連絡方法の確認	携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備	非常用食料の備蓄	布・貴重品等の準備	非常持ち出し衣類・毛布	ブロック塀などの補強	家具などの転倒防止	防災訓練に参加	浴槽での水の溜め置き（初期消火や断水時のため）	その他	特に準備していない	無回答	回答者数
18～29歳	72 44.7%	38 23.6%	50 31.1%	40 24.8%	52 32.3%	21 13.0%	3 1.9%	25 15.5%	4 2.5%	7 4.3%	0 0.0%	42 26.1%	0 0.0%	161	
30～39歳	73 40.8%	41 22.9%	38 21.2%	58 32.4%	70 39.1%	18 10.1%	0 0.0%	31 17.3%	10 5.6%	14 7.8%	0 0.0%	49 27.4%	0 0.0%	179	
40～49歳	76 39.8%	36 18.8%	48 25.1%	59 30.9%	70 36.6%	24 12.6%	4 2.1%	28 14.7%	6 3.1%	10 5.2%	4 2.1%	53 27.7%	1 0.5%	191	
50～59歳	93 45.8%	53 26.1%	67 33.0%	59 29.1%	67 33.0%	19 9.4%	2 1.0%	33 16.3%	13 6.4%	26 12.8%	4 2.0%	48 23.6%	3 1.5%	203	
60歳以上	360 46.5%	172 22.2%	225 29.0%	316 40.8%	251 32.4%	73 9.4%	19 2.5%	156 20.1%	103 13.3%	175 22.6%	12 1.5%	195 25.2%	26 3.4%	775	

問 27 現在行っている防犯対策は何ですか。【いくつでも○】

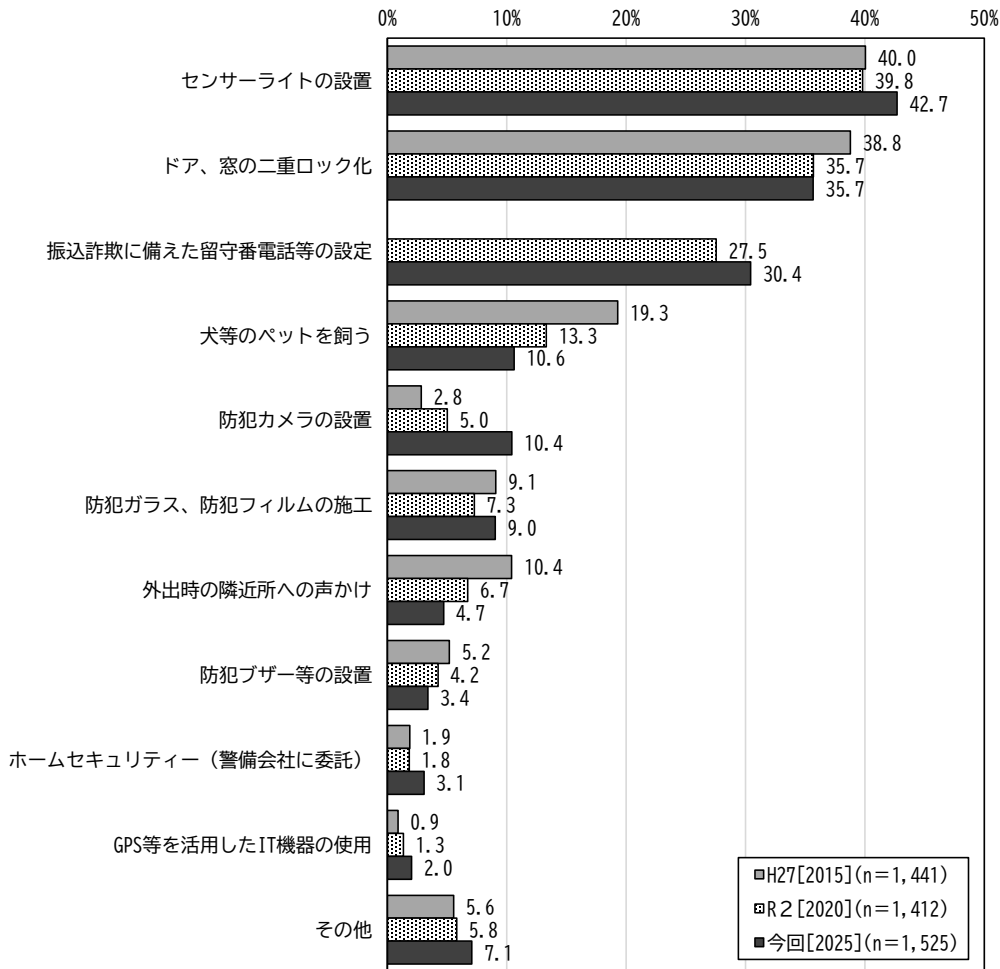
防犯対策については、「センサーライトの設置」が 42.7%と最も多く、次いで、「ドア、窓の二重ロック化」が 35.7%、「振込詐欺に備えた留守番電話等の設定」が 30.4%となっています。



項目	n	%
センサーライトの設置	651	42.7%
ドア、窓の二重ロック化	544	35.7%
振込詐欺に備えた留守番電話等の設定	464	30.4%
犬等のペットを飼う	162	10.6%
防犯カメラの設置	159	10.4%
防犯ガラス、防犯フィルムの施工	138	9.0%
外出時の隣近所への声かけ	72	4.7%
防犯ブザー等の設置	52	3.4%
ホームセキュリティー（警備会社に委託）	47	3.1%
GPS等を活用したIT機器の使用	31	2.0%
その他	108	7.1%
無回答	184	12.1%
回答者数	1,525	

【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、前回より「センサーライトの設置」が 2.9 ポイント、「振込詐欺に備えた留守番電話等の設定」が 2.9 ポイント、「防犯カメラの設置」が 5.4 ポイント増加となっています。



【年齢別集計】

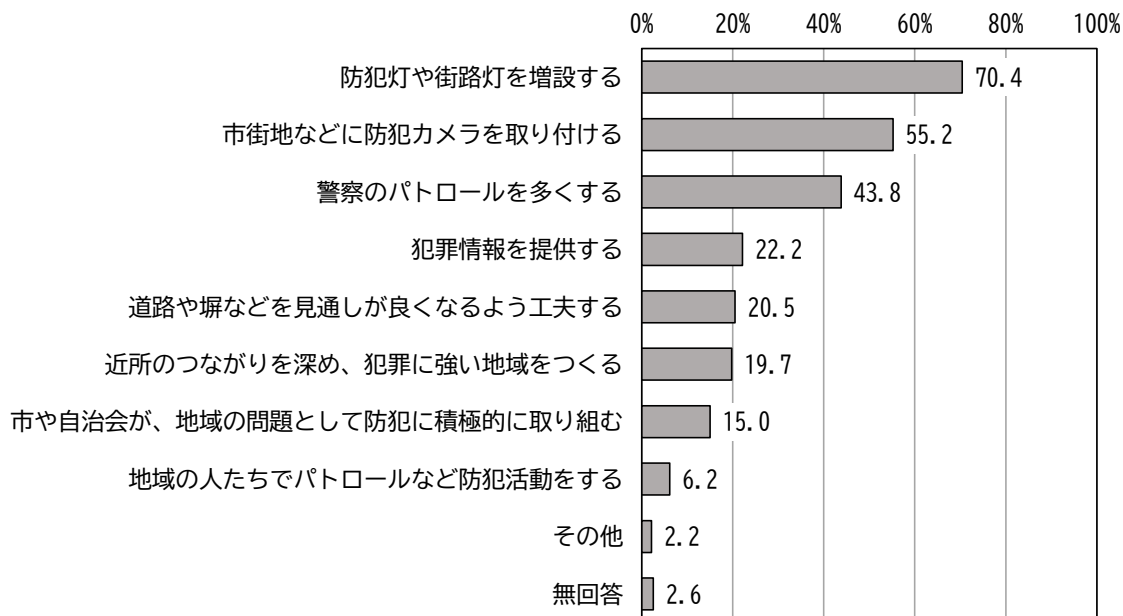
年齢別の割合を見ると、『18～49歳』では「ドア、窓の二重ロック化」、『50歳以上』では「センサーライトの設置」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

年齢	ドア、窓の二重ロック	防犯ガラス、防犯フィルム等の施工	防犯カメラの設置	センサーライトの設置	ホームセキュリティ（警備会社に委託）	振込詐欺に備えた留守番電話等の設定	防犯ブザー等の設置	外出時の隣近所への声かけ	犬等のペットを飼う	IT機器等を活用したGPS等	その他	無回答	回答者数
18～29歳	66 41.0%	14 8.7%	16 9.9%	47 29.2%	7 4.3%	27 16.8%	3 1.9%	3 1.9%	22 13.7%	7 4.3%	16 9.9%	15 9.3%	161
30～39歳	76 42.5%	20 11.2%	19 10.6%	69 38.5%	7 3.9%	26 14.5%	8 4.5%	4 2.2%	16 8.9%	8 4.5%	9 5.0%	21 11.7%	179
40～49歳	83 43.5%	21 11.0%	22 11.5%	75 39.3%	3 1.6%	35 18.3%	5 2.6%	8 4.2%	19 9.9%	6 3.1%	17 8.9%	21 11.0%	191
50～59歳	75 36.9%	26 12.8%	25 12.3%	97 47.8%	5 2.5%	52 25.6%	6 3.0%	3 1.5%	40 19.7%	5 2.5%	20 9.9%	17 8.4%	203
60歳以上	240 31.0%	56 7.2%	75 9.7%	359 46.3%	25 3.2%	322 41.5%	30 3.9%	53 6.8%	65 8.4%	5 0.6%	45 5.8%	105 13.5%	775

問 28 身の回りで起きる犯罪を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。【3つまで○】

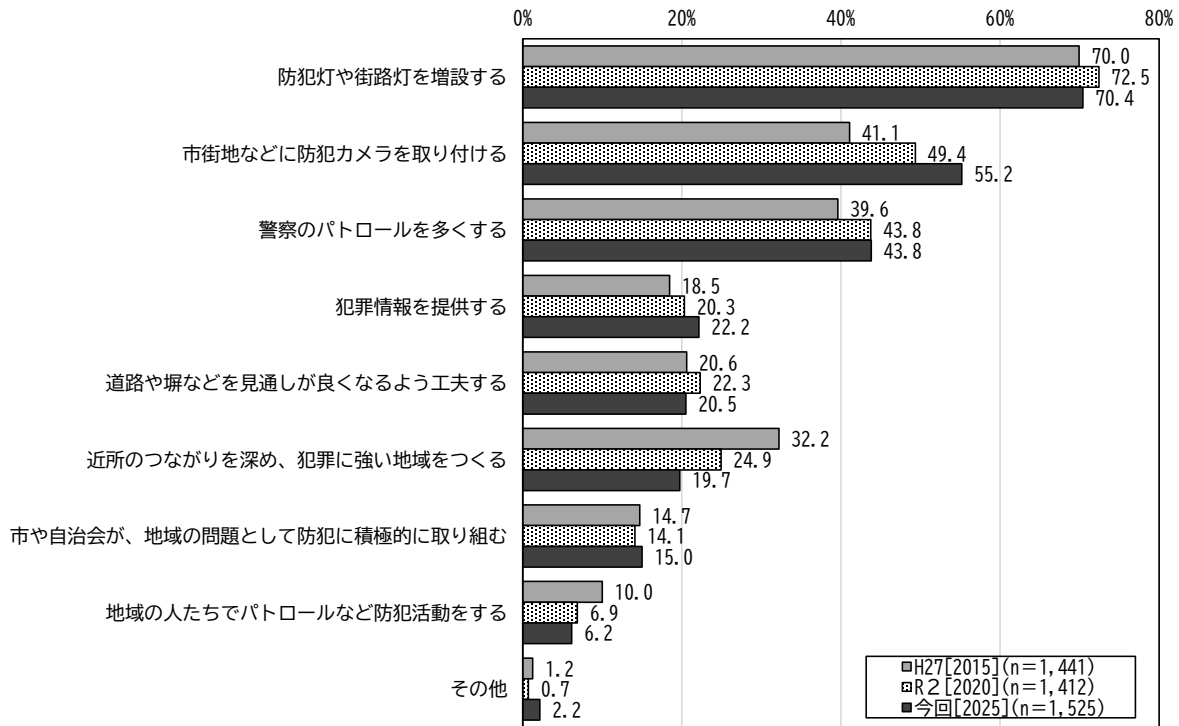
犯罪を防止するために必要なことについては、「防犯灯や街路灯を増設する」が70.4%と最も多く、次いで、「市街地などに防犯カメラを取り付ける」が55.2%、「警察のパトロールを多くする」が43.8%となっています。



項目	n	%
防犯灯や街路灯を増設する	1,074	70.4%
市街地などに防犯カメラを取り付ける	842	55.2%
警察のパトロールを多くする	668	43.8%
犯罪情報を提供する	338	22.2%
道路や塀などを見通しが良くなるよう工夫する	313	20.5%
近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる	301	19.7%
市や自治会が、地域の問題として防犯に積極的に取り組む	229	15.0%
地域の人たちでパトロールなど防犯活動をする	94	6.2%
その他	33	2.2%
無回答	39	2.6%
回答者数	1,525	

【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、前回より「市街地などに防犯カメラを取り付ける」が5.8ポイント、「犯罪情報を提供する」が1.9ポイント増加となっています。



【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「防犯灯や街路灯を増設する」、「市街地などに防犯カメラを取り付ける」の割合が多くなっています。

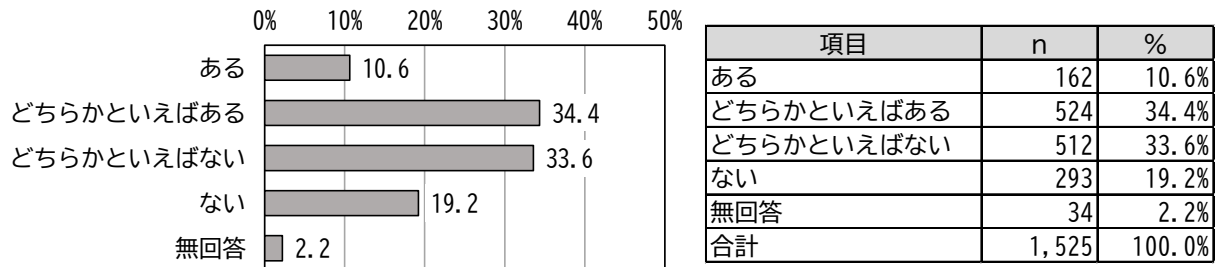
(上段：n、下段：%)

	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する
	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する	防犯灯や街路灯を増設する
18～29歳	117	42	80	11	18	20	41	51	3	1	161		
	72.7%	26.1%	49.7%	6.8%	11.2%	12.4%	25.5%	31.7%	1.9%	0.6%			
30～39歳	136	38	99	24	13	21	46	82	2	1	179		
	76.0%	21.2%	55.3%	13.4%	7.3%	11.7%	25.7%	45.8%	1.1%	0.6%			
40～49歳	135	43	103	28	14	34	44	89	9	1	191		
	70.7%	22.5%	53.9%	14.7%	7.3%	17.8%	23.0%	46.6%	4.7%	0.5%			
50～59歳	148	41	120	27	11	33	49	102	3	4	203		
	72.9%	20.2%	59.1%	13.3%	5.4%	16.3%	24.1%	50.2%	1.5%	2.0%			
60歳以上	530	148	436	137	38	191	154	336	16	28	775		
	68.4%	19.1%	56.3%	17.7%	4.9%	24.6%	19.9%	43.4%	2.1%	3.6%			

6. 市議会について

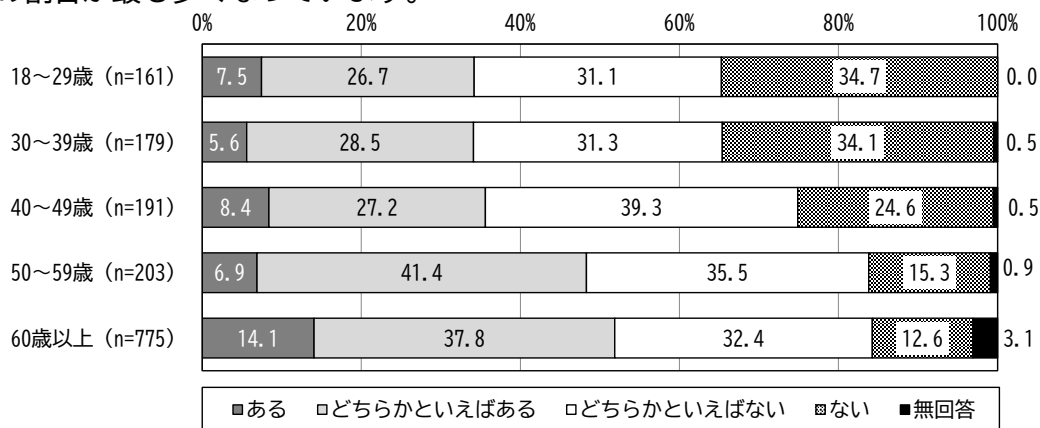
問 29 市議会に関心がありますか。【1つに〇】

市議会への関心度については、「ある(10.6%)」、「どちらかといえばある(34.4%)」を合わせた『関心がある(計)』が45.0%に対し、「どちらかといえばない(33.6%)」、「ない(19.2%)」を合わせた『関心がない(計)』が52.8%となっています。



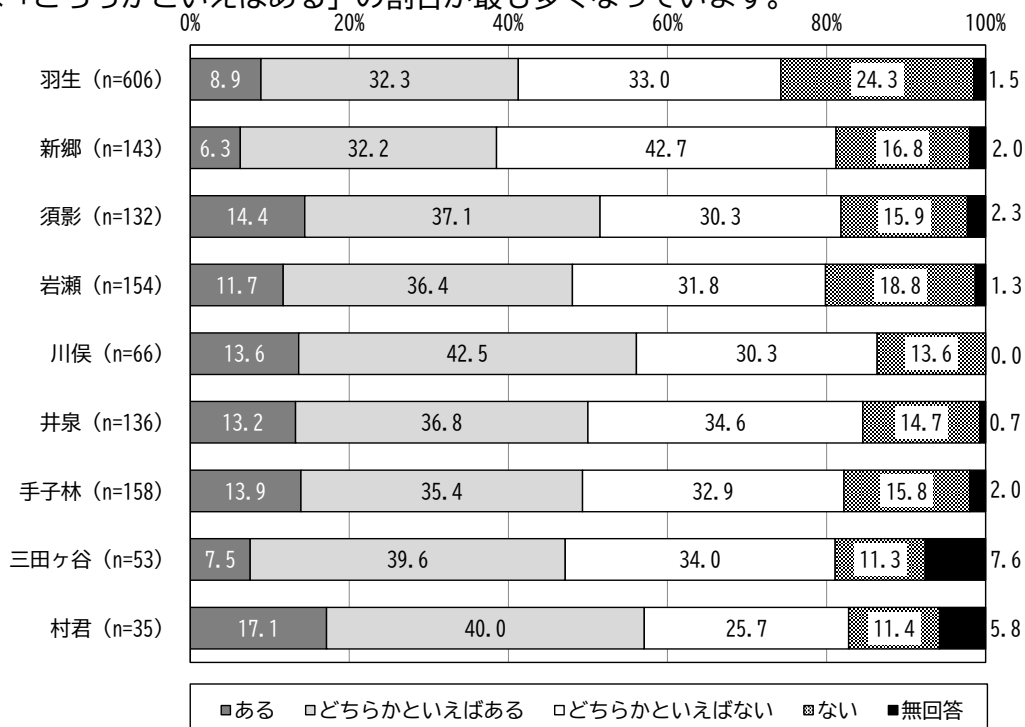
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『50歳以上』では「どちらかといえばある」、「18～39歳」では「ない」の割合が最も多くなっています。



【居住地区別集計】

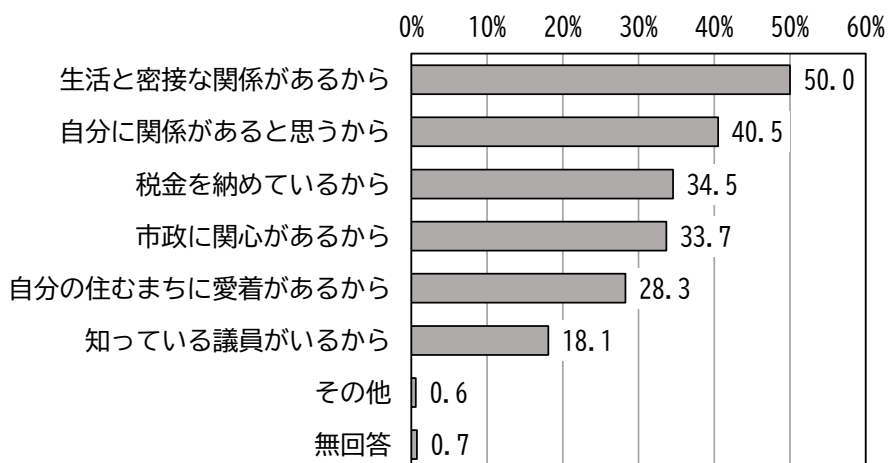
居住地区別の割合を見ると、『羽生』、『新郷』では「どちらかといえばない」、それ以外の地区では「どちらかといえばある」の割合が最も多くなっています。



問 29 で「(関心が) ある」、「(関心が) どちらかといえばある」のいずれかを選択した方のみ回答

問 29-a その理由を教えてください。【いくつでも〇】

市議会へ関心がある理由については、「生活と密接な関係があるから」が 50.0%と最も多く、次いで、「自分に関係があると思うから」が 40.5%、「税金を納めているから」が 34.5%となっています。



項目	n	%
生活と密接な関係があるから	343	50.0%
自分に関係があると思うから	278	40.5%
税金を納めているから	237	34.5%
市政に関心があるから	231	33.7%
自分の住むまちに愛着があるから	194	28.3%
知っている議員がいるから	124	18.1%
その他	4	0.6%
無回答	5	0.7%
回答者数	686	
非該当	839	
合計	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『18～29歳』、『50～59歳』、『60歳以上』では「生活と密接な関係があるから」、『30～39歳』では「税金を納めているから」、『40～49歳』では「自分に関係があると思うから」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	自分に関係があると思うから	知っているから議員が	生活と密接な関係があるから	愛着があるから	自分の住むまちに	税金を納めているから	市政に関心があるから	その他	無回答	回答者数	非該当
18～29歳	20 36.4%	5 9.1%	23 41.8%	10 18.2%	15 27.3%	12 21.8%	0 0.0%	0 0.0%	55	106	
30～39歳	30 49.2%	8 13.1%	30 49.2%	13 21.3%	33 54.1%	14 23.0%	0 0.0%	0 0.0%	61	118	
40～49歳	33 48.5%	11 16.2%	27 39.7%	17 25.0%	32 47.1%	21 30.9%	0 0.0%	0 0.0%	68	123	
50～59歳	39 39.8%	17 17.3%	52 53.1%	17 17.3%	49 50.0%	25 25.5%	1 1.0%	0 0.0%	98	105	
60歳以上	156 38.8%	83 20.6%	209 52.0%	137 34.1%	106 26.4%	159 39.6%	3 0.7%	5 1.2%	402	373	

【居住地区別集計】

居住地区別の割合を見ると、『羽生』、『須影』、『岩瀬』、『川俣』、『井泉』、『手子林』、『村君』では「生活と密接な関係があるから」、『新郷』では「税金を納めているから」、『三田ヶ谷』では「自分に関係があると思うから」と「生活と密接な関係があるから」の割合が最も多くなっています。

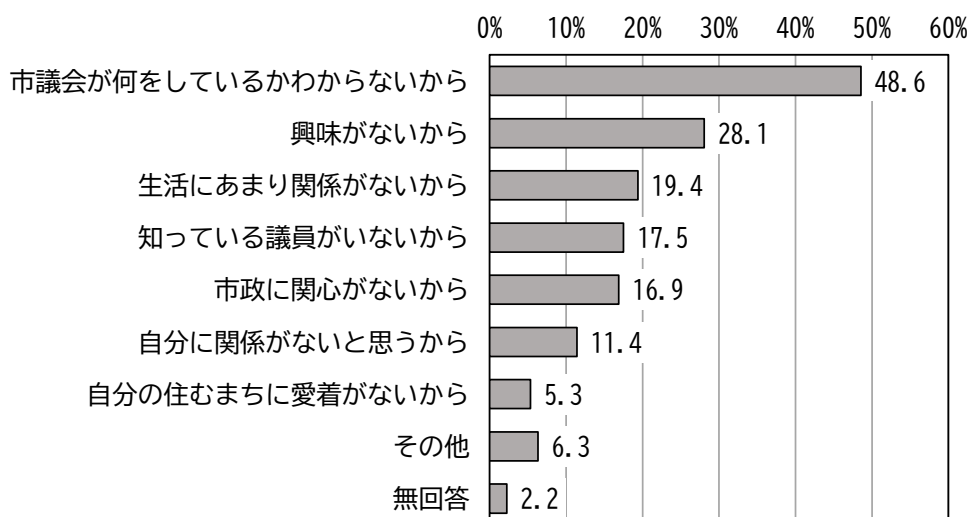
(上段：n、下段：%)

	自分に関係があると思うから	知っているから議員が	生活と密接な関係があるから	愛着があるから	自分の住むまちに	税金を納めているから	市政に関心があるから	その他	無回答	回答者数	非該当
羽生	105 42.0%	23 9.2%	124 49.6%	78 31.2%	94 37.6%	81 32.4%	3 1.2%	2 0.8%	250	356	
新郷	21 38.2%	13 23.6%	22 40.0%	14 25.5%	23 41.8%	18 32.7%	0 0.0%	0 0.0%	55	88	
須影	28 41.2%	18 26.5%	32 47.1%	20 29.4%	15 22.1%	25 36.8%	0 0.0%	0 0.0%	68	64	
岩瀬	31 41.9%	14 18.9%	39 52.7%	20 27.0%	21 28.4%	27 36.5%	0 0.0%	1 1.4%	74	80	
川俣	12 32.4%	9 24.3%	22 59.5%	8 21.6%	14 37.8%	11 29.7%	0 0.0%	0 0.0%	37	29	
井泉	23 33.8%	20 29.4%	36 52.9%	18 26.5%	19 27.9%	24 35.3%	1 1.5%	2 2.9%	68	68	
手子林	33 42.3%	12 15.4%	40 51.3%	26 33.3%	35 44.9%	27 34.6%	0 0.0%	0 0.0%	78	80	
三田ヶ谷	12 48.0%	9 36.0%	12 48.0%	4 16.0%	4 16.0%	5 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	25	28	
村君	10 50.0%	3 15.0%	11 55.0%	3 15.0%	7 35.0%	10 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	20	15	

問 29 で「(関心が) どちらかといえない」、「(関心が) ない」のいずれかを選択した方のみ回答

問 29- b その理由を教えてください。【いくつでも○】

市議会へ関心がない理由については、「市議会が何をしているかわからないから」が 48.6% と最も多く、次いで、「興味がないから」が 28.1%、「生活にあまり関係がないから」が 19.4% となっています。



項目	n	%
市議会が何をしているかわからないから	391	48.6%
興味がないから	226	28.1%
生活にあまり関係がないから	156	19.4%
知っている議員がないから	141	17.5%
市政に関心がないから	136	16.9%
自分に関係がないと思うから	92	11.4%
自分の住むまちに愛着がないから	43	5.3%
その他	51	6.3%
無回答	18	2.2%
回答者数	805	
非該当	720	
合計	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「市議会が何をしているかわからないから」、「興味がないから」の割合が多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	自分から関係がないと思	知っている議員がいな	生活にあまり関係がな	自分の住むまちに愛着	市議会が何をしている	興味がないから	市議会が何をしている	興味がないから	その他	無回答	回答者数	非該当
18～29歳	9 8.5%	23 21.7%	11 10.4%	6 5.7%	51 48.1%	41 38.7%	18 17.0%	3 2.8%	1 0.9%	106	55	
30～39歳	15 12.8%	25 21.4%	17 14.5%	8 6.8%	57 48.7%	36 30.8%	11 9.4%	9 7.7%	2 1.7%	117	62	
40～49歳	8 6.6%	8 6.6%	12 9.8%	8 6.6%	62 50.8%	43 35.2%	22 18.0%	10 8.2%	0 0.0%	122	69	
50～59歳	6 5.8%	13 12.6%	21 20.4%	4 3.9%	54 52.4%	27 26.2%	18 17.5%	11 10.7%	2 1.9%	103	100	
60歳以上	53 15.2%	72 20.6%	93 26.6%	17 4.9%	161 46.1%	79 22.6%	65 18.6%	18 5.2%	13 3.7%	349	426	

【居住地区別集計】

居住地区別の割合を見ると、『岩瀬』では「興味がないから」、それ以外の地区では「市議会が何をしているかわからないから」、の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

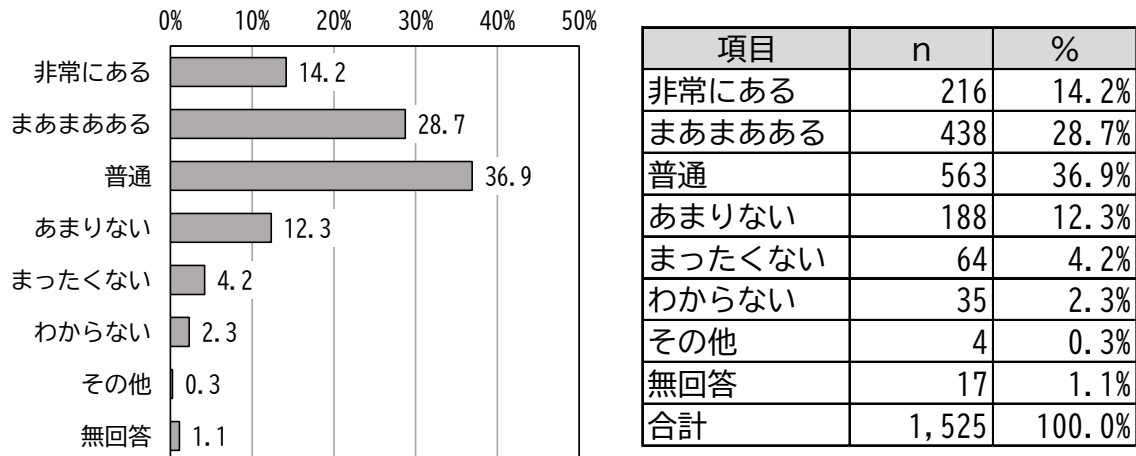
	自分から関係がないと思	知っている議員がいな	生活にあまり関係がな	自分の住むまちに愛着	市議会が何をしている	興味がないから	市議会が何をしている	興味がないから	その他	無回答	回答者数	非該当
羽生	43 12.4%	75 21.6%	73 21.0%	15 4.3%	164 47.3%	100 28.8%	43 12.4%	22 6.3%	2 0.6%	347	259	
新郷	7 8.2%	14 16.5%	16 18.8%	2 2.4%	46 54.1%	24 28.2%	20 23.5%	8 9.4%	3 3.5%	85	58	
須影	8 13.1%	4 6.6%	10 16.4%	3 4.9%	34 55.7%	16 26.2%	16 26.2%	2 3.3%	4 6.6%	61	71	
岩瀬	7 9.0%	18 23.1%	13 16.7%	8 10.3%	26 33.3%	28 35.9%	16 20.5%	3 3.8%	3 3.8%	78	76	
川俣	5 17.2%	3 10.3%	3 10.3%	3 10.3%	21 72.4%	5 17.2%	2 6.9%	2 6.9%	1 3.4%	29	37	
井泉	5 7.5%	11 16.4%	12 17.9%	5 7.5%	32 47.8%	20 29.9%	8 11.9%	3 4.5%	1 1.5%	67	69	
手子林	10 13.0%	11 14.3%	16 20.8%	4 5.2%	37 48.1%	19 24.7%	20 26.0%	7 9.1%	1 1.3%	77	81	
三田ヶ谷	6 25.0%	1 4.2%	11 45.8%	1 4.2%	12 50.0%	5 20.8%	4 16.7%	1 4.2%	1 4.2%	24	29	
村君	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	5 38.5%	4 30.8%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	13	22	

7. 選挙について

問 30 政治や選挙にどの程度関心がありますか。【1つに○】

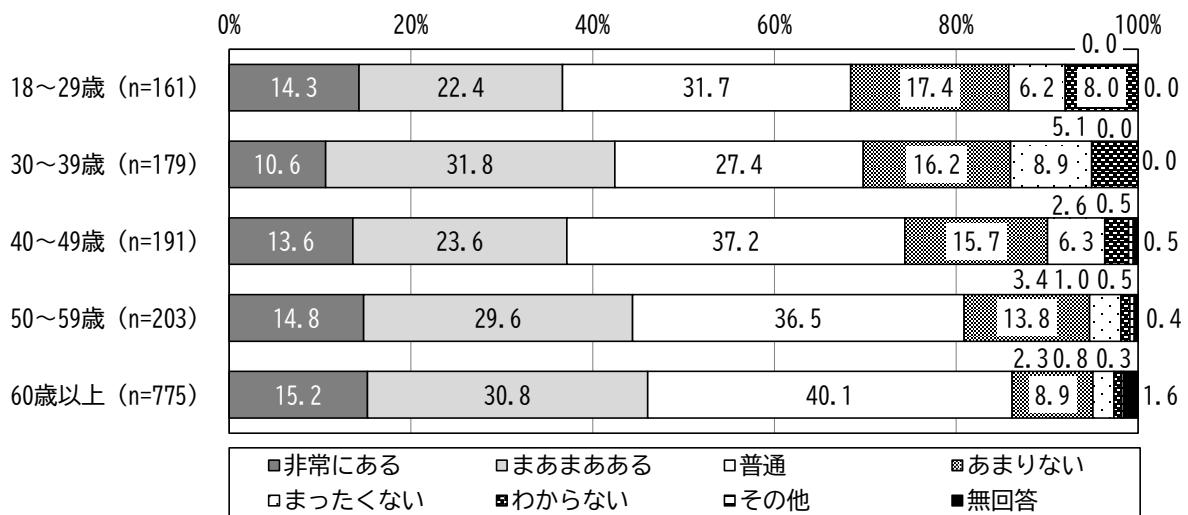
政治や選挙への関心度については「非常にある（14.2%）」、「まあまあある（28.7%）」を合わせた『関心がある（計）』が42.9%に対し、「あまりない（12.3%）」、「まったくない（4.2%）」を合わせた『関心がない（計）』が16.5%となっています。

また、「普通」が36.9%、「わからない」が2.3%となっています。



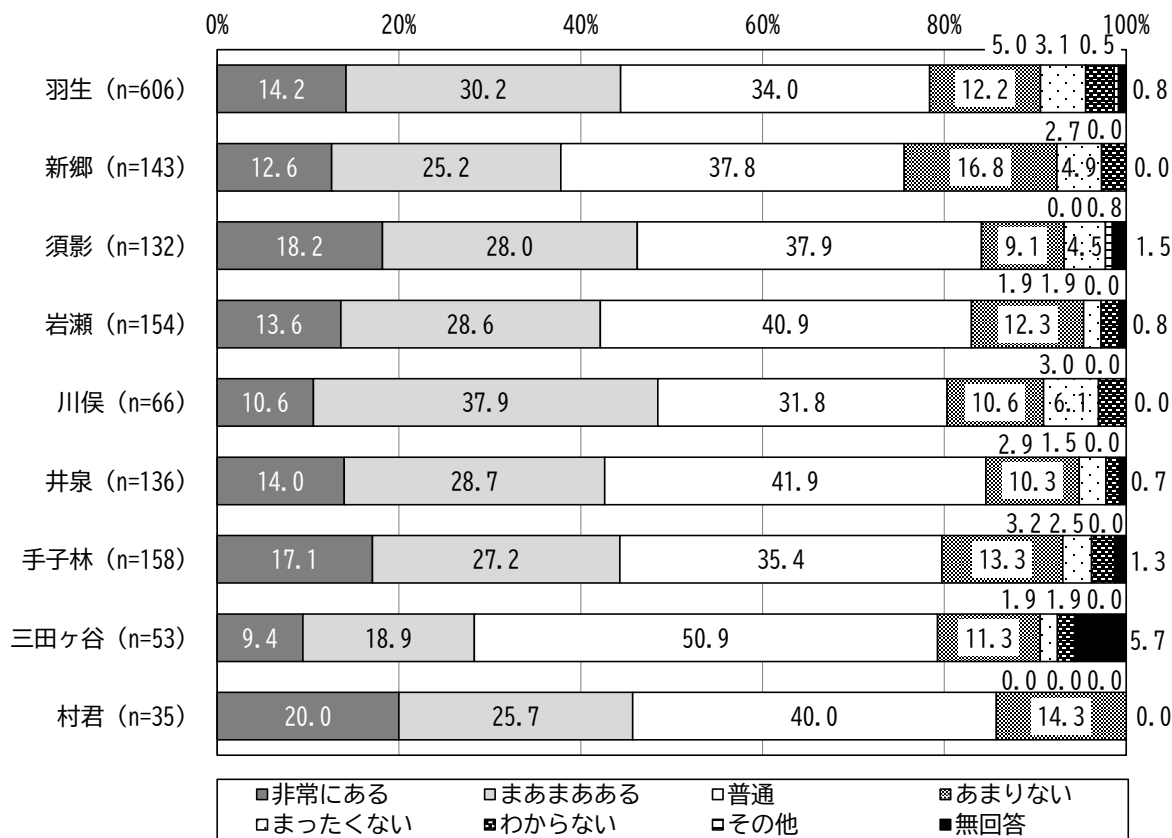
【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『18～29歳』、『40歳以上』では「普通」、『30～39歳』では「まあまあある」の割合が最も多くなっています。



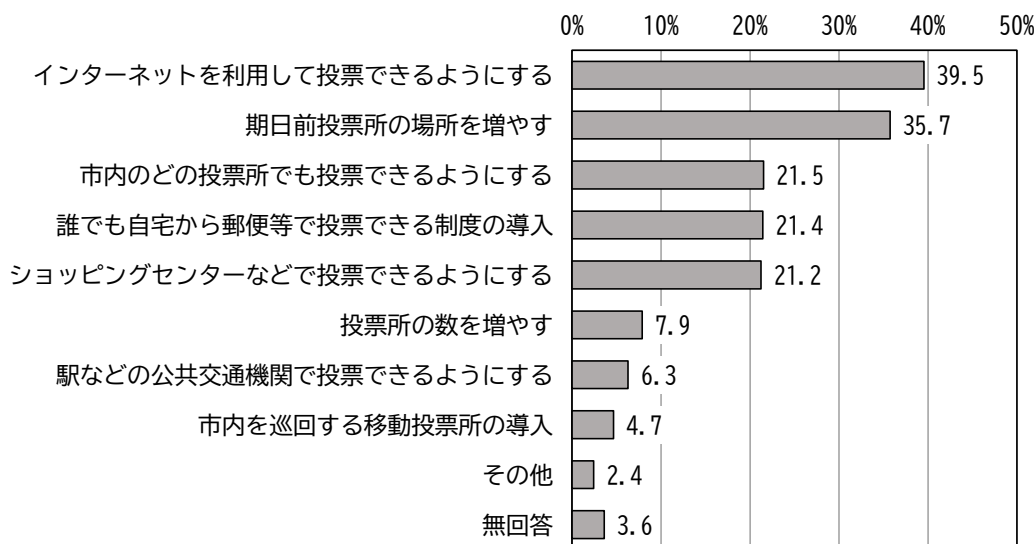
【居住地区別集計】

居住地区別の割合を見ると、『川俣』では「まあまあある」、それ以外の地区では「普通」の割合が最も多くなっています。



問 31 投票しやすい環境として有効な手段はどの手段だと思えますか。【2つまで〇】

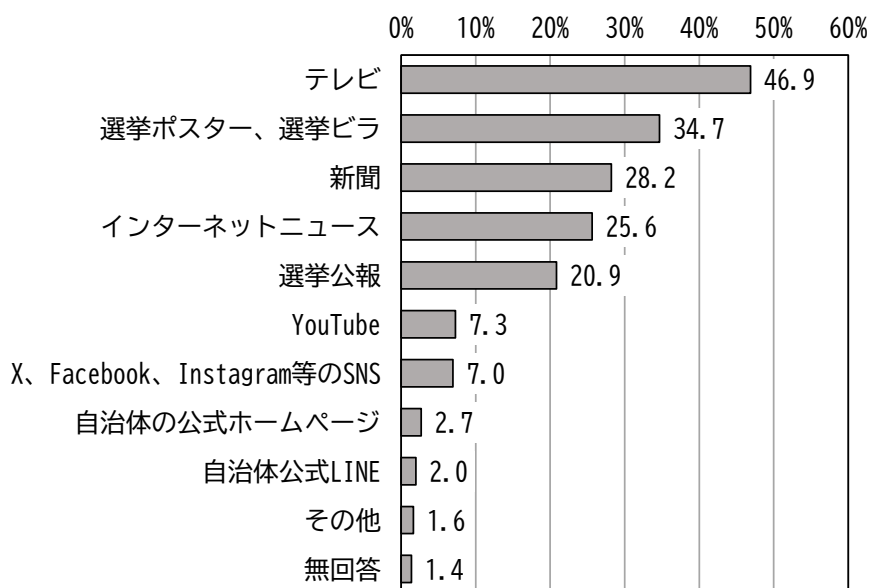
投票しやすい環境として有効な手段については、「インターネットを利用して投票できるようにする」が 39.5%と最も多く、次いで、「期日前投票所の場所を増やす」が 35.7%、「市内のどの投票所でも投票できるようにする」が 21.5%となっています。



項目	n	%
インターネットを利用して投票できるようにする	603	39.5%
期日前投票所の場所を増やす	545	35.7%
市内のどの投票所でも投票できるようにする	328	21.5%
誰でも自宅から郵便等で投票できる制度の導入	327	21.4%
ショッピングセンターなどで投票できるようにする	324	21.2%
投票所の数を増やす	120	7.9%
駅などの公共交通機関で投票できるようにする	96	6.3%
市内を巡回する移動投票所の導入	71	4.7%
その他	37	2.4%
無回答	55	3.6%
回答者数	1,525	

問 32 選挙に関する情報をどのような媒体から取得しますか。【2つまで〇】

選挙に関する情報の取得先については、「テレビ」が46.9%と最も多く、次いで、「選挙ポスター、選挙ビラ」が34.7%、「新聞」が28.2%となっています。



項目	n	%
テレビ	715	46.9%
選挙ポスター、選挙ビラ	529	34.7%
新聞	430	28.2%
インターネットニュース	391	25.6%
選挙公報	318	20.9%
YouTube	111	7.3%
X、Facebook、Instagram等のSNS	106	7.0%
自治体の公式ホームページ	41	2.7%
自治体公式LINE	30	2.0%
その他	25	1.6%
無回答	21	1.4%
回答者数	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『18～39歳』では「インターネットニュース」、『40歳以上』では『テレビ』の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	新聞	テレビ	インターネットニュース	YouTube	選挙ポスター、選挙ビラ	選挙公報	SNS	X、Facebook、Instagram等の	自治体公式LINE	自治体の公式ホームページ	その他	無回答	回答者数
18～29歳	15 9.3%	68 42.2%	71 44.1%	21 13.0%	34 21.1%	12 7.5%	42 26.1%	1 0.6%	5 3.1%	5 3.1%	1 0.6%	161	
30～39歳	7 3.9%	81 45.3%	99 55.3%	32 17.9%	46 25.7%	15 8.4%	26 14.5%	3 1.7%	5 2.8%	3 1.7%	0 0.0%	179	
40～49歳	18 9.4%	91 47.6%	77 40.3%	26 13.6%	58 30.4%	21 11.0%	22 11.5%	3 1.6%	6 3.1%	5 2.6%	1 0.5%	191	
50～59歳	36 17.7%	99 48.8%	61 30.0%	8 3.9%	85 41.9%	30 14.8%	8 3.9%	7 3.4%	7 3.4%	5 2.5%	3 1.5%	203	
60歳以上	349 45.0%	371 47.9%	83 10.7%	24 3.1%	300 38.7%	238 30.7%	8 1.0%	16 2.1%	18 2.3%	7 0.9%	12 1.5%	775	

【居住地区別集計】

居住地区別の割合を見ると、すべての地区で「テレビ」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

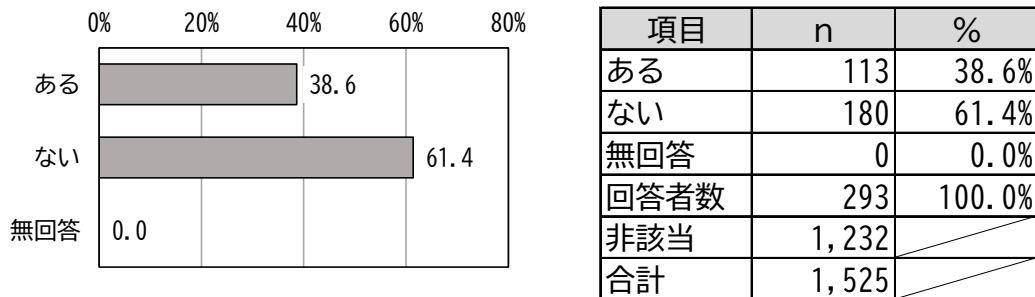
	新聞	テレビ	インターネットニュース	YouTube	選挙ポスター、選挙ビラ	選挙公報	SNS	X、Facebook、Instagram等の	自治体公式LINE	自治体の公式ホームページ	その他	無回答	回答者数
羽生	144 23.8%	269 44.4%	181 29.9%	52 8.6%	207 34.2%	125 20.6%	50 8.3%	10 1.7%	21 3.5%	11 1.8%	3 0.5%	606	
新郷	39 27.3%	74 51.7%	46 32.2%	8 5.6%	43 30.1%	26 18.2%	9 6.3%	4 2.8%	2 1.4%	3 2.1%	0 0.0%	143	
須影	40 30.3%	63 47.7%	31 23.5%	8 6.1%	43 32.6%	31 23.5%	11 8.3%	3 2.3%	2 1.5%	1 0.8%	4 3.0%	132	
岩瀬	43 27.9%	86 55.8%	35 22.7%	13 8.4%	55 35.7%	22 14.3%	11 7.1%	3 1.9%	3 1.9%	2 1.3%	3 1.9%	154	
川俣	26 39.4%	32 48.5%	14 21.2%	6 9.1%	22 33.3%	12 18.2%	3 4.5%	2 3.0%	2 3.0%	1 1.5%	1 1.5%	66	
井泉	44 32.4%	66 48.5%	27 19.9%	12 8.8%	48 35.3%	34 25.0%	8 5.9%	2 1.5%	2 1.5%	4 2.9%	1 0.7%	136	
手子林	57 36.1%	70 44.3%	24 15.2%	7 4.4%	60 38.0%	40 25.3%	8 5.1%	4 2.5%	4 2.5%	3 1.9%	2 1.3%	158	
三田ヶ谷	17 32.1%	25 47.2%	12 22.6%	1 1.9%	19 35.8%	16 30.2%	2 3.8%	0 0.0%	3 5.7%	0 0.0%	2 3.8%	53	
村君	9 25.7%	15 42.9%	10 28.6%	2 5.7%	13 37.1%	5 14.3%	3 8.6%	2 5.7%	2 5.7%	0 0.0%	1 2.9%	35	

8. 文化・スポーツについて

未就学児の保護者の方のみ回答

問 33 小さい頃から身近に本がある環境で育った子どもは読書好きになるというデータがあります。あなたの家には、子どもが読書を楽しめる「おうち図書館※」はありますか。【1つに○】

「おうち図書館」の有無については、「ある」が 38.6%に対し、「ない」が 61.4%となっています。

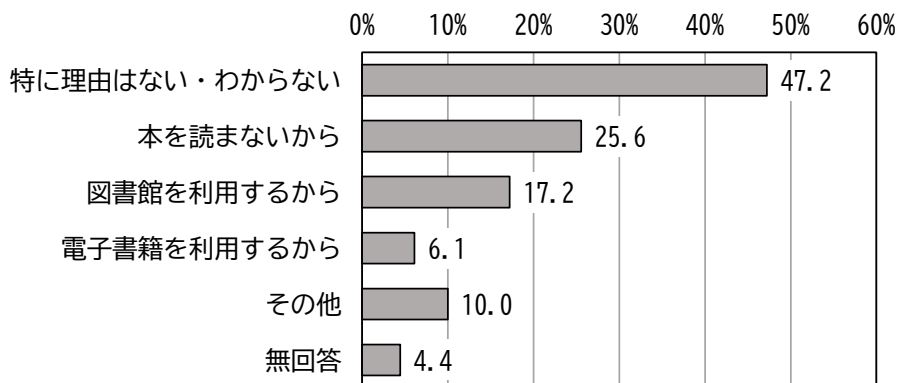


※おうち図書館とは、家にいつでも本に触れることが出来る読書コーナーをつくることです。

問 33 で「(おうち図書館が) ない」を選択した方のみ回答

問 33-a その理由を教えてください。【いくつでも○】

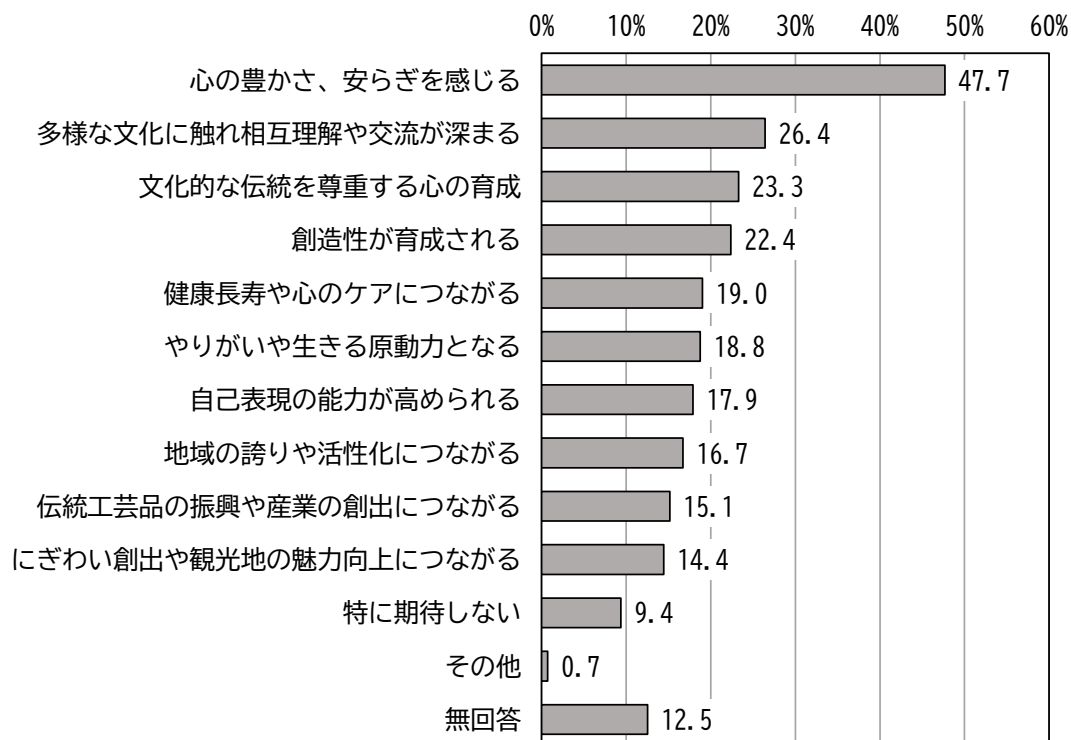
「おうち図書館」がない理由については、「特に理由はない・わからない」が 47.2%と最も多く、次いで、「本を読まないから」が 25.6%、「図書館を利用するから」が 17.2%となっています。



項目	n	%
特に理由はない・わからない	85	47.2%
本を読まないから	46	25.6%
図書館を利用するから	31	17.2%
電子書籍を利用するから	11	6.1%
その他	18	10.0%
無回答	8	4.4%
回答者数	180	
非該当	1,345	
合計	1,525	

問 34 近年、文化芸術には教育や産業など様々な面での可能性が期待されています。あなたが文化芸術に期待するものはなんですか。【いくつでも○】

文化芸術に期待するものについては、「心の豊かさ、安らぎを感じる」が 47.7%と最も多く、次いで、「多様な文化に触れ相互理解や交流が深まる」が 26.4%、「文化的な伝統を尊重する心の育成」が 23.3%となっています。



項目	n	%
心の豊かさ、安らぎを感じる	727	47.7%
多様な文化に触れ相互理解や交流が深まる	403	26.4%
文化的な伝統を尊重する心の育成	355	23.3%
創造性が育成される	341	22.4%
健康長寿や心のケアにつながる	290	19.0%
やりがいや生きる原動力となる	286	18.8%
自己表現の能力が高められる	273	17.9%
地域の誇りや活性化につながる	255	16.7%
伝統工芸品の振興や産業の創出につながる	231	15.1%
にぎわい創出や観光地の魅力向上につながる	220	14.4%
特に期待しない	143	9.4%
その他	11	0.7%
無回答	191	12.5%
回答者数	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「心の豊かさ、安らぎを感じる」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	感じる心の豊かさ、安らぎを	力となるやりのやいや生きる原動力	理解や交流が深まる	多様な文化に触れ相互	創造性が育成される	の魅力を向上につなげる	にぎわい創出や観光地	られる自己表現の能力が高め	る文化的な伝統を尊重す	つながる地域の誇りや活性化に	つながる健康長寿や心のケアに	業の創出に振興や産	特に期待しない	その他	無回答	回答者数
18～29歳	72 44.7%	30 18.6%	48 29.8%	35 21.7%	20 12.4%	37 23.0%	31 19.3%	21 13.0%	17 10.6%	18 11.2%	25 15.5%	1 0.6%	9 5.6%	161		
30～39歳	99 55.3%	45 25.1%	68 38.0%	63 35.2%	33 18.4%	69 38.5%	41 22.9%	33 18.4%	29 16.2%	28 15.6%	19 10.6%	1 0.6%	6 3.4%	179		
40～49歳	84 44.0%	45 23.6%	44 23.0%	60 31.4%	30 15.7%	47 24.6%	57 29.8%	38 19.9%	29 15.2%	32 16.8%	21 11.0%	2 1.0%	13 6.8%	191		
50～59歳	102 50.2%	30 14.8%	49 24.1%	47 23.2%	33 16.3%	27 13.3%	54 26.6%	36 17.7%	29 14.3%	36 17.7%	21 10.3%	3 1.5%	16 7.9%	203		
60歳以上	366 47.2%	134 17.3%	193 24.9%	135 17.4%	103 13.3%	92 11.9%	170 21.9%	127 16.4%	184 23.7%	117 15.1%	55 7.1%	4 0.5%	139 17.9%	775		

【居住地区別集計】

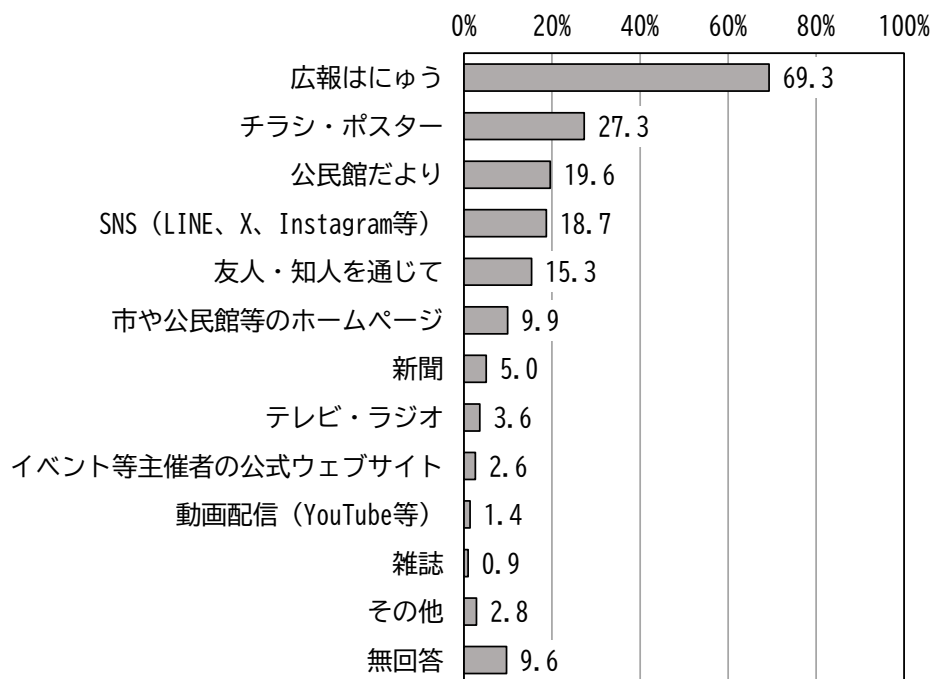
居住地区別の割合を見ると、すべての地区で「心の豊かさ、安らぎを感じる」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	感じる心の豊かさ、安らぎを	力となるやりのやいや生きる原動力	理解や交流が深まる	多様な文化に触れ相互	創造性が育成される	の魅力を向上につなげる	にぎわい創出や観光地	られる自己表現の能力が高め	る文化的な伝統を尊重す	つながる地域の誇りや活性化に	つながる健康長寿や心のケアに	業の創出に振興や産	特に期待しない	その他	無回答	回答者数
羽生	294 48.5%	118 19.5%	167 27.6%	143 23.6%	98 16.2%	119 19.6%	138 22.8%	99 16.3%	110 18.2%	76 12.5%	66 10.9%	6 1.0%	62 10.2%	606		
新郷	80 55.9%	24 16.8%	40 28.0%	36 25.2%	21 14.7%	26 18.2%	32 22.4%	24 16.8%	30 21.0%	24 16.8%	11 7.7%	0 0.0%	19 13.3%	143		
須影	65 49.2%	25 18.9%	38 28.8%	29 22.0%	18 13.6%	19 14.4%	46 34.8%	29 22.0%	26 19.7%	36 27.3%	10 7.6%	1 0.8%	11 8.3%	132		
岩瀬	68 44.2%	21 13.6%	39 25.3%	30 19.5%	27 17.5%	21 13.6%	30 19.5%	30 19.5%	30 19.5%	32 20.8%	15 9.7%	0 0.0%	21 13.6%	154		
川俣	25 37.9%	8 12.1%	14 21.2%	11 16.7%	7 10.6%	8 12.1%	20 30.3%	13 19.7%	14 21.2%	9 13.6%	7 10.6%	1 1.5%	8 12.1%	66		
井泉	62 45.6%	33 24.3%	30 22.1%	31 22.8%	15 11.0%	25 18.4%	29 21.3%	24 17.6%	20 14.7%	15 11.0%	13 9.6%	1 0.7%	21 15.4%	136		
手子林	83 52.5%	26 16.5%	45 28.5%	35 22.2%	22 13.9%	33 20.9%	34 21.5%	22 13.9%	33 20.9%	24 15.2%	8 5.1%	1 0.6%	20 12.7%	158		
三田ヶ谷	24 45.3%	14 26.4%	14 26.4%	14 26.4%	5 9.4%	8 15.1%	13 24.5%	7 13.2%	11 20.8%	9 17.0%	5 9.4%	0 0.0%	7 13.2%	53		
村君	12 34.3%	7 20.0%	10 28.6%	8 22.9%	4 11.4%	7 20.0%	6 17.1%	5 14.3%	8 22.9%	5 14.3%	5 14.3%	0 0.0%	7 20.0%	35		

問 35 羽生市内での文化芸術に関する情報（イベント・講座・企画・鑑賞等）をどんなところから得ていますか。【いくつでも○】

市内の文化芸術に関する情報の入手先については、「広報はにゅう」が 69.3%と最も多く、次いで、「チラシ・ポスター」が 27.3%、「公民館だより」が 19.6%となっています。



項目	n	%
広報はにゅう	1,057	69.3%
チラシ・ポスター	417	27.3%
公民館だより	299	19.6%
SNS (LINE、X、Instagram等)	285	18.7%
友人・知人を通じて	234	15.3%
市や公民館等のホームページ	151	9.9%
新聞	77	5.0%
テレビ・ラジオ	55	3.6%
イベント等主催者の公式ウェブサイト	39	2.6%
動画配信 (YouTube等)	21	1.4%
雑誌	14	0.9%
その他	43	2.8%
無回答	147	9.6%
回答者数	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「広報はにゅう」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	広報はにゅう	公民館だより	市や公民館等のホームページ	チラシ・ポスター	INS(Instagram、X、LINE等)	動画配信(YouTube等)	イベント等主催者の公式ウェブサイト	新聞	雑誌	テレビ・ラジオ	友人・知人を通じて	その他	無回答	回答者数
18～29歳	61 37.9%	10 6.2%	14 8.7%	49 30.4%	32 19.9%	5 3.1%	4 2.5%	1 0.6%	1 0.6%	4 2.5%	23 14.3%	9 5.6%	12 7.5%	161
30～39歳	93 52.0%	16 8.9%	21 11.7%	50 27.9%	62 34.6%	5 2.8%	7 3.9%	2 1.1%	2 1.1%	6 3.4%	29 16.2%	10 5.6%	7 3.9%	179
40～49歳	126 66.0%	17 8.9%	10 5.2%	47 24.6%	53 27.7%	2 1.0%	6 3.1%	2 1.0%	0 0.0%	3 1.6%	22 11.5%	9 4.7%	10 5.2%	191
50～59歳	145 71.4%	26 12.8%	20 9.9%	59 29.1%	50 24.6%	4 2.0%	7 3.4%	4 2.0%	1 0.5%	4 2.0%	22 10.8%	4 2.0%	14 6.9%	203
60歳以上	625 80.6%	229 29.5%	86 11.1%	211 27.2%	88 11.4%	5 0.6%	15 1.9%	68 8.8%	10 1.3%	37 4.8%	136 17.5%	11 1.4%	96 12.4%	775

【居住地区別集計】

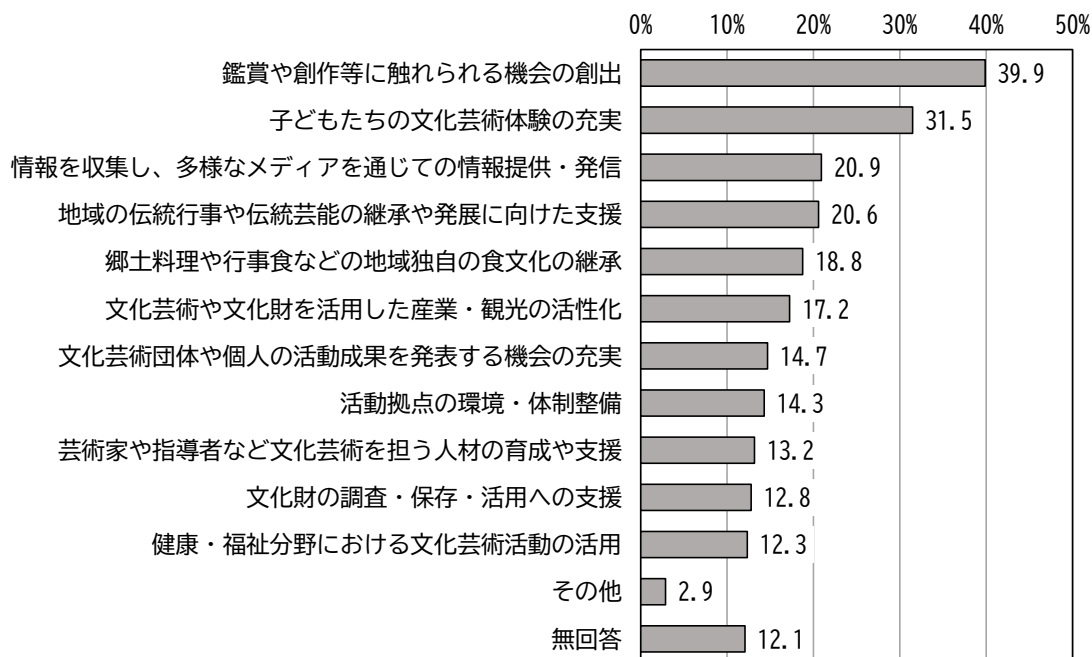
居住地区別の割合を見ると、すべての地区で「広報はにゅう」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	広報はにゅう	公民館だより	市や公民館等のホームページ	チラシ・ポスター	INS(Instagram、X、LINE等)	動画配信(YouTube等)	イベント等主催者の公式ウェブサイト	新聞	雑誌	テレビ・ラジオ	友人・知人を通じて	その他	無回答	回答者数
羽生	393 64.9%	48 7.9%	65 10.7%	203 33.5%	117 19.3%	14 2.3%	16 2.6%	25 4.1%	8 1.3%	23 3.8%	96 15.8%	16 2.6%	50 8.3%	606
新郷	95 66.4%	38 26.6%	14 9.8%	33 23.1%	25 17.5%	1 0.7%	2 1.4%	4 2.8%	0 0.0%	3 2.1%	22 15.4%	7 4.9%	17 11.9%	143
須影	103 78.0%	48 36.4%	10 7.6%	31 23.5%	28 21.2%	1 0.8%	5 3.8%	10 7.6%	1 0.8%	4 3.0%	21 15.9%	4 3.0%	7 5.3%	132
岩瀬	115 74.7%	35 22.7%	14 9.1%	34 22.1%	23 14.9%	2 1.3%	6 3.9%	9 5.8%	0 0.0%	5 3.2%	21 13.6%	6 3.9%	14 9.1%	154
川俣	49 74.2%	16 24.2%	4 6.1%	18 27.3%	9 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	4 6.1%	1 1.5%	3 4.5%	13 19.7%	2 3.0%	8 12.1%	66
井泉	110 80.9%	33 24.3%	10 7.4%	28 20.6%	20 14.7%	0 0.0%	2 1.5%	8 5.9%	0 0.0%	7 5.1%	20 14.7%	1 0.7%	14 10.3%	136
手子林	106 67.1%	46 29.1%	20 12.7%	40 25.3%	39 24.7%	1 0.6%	5 3.2%	7 4.4%	1 0.6%	6 3.8%	20 12.7%	5 3.2%	12 7.6%	158
三田ヶ谷	40 75.5%	19 35.8%	7 13.2%	12 22.6%	8 15.1%	1 1.9%	2 3.8%	6 11.3%	2 3.8%	2 3.8%	11 20.8%	0 0.0%	6 11.3%	53
村君	24 68.6%	11 31.4%	4 11.4%	6 17.1%	9 25.7%	1 2.9%	0 0.0%	2 5.7%	0 0.0%	2 5.7%	5 14.3%	1 2.9%	6 17.1%	35

問 36 羽生市の文化芸術振興における施策として、今後、どのような取り組みが必要だと思いますか。
【いくつでも〇】

文化芸術振興における施策として今後必要な取り組みについては、「鑑賞や創作等に触れられる機会の創出」が 39.9%と最も多く、次いで、「子どもたちの文化芸術体験の充実」が 31.5%、「情報を収集し、多様なメディアを通じての情報提供・発信」が 20.9%となっています。



項目	n	%
鑑賞や創作等に触れられる機会の創出	608	39.9%
子どもたちの文化芸術体験の充実	480	31.5%
情報を収集し、多様なメディアを通じての情報提供・発信	319	20.9%
地域の伝統行事や伝統芸能の継承や発展に向けた支援	314	20.6%
郷土料理や行事食などの地域独自の食文化の継承	286	18.8%
文化芸術や文化財を活用した産業・観光の活性化	263	17.2%
文化芸術団体や個人の活動成果を発表する機会の充実	224	14.7%
活動拠点の環境・体制整備	218	14.3%
芸術家や指導者など文化芸術を担う人材の育成や支援	201	13.2%
文化財の調査・保存・活用への支援	195	12.8%
健康・福祉分野における文化芸術活動の活用	188	12.3%
その他	44	2.9%
無回答	184	12.1%
回答者数	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『40～49歳』では「子どもたちの文化芸術体験の充実」、それ以外の年齢では「鑑賞や創作等に触れられる機会の創出」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	鑑賞や創作等に触れられる機会の創出	文化芸術団体や個人による活動成果の発表	文化芸術団体の環境整備	子どもたちの文化芸術体験の充実	文化財の調査・保存・活用への支援	地域への伝統行事や文化芸術の継承・発展に向けた支援	地域での伝統行事や文化芸術の担い手育成や支援	芸術家や指導者などの育成や支援	文化芸術の担い手育成や支援	情報提供・発信	情報収集し、多様なメディアを通じて	活用	健康・福祉分野における文化芸術活動	地域の継承	郷土料理や行事食など独自の食文化	活用した産業・観光	文化芸術や文化財	その他	無回答	回答者数
18～29歳	59 36.6%	11 6.8%	20 12.4%	55 34.2%	13 8.1%	25 15.5%	9 5.6%	36 22.4%	15 9.3%	40 24.8%	20 12.4%	3 1.9%	10 6.2%	161						
30～39歳	91 50.8%	26 14.5%	37 20.7%	77 43.0%	26 14.5%	29 16.2%	29 16.2%	53 29.6%	18 10.1%	37 20.7%	31 17.3%	3 1.7%	8 4.5%	179						
40～49歳	72 37.7%	22 11.5%	20 10.5%	78 40.8%	29 15.2%	29 15.2%	28 14.7%	38 19.9%	16 8.4%	40 20.9%	24 12.6%	10 5.2%	13 6.8%	191						
50～59歳	86 42.4%	31 15.3%	31 15.3%	60 29.6%	28 13.8%	39 19.2%	28 13.8%	53 26.1%	17 8.4%	43 21.2%	40 19.7%	9 4.4%	16 7.9%	203						
60歳以上	296 38.2%	134 17.3%	110 14.2%	208 26.8%	97 12.5%	191 24.6%	106 13.7%	139 17.9%	122 15.7%	124 16.0%	147 19.0%	18 2.3%	129 16.6%	775						

【居住地区別集計】

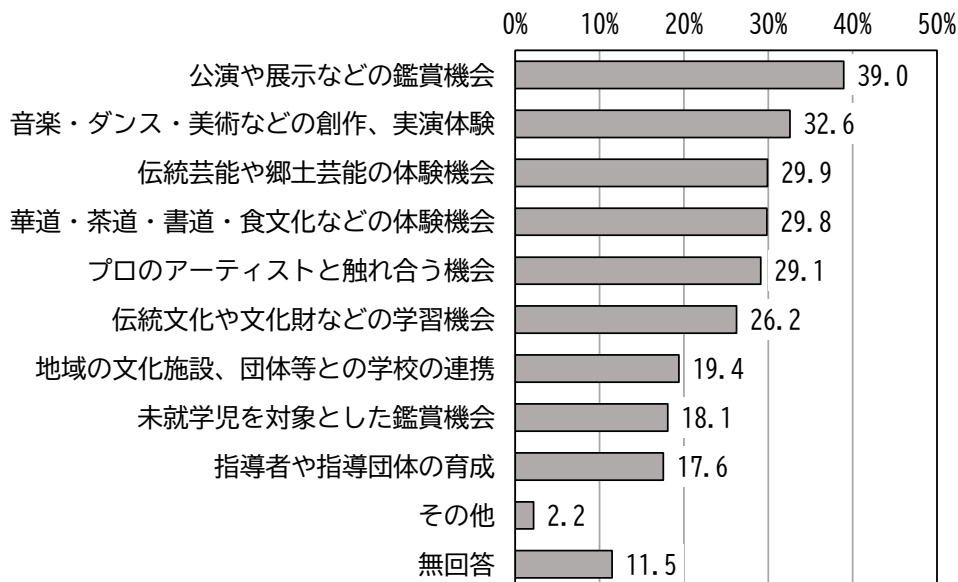
居住地区別の割合を見ると、すべての地区で「鑑賞や創作等に触れられる機会の創出」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	鑑賞や創作等に触れられる機会の創出	文化芸術団体や個人による活動成果の発表	文化芸術団体の環境整備	子どもたちの文化芸術体験の充実	文化財の調査・保存・活用への支援	地域への伝統行事や文化芸術の継承・発展に向けた支援	地域での伝統行事や文化芸術の担い手育成や支援	芸術家や指導者などの育成や支援	文化芸術の担い手育成や支援	情報提供・発信	情報収集し、多様なメディアを通じて	活用	健康・福祉分野における文化芸術活動	地域の継承	郷土料理や行事食など独自の食文化	活用した産業・観光	文化芸術や文化財	その他	無回答	回答者数
羽生	246 40.6%	97 16.0%	86 14.2%	195 32.2%	86 14.2%	122 20.1%	76 12.5%	145 23.9%	74 12.2%	124 20.5%	113 18.6%	18 3.0%	69 11.4%	606						
新郷	60 42.0%	17 11.9%	22 15.4%	42 29.4%	17 11.9%	25 17.5%	18 12.6%	37 25.9%	15 10.5%	27 18.9%	20 14.0%	4 2.8%	24 16.8%	143						
須影	54 40.9%	22 16.7%	16 12.1%	41 31.1%	20 15.2%	35 26.5%	18 13.6%	28 21.2%	23 17.4%	29 22.0%	28 21.2%	1 0.8%	10 7.6%	132						
岩瀬	56 36.4%	22 14.3%	18 11.7%	53 34.4%	16 10.4%	32 20.8%	26 16.9%	32 20.8%	29 18.8%	25 16.2%	33 21.4%	5 3.2%	13 8.4%	154						
川俣	26 39.4%	9 13.6%	4 6.1%	26 39.4%	8 12.1%	13 19.7%	7 10.6%	5 7.6%	8 12.1%	10 15.2%	9 13.6%	3 4.5%	9 13.6%	66						
井泉	51 37.5%	18 13.2%	26 19.1%	42 30.9%	17 12.5%	28 20.6%	22 16.2%	22 16.2%	14 10.3%	20 14.7%	21 15.4%	4 2.9%	19 14.0%	136						
手子林	69 43.7%	22 13.9%	26 16.5%	52 32.9%	16 10.1%	37 23.4%	17 10.8%	29 18.4%	16 10.1%	24 15.2%	21 13.3%	4 2.5%	14 8.9%	158						
三田ヶ谷	21 39.6%	9 17.0%	11 20.8%	15 28.3%	5 9.4%	11 20.8%	7 13.2%	12 22.6%	2 3.8%	13 24.5%	9 17.0%	0 0.0%	7 13.2%	53						
村君	11 31.4%	5 14.3%	5 14.3%	6 17.1%	9 25.7%	6 17.1%	4 11.4%	7 20.0%	3 8.6%	8 22.9%	5 14.3%	1 2.9%	5 14.3%	35						

問 37 子どもたちが文化芸術に親しむための取り組みについて、充実すべきことはどのようなことだと思いますか。【いくつでも○】

子どもたちが文化芸術に親しむため、充実すべきことについては、「公演や展示などの鑑賞機会」が 39.0%と最も多く、次いで、「音楽・ダンス・美術などの創作、実演体験」が 32.6%、「伝統芸能や郷土芸能の体験機会」が 29.9%となっています。



項目	n	%
公演や展示などの鑑賞機会	594	39.0%
音楽・ダンス・美術などの創作、実演体験	497	32.6%
伝統芸能や郷土芸能の体験機会	456	29.9%
華道・茶道・書道・食文化などの体験機会	455	29.8%
プロのアーティストと触れ合う機会	444	29.1%
伝統文化や文化財などの学習機会	400	26.2%
地域の文化施設、団体等との学校の連携	296	19.4%
未就学児を対象とした鑑賞機会	276	18.1%
指導者や指導団体の育成	268	17.6%
その他	33	2.2%
無回答	175	11.5%
回答者数	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『18～29歳』では、「華道・茶道・書道・食文化などの体験機会」、『30～49歳』では「音楽・ダンス・美術などの創作、実演体験」、『50歳以上』では「公演や展示などの鑑賞機会」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	未就学児を対象とした鑑賞機会	公演や展示などの鑑賞機会	演劇などの創作、実演体験	音楽・ダンス・美術	体験機会	華道・茶道・書道	伝統芸能や郷土芸能の体験機会	伝統文化や文化財などの学習機会	指導者や指導団体の育成	連携団体等の文化施設の	プロのアーティストと触れ合う機会	その他	無回答	回答者数
18～29歳	39 24.2%	46 28.6%	57 35.4%	58 36.0%	40 24.8%	33 20.5%	16 9.9%	27 16.8%	49 30.4%	3 1.9%	10 6.2%	161		
30～39歳	53 29.6%	76 42.5%	77 43.0%	72 40.2%	65 36.3%	47 26.3%	28 15.6%	42 23.5%	59 33.0%	2 1.1%	6 3.4%	179		
40～49歳	41 21.5%	72 37.7%	83 43.5%	68 35.6%	51 26.7%	54 28.3%	21 11.0%	36 18.8%	72 37.7%	8 4.2%	12 6.3%	191		
50～59歳	39 19.2%	84 41.4%	68 33.5%	61 30.0%	77 37.9%	60 29.6%	40 19.7%	38 18.7%	81 39.9%	8 3.9%	15 7.4%	203		
60歳以上	104 13.4%	313 40.4%	212 27.4%	195 25.2%	220 28.4%	204 26.3%	161 20.8%	153 19.7%	180 23.2%	12 1.5%	124 16.0%	775		

【居住地区別集計】

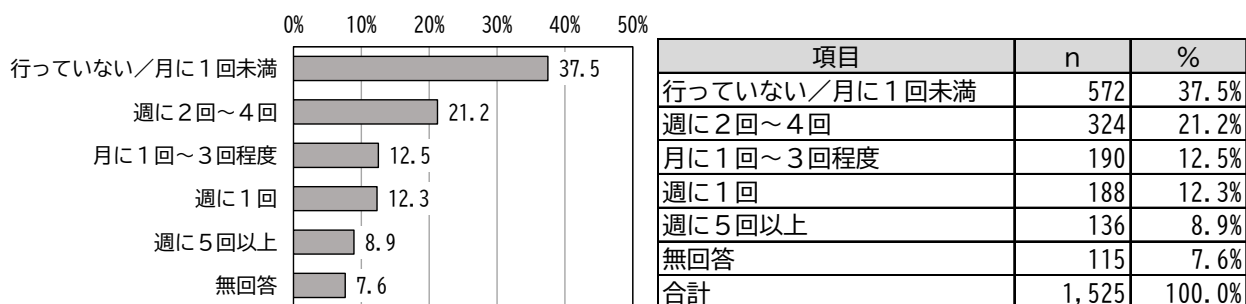
居住地区別の割合を見ると、『岩瀬』では「伝統芸能や郷土芸能の体験機会」、『村君』では「プロのアーティストと触れ合う機会」、それ以外の地区では「公演や展示などの鑑賞機会」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	未就学児を対象とした鑑賞機会	公演や展示などの鑑賞機会	演劇などの創作、実演体験	音楽・ダンス・美術	体験機会	華道・茶道・書道	伝統芸能や郷土芸能の体験機会	伝統文化や文化財などの学習機会	指導者や指導団体の育成	連携団体等の文化施設の	プロのアーティストと触れ合う機会	その他	無回答	回答者数
羽生	121 20.0%	238 39.3%	223 36.8%	207 34.2%	181 29.9%	163 26.9%	90 14.9%	125 20.6%	166 27.4%	15 2.5%	60 9.9%	606		
新郷	25 17.5%	51 35.7%	50 35.0%	41 28.7%	45 31.5%	37 25.9%	28 19.6%	24 16.8%	46 32.2%	3 2.1%	21 14.7%	143		
須影	20 15.2%	53 40.2%	41 31.1%	38 28.8%	42 31.8%	40 30.3%	22 16.7%	24 18.2%	46 34.8%	1 0.8%	9 6.8%	132		
岩瀬	32 20.8%	61 39.6%	46 29.9%	48 31.2%	63 40.9%	41 26.6%	23 14.9%	39 25.3%	47 30.5%	3 1.9%	12 7.8%	154		
川俣	11 16.7%	23 34.8%	20 30.3%	17 25.8%	14 21.2%	18 27.3%	7 10.6%	8 12.1%	17 25.8%	2 3.0%	10 15.2%	66		
井泉	24 17.6%	54 39.7%	48 35.3%	41 30.1%	34 25.0%	40 29.4%	33 24.3%	23 16.9%	41 30.1%	4 2.9%	18 13.2%	136		
手子林	23 14.6%	65 41.1%	47 29.7%	40 25.3%	48 30.4%	43 27.2%	38 24.1%	34 21.5%	42 26.6%	3 1.9%	19 12.0%	158		
三田ヶ谷	11 20.8%	21 39.6%	13 24.5%	11 20.8%	15 28.3%	6 11.3%	14 26.4%	8 15.1%	14 26.4%	0 0.0%	6 11.3%	53		
村君	5 14.3%	13 37.1%	5 14.3%	6 17.1%	6 17.1%	6 17.1%	8 22.9%	7 20.0%	16 45.7%	1 2.9%	5 14.3%	35		

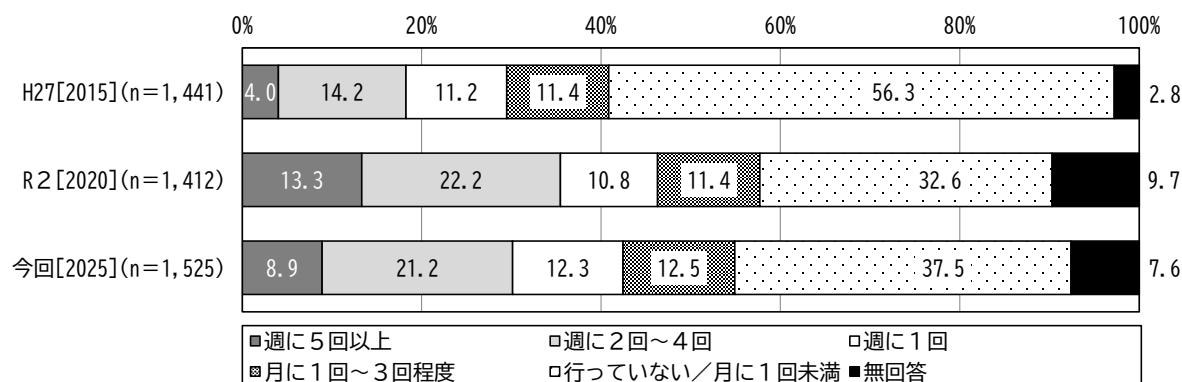
問 38 どれ位の頻度でスポーツ活動（ウォーキングや体操・レクリエーション種目を含む）を行っていますか。【1つに〇】

スポーツ活動を行う頻度については、「行っていない／月に1回未満」が37.5%と最も多く、次いで、「週に2回～4回」が21.2%、「月に1回～3回程度」が12.5%となっています。



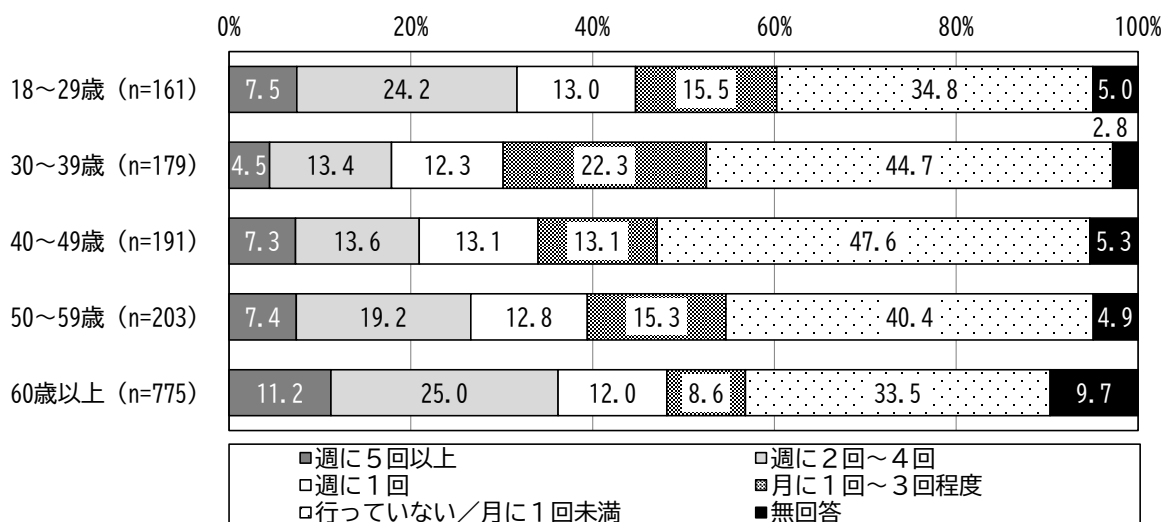
【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、「行っていない／月に1回未満」の割合が最も多くなっています。



【年齢別集計】

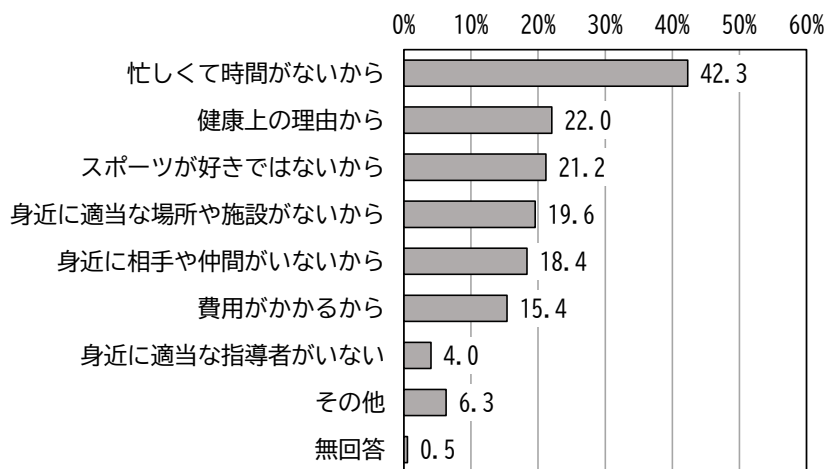
年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「行っていない／月に1回未満」の割合が最も多くなっています。



問 38 で「(スポーツ活動を) 行っていない/月に1回未満」を選択した方のみ回答

問 38—a スポーツ活動を行っていない理由は何ですか【3つまで○】

スポーツ活動を行っていない理由については、「忙しくて時間がないから」が 42.3%と最も多く、次いで、「健康上の理由から」が 22.0%、「スポーツが好きではないから」が 21.2%となっています。



項目	n	%
忙しくて時間がないから	242	42.3%
健康上の理由から	126	22.0%
スポーツが好きではないから	121	21.2%
身近に適切な場所や施設がないから	112	19.6%
身近に相手や仲間がないから	105	18.4%
費用がかかるから	88	15.4%
身近に適切な指導者がいない	23	4.0%
その他	36	6.3%
無回答	3	0.5%
回答者数	572	
非該当	953	
合計	1,525	

【年齢別集計】

年齢別の割合を見ると、『18～59歳』では「忙しくて時間がないから」、『60歳以上』では「健康上の理由から」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

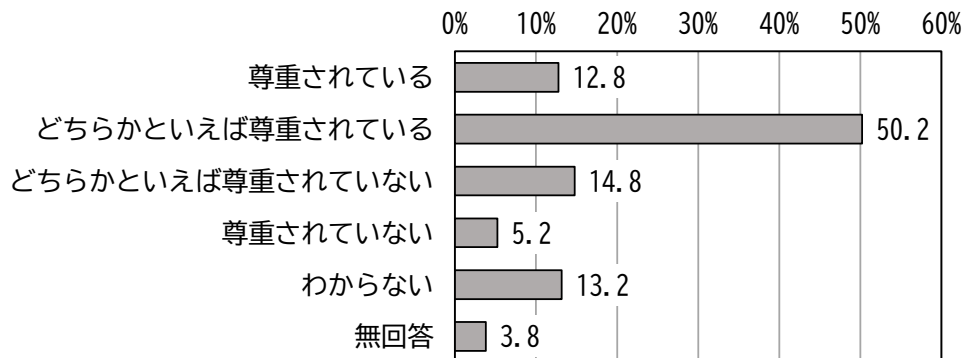
	はス ナ ポ ー ツ が 好 き で は な い か ら	や 身 施 近 に が 適 当 な 場 所 が な い か ら	者 身 が 近 い に 適 当 な 指 導 者 が な い か ら	い 忙 か し ら く て 時 間 が な い か ら	が 身 い 近 な に 相 か 手 ら や 仲 間 が な い か ら	費 用 が か か る か ら	健 康 上 の 理 由 か ら	そ の 他	無 回 答	回 答 者 数	非 該 当
18～29歳	15 26.8%	13 23.2%	2 3.6%	32 57.1%	7 12.5%	9 16.1%	4 7.1%	3 5.4%	0 0.0%	56	105
30～39歳	23 28.8%	12 15.0%	2 2.5%	52 65.0%	20 25.0%	16 20.0%	2 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	80	99
40～49歳	25 27.5%	18 19.8%	1 1.1%	49 53.8%	15 16.5%	28 30.8%	6 6.6%	4 4.4%	1 1.1%	91	100
50～59歳	15 18.3%	18 22.0%	0 0.0%	44 53.7%	14 17.1%	15 18.3%	6 7.3%	6 7.3%	1 1.2%	82	121
60歳以上	43 16.5%	50 19.2%	18 6.9%	65 25.0%	49 18.8%	20 7.7%	105 40.4%	23 8.8%	1 0.4%	260	515

9. 人権・男女平等について

問 39 「人権」は、誰もが生まれながらに持っている権利であり、幸せに生きるためになくってはならないものです。今の社会で基本的人権が尊重されていると思いますか。【1つに○】

今の社会で基本的人権が尊重されていると思うかについては、「尊重されている(12.8%)」、「どちらかといえば尊重されている(50.2%)」を合わせた『尊重されている(計)』が63.0%に対し、「どちらかといえば尊重されていない(14.8%)」、「尊重されていない(5.2%)」を合わせた『尊重されていない(計)』が20.0%となっています。

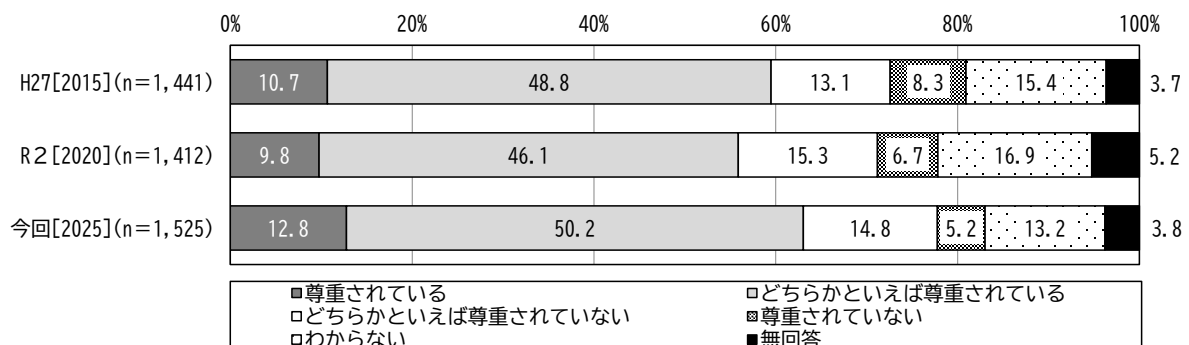
また、「わからない」が13.2%となっています。



項目	n	%
尊重されている	195	12.8%
どちらかといえば尊重されている	766	50.2%
どちらかといえば尊重されていない	225	14.8%
尊重されていない	80	5.2%
わからない	201	13.2%
無回答	58	3.8%
合計	1,525	100.0%

【過去調査と比較】

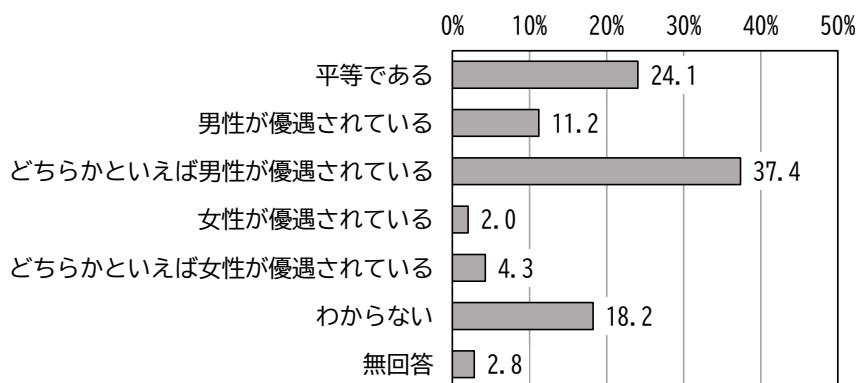
過去調査と比較すると、「どちらかといえば尊重されている」の割合が最も多くなっています。



問 40 あなたのまわりの各場面（慣習・しきたり・社会通念など）において、男女の地位は平等になっていると思いますか。【1つに〇】

各場面における男女平等については、「男性が優遇されている(11.2%)」、「どちらかといえば男性が優遇されている(37.4%)」を合わせた『男性が優遇されている(計)』が48.6%に対し、「女性が優遇されている(2.0%)」、「どちらかといえば女性が優遇されている(4.3%)」を合わせた『女性が優遇されている(計)』が6.3%となっています。

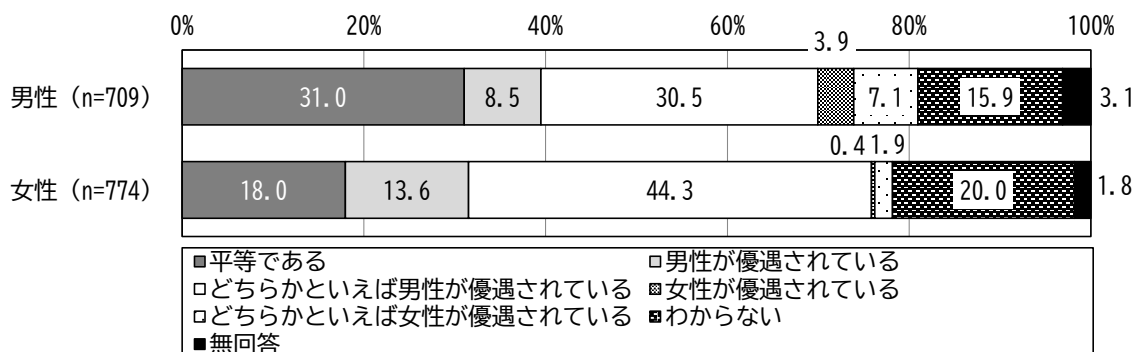
また、「平等である」が24.1%、「わからない」が18.2%となっています。



項目	n	%
平等である	367	24.1%
男性が優遇されている	171	11.2%
どちらかといえば男性が優遇されている	570	37.4%
女性が優遇されている	31	2.0%
どちらかといえば女性が優遇されている	65	4.3%
わからない	278	18.2%
無回答	43	2.8%
合計	1,525	100.0%

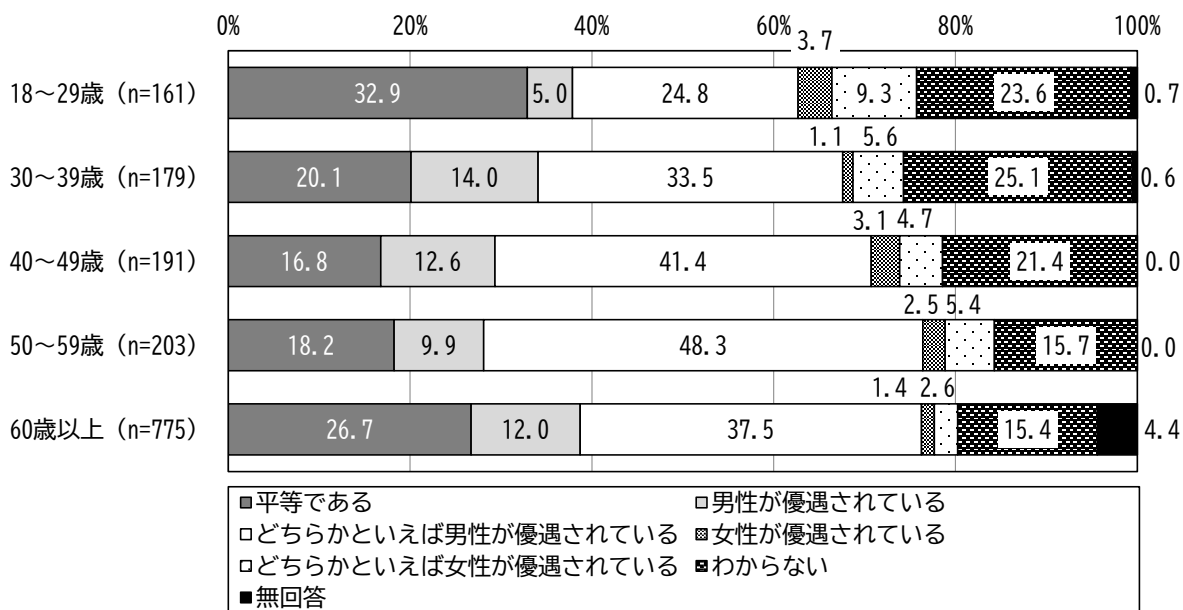
【性別集計】

性別の割合を見ると、『男性』では「平等である(31.0%)」が最も多く、『女性』では「どちらかといえば男性が優遇されている(44.3%)」が最も多くなっています。



【年齢別集計】

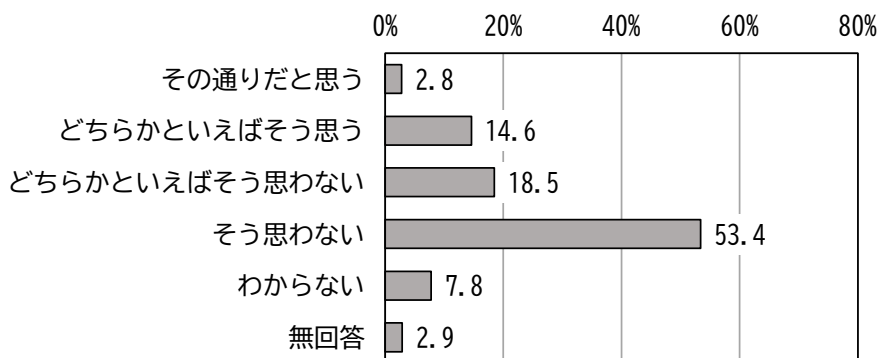
年齢別の割合を見ると、『18～29歳』では「平等である」、『30歳以上』では「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が最も多くなっています。



問41 『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思いますか。【1つに〇】

『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思うかについては、「その通りだと思う(2.8%)」、「どちらかといえばそう思う(14.6%)」を合わせた『そう思う(計)』が17.4%に対し、「どちらかといえばそう思わない(18.5%)」、「そう思わない(53.4%)」を合わせた『そう思わない(計)』が71.9%となっています。

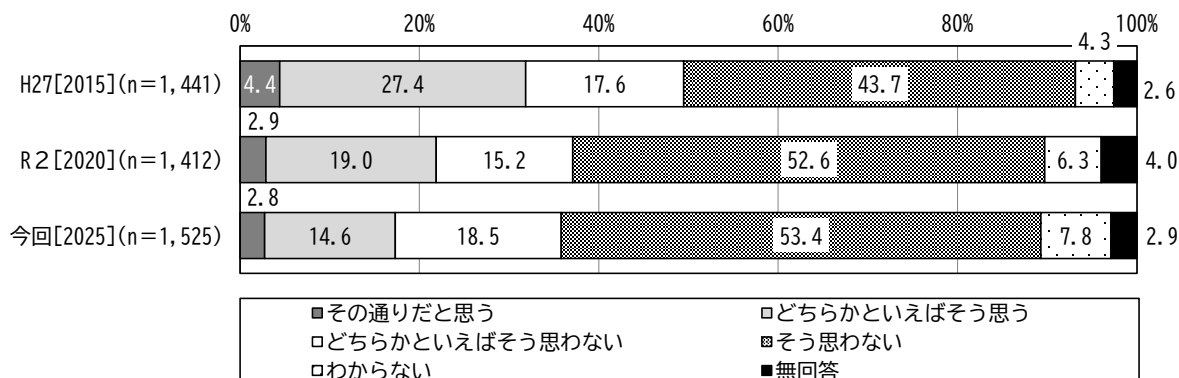
また、「わからない」が7.8%となっています。



項目	n	%
その通りだと思う	42	2.8%
どちらかといえばそう思う	222	14.6%
どちらかといえばそう思わない	282	18.5%
そう思わない	815	53.4%
わからない	119	7.8%
無回答	45	2.9%
合計	1,525	100.0%

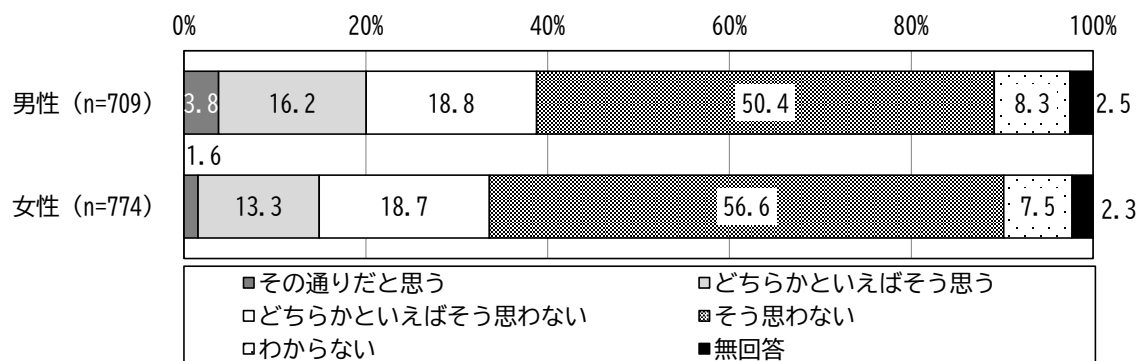
【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、「そう思わない」の割合が最も多くなっています。



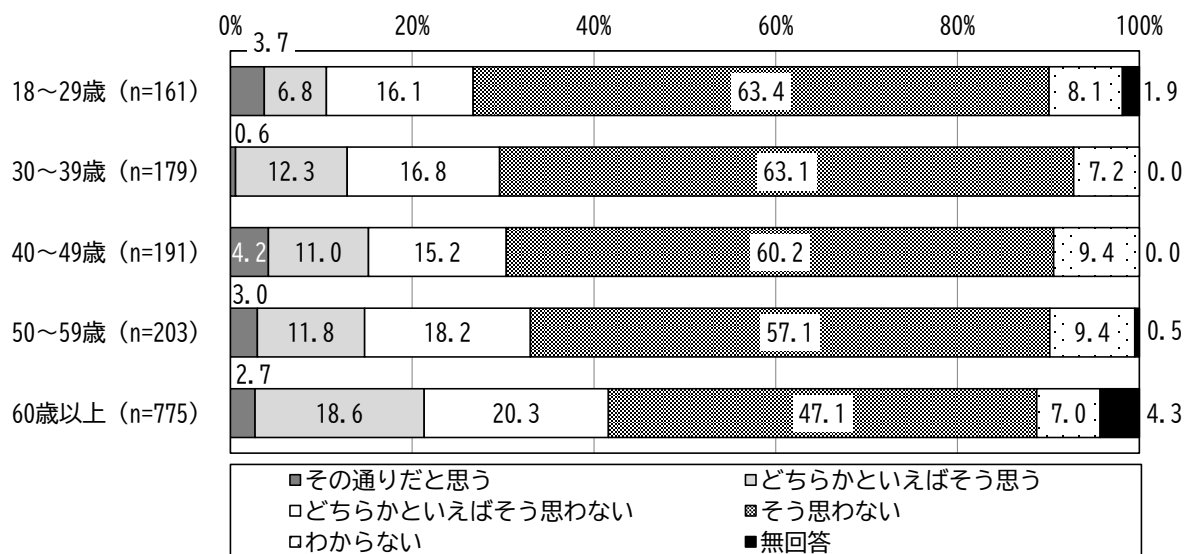
【性別集計】

性別の割合を見ると、男性女性ともに「そう思わない」の割合が5割を超えています。



【年齢別集計】

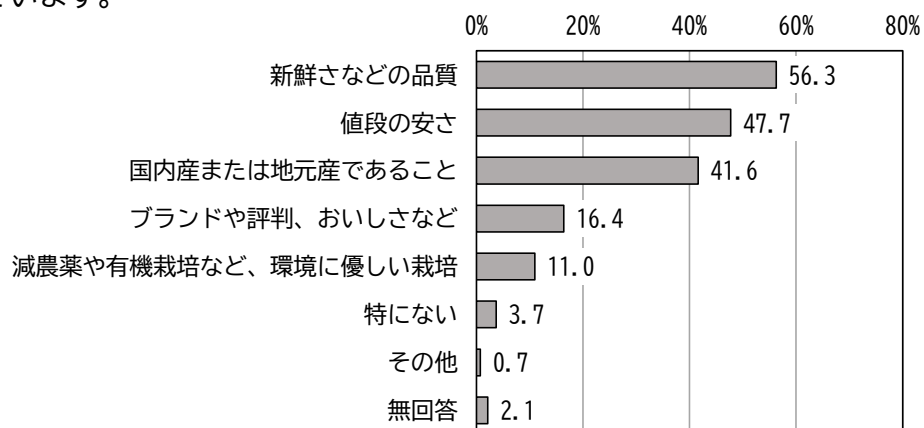
年齢別の割合を見ると、すべての年齢で「そう思わない」の割合が最も多くなっており、年齢が下がるにつれ割合が多くなる傾向となっています。



10. 商業・農産業について

問 42 あなたが、米や野菜などの農産物を購入するとき、目安にしていることはどのようなことですか。【2つまで○】

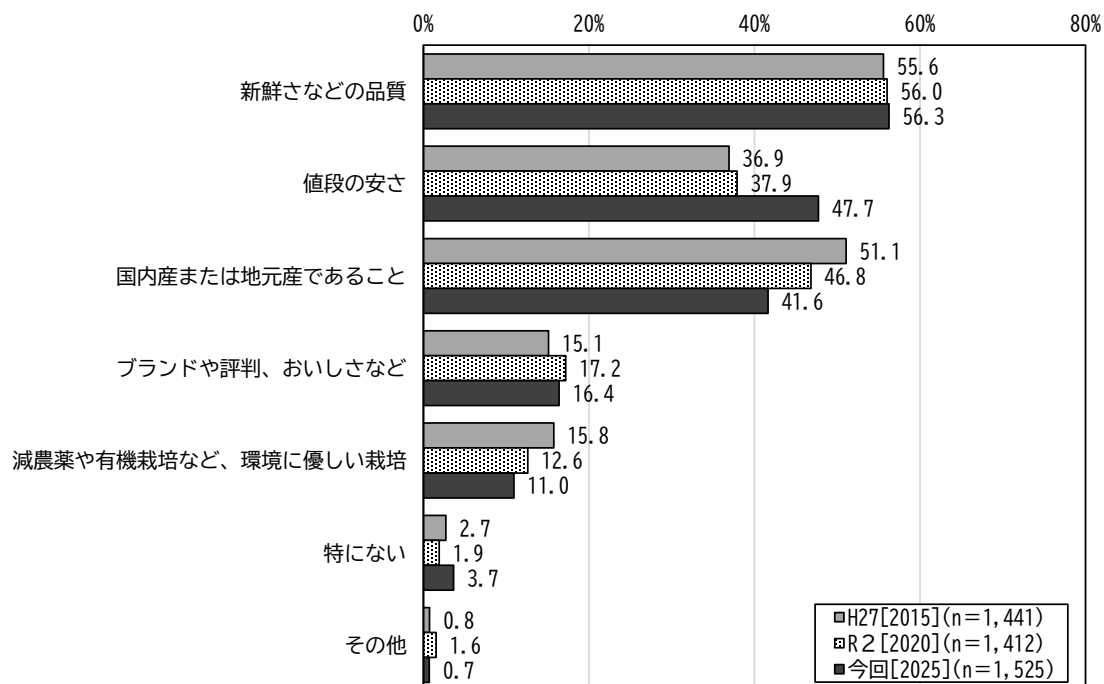
農産物を購入するとき目安にしていることについては、「新鮮さなどの品質」が56.3%と最も多く、次いで、「値段の安さ」が47.7%、「国内産または地元産であること」が41.6%となっています。



項目	n	%
新鮮さなどの品質	858	56.3%
値段の安さ	728	47.7%
国内産または地元産であること	635	41.6%
ブランドや評判、おいしさなど	250	16.4%
減農薬や有機栽培など、環境に優しい栽培	167	11.0%
特にない	56	3.7%
その他	11	0.7%
無回答	32	2.1%
回答者数	1,525	

【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、前回より「値段の安さ」が9.8ポイント増加し、「国内産または地元産であること」が5.2ポイント減少となっています。



【年齢別集計】

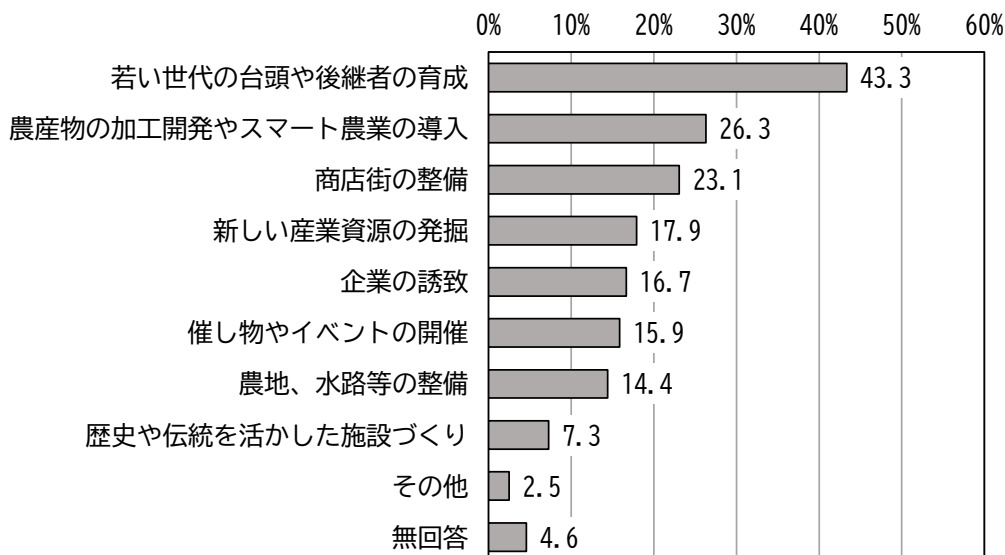
年齢別の割合を見ると、『18～49歳』では「値段の安さ」、『50歳以上』では「新鮮さなどの品質」の割合が最も多くなっています。

(上段：n、下段：%)

	おブ いラ しン サド など 評判、	い 裁 培 な ど、 農 薬 や 環 境 に 優 し い 栽 培	産 国 内 産 ま た は 地 元	値 段 の 安 さ	新 鮮 さ な ど の 品 質	特 に な い	そ の 他	無 回 答	回 答 者 数
18～29歳	36 22.4%	7 4.3%	44 27.3%	90 55.9%	71 44.1%	12 7.5%	1 0.6%	2 1.2%	161
30～39歳	29 16.2%	16 8.9%	60 33.5%	128 71.5%	84 46.9%	6 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	179
40～49歳	36 18.8%	15 7.9%	75 39.3%	116 60.7%	103 53.9%	3 1.6%	4 2.1%	0 0.0%	191
50～59歳	39 19.2%	18 8.9%	75 36.9%	103 50.7%	124 61.1%	7 3.4%	2 1.0%	1 0.5%	203
60歳以上	110 14.2%	109 14.1%	375 48.4%	289 37.3%	472 60.9%	27 3.5%	4 0.5%	22 2.8%	775

問 43 市の農業、商業や産業の振興について何が重要だと思いますか。【2つまで〇】

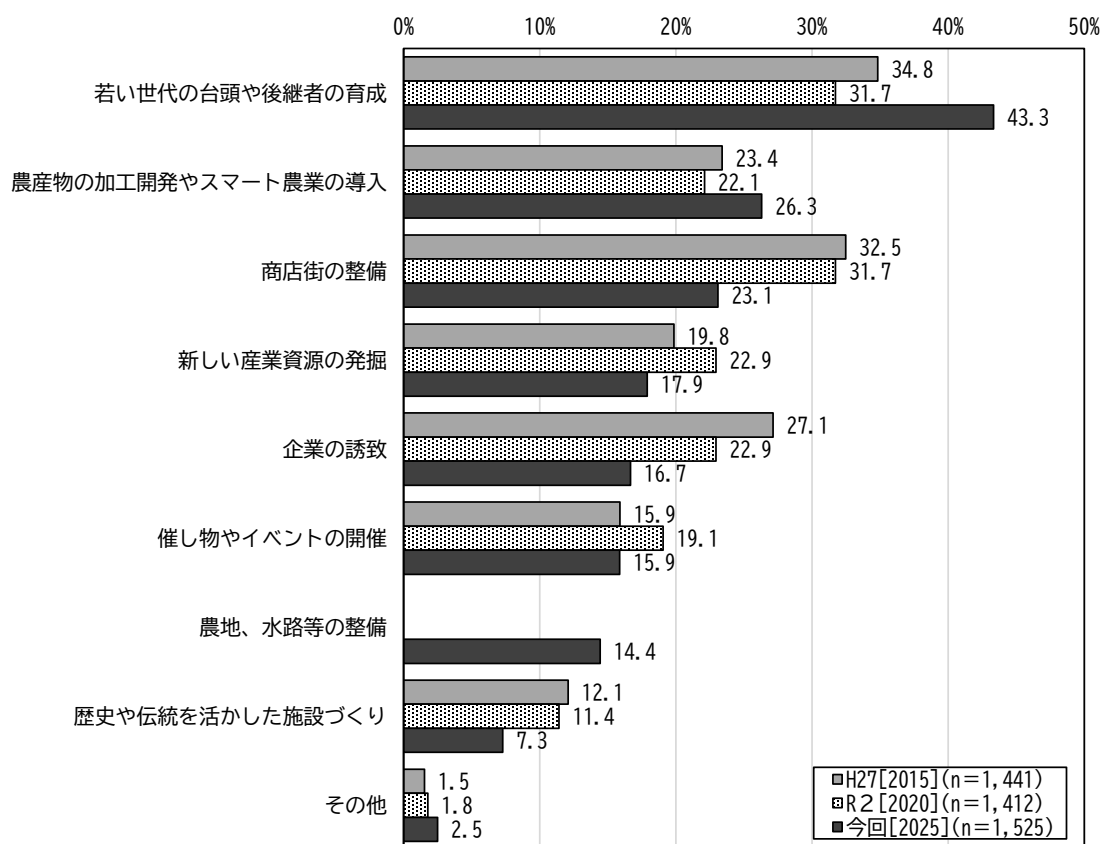
市の農業、商業や産業の振興で重要だと思うことについては、「若い世代の台頭や後継者の育成」が 43.3%と最も多く、次いで、「農産物の加工開発やスマート農業の導入」が 26.3%、「商店街の整備」が 23.1%となっています。



項目	n	%
若い世代の台頭や後継者の育成	661	43.3%
農産物の加工開発やスマート農業の導入	401	26.3%
商店街の整備	352	23.1%
新しい産業資源の発掘	273	17.9%
企業の誘致	254	16.7%
催し物やイベントの開催	242	15.9%
農地、水路等の整備	220	14.4%
歴史や伝統を活かした施設づくり	111	7.3%
その他	38	2.5%
無回答	70	4.6%
回答者数	1,525	

【過去調査と比較】

過去調査と比較すると、前回より「若い世代の台頭や後継者の育成」が11.6ポイント、「農産物の加工開発やスマート農業の導入」が4.2ポイント増加となっています。



IV. 調査結果のまとめ

1. 羽生市の住み心地について

市の住み心地については、「住み良い」、「まあまあ住み良い」を合わせた『住み良い（計）』が7割以上に対し、「住みにくい」が約6%となっています。過去調査と比較すると、「住みやすい」、「まあまあ住みやすい」という回答が増加傾向となっています。

また、住み良い理由については、「永年住みなれ、愛着がある」が最も多く、次いで、「買い物の便が良い」、「自然環境が良い」となっています。一方、住みにくい理由については、「交通の便が悪い」が最も多く、次いで、「道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない」、「買い物が不便である」となっています。

定住意向については、「ずっと住み続けたい」、「当分の間住み続けたい」を合わせた『住み続けたい（計）』が約7割に対し、「できれば転居したい（市内の他の場所へ）」、「できれば転居したい（市外へ）」を合わせた『できれば転居したい（計）』が約9%となっています。過去調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」、「当分の間住み続けたい」という回答がやや増加しています。

2. 市からの情報について

市からの情報の入手先については、「広報はにゅう」が最も多く、次いで、「自治会の回覧」、「市公式LINE（ライン）」となっています。年齢別の割合を見ると、全年齢で「広報はにゅう」の割合が最も多くなっており、年齢が上がるにつれ割合が多くなる傾向となっています。

「広報はにゅう」の閲読については、「必ず読む」、「ときどき読む」を合わせた『読む（計）』が約8割に対し、「まったく読まない」が約1割となっています。また、「届いていない」が約7%となっています。年齢別の割合を見ると、『18～49歳』では「ときどき読む」、『50歳以上』では「必ず読む」の割合が最も多くなっていました。「まったく読まない」の割合では、『18～29歳』が最も多く、次いで『30～39歳』、『40～49歳』となっています。

広報紙を自宅以外で手に取りやすいと思う場所については、「スーパーやコンビニエンスストア」が最も多く、次いで、「医療機関」、「公民館などの公共施設」となっています。

羽生市まちづくり自治基本条例の認知度については、「聞いたことがない」が最も多く、次いで、「聞いたことはあるが、内容は知らない」、「内容を知っている」となっています。過去調査と比較すると、前回より、「内容を知っている」、「聞いたことはあるが、内容は知らない」という回答が減少し、「聞いたことがない」という回答が増加しています。

3. 市の取り組みについて

羽生市を全国にPRするため有効だと思われるものについては、「さいたま水族館」が最も多く、次いで、「世界キャラクターさみっと in 羽生」、「藍染め」となっています。

行政手続きにパソコンやスマートフォンの活用を推進するべきかについては、「積極的に推進するべき」、「推進するべき」を合わせた『推進するべき（計）』が半数以上に対し、「あまり推進するべきでない」、「推進する必要はない」を合わせた『推進する必要はない（計）』が約13%となっています。また、「どちらでもない」が約3割となっています。年齢別の割合を見ると、49歳以下では、「積極的に推進するべき」という回答が多くなっています。

DXが進むことに対して期待することについては、「行政手続きのオンライン化」が最も多く、次いで、「生活分野（健康、教育、防災等）のデータ連携」、「LINEなどのソーシャルメディアを利用した情報の送受信」となっています。

4. コミュニティ・福祉・ごみ・交通について

行事への参加については、「いつも参加している」、「ときどき参加している」を合わせた『参加している（計）』が約4割に対し、「あまり参加していない」、「参加していない」を合わせた『参加していない（計）』が約6割となっています。過去調査と比較すると、「いつも参加している」という回答が増加傾向になっています。年齢別の割合を見ると、『18～59歳』では「参加していない」、「60歳以上」では「いつも参加している」の割合が最も多くなっています。年齢が上がるにつれ「参加している（計）」の割合が多くなる傾向となっています。

幸せで生きがいのある老後を送るために大切だと思うことについては、「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」が最も多く、次いで、「移動手段の確保や支援を充実させる」、「高齢者に対する医療制度、保険サービスを充実する」となっています。過去調査と比較すると、前回より「生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実）」が増加し、「高齢者に対する医療制度、保険サービスを充実する」、「歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める」、「高齢者が楽しく働ける場を増やす」が減少しています。

市の子育て支援に期待することについては、「仕事と家庭を両立できる社会環境づくり」が最も多く、次いで、「子育てしやすい住環境への支援」、「保育所・学童保育の充実」となっています。

家庭ごみを減らすには、どのようなことが必要だと思うかについては、「不要なものは買わない、断る」が最も多く、次いで、「缶、ビン、ペットボトル、古紙類などの分別収集の徹底」、「食品ロスの削減推進」となっています。過去調査と比較すると、前回より「缶、ビン、ペットボトル、古紙類などの分別収集の徹底」、「ごみ集積所の配置や管理などの見直し」が増加しています。

公共交通の満足度については、「満足している」、「まあまあ満足している」を合わせた『満足している（計）』が約2割に対し、「やや不満足である」、「不満足である」を合わせた『不満足である（計）』が約4割となっています。居住地区別の割合を見ると、『村君』では「やや不満足である」、それ以外の地区では「普通である」の割合が最も多くなっています。

5. 医療・防災・防犯について

かかりつけ医等を決めているかについては、かかりつけ医が約6割。かかりつけ歯科医が約7割、かかりつけ薬局については、「受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している」が最も多くなっています。

毎年、健康診断等を受診しているかについては、「受診している」が約7割に対し、「受診していない」が約3割となっています。過去調査と比較すると、「受診していない」という回答がやや増加しています。健康診断等を受診していない理由については、「普段から医者にかかっている」が最も多く、次いで、「機会がない」、「お金がかかるから」となっています。

家が建てられた時期については、「昭和57年（1982年）以降」が約7割と最も多く、「昭和56年（1981年）以前」が約2割、「わからない」が約1割となっています。

住宅用火災警報器の設置場所については、「台所に設置されている」が約44%、次いで、「設置されていない」が38%、「寝室に設置されている」が約30%となっています。

震災・水害時の避難所については、「知っている」が約7割に対し、「知らない」が約27%となっています。過去調査と比較すると、前回より「知らない」が増加し、「知っている」が減少となっています。

ハザードマップについては、「見たことはある」が約6割と最も多く、次いで、「内容を理解している」が約3割、「知らない」が約1割となっています。

マイ・タイムラインの作成については、約6割が「知らない」と回答し、「知っているが作成していない」が約3割、「作成している」が約1%となっています。

災害時の備えについては、「避難所の確認」が最も多く、次いで、「携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備」、「非常用食料の備蓄」となっています。

防犯対策については、「センサーライトの設置」が最も多く、次いで、「ドア、窓の二重ロック化」、「振込詐欺に備えた留守番電話等の設定」となっています。

犯罪を防止するために必要なことについては、「防犯灯や街路灯を増設する」が最も多く、次いで、「市街地などに防犯カメラを取り付ける」、「警察のパトロールを多くする」となっています。過去調査と比較すると、前回より「市街地などに防犯カメラを取り付ける」、「犯罪情報を提供する」が増加となっています。

6. 市議会について

市議会への関心度については、「ある」、「どちらかといえばある」を合わせた『関心がある（計）』が約45%に対し、「どちらかといえばない」、「ない」を合わせた『関心がない（計）』が約半数となっています。年齢別の割合を見ると、『50歳以上』では「どちらかといえばある」、『18～39歳』では「ない」の割合が最も多くなっています。

市議会へ関心がある理由については、「生活と密接な関係があるから」が最も多く、次いで、「自分に関係があると思うから」、「税金を納めているから」となっています。

一方、市議会へ関心がない理由については、「市議会が何をしているかわからないから」が最も多く、次いで、「興味がないから」、「生活にあまり関係がないから」となっています。

7. 選挙について

政治や選挙への関心度については「非常にある」、「まあまあある」を合わせた『関心がある(計)』が約4割に対し、「あまりない」、「まったくない」を合わせた『関心がない(計)』が約17%となっています。

投票しやすい環境として有効な手段については、「インターネットを利用して投票できるようにする」が最も多く、次いで、「期日前投票所の場所を増やす」、「市内のどの投票所でも投票できるようにする」となっています。年齢別の割合を見ると、『18～59歳』では「インターネットを利用して投票できるようにする」、『60歳以上』では「期日前投票所の場所を増やす」の割合が最も多くなっています。

選挙に関する情報の取得先については、「テレビ」が最も多く、次いで、「選挙ポスター、選挙ビラ」、「新聞」となっています。年齢別の割合を見ると、『18～39歳』では「インターネットニュース」、『40歳以上』では『テレビ』の割合が最も多くなっています。

8. 文化・スポーツについて

「おうち図書館」の有無については、「ある」が約4割に対し、「ない」が約6割となっています。

「おうち図書館」がない理由については、「特に理由はない・わからない」が最も多く、次いで、「本を読まないから」、「図書館を利用するから」となっています。

文化芸術に期待するものについては、「心の豊かさ、安らぎを感じる」が最も多く、次いで、「多様な文化に触れ相互理解や交流が深まる」、「文化的な伝統を尊重する心の育成」となっています。

市内の文化芸術に関する情報の入手先については、「広報はにゅう」が最も多く、次いで、「チラシ・ポスター」、「公民館だより」となっています。

文化芸術振興における施策として今後必要な取り組みについては、「鑑賞や創作等に触れられる機会の創出」が最も多く、次いで、「子どもたちの文化芸術体験の充実」、「情報を収集し、多様なメディアを通じての情報提供・発信」となっています。

子どもたちが文化芸術に親しむため、充実すべきことについては、「公演や展示などの鑑賞機会」が最も多く、次いで、「音楽・ダンス・美術などの創作、実演体験」、「伝統芸能や郷土芸能の体験機会」となっています。

スポーツ活動を行う頻度については、「行っていない／月に1回未満」が約4割と最も多く、次いで、「週に2回～4回」、「月に1回～3回程度」となっています。

スポーツ活動を行っていない理由については、「忙しくて時間がないから」が最も多く、次いで、「健康上の理由から」、「スポーツが好きではないから」となっています。

9. 人権・男女平等について

今の社会で基本的人権が尊重されていると思うかについては、「尊重されている」、「どちらかといえば尊重されている」を合わせた『尊重されている（計）』が約6割に対し、「どちらかといえば尊重されていない」、「尊重されていない」を合わせた『尊重されていない（計）』が2割となっています。

各場面における男女平等については、「男性が優遇されている」、「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている（計）』が約半数に対し、「女性が優遇されている」、「どちらかといえば女性が優遇されている」を合わせた『女性が優遇されている（計）』が約6%となっています。性別の回答割合を見ると、『男性』では「平等である」が最も多く、『女性』では「どちらかといえば男性が優遇されている」が最も多くなっています。

『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思うかについては、「その通りだと思う」、「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』が約2割に対し、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』が約7割となっています。過去調査と比較すると、「そう思わない」という回答がやや増加傾向となっています。

10. 商業・農産物について

農産物を購入するとき目安にしていることについては、「新鮮さなどの品質」が最も多く、次いで、「値段の安さ」、「国内産または地元産であること」となっています。過去調査と比較すると、前回より「値段の安さ」が増加し、「国内産または地元産であること」が減少となっています。

市の農業、商業や産業の振興で重要だと思うことについては、「若い世代の台頭や後継者の育成」が最も多く、次いで、「農産物の加工開発やスマート農業の導入」、「商店街の整備」となっています。過去調査と比較すると、前回より「若い世代の台頭や後継者の育成」、「農産物の加工開発やスマート農業の導入」が増加となっています。

V. 市政に関するご意見

市政に関するご意見がありましたら、自由にお書きください。

調査票の最後に市政に関する意見についての自由記入欄を設けたところ、329人の方から337件の意見が記入されました。

意見を主な内容ごとに分類すると下記の通りとなっており、「生活環境、住環境」「安心安全（防災・防犯・救急・医療・福祉）」「政策、まちづくり全般」に関する意見が多くみられました。

分類		件数
1	生活環境、住環境	68
2	都市基盤整備	29
3	安心安全（防災・防犯・救急・医療・福祉）	71
4	農業	3
5	商工観光(産業)	17
6	教育、歴史・文化	4
7	コミュニティ、協働	16
8	行財政	26
9	政策、まちづくり全般	60
10	その他	43
合計		337

1. 生活環境、住環境

性別	年齢	自由記述
女性	18～29歳	ホームページのゴミの回収日や日程の更新をお願いします。引っ越してきた当初は困ったことが多かった。
その他	18～29歳	もう少し中心部以外のところもきちんと整備してほしい。特に村君や三田ヶ谷に街灯を作してほしい。ただでさえ、人通りが少ないしお年寄りも多く早寝なのに、街灯さえない。帰りが遅い時はもちろん、犬の散歩すら怖い。犯罪の急増もそうだが、自然の動物たちが襲ってくることもある。早急に対応してほしい。
男性	30～39歳	更なる住みやすい環境の整備。豪雨による生活道路が冠水しにくい施策。
男性	30～39歳	川俣小学校の隣にある公園が綺麗に整備されてとても嬉しいです。でも、子供と遊びに行ったら2人～3人の高齢の方から「ここでは遊ぶな！他で遊べ！私達の場所だ！」と言われました。このことを市役所に問い合わせたらたらい回しにされました。もう二度と遊びません。とても残念です。
不明	30～39歳	土日祝日に駅へ行く手段がない。平日も時間が限られており不便。市内のバスをもっと充実させてほしい。ゴミの分別ができていない人がある。日本語を母国語としない方に、より丁寧にゴミのルールを伝える機会を設けてほしい。歩道の草がすごく、歩けない道が多くある。車道を通るしかなくなるので、歩行者としても運転者としても怖い場面が多い。歩道の整備をしてほしい。

性別	年齢	自由記述
男性	30～39 歳	①排水性能の向上を強くお願いしたいです。大雨の時は排水が弱くすぐに道路が冠水、自宅の玄関まで流入するのも今後は大いに考えられる。家を建てたばかりなのに冠水で車が半分水没して多額の故障が発生もしている。子供（学生達）も膝下まで水に浸かりながら帰る姿も可哀想だし、自分自身も憂鬱な気持ちになる。②家畜の悪臭が風向きによっては酷く感じる時が多々ある。必要な施設だとは思いますが、これから戸建てやアパート等の発展を考えると無視できない問題だと捉えています。市としての補助など踏まえて、問題ないエリアの移動をするなり視野に入れてもらえるとう助かります。
女性	40～49 歳	自治会に任せているゴミ拾いなどの業務を市でやってほしい。ごみ分別ゼロにできるよう、ごみ処理場を高性能にして、分別しなくてもごみが出せるようにしてほしい。市バスを通してほしい。車を運転できなくても移動手段はほしい。駅ビル、駅周辺の強化。東武線と秩父線が通っているのにカフェの一つもないのは残念です。乗り継ぎ時間の合間などに利用できる場所がほしい。
女性	40～49 歳	自分は移動手段に悩んでいます。身近な人（元々羽生人）は運転免許を持っているので思わないようですが、自分は持っていない（取ることが出来ない）ので今は歩くことでしか移動が出来ません。持病もあるためです。なのでもっと移動手段を増やしてほしいです。
男性	40～49 歳	北部幹線を通る大型車の騒音がひどいです。特に埼玉ブロックのクレーン車などがひどく、道路の耐荷重もこえてそうな気がします。可能でしたら、年間使える市民プールをお願いします。
女性	40～49 歳	5～10m位の雑木林のある家は、近隣宅に迷惑をかけないように定期的に剪定や伐採するように広報に毎月掲載してほしい。羽生市メールでも毎月送信してほしい。スズメバチや害獣やカラスの住処になっているし、落ち葉問題にもつながっています。
男性	40～49 歳	自宅のそばの電線にカラスの群れが大量にいてフンなどに困っていましたが、カラスの群れが電線でたむろしない用に市が対策をしてくれて、こんなに素早く対応出来るんだと驚きましたし、助かりました。今後も早急に対応が必要な場合は素早い対応をして頂けるとありがたいです。市政の方向性や重要な事はたくさんあると思いますが、個人的にはここ10年位で外国人の方が多くなったなと感じています。スーパーやドラッグストアなど行くと外国人の方を見ない事はほとんどありません。最近のニュースでも外国人の犯罪が増えて極端に受け入れ過ぎると平和な日本の治安が悪化すると感じています。極端な外国人の受け入れはしない用にしてほしいのと、羽生に住みたい外国人の方がいる場合は良く精査してから許可してほしいです。商業施設などが増えて羽生も充実してきたなと思っています。羽生に外から遊びに来て頂ける方も増えて良かったと思いますが、羽生に住んでくれる方が増えると税収も増えて良いと思います。住みやすい街づくりを今後も続けて頂ければと思いますし、個人的には明石市のような子育てしやい街づくりも大切だと思っています。今後も買い物や外食をする時はなるべく羽生でお金を使いたいと思います。予算に限りはあるので全部に手は回らないかもしれませんが、今後も羽生を良くして頂ければと思います。お身体とメンタルを大切に頂いて羽生の為に頑張ってください。
女性	40～49 歳	駅前通り、松原通り周辺に鳥のフンが酷いのが気になります。
女性	40～49 歳	地方都市（県庁所在地）のあった場所から引越してきて7ヶ月なので、ゴミの回収などに不便を感じる事が多いです。ゴミステーションの回収のないビン缶や紙ゴミなど、回収をしてほしい近所で、もみがらを燃やす方がいるみたいで臭いにも悩まされています。

性別	年齢	自由記述
女性	40～49 歳	車がないと生活できない地域なので路線バスがあればいいです。(市内循環バス)
女性	40～49 歳	道路の草や植木等の整備をきちんとしてほしい。空き農地を対策してほしい。
男性	40～49 歳	交通の便が悪い。民間のバス会社の便があると良い。ムジナもん号などは市役所へ行く人しか使えなく不便。高齢者が多いので銀行、スーパー、病院の近くで止まるバス便を考えてほしい。
女性	40～49 歳	利根川近くの用水路沿いの道路を通勤で使うのですが、ガードレール下から雑草が道路にはみ出てきて道路幅が狭くなっているところや、見通しが悪いところがあって危ないので切ってほしいです。対向車があると当たって車が傷つきます。とくに秋になってススキなど背の高い植物が多くなって余計に見通しが悪くなり困ります。
女性	40～49 歳	県道 84 号の歩道の草が伸びていて、通行が困難です。パチンコ屋の東側の用水路沿いの草が長期間放置されていて、対向車を目視出来ない為、自動車と接触しそうになりました。期間を空けずに除草してもらわないと本当に危険です。
女性	40～49 歳	夕方になると駅前の電線にカラスが大量にとまり、地面に大量の糞が落ちており衛生面に問題があると思うので、改善をお願いします。
女性	40～49 歳	リチウムイオン電池製品の回収を、燃えないゴミもしくは資源ゴミの際に、専用カゴに見えるように入れる形で回収して頂けたら助かります。捨てにくい事による家での火災、燃えないゴミに混入されての発火事故も減ると思います。
女性	50～59 歳	かかりつけの医者・歯医者に対して信頼できる医療機関がないように思う。とにかく外国の方が増えた、日本語が上手くできないのに日本に住み働く、日本の治安が安心という事なのでしょう。でも外国人(全てではないが)により私たち日本人が住みづらく、安心でなくなることは避けられるように取り組んでほしいです。
女性	50～59 歳	人口、お金問題で工場が出来たほうがいいと思うけど、新郷の、大きな建物が少なく、のんびりした静かなところがいいと思っているので変えてほしくない。父が亡くなった時に市役所のあちこちの窓口で同じことを書いたから、せっかくあるマイナンバーカードで1回で終わるようにしてくれるとよかった。羽生駅にレンタサイクルがほしい。
女性	50～59 歳	利根川の河川敷を東京都のように野球グラウンドやサッカーグラウンドを作ると活性化すると思う。道の駅羽生は駐車場が広い割に建物の中はこじんまりして特にこれといった物がないのもう少し羽生をアピールする物産を増やし建物も大きくした方が良くと思う。
男性	50～59 歳	夜 11 時以降になるとタクシーが捕まらない。台数が少なすぎます。東武鉄道で久喜止まりではなく、館林迄直通の本数を増やすよう働きかけてほしい。羽生駅が鳩の糞だらけで汚い。暴走族らしき騒音バイクの取り締まりを強化して下さい。
男性	50～59 歳	鳥の糞害対策を早急をお願いしたいです。駅前通りは幼稚園もあり、衛生面からもとても危惧しています。
女性	50～59 歳	市政に関するか分かりませんが、最近ムクドリがたくさん飛んできて、電線に止まりうるさいです。道路の糞害も酷いので、病気になる心配しています。
女性	50～59 歳	住み続けたいが、車や自転車に乗れなくなった老後を考えると市街地に移住を考える。
女性	50～59 歳	自転車でイオンに行く際に草が伸びすぎていて走りづらい。草が伸びる前に歩道の草を刈ってほしい。環境整備。

性別	年齢	自由記述
男性	50～59 歳	巡回バスを出してほしい。
女性	50～59 歳	夏場は虫が多すぎます。特に蚊。羽生市は補助金制度が少ないかと。
女性	50～59 歳	市バスが使いづらいと言うか使えない。便が少なすぎるし、時間も合わない。経路が駅着でないからわかりづらい。車に乗れなくなったら買い物難民どころか病院にも行けない。どうしたものかと思う。現実だと運転が覚束なくなっても免許返納に迷いが生じる。
女性	50～59 歳	空き家、空き店舗対策に力を入れてほしいです。全体的に町が寂れている印象。イベントが多いのはとても良いと思います。
女性	60 歳以上	大きな倉庫ばかりの建設が多く感じられる。商店街では活気なく夜は特に淋しい。子育てしやすい町作りに努め活気ある羽生市作りを目指してほしい。又学童クラブ（岩瀬）は4年生から入れずいきなり鍵っ子となり大変なショックでした。希望があれば5年生位までは共働きの多い中入れるようにお願いしたいです。
女性	60 歳以上	上岩瀬区画整理の所に一日も早くゴミ置き場をお願いします。
男性	60 歳以上	ここ数年で空き家が多くみられ早い対策を。
女性	60 歳以上	南羽生駅に郵便ポストがあれば便利。南羽生は全体的に街灯数が少ないので不安。市の税金、自治会費を払っているのに公園の清掃、燃えないゴミ当番、高齢者への対応（例 75 才以上は当番なし等）各地区により対応が違う。
女性	60 歳以上	羽生駅の鳩のフン害について、ネットや鳩除け剣山など市政でやっていますが、現在も改善されず、鳩が居座っています。エントランスの窓部分やステンドグラス部分、階段窓部分などにフンがこびりついていて、乾燥して舞い上がります。また、駅全体が汚く羽生駅以上の汚い駅を見た事はありません。清掃はできないのでしょうか。横断歩道のライン、歩道の雑草、歩道タイルの凹凸、補修してください。
女性	60 歳以上	市民が高齢になっていく中で、家や土地の問題を市政も積極的に考えていただきたい。
男性	60 歳以上	自治会について、テレビのニュースでも 10 月初め頃に放送されていたが、自治会の内容等を時代に沿ったような改善をすること。何もかも、そこに住んでいると全てがかかわってくる。これは良い、これは駄目と個別に違うので整理してもらいたい。昔のままやっていたのでは若者はついてこない。テレビのアンケートでも自治会反対の意見が 50%を上回るので、自治会の内容を整理した方が良いと思います。自分もこの地に生まれ、若年時より昔の風習で全て一通りやりました。しかし時代は多化しつつあり、その時代にあうよう昔の風習を改善していかないとならない。だが、改善しようとするとも村八分扱いになる。廃止するものは廃止していかないといけないと思います。
女性	60 歳以上	中川の遊歩道が綺麗になり良かったのですが、護岸工事のあとの草、川の中の土と草が酷い状態です。何とかしてほしいです。
女性	60 歳以上	50 年前から小松地区に住んでいます。病院も近いし、買い物も近くにあるので住みやすいです。
男性	60 歳以上	菊祭りの会場が遠くて行けない。バス停の数・運行数を増やしてほしい。市役所より先（東側）にスーパーが無いので不便である。
女性	60 歳以上	須影団地に空き家ブロックが置いてあり苔が生えている。草を取っているが、すぐに伸びるし虫もいるしハチ退治もした。私も 80 代になって出来なくなってきた。市でなんとかお願いします。
女性	60 歳以上	羽生市もだんだん開発が進んでいるが、町の中心部が淋しい感じがする。

性別	年齢	自由記述
女性	60歳以上	駅からの道路が鳥の糞で気持ちが悪い。災害がないからと言って住み易いとは思わない。道が凸凹してよく転ぶ。水族館を川口市の小学生が見学で来たそうですが文句を言われたそうです。町も衰退している。
女性	60歳以上	市内のバスに乗っている人が少ないです。もっと良い方法を。
男性	60歳以上	治水対策、防臭対策。
男性	60歳以上	羽生市は特にソーラー発電が多い様感じます。環境破壊著しく、また、まるで管理されていなく近隣の迷惑になっています。市としてどう捉えているのか。
男性	60歳以上	同じ羽生市民であっても、住んでいる地域で土地の利用（宅地や農地の活用）に制限があり、市内の人口流出を抑えるために扱いが変わると聞き憤慨しております。
女性	60歳以上	不燃物ごみ管理・側溝掃除見直しの検討。年々自治会会員の減少及び会員の高齢化。一方、新規転入者の非自治会住民の増加。住民が使用する施設（ゴミ・側溝）は一部の自治会が管理するのではなく、市・全住民が参加するべき案件であると考えます。数年後にはクローズアップしてくる案件と思っております。
男性	60歳以上	特に他の市町村と比較して社会資本の充実がなっていない。例えば街路樹などは枝が伸びれば伐採していて、葉が豊かに茂っている時が無い。近隣のある市は緑があふれていることで市の豊かさが感じられるが、羽生にはそれが無い。このようなところからも羽生市の姿勢が感じられるのではないかと思う。
男性	60歳以上	道路の路肩部に雑草が生い茂って、交通安全上危険であり、刈り取ってほしい。特に旧122号の昭和橋から市街地方面、埼玉用水路沿、南部幹線の歩道部等。幹線道路の植樹帯は年2回くらい雑草の刈り払いを行っているようですが、毎年お金をかけるなら、植樹帯を撤去して歩道を広く利用したほうが良いのでは。
男性	60歳以上	羽生市の乗り合いタクシーや巡回バスなどがありますが、羽生市のりあいタクシーは利用時間 AM8時～PM5時（お出かけは PM4時まで）であり、時間帯が短い。又一回当たりの費用が500円では高いと思う。今後はいつでも利用できる時間帯にしてほしい。又費用は300円位が適当でいいと思い加須市の様なデマンドタクシーやバスがいいと思う。巡回バスの利用客が少なく感じています。よって廃止にはしてはいいかがですか。
女性	60歳以上	高齢者が安心して生活できる環境を整えてほしい。スマートシティを推進するなら病院やスーパーの近くに高齢者が年金で生活できる団地を作るとか、それが無理なら今は全く使えないコミュニティバスをもっと工夫して使えるようにしてください。空き家対策、終活支援に力を入れてほしい。市の目玉としてシェアハウスの事業の支援はどうか。
女性	60歳以上	高齢者が免許返納すると移動手段が悪く、買い物や病院にも行けなくなりますがね。当分免許返納はできません。
男性	60歳以上	あい・あいバスは税金の無駄遣いだと思う。いつ見ても利用客がいない。バス停で待っている人を見た事がない。なぜ利用客がいないのに市役所は導入しているのかわからない。のりあいタクシーを安くして、利用し安くしてほしい。
女性	60歳以上	老後の移動のこと。のりあいタクシーを増やしてほしい。またはバスの路線を増やしてほしい。
女性	60歳以上	道路方面の草刈。（通学路含む）
女性	60歳以上	転入時に外国籍住民へゴミの出し方を理解させてほしい。

性別	年齢	自由記述
女性	60歳以上	街路樹に草は伸び放題。木まで生えて、とても見づらくてしょうがない。手入れが出来ないのであれば、全部切って歩道を広げてもらったほうがいいと思います。
男性	60歳以上	空き家、空地対策を今以上に進めてほしい。公共交通（バス）今以上に増やしてほしい。以上。
男性	60歳以上	冠水対策（側溝ドブさらい）。蓋が重くて町内で行う事は不可能。元町公園の土が側溝に流れ込んでいる。機能していない。空き家解体費用の助成金、予防接種の補助金、ゴミ袋を専用、有料にしないでほしい。包装袋を有効活用しているから。
男性	60歳以上	公園を点検して下さい。余分な木をもっとスッキリして下さい。（南羽生の公園を参考にして下さい）
男性	60歳以上	過日羽生～加須線に家が建った。すぐ隣に農道から田園に入る道路が、狭く農機具が通行出来なくなり、市に相談に行ったら「自治会長に相談して申請しなさい」と言われ、早速話したがその話はなかったことにと断られた。残念だった。現在は農機具が県道より入れないから遠回りしてる。
女性	60歳以上	災害の少ないいい街だと思います。冬の富士山は自慢できます。このまま平和な羽生市が続いていきます様よろしくお願いします。
男性	60歳以上	外来種カミキリによって、市の多くの特に桜の大木が被害を受けた。根本にみかんの色のカンナくずのようなのが目に付きだしたのは6年前後。県営住宅に住み2年に1回冬場剪定している。早く害虫を駆除していれば、立派な木を枯らし伐採する事はなかった。とても惜しくてならない。県営の敷地内の大木、中央公園の多くの木、中川沿いの木等々。
男性	60歳以上	切り枝等の清掃センター持ち込みを再開してほしい。以前のように軽トラ荷台に積み直接受け入れてほしい。ビニール袋に入れて持ち込むのは、穴が開きやすく作業的に厳しい。
男性	60歳以上	ごみ収集日が月曜日の地域は、振替休日は月曜日になるのでごみ収集されない日がかかなり多くなり不公平になる。祝日もごみ収集してほしい。

2. 都市基盤整備

性別	年齢	自由記述
男性	18～29歳	羽生駅東口をどうにかしてほしい。西口に比べてかなり暗く感じるし、飲食店が入るビルの見た目が古過ぎていい印象を与えていない。取り壊して新しい商業施設を誘致するなど、ぜひ検討して頂きたい。
男性	30～39歳	日本全国で道路陥没などが起きているので、調査と必要なら修理の徹底をお願いします。
女性	40～49歳	スーパーの前の歩道橋の東側階段の側面に穴が空いております。安全の為修繕を希望します。敷地内・建物外での喫煙者、歩き喫煙者を市の条例作成等で禁止してほしいです。建物内まで煙が侵入し体調が崩れます。
男性	40～49歳	埼玉水族館、羽生インター周辺をもっと開発すべきだと思う。
女性	50～59歳	東北道の側道の道路環境問題（以前はトラックの走行もなく住みやすかったです。）大型車走行、道幅が狭い為、すれ違いできない。陥没、ごみ捨て、ペットボトル、振動、速度違反、自宅の前ですれ違っているのが毎日大変不安です。早めに対応してほしいです。高速の排気ガス、振動、夜間の振動が最近すごく静かに眠れません。早めに対応してほしいです。

性別	年齢	自由記述
男性	50～59 歳	市政に関する意見では無いが、一般道(県道、農道)の交差点の右折専用レーンをもっと増やして右折する車が居て前に進めない様な交差点を廃止にしてもらいたい。例えばうどん屋の側道に入る交差点右折専用レーンが無いいためその部分が渋滞に。
女性	50～59 歳	羽生駅周辺について西口側商業施設も増えて比較的整備されたと思うが、東口側の整備が遅れてる気がする。駅への送迎時に一般車の待機場所が少なすぎて不満がつる。東口側の開発を期待したい。
女性	60 歳以上	家のわきの道が悪いので直してもらいたい。
男性	60 歳以上	道路の凹等があります。(キレツも) 調整池に水草等があり、清掃お願いします。道路等の白ペイント(止まれ等)みにくいので、ペイントお願いします。
男性	60 歳以上	羽生インター前の早期開発。
女性	60 歳以上	上下水道の整備と公共交通の充実。
男性	60 歳以上	私は川俣地区に住んでいます。道路に関する事です。道路の中央には草が生え、路肩には小石があり、自転車にも乗れませんので、道路の整備をお願いします。
男性	60 歳以上	道路の損傷箇所が散見されます。予算事情が厳しいと思われませんが、整備の程よろしくをお願いします。
女性	60 歳以上	生活道路の整備をお願いします。西羽生駅より自宅の前の道路がガタガタしています。
女性	60 歳以上	家の前の両道路の舗装をしてもらいたいです。
女性	60 歳以上	私は用水対策を講じてほしい。東町、旭町や他にも雨が降ると大変な所が何力所もある。新堀の西側道を草を刈らずにすむ様に広くしてほしい。(西側の堀)
男性	60 歳以上	道路整備のお願い。最近センターラインの消えている場所が多い。整備をお願いします。
女性	60 歳以上	車がなくても安心して暮らせる町づくりをして下さい。選挙、病院、何かしらの手続き、銀行、食に関する場所へのアクセス、文化、芸術に参加する(図書館含め)とにかく生活する上でのアクセス問題は大変重要です。
女性	60 歳以上	小学校近くの用水路を塞いでください。
男性	60 歳以上	移動手段、バス等増やしてほしい。
女性	60 歳以上	道路整備、自転車走行レーン。強風や夏の日差しを和らげるものがほしい。小中学生に交通安全の教育を。
女性	60 歳以上	車椅子で歩きやすい道にしてください。歩道が狭いです。
男性	60 歳以上	羽生駅東口側通りの整備、南羽生駅の改築、羽生インター近辺の開発など重要課題が山積みです。今後の展開を広報等で報告してください。
男性	60 歳以上	道路の整備についてです。自動車路の舗装等は整備されていると思いますが、掘り返しが多くガタガタ状態。歩道も舗装がひどい。シニアカーなどを押して買い物に行く高齢者は大変な思いをしています。歩道の整備を計画して頂きたい。
男性	60 歳以上	市の顔とも言うべき、羽生駅東口及び東北道羽生インター出入口南の整備と活用。
女性	60 歳以上	高齢者が安全に外出できるよう(車いすやシルバーカー等)道路の整備、歩道に段差があるような危ない歩道ばかり何とかならないのか。

性別	年齢	自由記述
女性	60歳以上	道路の整備について感じた事です。草が伸びる季節になると、道の半分以上に草がのび、車で通る時や散歩をする時、とても気になります。それは特に主線から少し外れた道に多いようです。田舎の方でも整備された羽生市であってほしいと願います。
男性	60歳以上	インターチェンジ周辺の開発はどうなっているのですか。東部地区の開発もよろしく願います。
不明	不明	産業文化ホールの駐車場が砂利なのはどうしてでしょうか。パストラル加須の駐車場のような整備はできないでしょうか。雨の日のホール使用时、来場者は困るのではないのでしょうか。整備しないのは何か訳があるのでしょうか。

3. 安心安全（防災・防犯・救急・医療・福祉）

性別	年齢	自由記述
女性	18～29歳	羽生には外国人が多く住みすぎだと思う。若い女性や子供が外出する際不安に思う。
女性	18～29歳	近年羽生市内で外国籍の方が急増しており、生活環境の変化に不安を感じています。市として可能な範囲での情報提供や治安を含めた支援についてご検討くださいますようお願いいたします。
男性	18～29歳	目の前の川が氾濫した際に車を止める場所がない。災害対策を直ちに行わないのであれば、せめて状況に応じた対応について広報してほしい。
不明	18～29歳	障がい福祉サービス（自立訓練や就労移行支援など）の利用について具体的にまとめ、障がい者福祉サービスのご案内とは別に個別に出してもらえると嬉しいです。
女性	18～29歳	最近移民(外国人)が多いので移民を減らしてほしいです。
女性	18～29歳	若い方は金銭的に子供はいらないと思ってる方が多く、少子高齢化防止のため妊娠や出産子育て支援を増やしてほしい。小さい子供がいる家庭の補助金を増額してほしい。金銭的に高齢者優遇されすぎているので、若い世代の人も優遇してほしい。夏や冬の電気代の補助を他の市のように手厚くしてほしい。防犯が増えているため所々にカメラ設置したり、街灯をたくさん増やしてほしい。道端に草がはみ出てる所が多くあるので定期的にお手入れしてほしい。
男性	18～29歳	市の場内放送が聞き取れません。
男性	30～39歳	こども達が遊びやすい公園の整備。夜間の街灯の設置等。子育て、教育支援、高齢者福祉の充実を望みます。
女性	30～39歳	外国人が急増し、少し怖いと思う。パトロールなど増やしてほしい。そして町には雑草がものすごく生えているので、市でちゃんと管理していただきたい。
女性	30～39歳	いつも市民のためにありがとうございます。子どもが生まれ羽生市へ帰ってきましたが、子どもへの支援に助けてもらっています。公園（特に水郷公園）へよく行きます。安心安全に遊べる所を守っていただけると助かります。よろしく願いいたします。
女性	30～39歳	子どもを育てるのに、親へのサポートがたりないと思います。子どもの学習障害で困った際に、具体的に現実的にサポートしてくれる公的なものがなく非常に辛かったです。
男性	30～39歳	羽生市に住んでいる外国人のマナーが悪い。態度が悪い。

性別	年齢	自由記述
女性	30～39 歳	「埼玉県の治安がよくないランキング」で羽生が一位になっていたのがショックでした。昔から何もないけれど、のどかなところが良かったのにお店が増えてきたのはとてもありがたいです。羽生はお年寄りが多いので、高齢者福祉が充実するのが良いかと思いました。
女性	30～39 歳	外人が多くて不安です。3歳以下も保育料を無償化してほしいです。羽生市ならではの子育て支援充実希望。
女性	30～39 歳	子育てに対する支援をもっとしてほしい。保育園の無償化や受け入れ条件の緩和、子育て支援センターの充実、子育てサークル、子育てやプレママへの支援、妊娠出産への支援をもっと充実させてほしいです。防災無線の回数を減らしてほしい、緊急時のみ放送してほしい。騒音で苦痛を感じる。メールやLINE、SNSで情報共有してほしい。
女性	30～39 歳	治安悪化について心配があります。先日犯罪率が県内1位となった記事を見かけました。理由の一つとしてやはり外国人の増加が挙げられるのではないのでしょうか。ここ数年の間に急激に増えていると体感があり身近での問題も少々見受けられ正直恐怖を感じています。夜の駅前で半裸の外国人スケボー少年達がたむろっていた、駅近の住宅に集まり夜に宴会を開いていた(声が響くので結構な騒音)、知人のアルバイト先でのトラブル・近所でケーブルが盗まれる etc. 勿論すべての外国人が悪いわけではないが無関係ではないことは確か。増やすのであればそれなりの対策を。できることならば外国人を斡旋する前に日本人の若者が羽生市で働きたい働きやすいと思える環境づくりを目指してほしいです。
不明	30～39 歳	現在、国道122号線沿いでは物流倉庫などの企業が増加しており、それに伴い、多くの外国人労働者の方々が集まることを見込まれます。こうした状況の中で、一部の地域住民の間では、外国人の増加に対する不安や、犯罪・危険運転などのトラブルが発生するのではないかという懸念の声も上がっています。つきましては、地域の安全と安心を確保するために、関係機関による見回りの強化や交通安全指導の徹底など、適切な対応を検討していただきたく要望申し上げます。また、市道沿いにおいて、庭の植物や雑草の管理が行き届かず、市道にはみ出した雑草が通行の妨げとなっているお宅をよく見かけます。歩行者の安全や通行環境の確保のためにも、市として適切な除草や指導のご対応を検討していただきたく要望申し上げます。
女性	30～39 歳	子どものインフルエンザの予防接種の助成ありがとうございます。
女性	30～39 歳	子どもたちや子連れが気軽に遊びに行ける、利用できる児童館を増やしてほしいです。前に住んでいた自治体(鴻巣市)の児童館が、乳幼児はもちろん小学生たちの放課後の居場所になっていて、そこに行けば誰かに会える、顔見知りがいる環境(勉強も遊びもできて食事可能なスペースもある)というのがとても良いと思ったので。子ども食堂と連携できるとなお良いのかなと思います。
女性	30～39 歳	行田と熊谷は乳児の保育料が無料と聞きました。羽生も無償化してほしいです。市民プラザの有効活用。
女性	30～39 歳	街灯増やしてほしいです。子どもが3人います。支援をもっと手厚くして頂けたら助かります。
男性	30～39 歳	近隣の市が保育料無料です。児童減少の今、近隣の市よりも制度が悪いと人口流出になります。家計の負担もありますが、子供の多い羽生市であってほしいため、子育て支援の拡充をお願いします。
女性	30～39 歳	不妊治療に関する助成金など、市のWebサイトを見てわからないことがあったら役所に行くと、丁寧に教えていただいて大変助かっています。市役所の皆さまいつもありがとうございます。

性別	年齢	自由記述
男性	40～49 歳	岩瀬地区に誘致された工場周りの歩道に街灯が少ない。夜は暗い。工場は完成しているからかもしれないが。食品工場周辺。ガソリンスタンドがほしい。岩瀬・新郷近くに。
女性	40～49 歳	羽生市は住み易いが、外国人問題が多すぎる。テレビで羽生モータースクールの外国人受け入れをやったそうで信じられません。免許を取った後の外国人の行動をチェックしていますか。歩道をヘルメットもせず原付バイクに乗る外国人、17 歳なのに車の運転・一時停止も守らず優先道路ではない道路をスピード出してくる車。全て外国人です。これ以上外国人が増えるようなら引っ越しを考えています。羽生市は外国人を受け入れすぎ。サービス業で働く人の身にもなってほしい。
男性	40～49 歳	埼玉県治安が悪いランキングワーストワンが羽生だそうです。住み良い市にしてください。世界キャラクターサミット毎年行う意味ありますか。税金の無駄だと思います。
男性	40～49 歳	外国人(迷惑、不審者、たむろ)対策をしてもらえると有難いです。犯罪抑止の為にパトロールなども。
男性	40～49 歳	高齢化社会に伴い移動手段の確保は重要と考えています。高齢者の独り暮らしなど、防犯対策も重要と思っております。
女性	40～49 歳	外国人がかなり増えてきているがルールを守らない人が多い。市で外国人の人向けのルールの説明会を実施してほしい。
女性	40～49 歳	羽生市の犯罪率が高いことを先日ネットニュースで知りました。警察と連携して市政で改善していただき住みよい市、借金のない健全な市政を目指していただきたいと思います。いろいろ大変な問題もあると思いますが、よろしく願い致します。
女性	40～49 歳	市内での犯罪が多発しており、防犯カメラの設置・街灯の増設など、防犯対策の強化を希望します。
男性	40～49 歳	羽生第一高校から羽生駅までの道、街灯が少なく暗い。交通安全や防犯のためにもっと明るくしてあげてください。
男性	40～49 歳	癌検診の自己負担をゼロにしてほしい。
男性	50～59 歳	生活道路の街灯が暗すぎる。球切れしている所もあり。防犯の観点から明るくする球へ交換する。
女性	50～59 歳	色々な事情で来ていると思うが外国人が増えすぎるのは好ましくない。様々な習慣の違いから生活のしにくさをお互いに感じるだろうから。法律やマナー意識の薄い地域からの外国人は逆に住んでほしくない。
女性	50～59 歳	要介護5の車いす利用者は福祉タクシーを利用できず、介護タクシーを利用するしかないのがなかなか困難。福祉の車いす対応車両の貸出サービスを利用したが、ホームページ等で利用情報(利用の可否)がわからない事と、借りたり返したりするのに時間制限があり、仕事をしている人が休みに借りようとするのは難しい。(返却を含めて時間が短すぎる、夜間の対応がない) 高齢者の車いす利用者の対応をもう少し考えてほしい。小規模多機能型介護サービスをもっと増やしてほしい。仕事をしながら介護にはこのサービスの充実が必要。介護離職を防ぐためにも。
男性	50～59 歳	市内が全体的に暗い、もっと街灯を増やせば犯罪対策にも繋がる。
女性	50～59 歳	子育て世代を対象に小学校に入学する際にお祝いとして体操着(半袖・長袖各1セット等)を支給してあげたら親御さんたちはとても助かると思います。入学時には色々とお金がかかるので(実体験として)体操着の支給はとても喜ばれるのではないのでしょうか。また、この施策は市外からの転入を考えている方々にも羽生市の子育て支援のアピールになるのではないのでしょうか。

性別	年齢	自由記述
男性	50～59 歳	外国人が急激に増加しています。治安、教育に不安が広がっています。市としての分析、見解をデータを持って発表してほしい。羽生市に住み続けているのか心配を感じています。
不明	50～59 歳	海外からの移住者の方々が増加しているが、就労先等で日本のルールについて学習する機会を増やして理解できるようにしてほしい。車の止め方、自転車の乗り方等危険を感じる機会が多いと感じる。
女性	60 歳以上	子育てしやすい町作りに努め活気ある羽生市作りを目指してほしい。又学童クラブ（岩瀬）は4年生から入れずいきなり鍵っ子となり大変なショックでした。希望があれば5年生位までは共働きの多い中入れるようにお願いしたいです。
女性	60 歳以上	近年、自然災害が多くなる現状で防災訓練も大切ですが、具体的な避難訓練がより必要ではと危惧しています。避難場所までのルート、避難場所の何処に行けばよいか、避難場所には何が準備できているのか、市政で意見が出ないことも心配です。
男性	60 歳以上	高齢者（特に独世帯）の買い物、ゴミ捨てを行う場合歩きにくい、場所が遠いなどの理由でできない人の支援に力を入れてもらいたい。体制づくり。（しくみ）
女性	60 歳以上	高齢者が安全に外出できるよう（車いすやシルバーカー等）道路の整備、歩道に段差があるような危ない歩道ばかり何とかならないのか。他市と比べて税金など社会負担や年齢が高い町内の負担などが大きいように思うが。
女性	60 歳以上	障害者用の駐車場があまりにも少ない。乗り合いタクシーの条件が悪い。使いたいが使えない。高いし。台数も増やすなど、障害者向けをもっと考えてほしいです。
男性	60 歳以上	水郷公園の照明ですが夜はもう少し明るくしてください。ランニング散歩するのに暗く感じます。
女性	60 歳以上	障害者への就労支援の選択がない。同じ障がい者の悩みなど吐き出せる所がない。電話の特殊詐欺の放送を実際のを流せばいいのでは。「こういったものですから注意してください」といった意味で。
女性	60 歳以上	福祉がイマイチ。交通で駅まで行く手段が無い。
女性	60 歳以上	年齢的に医療や防犯についてが気になります。予防注射とかはできるだけかかりつけの病院でお世話になりたいのですが、市役所へ問い合わせをしたら、市内で打つ方が簡単ですとの回答があったことがありました。ちょっと残念でした。防犯もすべてやりたいのですが、広い家なので無理があったりします。手が回らない分、市内、市外のあちこちに防犯カメラの設置があったら安心できるのになと思ったりしています。
女性	60 歳以上	現在若者が犯罪に巻き込まれることが多い。危険性を知らずに犯罪を犯してしまうケースが後を絶たない。一度罪を犯した人はレッテルを貼られ、一人で立ち直ることは相当困難。私としては、小学生、中学生のうちに市と警察と学校で連携を図り、犯罪を未然に防ぐ何らかの方法を考えていただけたら有難いです。特に携帯の SNS が一番恐ろしいです。
女性	60 歳以上	家の前を通るのは日本人の方より外人さんの方が多くなりました。商売をしてる外人の方のゴミの出し方。店から出る臭い等、マナー、色々目につきますが、怖いイメージがあり、声に出して言えません。特に近所の空家の塀に立ちションしたり、タバコのポイ捨てには我慢できません。市の方から店をやってる外人に向けて注意事項の書面でも送って下さいませんか。
女性	60 歳以上	街灯が少なく夕方歩いて買物に行くのがこわい。空家が多く何か良い対策はないのか。

性別	年齢	自由記述
女性	60歳以上	近所に荒廃している所が増えてきています。そういう場所の見回り、点検は市職員さんや議員さん（地元の）の仕事ではないからそのまま放置されているのですか。空き家問題は増加の一方ですが、何らかの対策が必要と思えます。
女性	60歳以上	介護サービスにお金がかかり、全部年金を使ってしまう。年金額は上がらないのでしょうか？
女性	60歳以上	1人暮らしの高齢者に地区の民生員さん声かけ見回りを宜しくお願いしたいです。
女性	60歳以上	ふじみ橋上に防犯カメラの設置。一人暮らしの高齢者に防犯カメラの設置補助。タバコのポイ捨て禁止。
男性	60歳以上	生活保護が適正に管理されているのか疑問で、本当に必要な家庭だけなら良いのですが、申請さえ通れば働かない人はいないのでしょうか。生活保護をもらっている人も、公共の作業ならできるのでは。3ヶ月でも半年でも、見直しをして本当に必要なのかを管理してください。
男性	60歳以上	【外国人の受け入れと防犯対策の強化について（地域住民の治安向上を願って）】はじめに羽生市役所の皆様には、日頃から何かと大変お世話になっており、厚く御礼申し上げます。さて、昨今、居住する地域におきまして、気になることが、2点程ありましたので、今回、申し上げさせていただきます。外国人の受け入れについて私の住んでいる家の近所にも、数年前から外国人の方々が定住しております。今のところ、地域住民（市民）と外国人の方々との間で、ルール違反や生活習慣、文化的な摩擦など、トラブルが発生したと言うことを一切聞いたことはありません。しかし、他の自治体では、外国人の定住者が年々増えており、外国人が地域住民（市民）に大きな影響を与え、トラブルを生じて、深刻な社会問題となっていることも、事実であります。私の住んでいる地域も、将来的にどうなるか分かりませんが、しっかりと将来を見据えた、外国人の受け入れについて、地域住民の不安がなくなるような、行政の取組が急務ではないかと存じます。そこで、行政として、外国人の方々の受け入れに関し、具体的な施策としてガイドラインを作成するなど、一定のルールの構築に、御尽力を賜れば幸いと存じます。防犯対策の強化について何かと物騒な世の中となっておりますので、地域住民の治安向上のため、防犯対策の強化になるような、防犯パトロール拡充、防犯カメラの増設、出来れば駐在所の増設など、具体的な施策の実施を切に希望するものであります。おわりに羽生市役所の皆様には、少子高齢化が進み、財政が厳しい折、大変なご苦労があるかと存じておりますが、この度は、一市民として、地域住民の治安向上のため、誠に勝手ながら2つ程の願いを申し上げます。なお、外国人の方々を否定する訳では一切ございませんので、ご理解ください。最後に、羽生市役所の益々の発展と職員皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げまして、終わりといたします。乱筆乱文については、ご容赦ください。以上、よろしく願いいたします。
女性	60歳以上	外国人が多く、治安が心配です。川口市のようなクルド人による治安の悪化は他人事ではありません。羽生市民が安心して暮らせる住みよいまちづくりをしてください。
女性	60歳以上	外出には自転車を使うのですが、羽生駅東口の郵便局前の車の路上駐車を何故取り締まらないのでしょうか。自転車専用レーンを走れたためしがありません。
男性	60歳以上	障がい者に対する様々な手続きをもっと簡単に分かり易くするべきである。なぜ、敢えて面倒な事をさせる方向へ進んでいくのだろうか。嫌がらせかと疑いたくなる。

性別	年齢	自由記述
女性	60歳以上	近隣の市の方が成人の健診（検診）内容が良いので羨ましい。羽生市も充実してほしい。
男性	60歳以上	工業団地が近くで大型トラックが通っては行けない道に入りとても危ないし道路を壊すのを規制してもらいたい。
女性	60歳以上	高齢化を心配することは大事ですが、それよりも若者化を考えた行政を進めていかないと街の活性化にはつながらない、市政のスマート化は大事、高齢化だからなんとかしないといけないではなく、それより若者が多く住んでいただければ、分母が大きくなる。子育て世帯が安心して暮らせる環境を整えることは、やがてその子育て世帯が高齢化しても、更なる発展に繋がります。毎年行う健診も高齢者のために費用を使っており、子育て世帯に費用を使っていたことが必要。病気でないのに、健診受けて異常と言われた時はすでに時遅しで、医者にお金取られ、身体をいじくりまわされます、挙げ句の果てには医療費増加です。より良い市政は若者化に舵を切ったスマートな市政です。
女性	60歳以上	この調査の内容のキメ細かさを見て、全てに届かないとは言え日ごろの努力を感じます。ご苦労でしょうがよろしくお願い致します。昨日（10/11）はパラスポーツ大会が開催されました。市長達に来ていましたが開会式が終了すると退席してしまいました。これでは障害者の家族・各施設の職員の皆さんのご苦労は分からないでしょう。せめて1時間でも見学して頂きたい。市長も議員の皆さんも言葉で「福祉」と言っているだけです。
男性	60歳以上	現在、加須市には官民合わせて四つの児童館がある。対して羽生市には市民プラザの「こども広場」一つである。加須市は中学生くらいまで児童館で遊んでいる。特に卓球台のある施設は親子で楽しく遊んでいる。利根川こども館は隣接して「未来館」がありどちらも家族づれで楽しく遊んでいる。羽生市も児童館をもっと増やしたらよいと思う。
女性	60歳以上	上下水道などインフラの老朽化にもきちんと対処して防災面でも安心できる街になってほしい。
男性	60歳以上	羽生市に生まれて80年（終戦の年）になりますが、大きな災害もなく、身の危険を感じる事もなく本当に安心して生活できる土地だと思う。これから何が起きるか分かりませんが、このまま何事もなく元気で生活することを感じております。
男性	60歳以上	東日本大震災の際羽生地区も激震の影響で停電を余儀なくされた。住民の誰もが不安に駆られたことだろう。あの真っ暗で住民達の一番の安心は「防災無線」での放送ではなかったか。例えば「停電で復旧作業を早急に行っているところです」などとやることはあったはず。羽生って「防災羽生」なんて最もらしいことを言っているが分かってないな。素直な感想悪しからず。
女性	60歳以上	市の防災行政無線を繰り返し放送してほしい。一回では分からない時がある。
不明	60歳以上	子育て支援の前に婚活支援はどうなのでしょうか。周りにも独身の方が沢山います。愛媛県のような支援センターをとば申しませんが。

4. 農業

性別	年齢	自由記述
男性	40～49 歳	羽生は沼地が多く稲が良く育つ先人の皆様はそれをよくご存じだった。もう手遅れに近いが地域農業と自然保護環境保全そして国防これらは一本の線の上に存在している。
男性	60 歳以上	後継者がいないので田んぼをどうにかしてほしい。
男性	60 歳以上	切実な問題として5年 10 年後には農業の後継者がいなくなることが予想され、田畑は草むら化してしまう。特に米の自給自足を確保するためにも大規模経営の手を打ってほしい。民間任せの状況に思えてならず、行政・国・県の主導が急がれる。（男性、60 歳以上）

5. 商工観光（産業）

性別	年齢	自由記述
男性	30～39 歳	羽生駅東口に平屋でいいのでファーストフード店を新設してほしい。会社員か学生さんが羽生駅を多く利用しているためである。西羽生駅の付近にトイレを新設してほしい。学生さんが駅近くの住宅にトイレを借りに来たからだ。
男性	30～39 歳	駅から離れている地域にも、スーパーやコンビニ（24 時間でなくて可）を作してほしい。
女性	40～49 歳	キャラクターサミットよりも、雨ですぐ冠水するような道路の整備や街灯の設置、イオンモール周辺の混雑解消等、やることはあると思う。正直キャラクターサミットが市民に何を還元しているのか教えてほしい。遊びに来る人達も、周りに何も無い会場で、宿泊先も観光地も乏しい場所では、泊まりがけとかでは絶対来ない。水族館の駐車場では足りないことくらい、分かってほしい。
男性	40～49 歳	羽生駅前の活性化をしてほしい。ファーストフードの誘致など電車の待ち時間に過ごす場所がほしい。駅前の駐輪場を市営にして、屋内の建物にしてシルバー人材を活用して管理してほしい。（鴻巣駅などそのようになっているかと）
女性	40～49 歳	①三田ヶ谷にある運送会社で働いていた時、近くにスーパー等がなく、帰りの買い物に困った。②「観光交流人口 100 万人を目指す」とあるが、市内の企業で働いた時、周辺の町からもたくさんの方が働きに来ている。まず関係人口を増やす事を目標にしてもいいと思う。③tiktok (SNS) で、羽生市が防犯上危険な町で紹介されてた（10 位中 6 位くらい）、TikTok で正しい情報を発信すれば興味を持ってくれる人、企業、自治体が増えると思います。
女性	50～59 歳	世界キャラクターサミットはもう終わらせてもいいのでは。違うことにお金を使ってほしい。
女性	50～59 歳	一軒家ばかり増えているが、マンションの方が将来的に考えて人口増加につながると思う。（売り買いしやすい）羽生に住んでいる人に羽生のいいところはと質問すると、実際にほとんどの人が「イオンがある」と答えます。伝統興味ないです。地域活性化を考えるなら「イオンを中心」に考えるといいと思います。

性別	年齢	自由記述
女性	50～59 歳	道の駅はにゅうを羽生の顔となるような賑わう施設に生まれ変わらせてほしい。全国各地の人気道の駅は旅の目的地になっているが、はにゅうはスーパーのようで集客できていない。あい・あいバスはバス停を集約し、どの路線に乗っても駅、フォルテ、カインズモール、イオンを通るルートにし、通勤通学時間も配慮した生活者目線のものに変えてほしい。廃校を再利用し学びの多様化学校を設置してほしい。県南地域と比べて不登校児の教育機会の不均衡を感じます。
女性	60 歳以上	岩瀬地区に商業施設が集中している。不信感がある。
男性	60 歳以上	羽生の町は活気がない、高齢者が多いから若者に魅力ある町づくりを作してほしい。主たる産業起こしてほしい。
女性	60 歳以上	商店街の過疎化・街中に活気がない・空き家の多さが気になります。
女性	60 歳以上	羽生道の駅が何の特徴もなく残念。埼玉と群馬の県境、寄りたくなるような、自慢できる様な利用価値のある道の駅を目指してほしい。利根川から見る山並みがステキです。素晴らしい。
女性	60 歳以上	羽生はインターがあり、広い土地がたくさんあるので活用した方が良い。イオンや文化ホール、水族館、キャッセ、道の駅はあるが、他の所が小さいうえに周りに何もなくて、人が集まらないと思う。もっと市外や県外の人達が来るような施設やお店を作った方が良いと思う。羽生には富士山が綺麗に見える所があるので、そのようなこともアピールできるように、羽生の情報を提供できるようにしたら良いと思う。
女性	60 歳以上	同じものを売っている店ばかりで面白くない。新しく作ったスーパーが駅前にあるスーパーと同じでは意味がない。新しく作った道路が対向車が見えにくくこわい。
男性	60 歳以上	羽生の道の駅規模、内容（販売物）とも残念。もっと企画を考えれば羽生の魅力を伝えられるのに（産業・物産）。今まで行った道の駅で最低かも。また行きたくなる道の駅を目指して要変革。
女性	60 歳以上	世界キャラクターさみっと in 羽生で有名になったけど 縮小されてしまい以前のような活気がない。また水郷公園で開催してほしい。クラフトビールもそう、ビール好きの間で有名になっていたし美味しいと言ってもらってた。ビアフェスもまた開催してほしい。
男性	60 歳以上	井泉、三田ヶ谷、村君などの東部地区には商店なく過疎化進んでいます。市はどのように考えていますか。

6. 教育、歴史・文化

性別	年齢	自由記述
男性	18～29 歳	学校教育の現場では、教師の負担等が増加しているため、部活動の外部への委託や、備品の整備等、教育にかかる費用を増やすべきだと考えるため、市議会の方には、そういった点で議論をしていただければと思います。
女性	30～39 歳	図書館の利用を便利にしてほしいです。借りに行くのも遠い、駐車場も狭い、暗いイメージが羽生の図書館にはあります。本の返却だけでも駅にポストを設置する、予約すれば駅やイオン等のブースで借りることができる等どこでも借りやすいシステムがあると嬉しいです。
女性	40～49 歳	家庭に不登校の中学生がいます。学校全体でも不登校の生徒が増えていると聞きました。校長・担任の先生主体で家庭訪問や勉強の支援をしてくれますが、先生の異動や先生個人の熱量などで年度で対応が変わります。教育委員会主体で、長期的視点で支援していただけると嬉しいです。
男性	60 歳以上	小学校統合後、いじめや不登校などの諸問題が生じた場合の開示と速やかな対策。

7. コミュニティ、協働

性別	年齢	自由記述
女性	30～39 歳	選挙時に思いましたが「地元の人ですら良く分からない」という場面になかなかならないと思います。お祭や地域行事の振興、思いやりがほしいと思いました。例えば駐車場から「投票場はこちら」という看板を道線に沿って何本か立てる等、ひと手間がほしいと思います。今後を期待しています。居住一年の若者より。
その他	30～39 歳	スーパーや医療機関がない地域（三田ヶ谷や村君など）での老後の暮らし方についての提案が必要。近くに頼れる親族がない場合、今のままの羽生では生きていけない。また、家からゴミ捨て場までが遠い地域について、自分で捨てに行くことができない場合の対策の検討。
女性	40～49 歳	健康のためにウォーキングをする場所を作ってほしいです。イオンの周辺などウォーキングを推奨する場所があれば人との繋がりもできてくるのではと思います。
男性	40～49 歳	近年まちなかで外国人が増えてきているのを感じるので、信頼や安全の為に普段からお互い気軽に交流出来るような場がある方がいいと思う（既に設けてあるようでしたら更に親交を深めていければ尚良し）。
男性	50～59 歳	メディアを通じて全国的に有名な、年間 200 万人を超える利用者を有する羽生 PA を配しておりながら生かし切れていない。彼らを迎える施策としての高速出口付近の開発整備、市内観光へ導くための導線開発が必要ではないか。（10 人に 1 人降りてくれば 20 万人）近隣の群馬県大泉町は、外国人の多い町として様々な取組みを全国メディアに取り上げられることが多いが、羽生市も同様な環境であるにも関わらず取り組みが見えてこない。様々な異文化（衣・食・住・信仰）との交流の場を設けて、外国人コミュニティの孤立化、犯罪化を防止できないか。さらには、異文化交流の場自体を観光に繋げられないか。（大規模な商業施設や屋台村など）
女性	50～59 歳	スポーツやいろいろな習い事ができるクラブやサークルなどを作ってほしい。趣味をみつきたい。

性別	年齢	自由記述
女性	50～59 歳	高齢者が多くなっている。今の社会の移り変わりの中あまり必要のない役員（地区）は廃止すべきだろうと思う。細かい地区のお祭なども廃止すべき。空き家が多いのか草木が道路まで伸びていることが多く、防犯や事故などが心配。どうかにかしてほしい。
女性	50～59 歳	自治会を解散してほしい。
女性	50～59 歳	世代によっては地域の活動等への参加が無理な場合もある。各自治で色々決まりはあるだろうけど、高齢の先輩方から年若い方への強制的な協力を期待されるのは好ましくない。
男性	50～59 歳	市は、防災組織として自治会を活用していますが、自治会に入会される方が少ないです。ゴミの集積所の管理、道路管理等自治会の会員の負担が大きいです。実際災害があった場合は、非自治会員の人も平等に扱うのであれば日頃の活動においても全員参加にすべきだと思います。条例で求めているほしいです。30km 規制の道路での速度超過が目立ちます。取り締まりまたは規制強化を目立つ様にして下さい。防災組織の自治会のモデルを市で決めるなど市が動いて下さい。
男性	60 歳以上	コロナ禍により中止になった各種行事について、必要なものは復活していただきたい。
男性	60 歳以上	町内会への参加推進を市役所が前面に立って行ってほしい。
女性	60 歳以上	市民全員での盆踊り。よさこいは、元気な人対象だが施設でも、自宅でも、公園でも道路でも市内放送にあわせて、みんなで踊る。そんな企画希望。
男性	60 歳以上	自治会に入っている人にメリットがない。
女性	60 歳以上	自治会の活動など様々な場面で男性中心となっていて、もっと女性が自然に活動できるようになってほしい。
男性	60 歳以上	地元で働いて暮らしができるように。

8. 行財政

性別	年齢	自由記述
女性	30～39 歳	以前、市の職員さんに固定資産税の使い道について伺った際、「私たちの給料になります」との回答でした。確かにその用途もあると思いますが、払っている側としては市をよくするための使い道ではなく、先にその回答が出て来たことに不信感を抱きました。どうか、私たちが毎日必死に働いて稼いで、なんとか支払っている税金ですので、適正に使っていただきますようお願いしております。
女性	40～49 歳	駅に設置してある市のキャラクターのモニュメントは、はっきり言って税金の無駄使いです。藍染の飾りつけは PR のつもりでしょうが、汚らしく見えて PR になっていないと思う。駅の鳩のフン対策は天井に網を張ってくれて効果はあると思う。対策が最近のことだったので、もう少し早くやってほしかった。
男性	40～49 歳	住民税が高い。使い方はどうなのか。
女性	40～49 歳	活気がない。独身者に対して、恩恵がない。税金が取られるだけ。
男性	40～49 歳	市民税が高い、福利厚生、各補助金の見直し、街中から離れた場所の（道や街灯）整備設置、市税金の使い道の明確な使い道。

性別	年齢	自由記述
男性	40～49 歳	税金が高い。
女性	40～49 歳	市長は他の市長に比べて給料が高いのはなぜですか。理由を教えてください。他県から引っ越してきましたが、市民税が高いです。税金が何に使われているのか分からないので明確にしてほしいです。
男性	50～59 歳	こんなアンケートにも、何百万もムダ金を使ってしまい血税がもったいない。
男性	50～59 歳	住民税が高い。
女性	50～59 歳	文化ホールや体育館にネーミングライツを導入して、管理維持費にあててみてはどうでしょうか。久喜市総合体育館や渋谷公会堂のように、企業に協力をもち掛けてみてはどうでしょうか。
女性	50～59 歳	市民税を安くしてほしい。
男性	50～59 歳	税金が他の市町村に比べて高い割には市民に対する恩恵が少ない。
男性	50～59 歳	低所得者に対しての現金支援をなさすぎです。今の物価高で生活が本当に大変です。よろしくお願いします。
女性	60 歳以上	国民年金をもっと増やしてください。
女性	60 歳以上	通知のまま納税しています。このお金は何の役に立っているのか、高い市長給料の財源かと思っている。街の中で市職員が業務を行っているのを見たことがない。狭くて汚い道路、害虫の発生する側溝、誰もが有効に利用できる厚生施設が皆無。「住み良い街づくり」を感じる市政がほしいものです。※市広報で「街づくり」の回答がほしい。
女性	60 歳以上	市の補助金がどのくらい種類があるか知りませんが、四月になると総会がたくさんあります。必要でない補助金はなくし、保険税や介護保険など足りない所に回してほしいと思います。どんな補助金があり、何に税金を使っているか公表したら無駄が減るのではないかと思います。
男性	60 歳以上	税金を安くしてほしい。
男性	60 歳以上	新たな行政経営とその改革手法、システム導入。
女性	60 歳以上	税金、水道料金が高いです。街灯が少ない。
男性	60 歳以上	税金の使われ方や、体感できる市の活動が知りたいです。
男性	60 歳以上	物価高が生活を圧迫している現状で地域の振興券など実施してほしい。隣の加須市などは一定期間キズナサポートとして毎月市民に援助があるようです。市内で使用できる振興券であれば市民に還元されるはず。
女性	60 歳以上	若い人達が将来に希望が持てないことが大問題だと思います。安心して子どもを産み育てる、家庭を持ちたいと思える社会に変わってほしいと願ってます。羽生市の出生率にも繋がります。誰もが高齢者になる中、預貯金がない年金もカット税金や物価は上がり続ける。どの世代も苦しんでいます。毎日生活するだけで精一杯、色々施策を考えても心の余裕が持てないので興味を持てない方が多いと思います。金銭的な支援しか無いと思います。市民が受けられる頂けるものに関しては、市政の方から広報していただきたい。誰もが羽生市に住んで良かったと思える様取り組んでいただきたいと願っております。失礼いたしました。
男性	60 歳以上	住民税を安くしてほしいです。
女性	60 歳以上	他市と比べて税金など社会負担や年齢が高い町内の負担などが大きいように思うが。

性別	年齢	自由記述
男性	60歳以上	消費税をなしにしてもらいたい。
男性	不明	住民票の手数料をもっと安く100円に。群馬県は100円だ。

9. 政策、まちづくり全般

性別	年齢	自由記述
男性	18～29歳	企業誘致を活発に行うことで、人口の増加が見込めると考えます。
女性	18～29歳	高齢者や18歳未満の子供への支援だけでなく、20代～50代への支援も考えてほしいと思います。子育て支援のために自分の将来を考えて大学に通って手に職をつけようとしているわけではないので、正直子育て支援を必要としない側の人からそのための税金を過度に徴収するのはやめてほしいと思っています。
男性	18～29歳	子育て支援頑張ってください。自転車屋さん増やしてください。
男性	18～29歳	羽生市の未来あるべき姿を構想し、責任をもって市政に取り組んでいただきたい。
男性	18～29歳	市長はそろそろ変わるべきだと感じている。夜の騒音対策の強化を。近年増えつつある外国人のマナーが悪い事について何か対策を。交通の便は相変わらず良くない。減っている子どもをどうにかしよう。
男性	18～29歳	早く南羽生駅の反対側にも改札を作ってほしい。改札が一カ所しかないのはすごく不便。踏切待ちで電車に乗り遅れたことあり。
不明	18～29歳	南羽生駅の改札を上り方面側にもつけてほしい。
女性	30～39歳	羽生市民プラザなどの施設の老朽化により夏場の冷房が利きにくく熱中症になりやすい、対策が必要と思う。羽生総合病院がある122号沿いで、バイクの騒音が多々ある。病院も近いので、騒音対策をしたほうが市民の暮らしが向上すると思う。岩瀬地区は、ショッピングモールや企業誘致により便利で道も明るくなり、住みやすくなったと感じる。
男性	30～39歳	1. 市議会の若返り（少数精悦体制へ）。2. 市全体に活気（元気）がない。
女性	30～39歳	羽生市は隣接する市に比べて補助金や手当で、子育て支援が充実していないと感じる。また、水道水がまずくて飲めないのを改善してほしい。若い子育て世代の家庭をターゲットにした施策を手厚くしていかないと隣接市町村に人口をとられて伸びていかないのではないだろうか。あと外国人労働者が多いのも気になる。外国の方が全員悪いわけでもないが交通ルールや施設利用マナーが悪い人も散見されるので治的に気になる。
男性	30～39歳	一部の地域の人口増加はあるが、人口減少の地域があり、その人口の増やし方や土地の利用の改善。
女性	30～39歳	市内の高齢者に対してリハビリの仕事をしています。会話の中で羽生は何もないという話をする場合があります。海も山もないから自然災害は起きにくい、「特にこれ」と誇れるものがない。色々な活動をされているとは思いますが、それが市民にしっかり周知されているのかとなると完全ではないと思います。まずは今後も羽生に住むであろう若い世代に、より羽生を好きになり、魅力を感じれるような取り組みをして頂きたいです。介護保険料もう少し安くなってほしいです。（将来が不安）高齢者の集まる場が少ないと思う。100才体操以外に紹介できる地域の場はあるかもしれないが不十分な気がします。

性別	年齢	自由記述
女性	30～39 歳	<p>市政は一部の人には馴染みがあるかもしれないが、現在に至るまで殆ど馴染みがなく市政の存在意義を十分に成していると感じない。年代や生活状況によってサポート体制の充実さに偏りは生じるのは承知しているが、子育て、高齢者のみの視点にサポートが重点化されておりグレーゾーンの人等、全体を俯瞰して見たサポートの考慮が置き去りにされている印象を受ける。慣例に従った受動的な対応の印象で、実際に役所に赴いても人によって粗雑な稚拙な対応をされた事もあり、提供する側の対応の振り幅や意欲等を見ると市民との温度差を感じると共に市政、行政へ触れ合う機会の減少へも繋がりがかねない懸念が生じた。SNS が主流の現在、周知方法の拡大、生活、お金が苦しい現在、生活を安心させるような市政を新たに熟考してほしい。また、税金に関しても、今のままだと本当に必要なのかと疑問を抱く様な文章を目にした機会もある事から、十分な説明責任を踏まえた上で財政運営、管理をすると共に、働く世代を含めた全世代に目を向けた市政を遂行して頂きたいと思う。</p>
女性	40～49 歳	<p>羽生にあるイオンや観光施設、羽生病院などへ行くための手段であったバスが無くなることで不便になった方が多いと聞くのは車を持たない、乗れないお年寄りにとっても不便となってしまったのではないかなと思う。また、代理となったバスは金額も高い お釣りも出ないと言った事で利用者減となっていると思う。使わない電気の無駄遣いが目立つように感じます。例えば、プラザ通りは夜間そこまでの交通量もなく人もいないにも関わらずあそこまでの電気を使わなくてもいいのではないかな、ならば、学生さんや労働帰りの徒歩、自転車通学通勤の方が必要な箇所への明るさの提供をしてあげてほしいと思う。市民プラザの毎日 22 時まで開放は、羽生市の財政からでているのか。だれもないような環境の場に電気、冷暖房設備を投資するのにはなぜなのだろう、他に財政を整えて貰えた方がいいのにもと思う。羽生市民であっても、羽生総合病院は紹介状がないと診てもらえない病院へと変わってしまったと書かれていたことに、万が一、突然の病気になってしまった時に羽生には病院がないのだと不安に思ってしまった。羽生市が運用しているのでしょうか。毎日、夜も人がいなくてもずっと電気がつけばいい、こちらも必要なのかと思っています。使うべき、必要とされている方、市民の声をすくい、情報収集の元、安全対策の為に等使って頂きたいと願います。ご検討の程よろしくお願い致します。</p>
男性	40～49 歳	10 年後、20 年後、30 年後の未来図を見せてほしい。
男性	40～49 歳	市政もそうだが市議も何をやって何が出来てるか成果が見えない。分かりやすく見えれば良いのでは。政治に興味がない人にはきっかけ、入口が必要かと。
男性	40～49 歳	<p>暮らしやすさとはどんなことか、日々生活していれば楽しいこと嬉しいこと辛いこと悲しいことが日々起こります。どうしてそんなことを感じるのでしょうか。それは他人がいるからではないでしょうか。環境にある程度の不満があっても人間関係が良ければ乗り越えて行けそうな気がします。暮らしやすさは生きやすさと言えないでしょうか。もちろん 24 時間スーパーや、選べるほどの就業機会があると生活環境は上がります。老若男女それぞれの時期瞬間で思い悩み過ぎていきます。他人に相談なんて気軽に出せるものではありません。しかし、社会生活を送る上で他人と関わることを全くなくすることはできません。どうでしょうか、誰かが誰かに相談出来るしくみというのは。行政や寺院などお決まりの相談場所だけでなく、なんなら高齢者施設に入所した方のなかには人生経験豊富なまだまだ他人の相談に乗れるかたがおられるかもしれません。いくつになっても活躍出来る環境を。これからも住み続けたい街、羽生。</p>

性別	年齢	自由記述
女性	40～49 歳	地域住民が仲良く、暮らしやすい。財政面も不安もない明るい社会を希望します。お願いばかりではなく、協力できることがあれば協力致します。期待しています。
女性	50～59 歳	人口、お金問題で工場が出来たほうがいいと思うけど、新郷の、大きな建物が少なく、のんびりした静かなところがいいと思っているので変えてほしくない。父が亡くなった時に市役所のあちこちの窓口で同じことを書いたから、せっかくあるマイナンバーカードで1回で終わるようにしてくれるとよかった。羽生駅にレンタサイクルがほしい。
女性	50～59 歳	荒れた土地の対策を土地所有者任せにしないでほしい。
男性	50～59 歳	企業の誘致や羽生の知名度の向上に期待します。
男性	50～59 歳	土地活用をはじめ、積極的に企業を誘致していることが高く評価しております（商業施設、雇用創出）今後も、より多くの企業やしくみを想像して地域活用、土地活用を図ってほしい。また、ハザード対策や、大雨の際の道路冠水対策（排水や、貯留）などのインフラ整備をしっかり進めてほしい（平坦で安全な土地だけに水害は確実に対策が必要）
男性	50～59 歳	企業誘致を推進し活気ある街作りしてもらいたい
女性	50～59 歳	各種イベント開催については、近隣市町村に比べて一步先んじており、充実していると感じている。市内の公共移動手段については先進的な取り組みをしている市町村を参考に（茨城県境町等の無人移動車など）調査して頂きたい。河田市政になり、教育面、観光産業については積極的な取り組みが評価されると思う。これからも住みよい羽生市にして頂きたいと心より願っております。
女性	50～59 歳	車が運転できることが条件とはなりますが、大型商業施設もあり、自然もそこそこあります。子育てをする環境としては決して悪くないかと思えます。その辺をもっとアピールして子育て世代を呼び込むようにしてみたいかがでしょうか。人口減少という問題もありますので、将来的にはスマートシティ、コンパクトシティを念頭に置いてほしいと思えます。
男性	50～59 歳	これからも住みやすいまちづくりを目指して、特にこれからの将来を担う若者が魅力を感じるまちづくりをお願いします。
女性	50～59 歳	家族の葬儀の時火葬場を利用しました。料金が安くて良かったのですが、待合所が靴を脱いで利用しなくてはならなくて、高齢の親戚が大変な思いをしたのでフラットにしてほしいです。
男性	50～59 歳	広報紙が届きませんので駅頭などで気軽に入手できるようにしてほしい。

性別	年齢	自由記述
男性	50～59 歳	<p>令和2年度に実施された市民意識調査の結果を拝見いたしました。市政に対する市民の意見を広く集約される取り組みに敬意を表します。しかしながら、集約された市民の声が、その後の市政にどのように反映されているのか、具体的なプロセスが不明瞭であることに懸念を抱いております。市民の貴重な意見が十分に活用されないままに終わってしまうことは、市民の期待を裏切るだけでなく、行政運営の効率性や透明性を損なうことにもつながると考えます。つきましては、市民の納得感を高め、より良い行政サービスを実現するため、以下の取り組みをご検討いただきたく、提言いたします。</p> <p>1. 市民意識調査に基づく課題設定の公開 ・市民意識調査で浮き彫りになった問題点に対し、行政がどのような課題として認識し、どのような対策を講じるのかを、具体的に一覧で示してください。 ・各課題について優先順位を設定し、その理由を明確にしてください。</p> <p>2. 市政課題全体の進捗管理と情報公開 ・意識調査に限らず、羽生市が現在取り組んでいるすべての課題について、一覧化した上で、その進捗状況（マイルストーン）を定期的に公開してください。 ・進捗が計画通りに進まない場合は、その原因（人員、コスト、法整備、市民意見集約の難航など）を分析し、今後の改善策（対策の見直し、優先度の再設定、日程調整など）を分かりやすく示してください。</p> <p>3. 予算と費用対効果の明確化 ・各課題への取り組みに投じられた予算と、それによって得られた結果（成果）を、費用対効果として示してください。 ・これにより、行政運営における無駄をなくし、効率的な予算執行を市民が判断する一助となります。</p> <p>4. 数値化における透明性の確保 ・客観的な評価が可能な項目については、積極的に数値化して公表してください。 ・一方、数値化になじまない項目については、無理な数値化を避け、算出条件に恣意的な解釈が加わらないよう、定性的な評価として丁寧に説明してください。また、今回の市民意識調査では、前回まで設けられていた各項目ごとの自由記載欄が削除されたことを残念に思います。統計データだけでなく、個々の市民の具体的な声を行政に届ける上で、自由記載欄は貴重な機会です。個々の項目の「その他」欄に記載することは、設問の意図から逸脱する懸念があったため、最後の自由記載欄に以下の2点について記述させていただきます。【具体的な施策提言】</p> <p>A. 交通機関の改善 ・駅周辺のバリアフリー化：駅に通じる歩道を含めた路面のフラット化や、電線の地中化（電柱の埋設）などを進め、誰もが安全に利用できる環境を整備してください。 ・安全な自転車道の整備：歩道の一部を自転車専用レーンとして明確に分離する方式を推奨します。車道への設置は危険性が高く、国の指針をそのまま適用するのではなく、市民の安全を最優先に考えていただきたいです。 ・道路沿いの植栽管理：視界を遮り、交通の危険につながる道路沿いの雑草・雑木は、定期的な剪定・除草を徹底してください。</p> <p>B. 公共サービス ・図書館の充実：寄付や古本を活用した蔵書購入費の削減や、電子書籍サービスの拡充を検討してください。 ・公共施設の相互活用：学校などの共通インフラを積極的に相互活用・集約化することで、コスト削減を図ることを提案します。ただし、集約化によって遠方からの利用が不便になることへの配慮が必要です。 ・地域交通の強化と連携：集約化のデメリットを補うため、小型バスなどの増便を検討してください。通学、通勤、買い物などで共用利用する仕組みを構築し、企業からの支援も受けながらコスト低減を目指すことを提案します。市民意識調査は、市民の声を市政に反映させるための貴重な資産です。その調査結果を最大限に活用し、市民が市政の動向を「見える化」できる仕組みを構築することは、市民と行政の信頼関係を一層強固なものにします。本提言が、より開かれた、市民本位の市政運営につながることを期待いたします。</p>

性別	年齢	自由記述
女性	60 歳以上	大きな倉庫ばかりの建設が多く感じられる。商店街では活気なく夜は特に淋しい。
男性	60 歳以上	ほぼ公道と同じ私道の補修等を無料とする。家族が亡くなった時の手続きや法的な問題の相談窓口を一本化する。
女性	60 歳以上	加須市は各世帯に 4、5 年続けて 5 千円のクーポンを市から配布していますが、羽生市は過去一回だけしかありませんでした。加須市と同じにして下さい。鴻巣市でも年二回クーポンがあります。
男性	60 歳以上	羽生市の活性化(人口拡大・生活圏の充実)私は、東京から結婚のため羽生市へ移住(50 年前妻が羽生市の住民)しましたが、それから定年まで自宅と勤務地への(東京・さいたま市・その他への電車通勤)日々往復の生活で、いまだ羽生市の古い町名がわからなく妻に聞くようです。羽生市へ住むようになって 50 年を経過しました。羽生市の人口はどんどん減る一方で羽生市が今後どうなるか心配です。羽生市は生活するのに魅力が無いのか、私は羽生市へ移り住んだ時は大変好きになれない街だと感じていましたが現在気に入って住んでいます。(自分はある程度老後生活をあまり心配しない程度の生活を送っています。)羽生市はこの何十年もの間真剣にある程度の魅力ある街づくりに取り組んで来たとは思えません。(魅力とは、この街で十分満足はいかないけれど生活ができることだと思われまます。)人口増加は、純農村地域では図れません。農村地域はどこでも減少化傾向になってます。まず、人口増加より人口減少をどう防ぐかが問題でその後人口増加を考えることだと思います。毎回市長選では人口増加を訴えますが、人口増加の具体策は大きく出ていません。羽生市の市長選のキャッチフレーズの「日本一～」では魅力ある街になるとは思いません。羽生市に住んである程度の魅力をかじるには、ここに住んで生活を送れること。①. 羽生市外でも働くことができること。羽生市から東京・埼玉南部・さいたま市・その地域へ通勤ができること。②. 羽生市内で働けること。製造会社・その他一般会社等の誘致を積極的に行う。(コールセンター等も含む)圏央道の入間～川越間の沿道は物流会社・製造会社が林立し働く環境があります。羽生市だけではできないこと・困難でもある。①通勤者への快適性。鉄道は館林～東武動物公園まで 50 年前から大したスピードアップ化がされていません。駅間は都市部と違ってある程度の距離があり、危険区間もほとんど無くスピード化が図れる地域です。5 分でも 10 分でも速くなれば快適な通勤・通学になります。※館林・明和・加須・久喜等の地域協力が必要となります。②羽生市の活性化(道路状況:近い未来をみるのではなく先の未来の道路状況)現在、羽生インターの西側は 4 車線化で東側は 2 車線です。東 2 車線で高速道路下の隧道は 2 車線で 4 車線化(歩行者用も)を NEXCO 東日本へ要望願いを出す。隧道の先は国道 4 号線(栗橋・古賀)へつながる道の整理、4 号線までの整理はできなくとも隧道は 4 車線化をしていた方がよいと思います。将来の構想はわからないとしても、NEXCO 東日本の大幅工事は 50 年間隔だと思われまます。隧道の 4 車線化は旧加須大利根工業団地への利用が便利になり羽生インター利用が増加するかも。※現在、加須インターから加須バイパスは国道 122 号までの 4 車線化工事が進捗中で加須～熊谷方面が便利に走り易く、相当便利になり走行車両も大幅に増加すると推測され、羽生インターの利用減少が推測されます。
男性	60 歳以上	市の人口が何年も増加していない。赤字政策に対する意見がでないのは。国の要請である加須市との合併については避けられないか。
男性	60 歳以上	東武鉄道南羽生駅の東口の開設を市も力を入れて実現してください。
女性	60 歳以上	羽生市の魅力発信を強化してもらいたい。DX の推進。(特に手続きのサービス、横への反映) ※庁内連携がない。

性別	年齢	自由記述
女性	60歳以上	企業誘致で122もにぎやかになった。羽生に人が来るようになった。ただ、羽生の町を見ると、外からの力に負けていると思う。羽生市民が一つになれるものが無いように感じる。外国人が増えて、生活がしづらくなっている。害獣で家や畑があらされている。ここ数年で羽生はよくなっていると思う。
女性	60歳以上	行政手続きのオンライン化は賛成ですが、年齢と共に難しくなり行政サービスは、両立をお願いします。独り暮らしの老人が多くなり、防犯の為に何か。見守り隊、民生委員だけで大丈夫ですか。
男性	60歳以上	近隣市との情報交換を密にする。不十分と見る。
女性	60歳以上	1. いずれ他の市町村との合併の予定はあるのでしょうか。合併した方がよろしいのではと思うのですが。2. 市の商工会の商品券の件ですが、4人家族で2枚当選して2人家族で当選なしは不公平なのでは。いっそ各家庭1枚当選にした方が事務の方も楽なのではないでしょうか。
男性	60歳以上	市の職員の教育に疑問。20年以上カラスの駆除をしているのに、改善されない。市の対応が誤っている。
男性	60歳以上	地域格差の無い町づくりを切に願います。人口の増えるような人気が出るまちづくりに期待します。
女性	60歳以上	若者が生き生きと活動できる、そのような町づくりを期待したい。市民も一緒に参加し、かつ将来明るく活気のある羽生市になりますように。
女性	60歳以上	若い人達や、女性の議員さんも増えたらいいと思います。
男性	60歳以上	公民館の開館を1日おきにする。人件費を減らす(偶数日、奇数日を固定する)(中央はのぞく)(偶-奇-偶-奇-偶-奇-偶-奇)
女性	60歳以上	子どもとお年寄りに優しい町。
男性	60歳以上	市民の生活がより豊かになるための努力をしていただけますよう、心からお願い致します。
男性	60歳以上	この街を全国区にする大きな仕事をしてほしいです。首都圏から1時間で来れるアクセスの良いこの街は、たまにテレビの現場となるくらいにしか活用されて無いように思います。大手不動産会社や商社等を動かせる政治力のある先生は永遠に出現しないのでしょうか。特に羽生インター周りの辺りの開発です。色んな問題があってもそれを何とかできるリーダーが現れてほしい。それから教育レベルを上げてほしい。小中高いずれか2つの選択の一貫校をつくり優秀な子供達を地域への還元を条件として経済面でも支援し人材を羽生からこの世に輩出できるような町にしてほしい。
男性	60歳以上	市政には、満足しています。住みやすい環境です。
男性	60歳以上	井泉、三田ヶ谷、村君などの東部地区には商店なく過疎化進んでいます。市はどのように考えていますか。インターチェンジ周辺の開発はどうなっているのですか。東部地区の開発もよろしくをお願いします。
男性	60歳以上	10年後の羽生市ビジョンを設定し、時間、金、人を効率よく使用して下さい。
男性	60歳以上	土地利用についてですが、倉庫が無駄に多くなっています。流通は地域のためにはなりません。なぜなら、労働者が少ないため雇用促進につながらないし、流行に流され、根本的な発展につながらないからです。第3セクターでも市の事業でもいいので、基幹産業(特に農業)を育てるべきです。羽生市だけでも食料自給率100%を目指してください。そういう土地利用を期待します。
女性	60歳以上	もう少し活発に活動してほしい、成果結果が無いので。

性別	年齢	自由記述
女性	60歳以上	女性がリーダーとして活躍する場が増えることが市政の刷新の鍵だと思います。
男性	60歳以上	少子高齢化が進む中、経済及び社会保障等難しい状況にありますが、良好な行政運営をお願いします。
女性	60歳以上	ほどほどに住みやすい市ではあるが、これといった特色が無い公園も家族等で遊びに行くには周りに何もないので1日中過ごすことはできない。行田市のように街の特色を考えてほしい。
女性	60歳以上	駅の中に支所があると便利。加須市の広報はとても読みやすいし分かり易い。
男性	60歳以上	市役所での待ち時間が長すぎる。
女性	60歳以上	河田市政は地味ではあるが堅実かつ先見の明があり時代の流れに臨機応変に対処しているように思える。細かいことは適材適所にて組織を動かしてください。期待しています。
女性	不明	市役所に用事に行った時不親切な方がいました。感じ悪く帰ったことがあります。注意してほしいです。

10. その他

性別	年齢	自由記述
男性	18～29歳	18歳なので答えるのが難しかったです。
女性	18～29歳	議会だよりを LINE でも配信してほしいです。羽生市の政治に興味があるので知りたいと思いつつも、紙の議会だよりは見る気になれません。行われた議会の内容と誰が賛成反対したかが小学生にも分かる言葉で、見開き一枚の範囲に全部載ってるような、気軽に見てパッと理解できるものが LINE で送られてきたら便利だなあとと思います。ご検討よろしくをお願いします。
女性	18～29歳	現在県外に住んでいますが、羽生市に住んでいた時期や帰省時を想定して回答しました。
女性	18～29歳	西羽生駅に、PASMO や Suica をチャージできる機械を設置して頂きたいです。
男性	30～39歳	アンケート用紙の大きさに対して返信用封筒が小さい。
女性	30～39歳	(議員)(市)横柄(いばった態度で無礼)市民は見ていますから。
女性	30～39歳	羽生は東京と同じように物価が高いです。東京と羽生の時給は違く、大分安いのでとても住みにくい。引っ越ししたい。人が多くないせいか高いので。このことについても慎重に考えてほしい。
女性	30～39歳	羽生駅前の郵便局で、窓口の人が日本語がわからない外国人に、日本語がわかる友達いないのかなどと大声で囁き立てていた。結局、外国人の方は怒って帰ってしまった。昨今外国人対応なんて珍しく無いはずなのに、酷いと思った。共生していくためにも、改善が必要だと思う。
不明	30～39歳	羽生市がアフリカ人の誘致をするといった話をネットで見かけたのですが、その後の対応や方針はどうなっているのでしょうか。気になるところです。
男性	30～39歳	皆様にいつもお世話になっております。いつも感謝しております。ありがとうございました。これからもよろしくお願い致します。
男性	40～49歳	アンケートしたくない。
女性	40～49歳	女性議員の方々、応援しています。頑張ってください。

性別	年齢	自由記述
女性	40～49 歳	独身の私にも何か生きている楽しみみたいな恩恵がほしいです。
女性	40～49 歳	羽生市市民意識調査のインターネットによる回答について、昨今郵送で送られてくるものは詐欺に関わるものもあるため、信頼難しいことから、市 HP からフォームに入れられないものかと探したが、特にリンクが張られておらず不便であった。
男性	40～49 歳	市議会議員を減らす。
女性	40～49 歳	地区の分け方が、いまだによく分からないことがあります。住所ではなく、別の地区の分け方で分類されることが多々あり、新しく羽生に来た人は困るかと思います。例えば、〇〇町、(大和町) など。分かりづらくてすみません。
女性	40～49 歳	社協の「羽生市結婚相談所」に登録をして、12 年目になる者です。「はにゅう婚」の男性の参加条件の「羽生に住んでいる又は企業に勤めている」の考え方は古いと思います。全国どこからでも OK にした方がいいと思います。
男性	50～59 歳	産業文化ホールの催し物について、昔来た大物有名人を呼んでほしい。
男性	50～59 歳	返信用封筒が小さい。
女性	50～59 歳	問 38：スポーツ活動のことでちょっと分からなかったから毎日散歩しています。仕事がなかなか見つからないから独り言で言ってますすみません。台風以外は毎日歩いている、月 2、3 回は公民館保健センターで体操しています。散歩は週 5 回以上です。
男性	50～59 歳	アンケートを提出しないのに協力のお礼のハガキが届くのはおかしい。
女性	50～59 歳	いつもありがとうございます。
男性	50～59 歳	この集計結果と、どのように活用されたのか、どのような施策を行うことにしたのか(しなくても)情報発信してほしい。
男性	50～59 歳	このアンケートにより何がなされたか定期的に報告してほしい。何も生まれないならやめてほしい。前回のアンケートによってこんなことが改善されたなど進捗を次のアンケートに同封してほしい。
女性	60 歳以上	正直私に市民意識調査が届いたことにびっくりしています。あんまり私の回答は何の役にも立たないと思います。次回はもっとまともな意見できる人をお願いした方が良くと思います。
女性	60 歳以上	市役所に時々おじゃましますが、親切にしてくださりいつも感謝しております。
男性	60 歳以上	(1) 回答項目に同じ内容(意見)のものが多くもっと整理して作成した方が良いのでは。(2) 質問内容が「ありきたり」もっと夢のある質問があってもいいのでは。
女性	60 歳以上	1 人住まいです、インターネット、SNS、YouTube、携帯、こういう物は使いこなせないのでもとても困ります。80 歳以上こういう物は送らないで下さい。
男性	60 歳以上	市政ではないかも知れないが、羽生市広報(はにゅう)も含め時代の流れで「カタカナ語・新しい難解語・略語」が漸増傾向である。高齢者には理解し難いものもある。毎月広報の一部に実例と解説を掲載することを希望する。
男性	60 歳以上	波風も水害もなく穏やかで素晴らしいと思います。これからも頑張ってください。私は 86 才になりますが、体調が悪く寝たり起きたりしています。最近人生の終わりがくると感じています。体力・気力もなくなり、次の質問は失礼致します。

性別	年齢	自由記述
女性	60歳以上	集合住宅（アパート）に住んでいるので、市のたより等届きませんのであまり答えが分かりませんでした。
男性	60歳以上	羽生は住み良い町です。高齢の夫婦ですが、お陰様で元気に暮らしています。
女性	60歳以上	国政でもトップを選ぶのにしきたり、駆け引き等があるのを見ると国政がまとまるまでの困難を感じている折、小さな一つの市政は毎年・前年の例を見て簡単に決まってしまうのではないのでしょうか。議会だより等でこの地区のあれを補修したとか、そんな記事を拝見したことがありますか。会議を見に行かれる市民っていますか。議員さんがどんな仕事されているか知りません。政治には簡単に興味を持って行動するのは難しく思います。
男性	60歳以上	市会議員の年間を通じての議員活動を詳しく知りたい。
男性	60歳以上	各議員の方が大変よくやってくれていると思います。感謝。
女性	60歳以上	令状より遅い提出でお手数をかけます。宜しく申し上げます。
女性	60歳以上	地域名も変更するべきです。
男性	60歳以上	期待していない。
男性	60歳以上	私は毎日パソコンのアプリで全国のコミュニティ FM 放送を聴いています。特に東日本大震災の被災地で今も地震の多い地域の放送を聴いていますと災害時に情報を得たりそれ以外にも寄り添うような内容を乾電池の小さなラジオで人の声で届け続ける事が絶対に必要で非常に大事と思います。羽生はその点ラジオで聴けるコミュニティ FM 局がひとつもないので是が非でも羽生にコミュニティ FM ラジオ局を作って頂きたいと強く思っています。よろしくご検討をお願い致します。
女性	60歳以上	意欲のある市長候補はいないのですか。
男性	60歳以上	羽生市のHPにこのアンケートのURLを張っておいてください。
女性	60歳以上	子供対策に株式投資の勉強をしている様な話を聞くが、市政で投資機関を行う。市民が誰もが個人投資できることが理想的。空地の利用で市内だけでなく市外・県外からも利用できる場所を確保する。人を集めて活性化を図る。
不明	不明	お世話様になります。高齢のため介護4で施設に入所しており、ご返信は出来ません。申し訳ありません。

調査票

羽生市市民意識調査

～ アンケートご協力のお願い ～

市民の皆様には日ごろから市政に対しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この「羽生市市民意識調査」は、市民の皆様から市政についてのご意見やご要望をお伺いし、これからのまちづくりに役立てていくために行うものです。

調査の実施にあたり、市内にお住まいの18歳以上の方の中から2,500人を無作為で抽出しましたところ、あなた様に回答をお願いすることになりました。

調査は無記名で行い、回答はすべて統計的に処理し、他の目的には使用いたしません。お答えいただいた皆様にご迷惑をおかけすることはございませんので、率直な意見をお聞かせください。

お忙しいところ恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

令和7年10月

羽生市長 **河田 晃明**

【ご記入にあたってのお願い】

- ・郵送またはインターネットのいずれかの方法でご回答ください。
- ・あて名のご本人がお答えください。
※ご本人が回答できないときは、ご家族の方などが代理でご回答ください。
- ・質問は全部で43問です。回答時間の目安は15分程度です。

⇒郵送による回答

- この調査票に直接記入します。あてはまる回答番号に○印をお付けください。
- 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（切手不要）で10月31日（金）までにご返送ください。封筒に、住所・氏名のご記入は不要です。

⇒インターネットによる回答

- 別紙のとおり、10月31日（金）までに回答をお願いします。

なお、調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。



がいこくご
(English、中国、かんこく、
タイ、ポルトガル、スペイン、
インドネシア、ベトナム)

羽生市役所 秘書広報課
羽生市東6丁目15番地
TEL (561)1121(内線203)
FAX (562)3500

◆◆◆◆ 羽生市の住み心地について ◆◆◆◆

問1：羽生市の住み心地はいかがですか。【1つに○】

1. 住み良い 2. まあまあ住み良い	⇒問1-a△	3. どちらとも言えない ⇒問2△ 4. 住みにくい ⇒問1-b△
------------------------	--------	--------------------------------------

問1で「1. 住み良い」「2. まあまあ住み良い」を選んだ方に伺います。

問1-a：住み良い理由は何ですか。【2つまで○】

1. 自然環境が良い 2. 道路・排水・下水道などの都市施設が整っている 3. 文化ホールや図書館などの公共施設が充実している 4. 交通の便が良い 5. 買い物の便が良い 6. 子どもの教育環境が良い	7. 人間関係が良い 8. 永年住みなれ、愛着がある 9. 商売や事業に便利である 10. 学校の関係 11. その他（ ）
--	---

⇒問2△

問1で「4. 住みにくい」を選んだ方に伺います。

問1-b：住みにくい理由は何ですか。【2つまで○】

1. 自然環境が良くない 2. 道路・排水・下水道などの都市施設が整っていない 3. 公園などの公共施設が不十分である 4. 交通の便が悪い 5. 買い物が不便である	6. 子どもの教育環境が良くない 7. 人間関係が良くない 8. 公害（騒音・振動・悪臭）などがある 9. 商売や事業に不利である 10. その他（ ）
---	---

⇒問2△

問2：現在の場所に住み続けたいと思いますか。【1つに○】

1. ずっと住み続けたい 2. 当分の間住み続けたい 3. わからない	4. できれば転居したい（市内の他の場所へ） 5. できれば転居したい（市外へ）
---	---

◆◆◆◆ 市からの情報について ◆◆◆◆

問4：市からの情報をどのように得ていますか。【いくつでも○】

1. 広報はにゅう	7. 新聞やテレビ
2. 市のホームページ	8. 公共施設にあるポスターやチラシ
3. メール配信サービス	9. 関係機関に直接問い合わせる
4. 市公式 LINE (ライン)	10. 自治会の回覧
5. 市公式 Instagram (インスタグラム)	11. 知人に聞く
6. アプリ (子育てや防災)	12. その他 ()

問5：市の広報紙「広報はにゅう」を読んでいますか。【1つに○】

1. 必ず読む	3. まったく読まない
2. ときどき読む	4. 届いていない

問6：市議会の広報紙「ぎかいだより」を読んでいますか。【1つに○】

1. 必ず読む	3. まったく読まない
2. ときどき読む	4. 「ぎかいだより」を知らない

問7：現在「広報はにゅう」「ぎかいだより」は自治会を通して各世帯へ配布しているほか、公共施設、駅、郵便局などに配架しています。自宅以外にどのような場所なら手に取りやすいと思いますか。【いくつでも○】

1. 公民館などの公共施設	6. 医療機関
2. 駅	7. スーパーやコンビニエンスストア
3. 郵便局	8. 大規模商業施設
4. 金融機関	9. 電子データ (市ホームページなど)
5. 高齢者福祉施設	10. その他 ()

問8：羽生市まちづくり自治基本条例についてご存じですか。【1つに○】

1. 内容を知っている	2. 聞いたことはあるが、内容は知らない	3. 聞いたことがない
-------------	----------------------	-------------

◆◆◆◆ 市の取り組みについて ◆◆◆◆

問 9：羽生市は、観光交流人口 100 万人を目指しています。次の地場産品、施設、イベントの中で、羽生市を全国にPRするために、有効だと思われるのはどれですか。

【5つまで○】

1. いがまんじゅう	10. 羽生夏まつり	19. キヤッセ羽生
2. 彩のかがやき	11. 羽生よさこいフェスティバル	20. チャレンジファーム
3. 市推奨品などのご当地グルメ	12. 菊まつり	21. 大型商業施設
4. 羽生バーガーフェス	13. フロアカーリング	22. 田舎教師
5. ムジナもん等のキャラクター	14. 藍のまち羽生さわやかマラソン大会	23. 永明寺古墳
6. 世界キャラクターさみっと in 羽生	15. 利根川	24. 羽生城址
7. 藍染め	16. 羽生水郷公園	25. その他
8. 藤（大天白公園）	17. さいたま水族館	〔 〕
9. 商工・農業まつり	18. 宝蔵寺沼ムジナモ自生地	

問 10：各種申請や補助金交付の手続き等をオンライン化にするなど、行政手続きにパソコンやスマートフォンの活用を推進するべきだと思いますか。【1つに○】

1. 積極的に推進するべき	4. あまり推進するべきでない
2. 推進するべき	5. 推進する必要はない
3. どちらでもない	

問 11：DX（デジタル技術を活用して行政サービスの維持と向上を目指す取組）が進むことに対してどのようなことを期待しますか。【いくつでも○】

1. 生活分野（健康、教育、防災等）のデータ連携
2. 行政手続きのオンライン化
3. 手数料、一時保育料等の集金のキャッシュレス化
4. LINE などのソーシャルメディアを利用した情報の送受信
5. マイナンバーカードの利用拡大
6. その他（)

◆◆◆◆ コミュニティ・福祉・ごみ・交通について ◆◆◆◆

問 12：自治会などの集まりや行事に参加していますか。【1つに○】

1. いつも参加している	3. あまり参加していない
2. ときどき参加している	4. 参加していない

問 13：高齢化が進む中、幸せで生きがいのある老後を送るために、何が大切だと思いますか。
【2つまで○】

1. 生活資金の充実（公的年金、社会保険の充実） 2. 生活資金確保のため、就労の機会を増やす 3. 高齢者に対する医療制度、保険サービスを充実する 4. 生涯学習、スポーツ・レクリエーション活動を盛んにする 5. 老人クラブの活動を支援する 6. 高齢者が楽しく働ける場を増やす 7. 介護予防や認知症予防のための支援を行う 8. 近所の高齢者が気軽に集まれる施設をつくる 9. 高齢者の地域活動への参加を促進する 10. 歩道の整備など、安心して生活できるまちづくりを進める 11. 在宅福祉サービスを充実させる 12. 市民ボランティアの育成に努める 13. 移動手段の確保や支援を充実させる 14. その他（	）
---	---

問 14：市の子育て支援に期待することは何ですか。【3つまで○】

1. 子育てしやすい住環境への支援 2. 地域における子育て支援の充実 3. 子どもの教育環境の充実 4. 仕事と家庭を両立できる社会環境づくり 5. 保育所・学童保育の充実 6. 子どもを対象とした犯罪・事故防止の推進	7. 子どもの活動拠点施設の拡充 8. 妊娠・出産に対する支援 9. 母子の健康に関する支援 10. 子育て支援ネットワークの拡充 11. その他（
---	--

問 15：ごみに関する課題の一つとして、家庭ごみを減らすには、どのようなことが必要だと思いますか。【3つまで○】

<ol style="list-style-type: none">1. ごみ集積所の配置や管理などの見直し2. 缶、ビン、ペットボトル、古紙類などの分別収集の徹底3. 地域やPTAなどで行っている資源ごみ回収への参加4. 廃プラスチックなど資源品目の拡充5. 物が壊れても、できるだけ修理して長く使うようにする6. できるだけエコマーク商品を使用する7. 不要なものは買わない、断る8. 生ごみ処理機器（機械式コンポスター等）の積極的な活用9. ごみの有料化10. 食品ロスの削減推進11. その他 <p>()</p>

問 16：羽生市の公共交通（鉄道・バスなど）に満足していますか。【1つに○】

<ol style="list-style-type: none">1. 満足している2. まあまあ満足している3. 普通である	<ol style="list-style-type: none">4. やや不満足である5. 不満足である
--	---

◆◆◆◆ 医療・防災・防犯について ◆◆◆◆

問 17：かかりつけ医または診療所（医院）を決めていますか。【1つに○】

1. 決めている	3. 必要だと思わない
2. 必要なので決めたいと思っている	4. 総合病院等に行っている

問 18：かかりつけ歯科医または診療所（医院）を決めていますか。【1つに○】

1. 決めている	3. 必要だと思わない
2. 必要なので決めたいと思っている	4. 総合病院等に行っている

問 19：かかりつけ薬局を決めていますか。【1つに○】

1. 決めている	3. 必要だと思わない
2. 受診する医療機関ごとに近くの薬局を利用している	

問 20：毎年、健康診断等を受診していますか。【1つに○】

1. 受診している ⇒問 21 へ	2. 受診していない ⇒問 20-a へ
-------------------	----------------------

問 20 で「2. 受診していない」を選んだ方に伺います。

問 20-a：健康診断等を受診していない理由は何ですか【いくつでも○】

1. 忙しい	5. かかりつけ医が健診の実施機関ではない 6. お金がかかるから 7. 健診実施機関への移動手段がない 8. その他 ()
2. 機会がない	
3. 普段から医者にかかっている	
4. 健康なので受診する必要がない	

問 21：地震による被害を最小限に抑えるためには、建物の耐震化が必要といわれています。そこで、お住まいの家について伺います。【項目ごとにそれぞれ1つに○】

(1) お住まいの家が建てられた時期は、いつですか。	1. 昭和 56 年 (1981 年) 以前 2. 昭和 57 年 (1982 年) 以降 3. わからない	
(2) お住まいの家が地震に対して、どの程度安全か知りたいですか。	1. はい 2. いいえ	
(3) お住まいの家が、大地震の際の安全性に問題があると分かった場合、どうしますか。	持ち家の方	1. 耐震補強工事をする 2. 建て替える 3. 何もしない
	借家の方	1. 所有者に耐震補強工事を求める 2. 住み替える 3. 何もしない

問 22：あなたの家に住宅用火災警報器は設置されていますか。【いくつでも○】

1. 寝室に設置されている 2. 階段に設置されている 3. 台所に設置されている	4. 1～3以外の場所に設置されている 5. 設置されていない
---	------------------------------------

問 23：震災・水害時の避難所をご存じですか。【1つに○】

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問 24：ハザードマップ※をご存じですか。【1つに○】

1. 内容を理解している	2. 見たことはある	3. 知らない
--------------	------------	---------

※ハザードマップとは、地震や台風などにより発生が予測される被害について、その種類・場所・危険度など示した地図のことです。

問 25：マイ・タイムライン※を作成していますか。【1つに○】

1. 作成している	2. 知っているが作成していない	3. 知らない
-----------	------------------	---------

※マイ・タイムラインとは、台風の接近で河川の水位が上昇する時などに、ご自身がとるべき防災行動を時系列で整理・とりまとめた行動計画表のことです。

問 26：震災や水害などの災害時に備えてどのような準備をしていますか。【いくつでも○】

<ul style="list-style-type: none"> 1. 避難所の確認 2. マスクや消毒液など感染症に対応した避難準備 3. 家族との連絡方法の確認 4. 携帯ラジオ、懐中電灯、衣料品などの準備 5. 非常用食料の備蓄 6. 非常持ち出し用衣類・毛布・貴重品等の準備 	<ul style="list-style-type: none"> 7. ブロック塀などの補強 8. 家具などの転倒防止 9. 防災訓練に参加 10. 浴槽での水の溜め置き (初期消火や断水時のトイレ等の水確保のため) 11. その他 () 12. 特に準備していない
---	--

問 27：現在行っている防犯対策は何ですか。【いくつでも○】

<ul style="list-style-type: none"> 1. ドア、窓の二重ロック化 2. 防犯ガラス、防犯フィルムの施工 3. 防犯カメラの設置 4. センサーライトの設置 5. ホームセキュリティー（警備会社に委託） 6. 振込詐欺に備えた留守番電話等の設定 	<ul style="list-style-type: none"> 7. 防犯ブザー等の設置 8. 外出時の隣近所への声かけ 9. 犬等のペットを飼う 10. GPS 等を活用した IT 機器の使用 11. その他 ()
--	---

問 28：身の回りで起きる犯罪を防止するために、どのようなことが必要だと思いますか。

【3つまで○】

<ul style="list-style-type: none"> 1. 防犯灯や街路灯を増設する 2. 道路や塀などを見通しが良くなるよう工夫する 3. 市街地などに防犯カメラを取り付ける 4. 市や自治会が、地域の問題として防犯に積極的に取り組む 5. 地域の人たちでパトロールなど防犯活動をする 6. 近所のつながりを深め、犯罪に強い地域をつくる 7. 犯罪情報を提供する 8. 警察のパトロールを多くする 9. その他 ()

◆◆◆◆ 市議会について ◆◆◆◆

問 29：市議会に関心がありますか。【1つに○】

1. ある 2. どちらかといえばある	⇒問 29-a へ	3. どちらかといえばない 4. ない	⇒問 29-b へ
------------------------	-----------	------------------------	-----------

問 29 で「1. ある」「2. どちらかといえばある」を選んだ方に伺います。

問 29-a：その理由を教えてください。【いくつでも○】

1. 自分に関係があると思うから 2. 知っている議員がいるから 3. 生活と密接な関係があるから 4. 自分の住むまちに愛着があるから	5. 税金を納めているから 6. 市政に関心があるから 7. その他 ()
---	---

⇒問 30 へ

問 29 で「3. どちらかといえばない」「4. ない」を選んだ方に伺います。

問 29-b：その理由を教えてください。【いくつでも○】

1. 自分に関係がないと思うから 2. 知っている議員がいないから 3. 生活にあまり関係がないから 4. 自分の住むまちに愛着がないから	5. 市議会が何をしているかわからないから 6. 興味がないから 7. 市政に関心がないから 8. その他 ()
--	---

⇒問 30 へ

◆◆◆◆ 選挙について ◆◆◆◆

問 30：政治や選挙にどの程度関心がありますか。【1つに○】

<ol style="list-style-type: none"> 1. 非常にある 2. まあまあある 3. 普通 4. あまりない 	<ol style="list-style-type: none"> 5. まったくない 6. わからない 7. その他 ()
--	---

問 31：投票しやすい環境として有効な手段はどの手段だと思えますか。【2つまで○】

<ol style="list-style-type: none"> 1. 期日前投票所の場所を増やす 2. 市内のどの投票所でも投票できるようにする 3. 投票所の数を増やす 4. 市内を巡回する移動投票所の導入 5. 誰でも自宅から郵便等で投票できる制度の導入 6. インターネットを利用して投票できるようにする 7. ショッピングセンターなどで投票できるようにする 8. 駅などの公共交通機関で投票できるようにする 9. その他 ()
--

問 32：選挙に関する情報をどのような媒体から取得しますか。【2つまで○】

<ol style="list-style-type: none"> 1. 新聞 2. テレビ 3. インターネットニュース 4. YouTube 5. 選挙ポスター、選挙ビラ 	<ol style="list-style-type: none"> 6. 選挙公報 7. X、Facebook、Instagram 等の SNS 8. 自治体公式 LINE 9. 自治体の公式ホームページ 10. その他 ()
---	--

◆◆◆◆ 文化・スポーツについて ◆◆◆◆

問 33 は未就学児の保護者の方のみ回答してください。

問 33：小さい頃から身近に本がある環境で育った子どもは読書好きになるというデータがあります。あなたの家には、子どもが読書を楽しめる「おうち図書館[※]」はありますか。

【1つに○】

1. ある ⇒問 34へ	2. ない ⇒問 33-aへ
--------------	----------------

※おうち図書館とは、家にいつでも本に触れることが出来る読書コーナーをつくることです。

問 33で「2. ない」を選んだ方に伺います。

問 33-a：その理由を教えてください。【いくつでも○】

1. 本を読まないから 2. 電子書籍を利用するから 3. 図書館を利用するから	4. 特に理由はない・わからない 5. その他 ()
--	-----------------------------------

問 34：近年、文化芸術には教育や産業など様々な面での可能性が期待されています。あなたが文化芸術に期待するものはなんですか。【いくつでも○】

1. 心の豊かさ、安らぎを感じる 2. やりがいや生きる原動力となる 3. 多様な文化に触れ相互理解や交流が深まる 4. 創造性が育成される 5. にぎわい創出や観光地の魅力向上につながる 6. 自己表現の能力が高められる	7. 文化的な伝統を尊重する心の育成 8. 地域の誇りや活性化につながる 9. 健康長寿や心のケアにつながる 10. 伝統工芸品の振興や産業の創出につながる 11. 特に期待しない 12. その他 ()
--	--

問 35：羽生市内での文化芸術に関する情報（イベント・講座・企画・鑑賞等）をどのように得ていますか。【いくつでも○】

1. 広報はにゅう 2. 公民館だより 3. 市や公民館等のホームページ 4. チラシ・ポスター 5. SNS（LINE、X、Instagram等） 6. 動画配信（YouTube等）	7. イベント等主催者の公式ウェブサイト 8. 新聞 9. 雑誌 10. テレビ・ラジオ 11. 友人・知人を通じて 12. その他 ()
---	--

問 36：羽生市の文化芸術振興における施策として、今後、どのような取り組みが必要だと思いますか。【いくつでも○】

1. 鑑賞や創作等に触れられる機会の創出 2. 文化芸術団体や個人の活動成果を発表する機会の充実 3. 活動拠点の環境・体制整備 4. 子どもたちの文化芸術体験の充実 5. 文化財の調査・保存・活用への支援 6. 地域の伝統行事や伝統芸能の継承や発展に向けた支援 7. 芸術家や指導者など文化芸術を担う人材の育成や支援 8. 情報を収集し、多様なメディアを通じての情報提供・発信 9. 健康・福祉分野における文化芸術活動の活用 10. 郷土料理や行事食などの地域独自の食文化の継承 11. 文化芸術や文化財を活用した産業・観光の活性化 12. その他 ()

問 37：子どもたちが文化芸術に親しむための取り組みについて、充実すべきことはどのようなことだと思いますか。【いくつでも○】

1. 未就学児を対象とした鑑賞機会 2. 公演や展示などの鑑賞機会 3. 音楽・ダンス・美術などの創作、実演体験 4. 華道・茶道・書道・食文化などの体験機会 5. 伝統芸能や郷土芸能の体験機会	6. 伝統文化や文化財などの学習機会 7. 指導者や指導団体の育成 8. 地域の文化施設、団体等と学校の連携 9. プロのアーティストと触れ合う機会 10. その他 ()
---	--

問 38：どれ位の頻度でスポーツ活動（ウォーキングや体操・レクリエーション種目を含む）を行っていますか。【1つに○】

1. 週に5回以上 2. 週に2回～4回 3. 週に1回	4. 月に1回～3回程度 5. 行っていない／月に1回未満 ⇒問 38-a へ
------------------------------------	---

問 38で「5. 行っていない／月に1回未満」を選んだ方に伺います。

問 38-a：スポーツ活動を行っていない理由は何ですか【3つまで○】

1. スポーツが好きではないから 2. 身近に適切な場所や施設がないから 3. 身近に適切な指導者がいない 4. 忙しくて時間がないから	5. 身近に相手や仲間がないから 6. 費用がかかるから 7. 健康上の理由から 8. その他 ()
---	---

⇒問 39 へ

◆◆◆◆ 人権・男女平等について ◆◆◆◆

問 39：「人権」は、誰もが生まれながらに持っている権利であり、幸せに生きるためになくってはならないものです。今の社会で基本的人権が尊重されていると思いますか。

【1つに○】

1. 尊重されている	4. 尊重されていない
2. どちらかといえば尊重されている	5. わからない
3. どちらかといえば尊重されていない	

問 40：あなたのまわりの各場面（慣習・しきたり・社会通念など）において、男女の地位は平等になっていると思いますか。【1つに○】

1. 平等である	4. 女性が優遇されている
2. 男性が優遇されている	5. どちらかといえば女性が優遇されている
3. どちらかといえば男性が優遇されている	6. わからない

問 41：『男は仕事、女は家庭』という考え方についてどう思いますか。【1つに○】

1. その通りだと思う	4. そう思わない
2. どちらかといえばそう思う	5. わからない
3. どちらかといえばそう思わない	

◆◆◆◆ 商業・農産業について ◆◆◆◆

問 42：あなたが、米や野菜などの農産物を購入するとき、目安にしていることはどのようなことですか。【2つまで○】

1. ブランドや評判、おいしさなど	5. 新鮮さなどの品質
2. 減農薬や有機栽培など、環境に優しい栽培	6. 特にない
3. 国内産または地元産であること	7. その他 ()
4. 値段の安さ	

問 43：市の農業、商業や産業の振興について何が重要だと思いますか。【2つまで○】

1. 新しい産業資源の発掘	6. 商店街の整備
2. 歴史や伝統を活かした施設づくり	7. 若い世代の台頭や後継者の育成
3. 農産物の加工開発やスマート農業の導入	8. 催し物やイベントの開催
4. 企業の誘致	9. その他 ()
5. 農地、水路等の整備	

◆◆◆◆ あなたご自身について ◆◆◆◆

◆あなたご自身について伺います。【項目ごとにそれぞれ1つに○】

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	3. ()
	あなたが認識しているご自分の性別を選んでください。 ※回答されたくない方は未記入のまま、次にお進みください。		
(2) 年齢 (令和7年10月1日現在)	1. 18～29歳	4. 50～59歳	
	2. 30～39歳	5. 60歳以上	
(3) 職業	3. 40～49歳		
	1. 農業 2. 商工業 3. 自営業 4. 会社員 5. 公務員	6. パート・アルバイト 7. 学生 8. 無職 9. その他	
(4) 羽生市に住んでいる年数	1. 5年未満	3. 10年以上～20年未満	
	2. 5年以上～10年未満	4. 20年以上	
(5) 住んでいる地域	1. 羽生	4. 岩瀬	7. 手子林
	2. 新郷	5. 川俣	8. 三田ヶ谷
	3. 須影	6. 井泉	9. 村君

◆◆◆◆ 市政に関するご意見 ◆◆◆◆

◆市政に関するご意見がありましたら、自由にお書きください。

<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>
--

以上で質問は終わりです。お忙しいところ、ご協力いただきましてありがとうございました。
 なお、誠に恐縮ですが 10月31日(金) までにこの調査票を返信用封筒に入れて返送して下さるようお願いいたします。

羽生市市民意識調査

令和8年3月

羽生市 秘書広報課

〒348-0052 埼玉県羽生市東6丁目15番地

TEL：048-561-1121

FAX：048-562-3500
